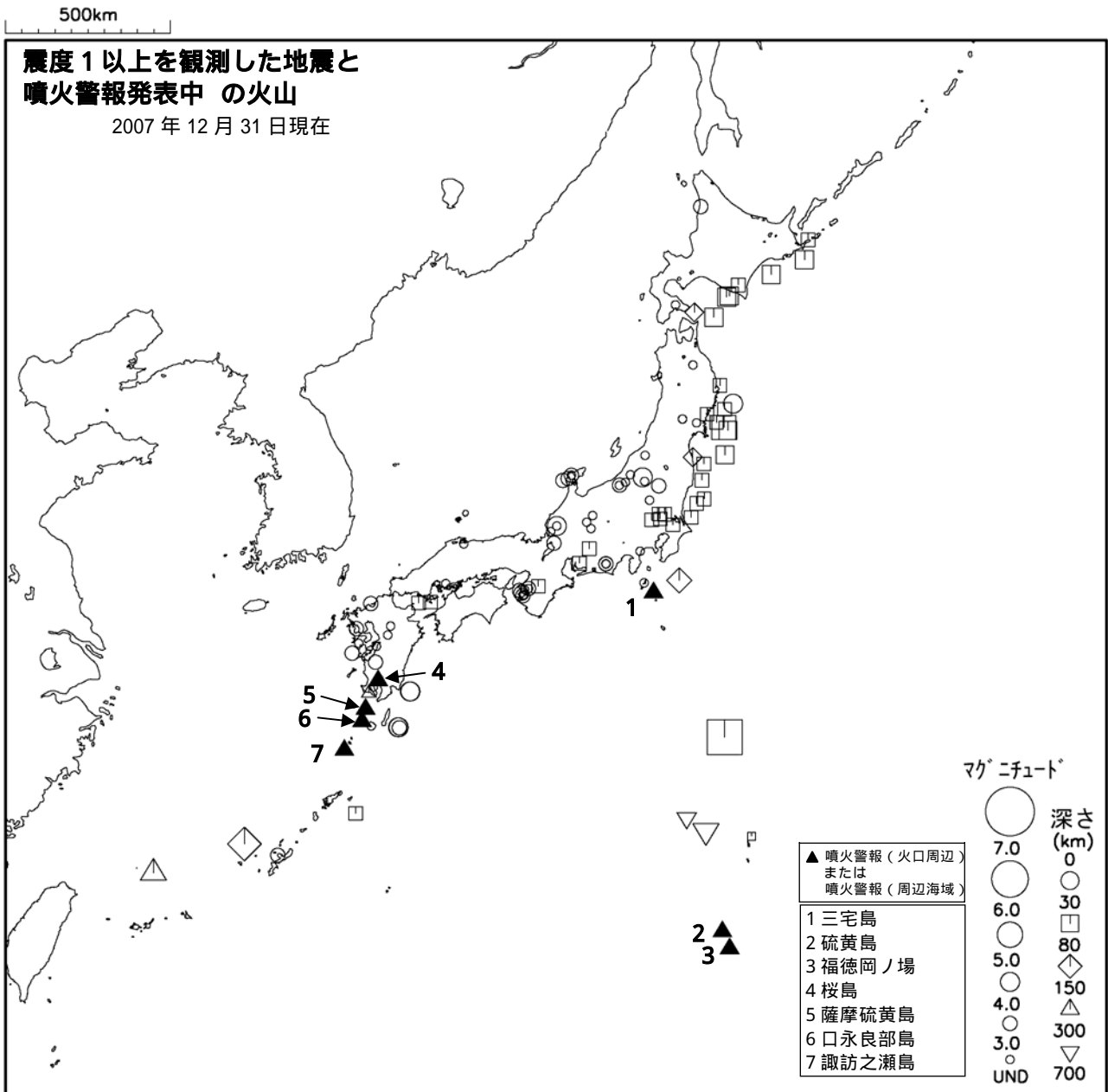


平成 19 年 12 月 地震・火山月報（防災編）

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

December 2007



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所^注から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け^注、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注¹ 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注² 平成 19 年 12 月末現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構による地震観測データを利用している。また、富山・石川・岐阜・長野県を中心とする総合観測として、歪集中帯大学合同地震観測グループ（北海道大学・弘前大学・東北大学・千葉大学・東京大学地震研究所・名古屋大学・京都大学防災研究所・金沢大学・福井工業高専・九州大学・鹿児島大学）が行っている自然地震観測のデータを利用している。また、能登半島地震合同観測グループ（東京大学地震研究所、北海道大学、東北大学、名古屋大学、金沢大学、京都大学防災研究所、九州大学、鹿児島大学、防災科学技術研究所、産業技術総合研究所）が行っている自然地震観測のデータを利用している。このほか、2007 年新潟県中越沖地震緊急観測グループのデータを利用している。

本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード

Depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1

NP2：節面 2

STR：走向（°：北から時計周り）

DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

AZM：方位角（°：北から時計周り）

PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

Mw：モーメントマグニチュード

Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

・M - T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用するものを用いる。情報発表時と異なる震央地名を用いた場合は、「異なる震央地名[情報発表時に使用する震央地名]」と併記した。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」、「地震年報（CD-ROM）」を参照のこと。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」、「火山報告（CD-ROM）」を参照のこと。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 25000（地図画像）』、『数値地図 50000（地図画像）』、『数値地図 10m メッシュ（火山標高）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』、『数値地図 250m メッシュ（標高）』を使用したものである（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998]) を使用した。

目 次

日本及びその周辺で発生した主な地震	1
東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	15
日本の主な火山活動	24
世界の主な地震	32
世界の主な火山活動	35
特集 .	
噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの導入開始について	36
付表	
1 . 震度 1 以上を観測した地震の表	38
2 . 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	50
3 . 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	51

2007 年の地震・火山活動	53
付録	
1 . 気象庁震度階級関連解説表	100
2 . 震度観測点	101
3 . 震度 6 または震度 6 弱以上を観測した地震の表	105

日本及びその周辺で発生した主な地震

表 1

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M H S T (注 3)	最大震度・被害状況等（注 4）	掲載 ページ
1	12 7 09 47	鳥島近海	6.0	M	2：宮城県 丸森町鳥屋* など 2 県 3 地点	9
2	12 21 14 22	福井県嶺北	4.5	. . S .	4：福井県 池田町稲荷*、越前市粟田部*、越前町西田中*	10
3	12 21 16 01	福井県嶺北	4.2	3：福井県 池田町稲荷*、越前市粟田部*	10
4	12 22 19 39	福島県会津	4.4	3：新潟県 魚沼市須原* など 2 県 3 地点	6
5	12 24 19 39	栃木県北部	3.6	. . S .	4：栃木県 那須塩原市塩原庁舎*	11
6	12 25 23 04	宮城県沖	5.6	3：宮城県 南三陸町歌津* など 3 県 26 地点	7

注 1) 主な地震とは、M6.0 以上、震度 4 以上、内陸 M4.0 以上かつ震度 3、海域 M5.0 以上かつ震度 3、その他注目した地震を指す。

注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

注 3) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注 4) 最大震度の観測点名にある * 印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報であることを表す。

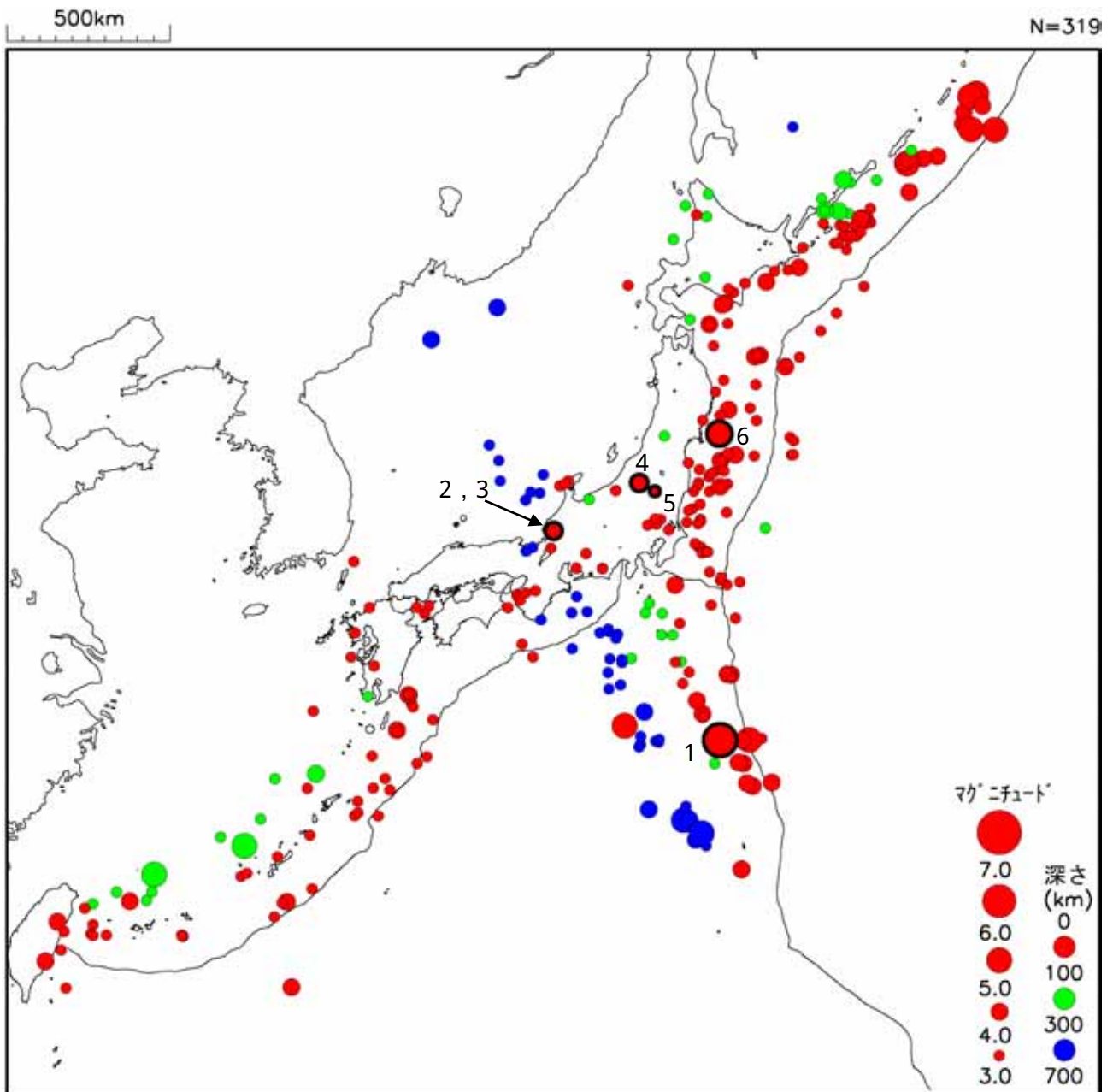
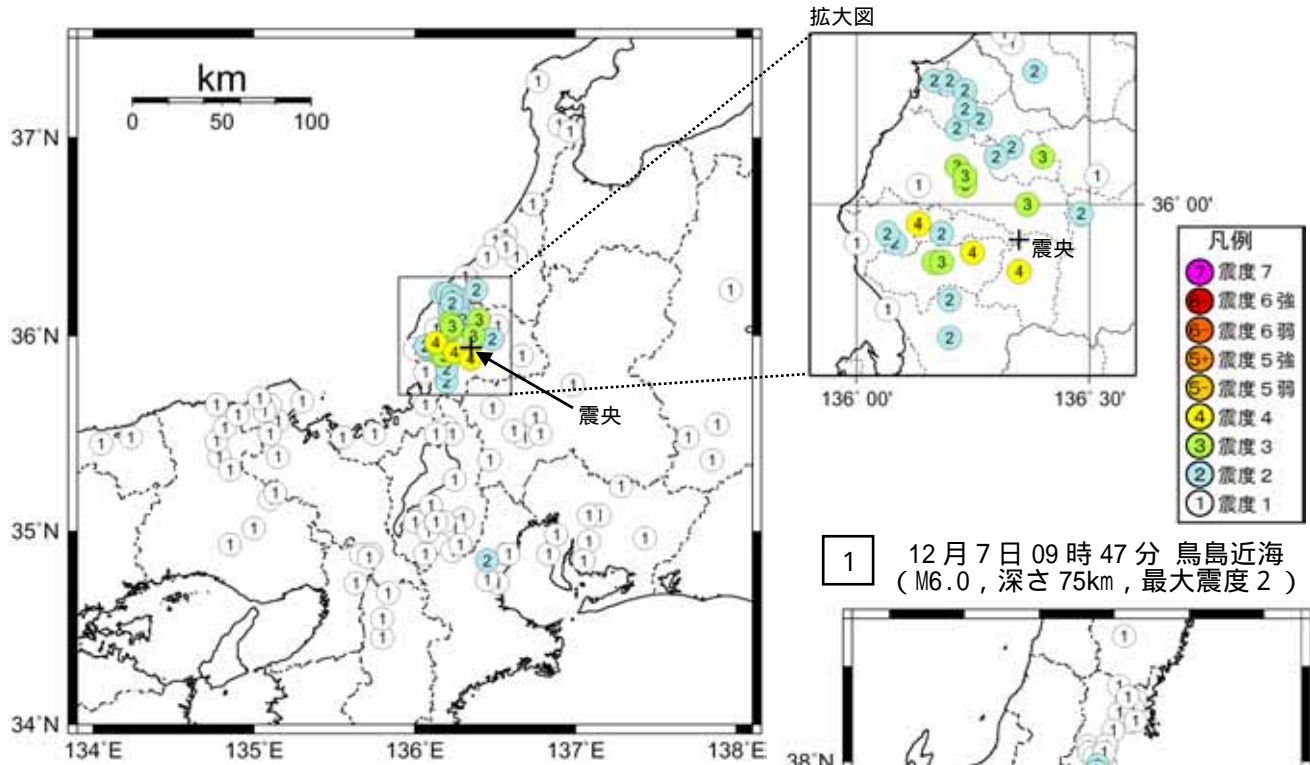


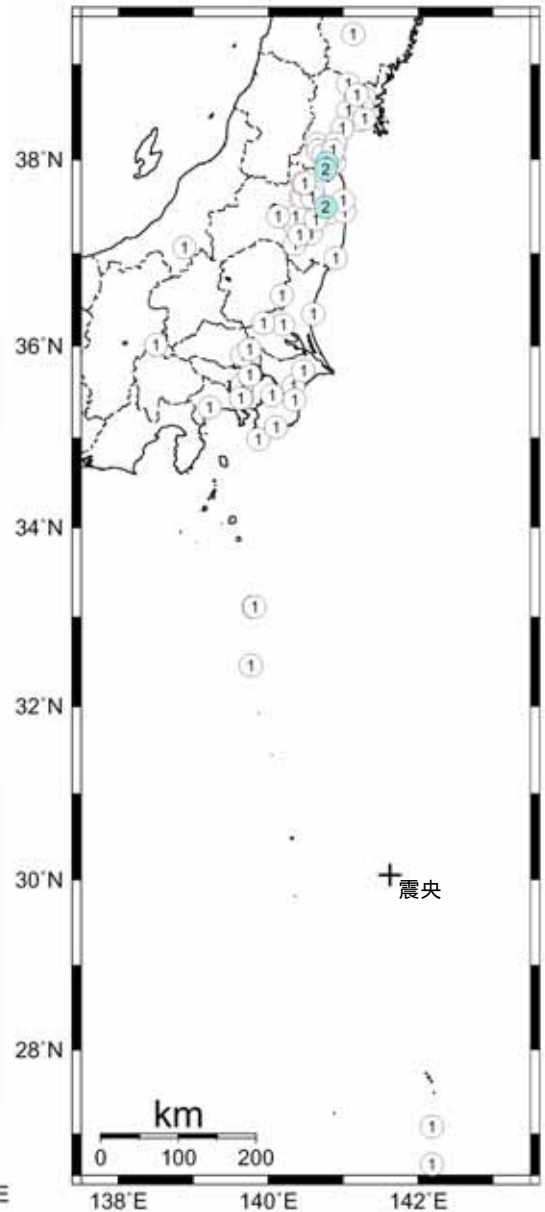
図 1 2007 年 12 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)

図2 各観測点の震度分布図（数字は表1，図1の番号に対応する。+印は震央を示す。）

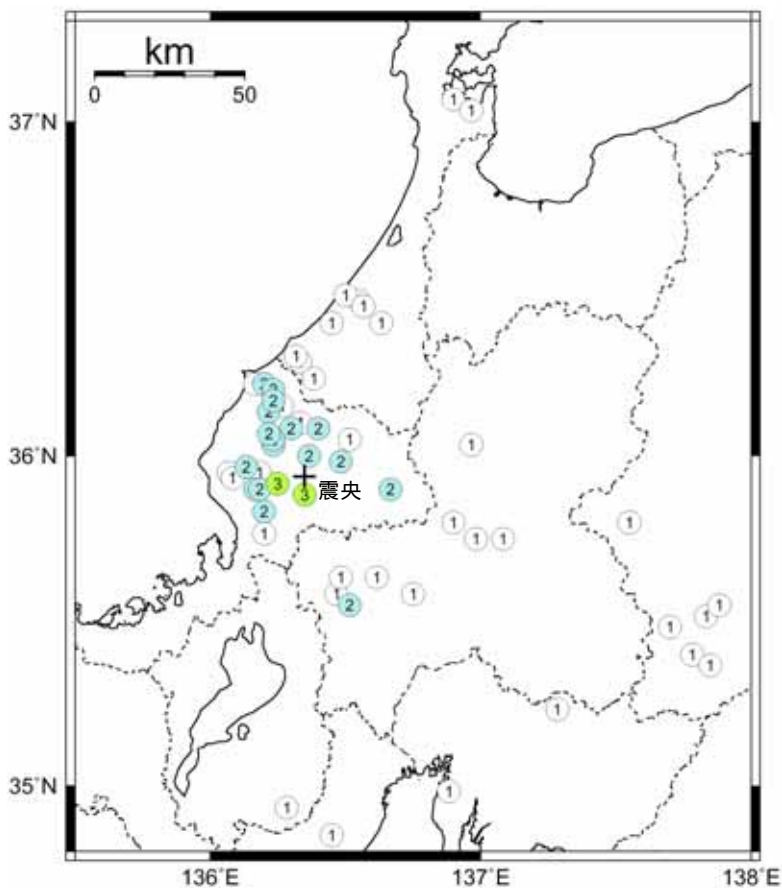
2 12月21日14時22分 福井県嶺北
(M4.5, 深さ7km, 最大震度4)



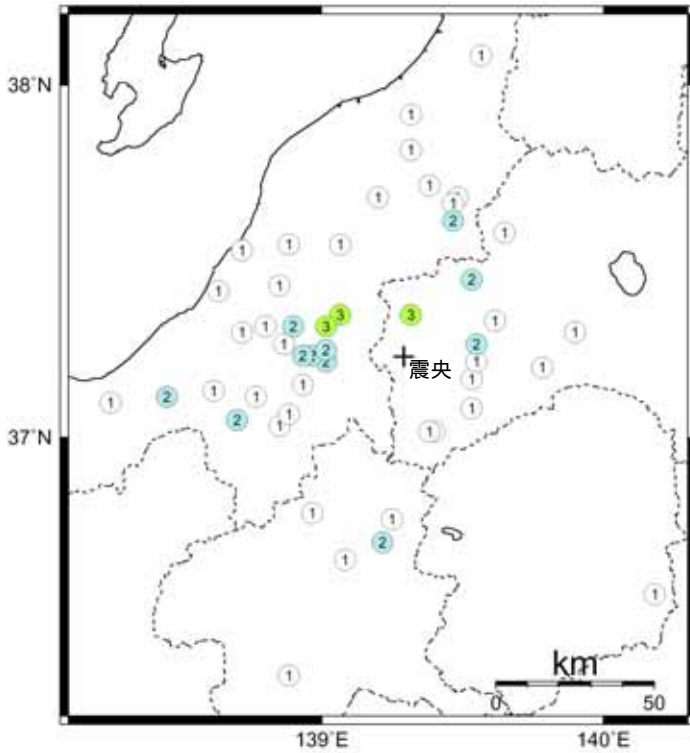
1 12月7日09時47分 鳥島近海
(M6.0, 深さ75km, 最大震度2)



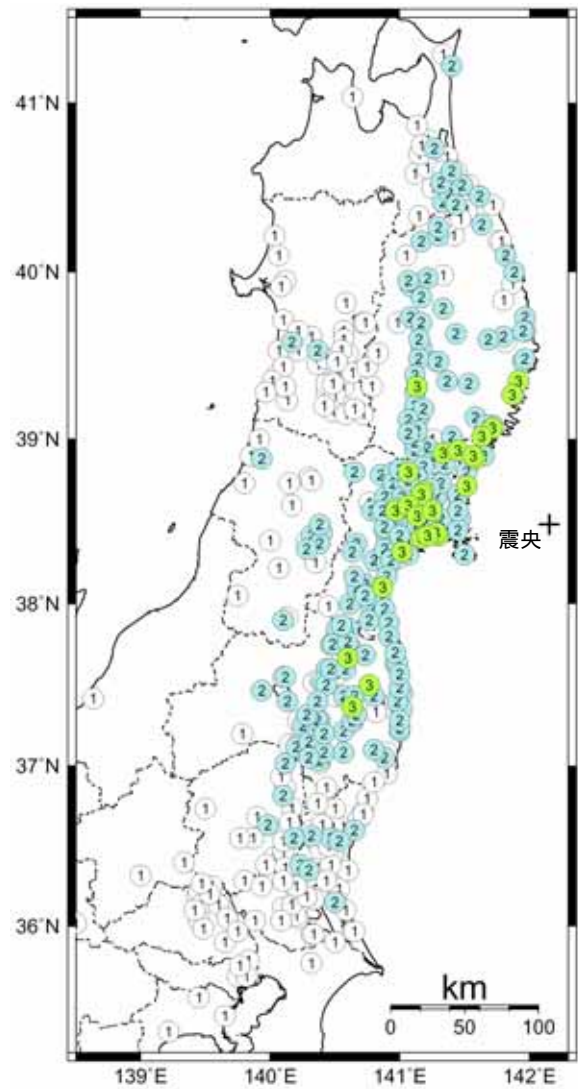
3 12月21日16時01分 福井県嶺北
(M4.2, 深さ7km, 最大震度3)



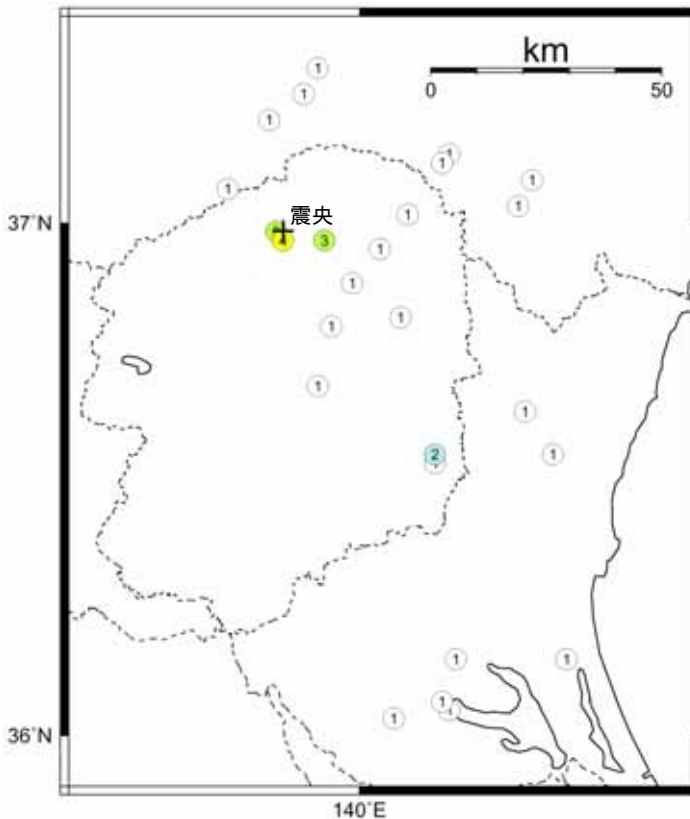
4 12月22日19時39分 福島県会津
(M4.4, 深さ5km, 最大震度3)



6 12月25日23時04分 宮城県沖
(M5.6, 深さ40km, 最大震度3)



5 12月24日19時39分 栃木県北部
(M3.6, 深さ8km, 最大震度4)



北海道地方の地震活動

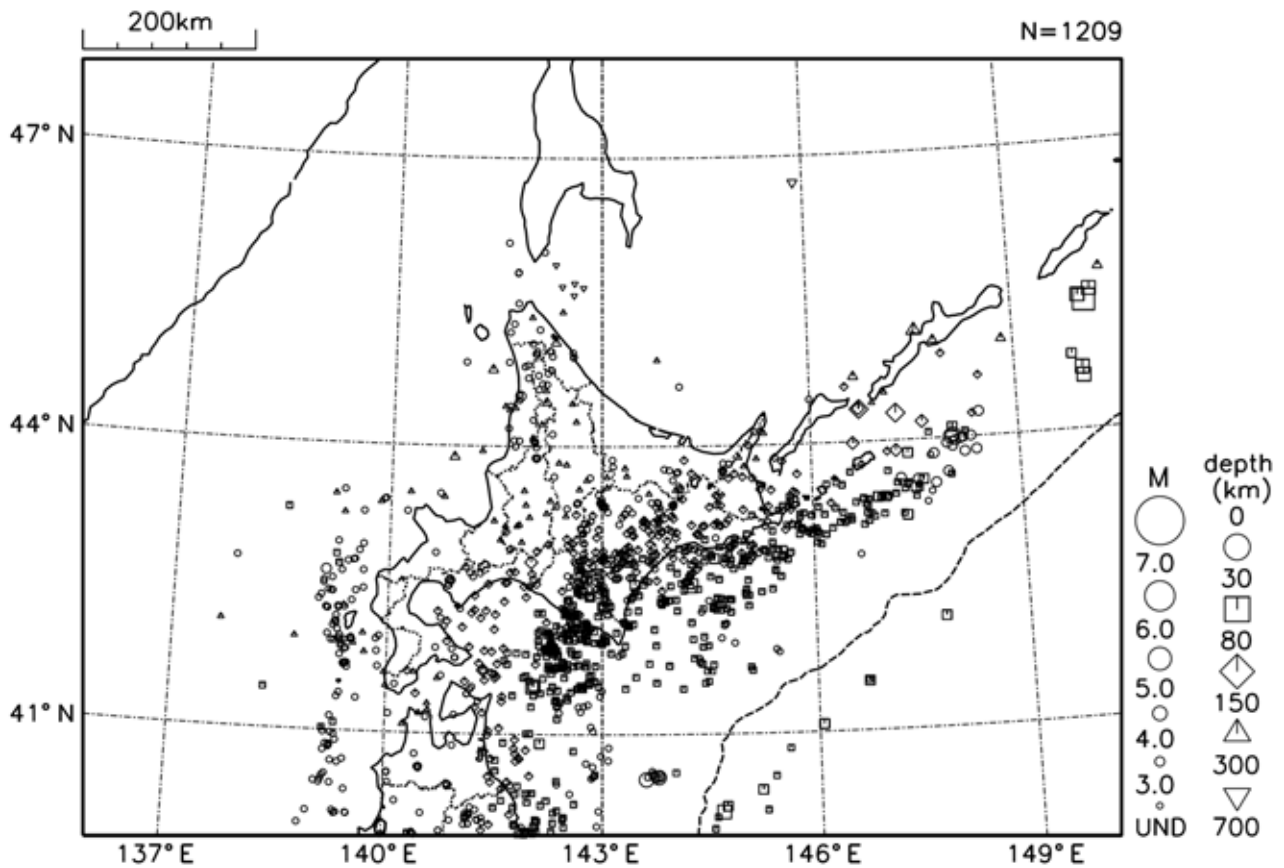


図3 北海道地方の震央分布図（2007年12月1日～12月31日）

[概況]

12月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は10回（11月も10回）であった。
12月中、特に目立った活動はなかった。

東北地方の地震活動

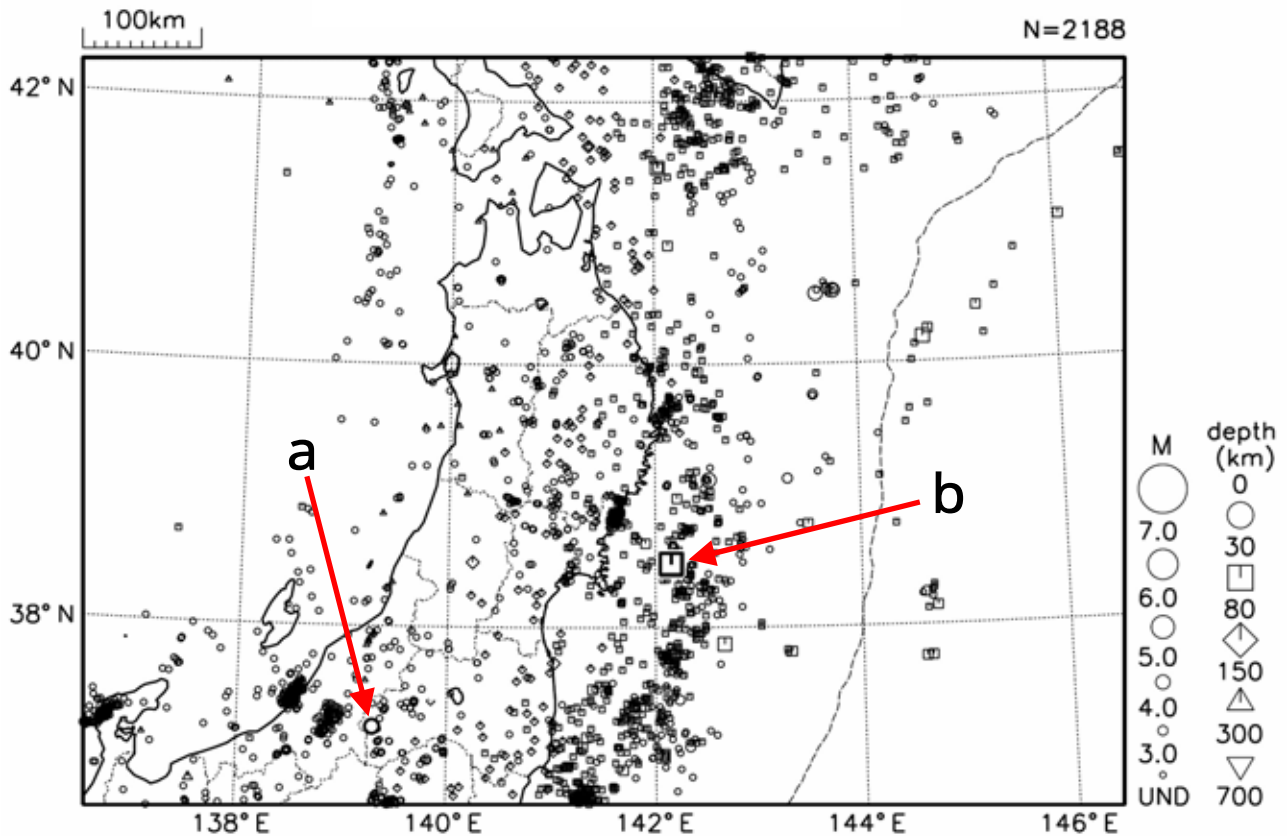


図 4 東北地方の震央分布図（2007 年 12 月 1 日～12 月 31 日）

[概況]

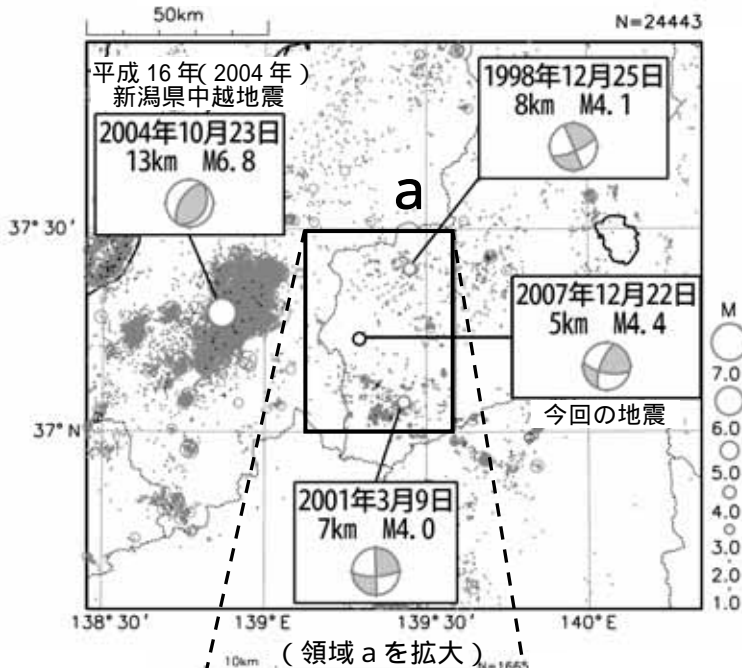
12 月に東北地方で震度 1 以上を観測した地震は 22 回（11 月は 18 回）であった。
12 月中の主な活動は次のとおりである。

22 日 19 時 39 分、福島県会津の深さ 5 km で M4.4 の地震（図 4 中の a）が発生し、福島県只見町と新潟県魚沼市で震度 3 を観測したほか、福島県、新潟県、群馬県、栃木県で震度 2 ～ 1 を観測した（p 6 参照）。

25 日 23 時 04 分、宮城県沖の深さ 40km で M5.6 の地震（図 4 中の b）が発生し、宮城県、岩手県、福島県で震度 3 を観測したほか、東北地方から関東地方及び中部地方の一部にかけての広い範囲で震度 2 ～ 1 を観測した（p 7 参照）。

12 月 22 日 福島県会津の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日 ~ 2007 年 12 月 31 日
 深さ 0 km ~ 20km M 1.0)



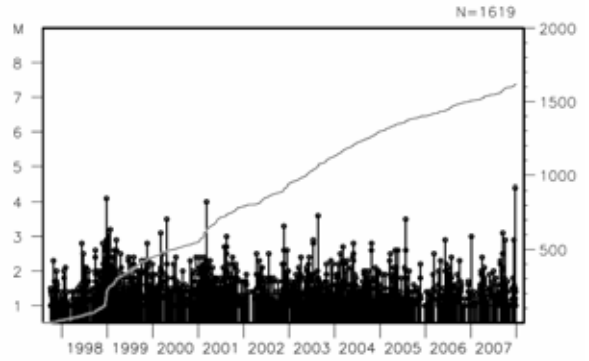
2007 年 12 月 22 日 19 時 39 分に福島県会津の深さ 5 km で M4.4 の地震 (最大震度 3) が発生した。発震機構は、北北西 - 南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

震度 1 以上を観測した余震はなかった。

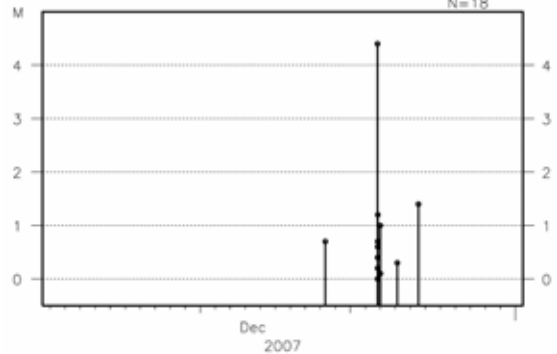
今回の地震の震源周辺 (領域 a) は定常的な地震活動が見られる地域であるが、今回の地震の震源付近 (領域 b) では地震活動は低調である。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺 (領域 c) では 1956 年 6 月 29 日に M5.3 の地震が発生している。

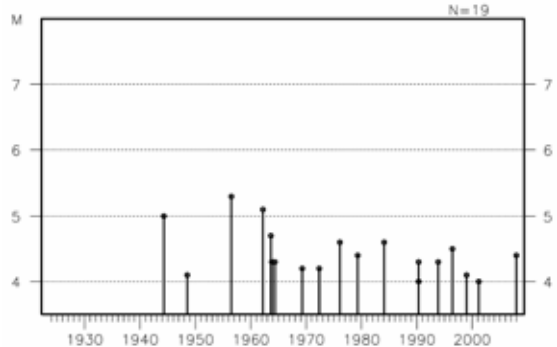
領域 a 内の M - T 図と回数積算図



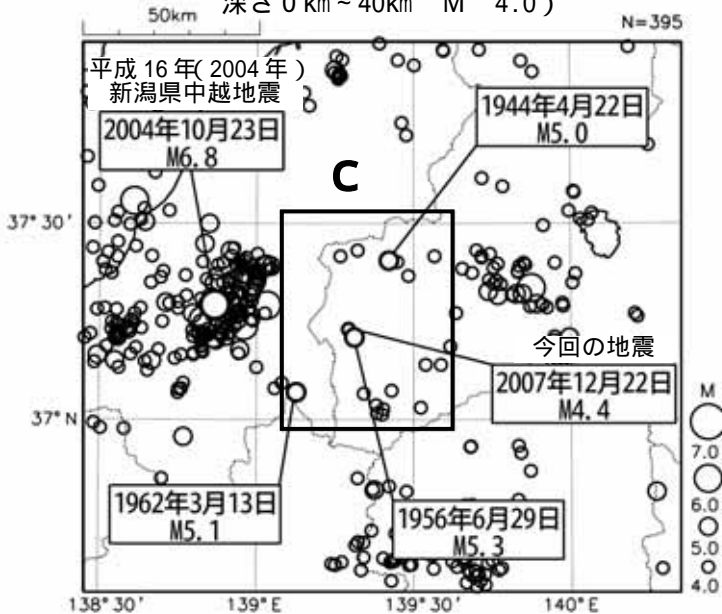
領域 b 内の M - T 図
 (2007 年 12 月 1 日 ~ 31 日 M すべて)



領域 c 内の M - T 図

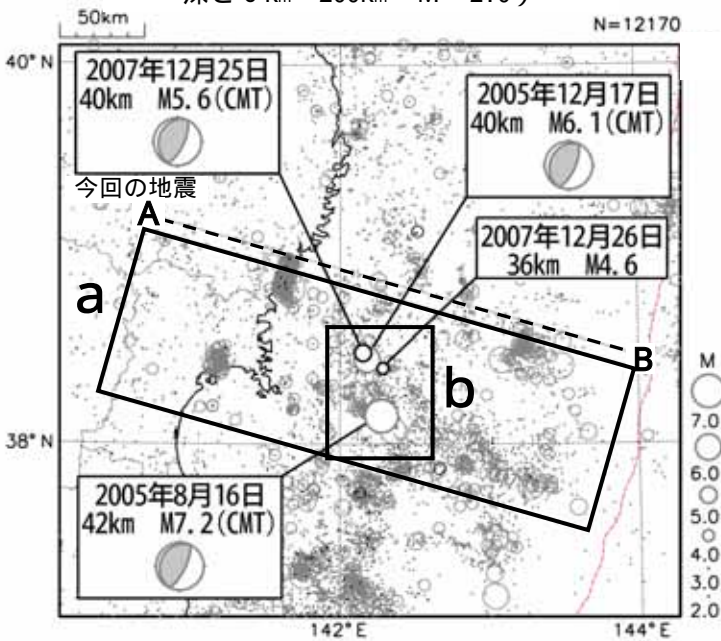


震央分布図
 (1923 年 8 月 1 日 ~ 2007 年 12 月 31 日
 深さ 0 km ~ 40km M 4.0)

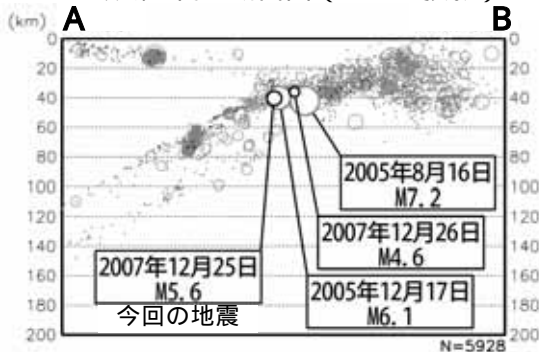


12 月 25 日 宮城県沖の地震

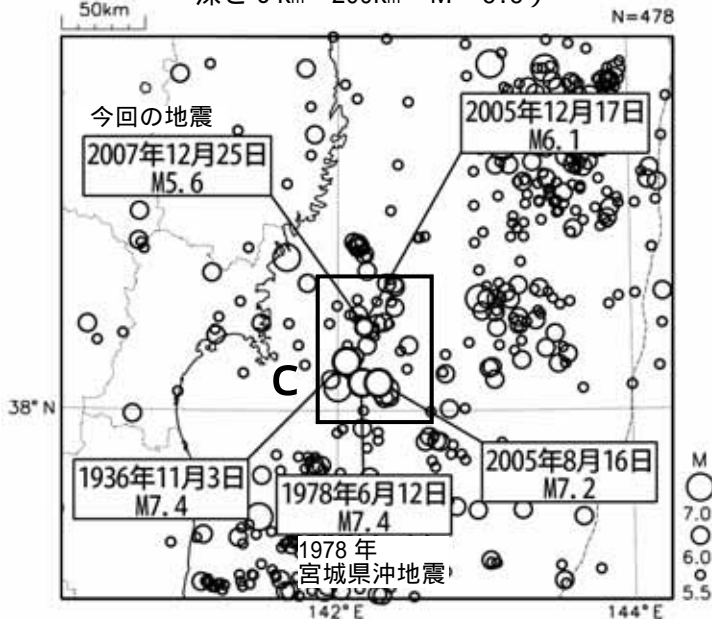
震央分布図
 (2003 年 1 月 1 日 ~ 2007 年 12 月 31 日
 深さ 0 km ~ 200 km M 2.0)



領域 a 内の断面図 (A - B 投影)



震央分布図
 (1923 年 8 月 1 日 ~ 2007 年 12 月 31 日
 深さ 0 km ~ 200 km M 5.5)



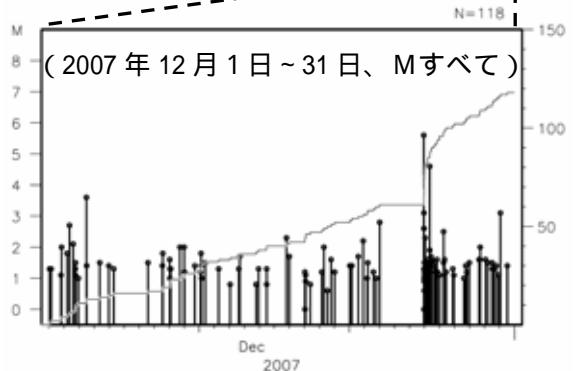
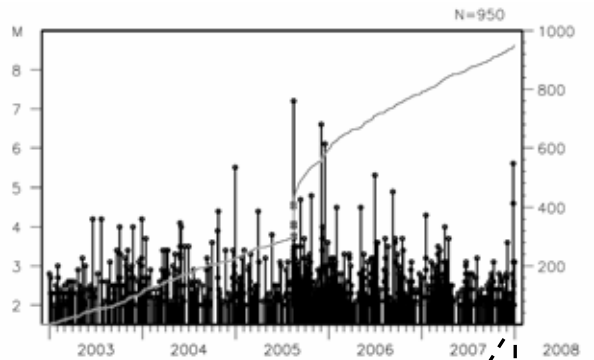
2007 年 12 月 25 日 23 時 04 分に宮城県沖の深さ 40km で M5.6 の地震 (最大震度 3) が発生した。発震機構 (CMT 解) は、西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートと太平洋プレートの境界で発生した地震である。

翌 26 日には、M4.6 の余震 (最大震度 3) が発生した。

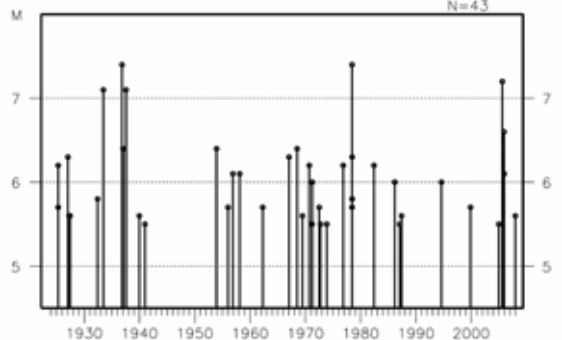
この地震は、2005 年 8 月 16 日に発生した M7.2 の地震 (最大震度 6 弱) の余震域の北端で発生した。また、この付近では 2005 年 12 月 17 日に M6.1 の地震 (最大震度 4) が発生している。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 c) では「1978 年宮城県沖地震」(M7.4)をはじめ、M7.0 以上の地震が 5 回発生している。

領域 b 内の M - T 図、回数積算図



領域 c 内の M - T 図



関東・中部地方の地震活動

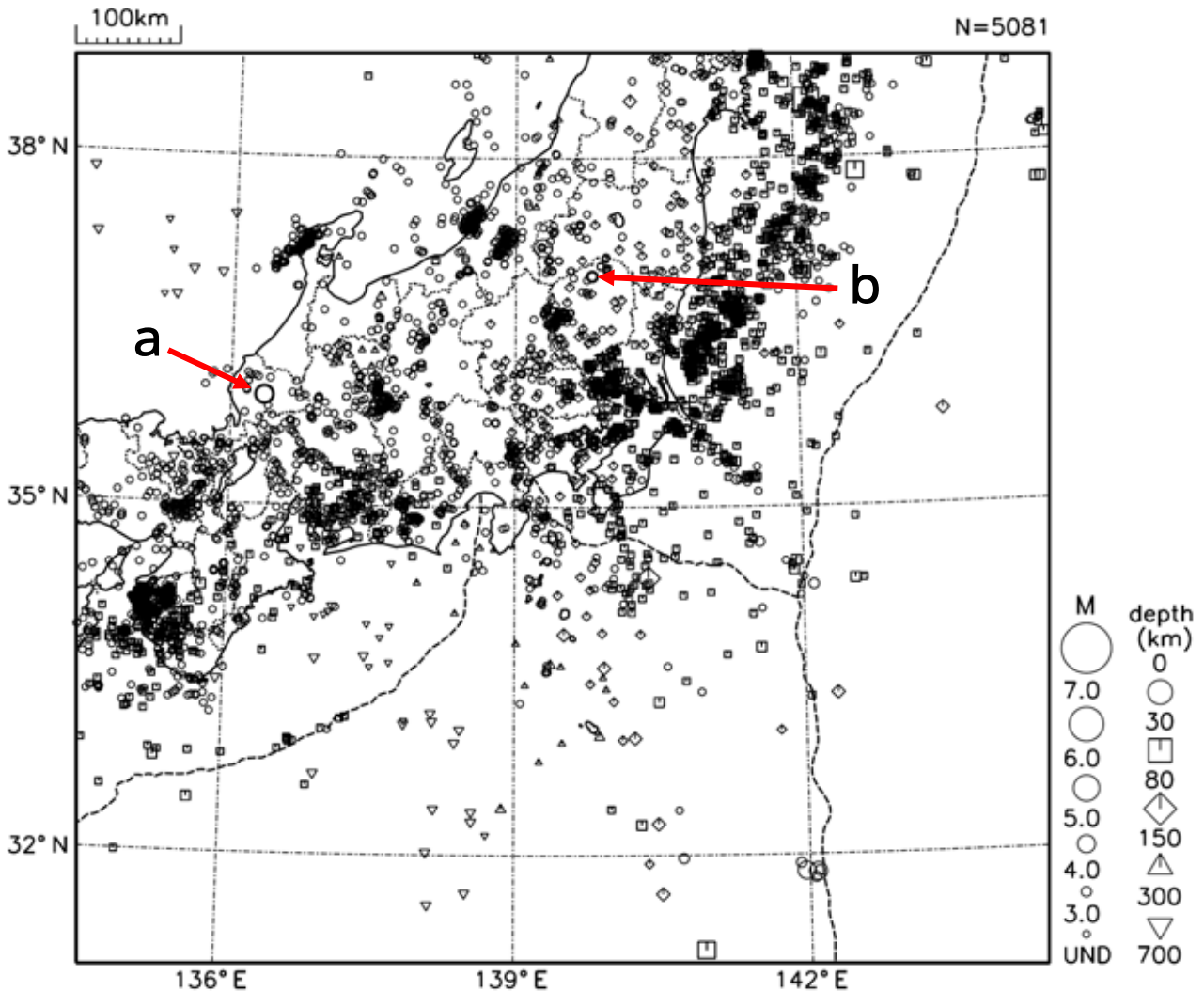


図5 関東・中部地方の震央分布図（2007年12月1日～12月31日）

[概況]

12月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は49回（11月は41回）であった。12月中の主な活動は次のとおりである。

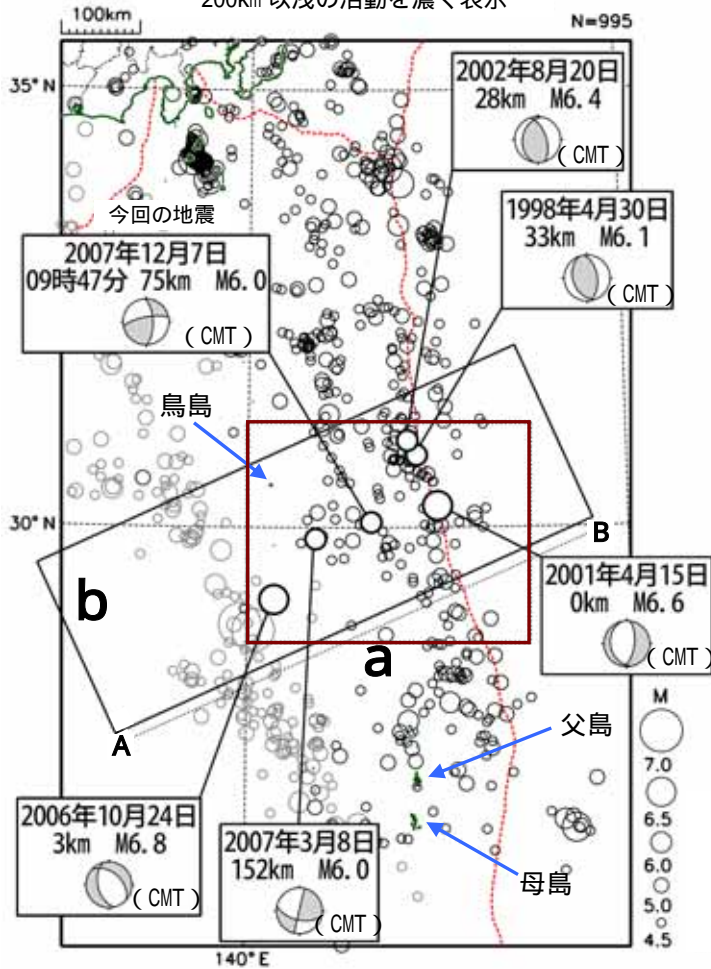
7日09時47分、鳥島近海の深さ75kmでM6.0の地震（図5の範囲外）があり、宮城県と福島県で震度2を観測したほか、東北、関東、信越地方で震度1を観測した（p9参照）。

21日14時22分、福井県嶺北の深さ7kmでM4.5の地震（図5中のa）があり、福井県で震度4を観測したほか、中部・近畿地方及び鳥取県で震度3～1を観測した（p10参照）。

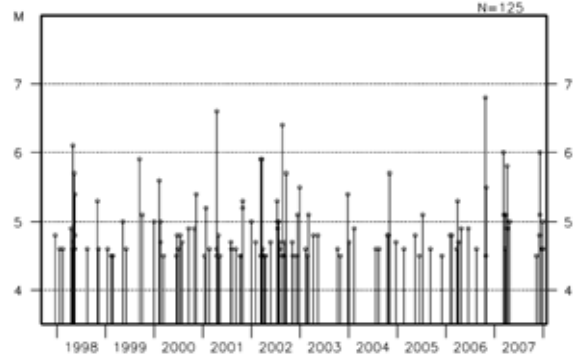
24日19時39分、栃木県北部の深さ8kmでM3.6の地震（図5中のb）があり、栃木県那須塩原市で震度4を観測したほか、栃木県、福島県、茨城県で震度3～1を観測した（p11参照）。

12 月 7 日 鳥島近海の地震

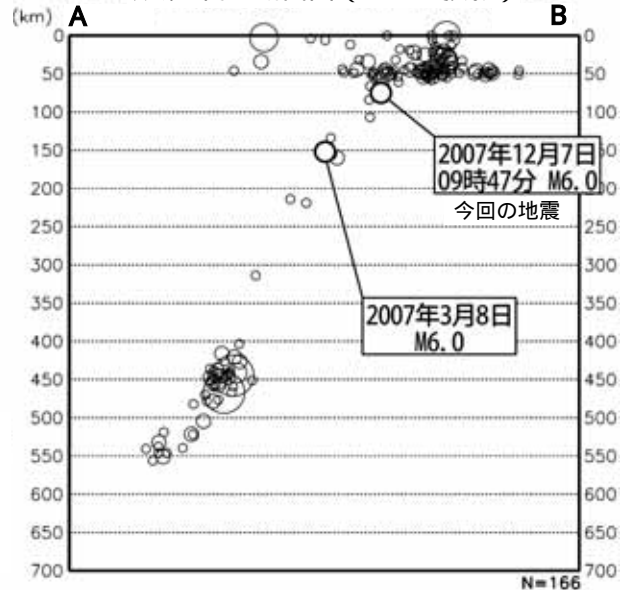
震央分布図(1997 年 10 月 1 日 ~ 2007 年 12 月 31 日、
深さ 0 ~ 700km、M 4.5)
200km 以浅の活動を濃く表示



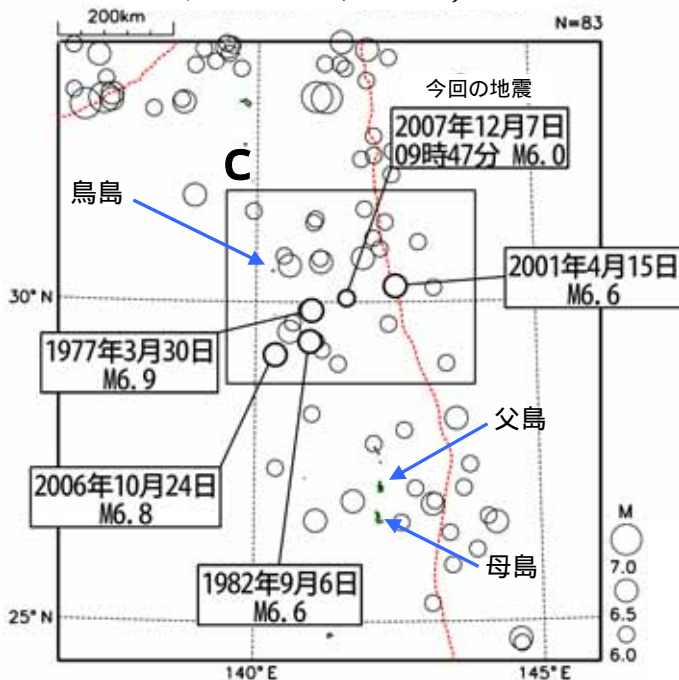
領域 a 内の M - T 図 (深さ 0 ~ 200km)



領域 b 内の断面図 (A - B 投影)



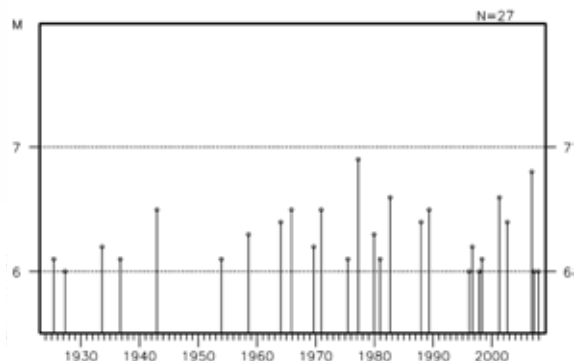
震央分布図(1923 年 8 月 1 日 ~ 2007 年 12 月 31 日、
深さ 0 ~ 300km、M 6.0)



2007 年 12 月 7 日 09 時 47 分に鳥島近海の深さ 75km で M6.0 (最大震度 2) の地震が発生した。発震機構 (CMT 解) は、北西 - 南東方向に圧力軸を持つ型であり、沈み込む太平洋プレート内で発生した地震と考えられる。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 c) では M6 以上の地震が時々発生しており、最大は 1977 年 3 月 30 日に発生した M6.9 の地震である。

領域 c 内の M - T 図

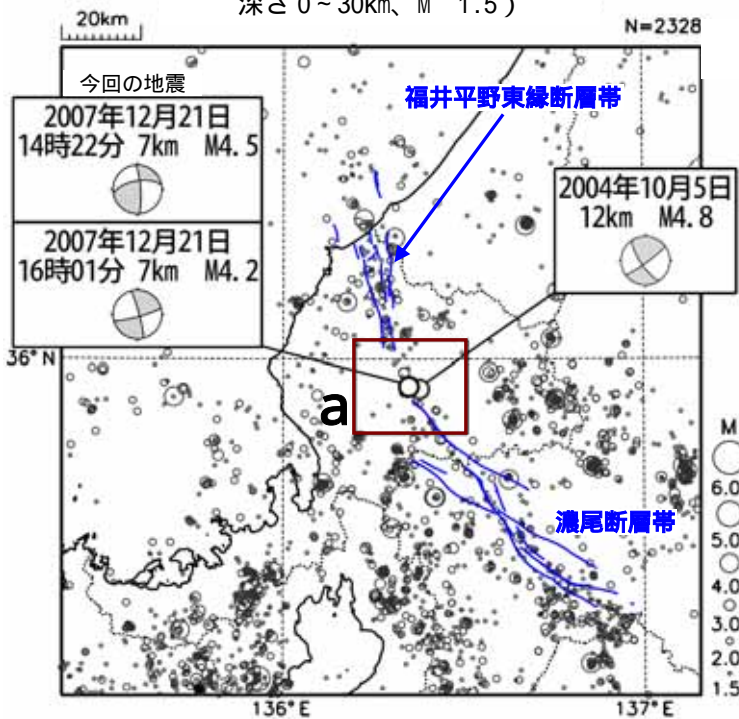


12 月 21 日 福井県嶺北の地震

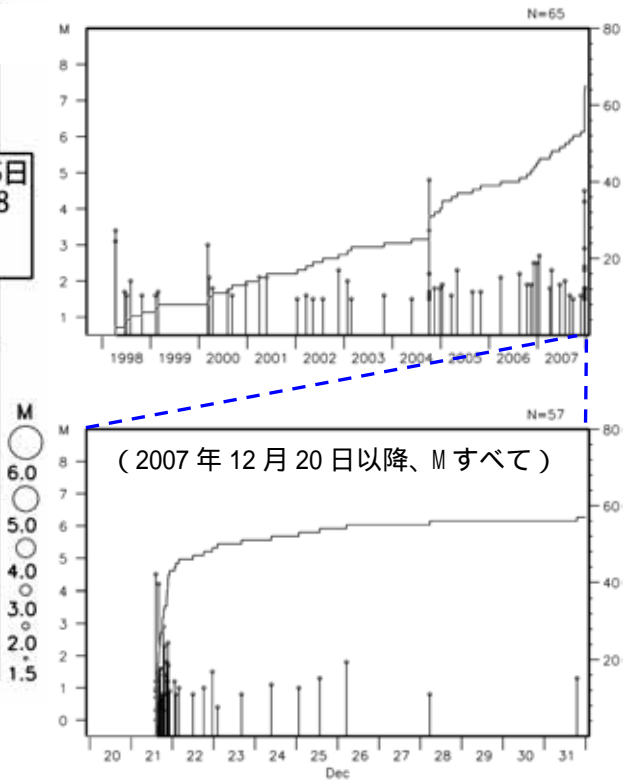
2007 年 12 月 21 日 14 時 22 分に福井県嶺北の深さ 7 km で M4.5（最大震度 4）の地震が発生した。発震機構は、北西 - 南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。同日 16 時 01 分には M4.2（最大震度 3）の地震が発生するなど、半日程度は余震活動が活発であったが、数日でほぼ収まっている。今回の地震は、福井平野東縁断層帯と濃尾断層帯に挟まれた領域（領域 a）で発生しており、2004 年 10 月 5 日にも M4.8（最大震度 4）の地震が発生している。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近および福井平野東縁断層帯付近（領域 b）では、1948 年 6 月 28 日に M7.1 の地震（福井地震）が発生しているが、最近では 1992 年 5 月 20 日の M5.0 の地震が最大で、M6 クラス以上の地震は発生していない。

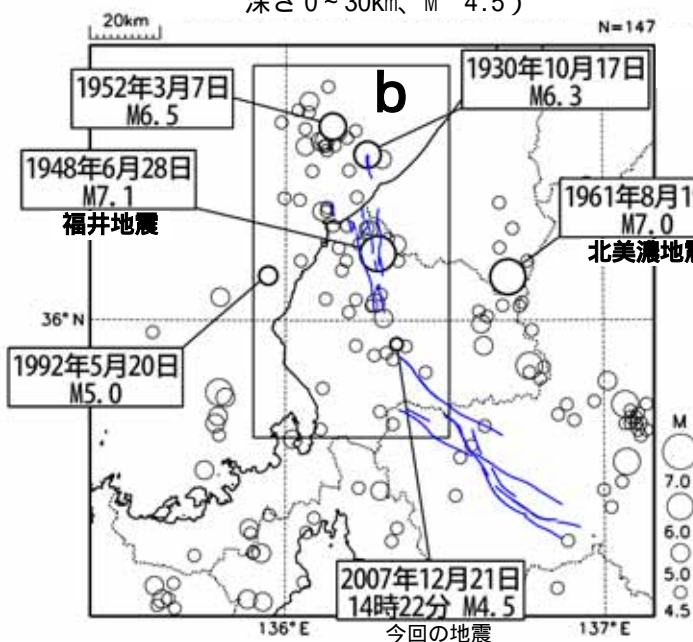
震央分布図（1997 年 10 月 1 日～2007 年 12 月 31 日、
深さ 0～30km、M 1.5）



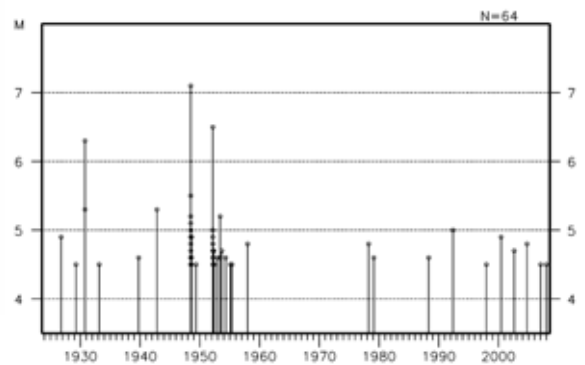
領域 a 内の M - T 図、回数積算図



震央分布図（1923 年 8 月 1 日～2007 年 12 月 31 日、
深さ 0～30km、M 4.5）

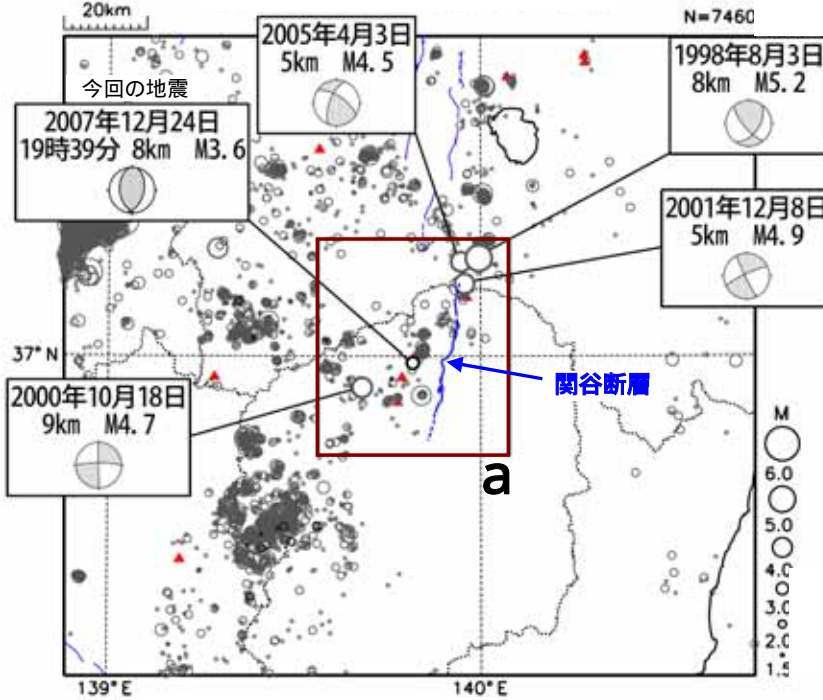


領域 b 内の M - T 図

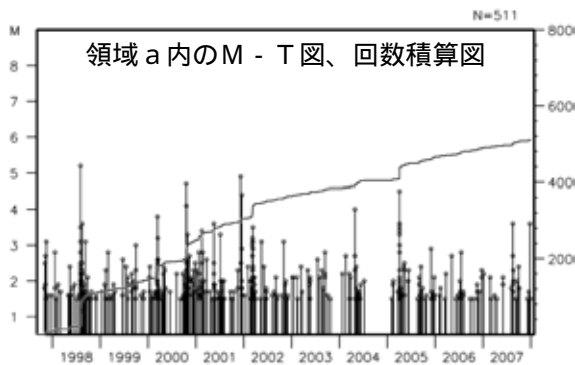
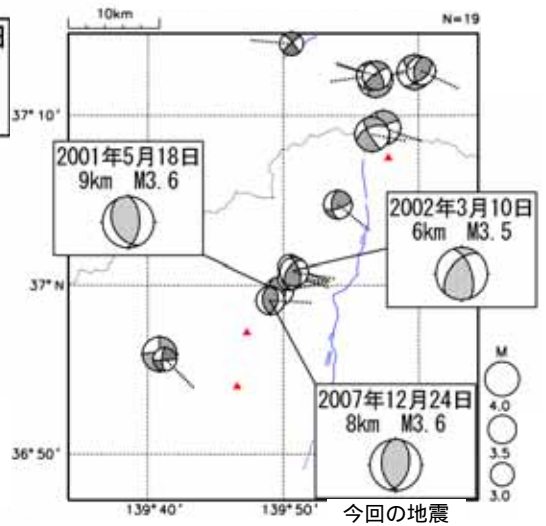


12 月 24 日 栃木県北部の地震

震央分布図（1997 年 10 月 1 日～2007 年 12 月 31 日、
深さ 30km 以浅、M 1.5）



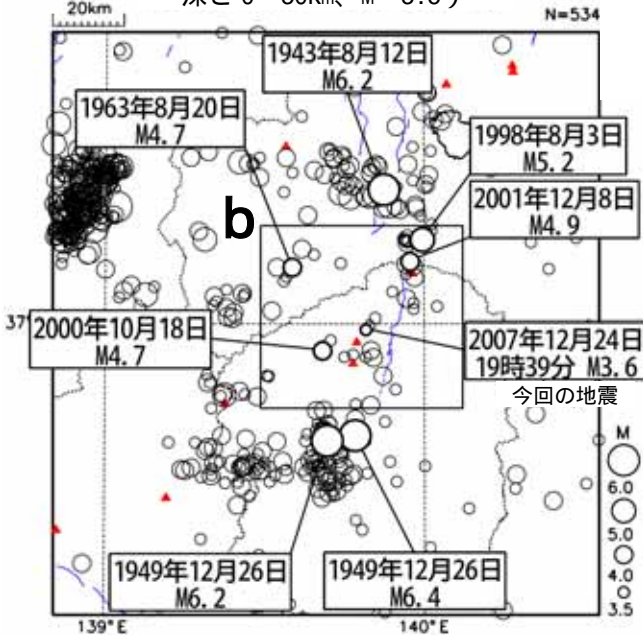
領域 a 内の発震機構分布図
（震源球から伸びる線はP軸の方向を示す）



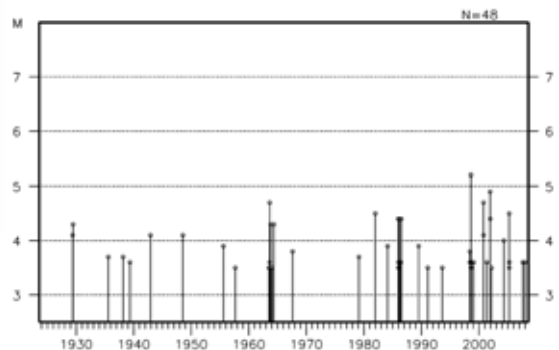
2007 年 12 月 24 日 19 時 39 分に栃木県北部の深さ 8 km で M3.6（最大震度 4）の地震が発生した。発震機構は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、今回の地震の震源付近ではよく見られるタイプの地震である。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央からやや離れた場所では、1949 年 12 月 26 日に M6.4 の地震（今市地震）など、M6 クラスの地震が発生しているが、今回の地震の震央付近（領域 b）では 1998 年 8 月 3 日に発生した M5.2 の地震が最大である。

震央分布図（1923 年 8 月 1 日～2007 年 12 月 31 日、
深さ 0～30km、M 3.5）



領域 b 内の M - T 図



近畿・中国・四国地方の地震活動

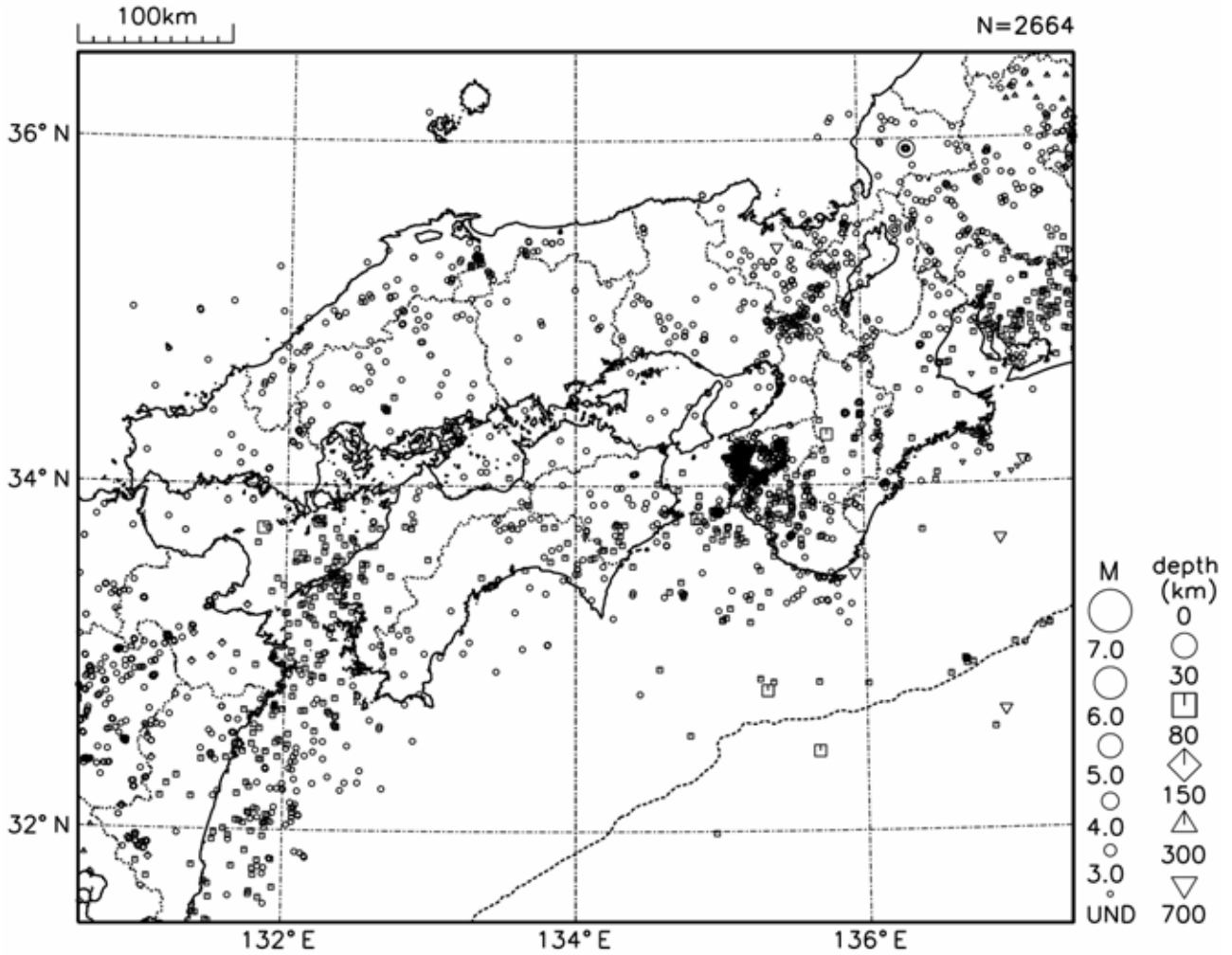


図 6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2007 年 12 月 1 日～12 月 31 日）

[概況]

12月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は18回（11月は13回）であった。
12月中、特に目立った活動はなかった。

九州地方の地震活動

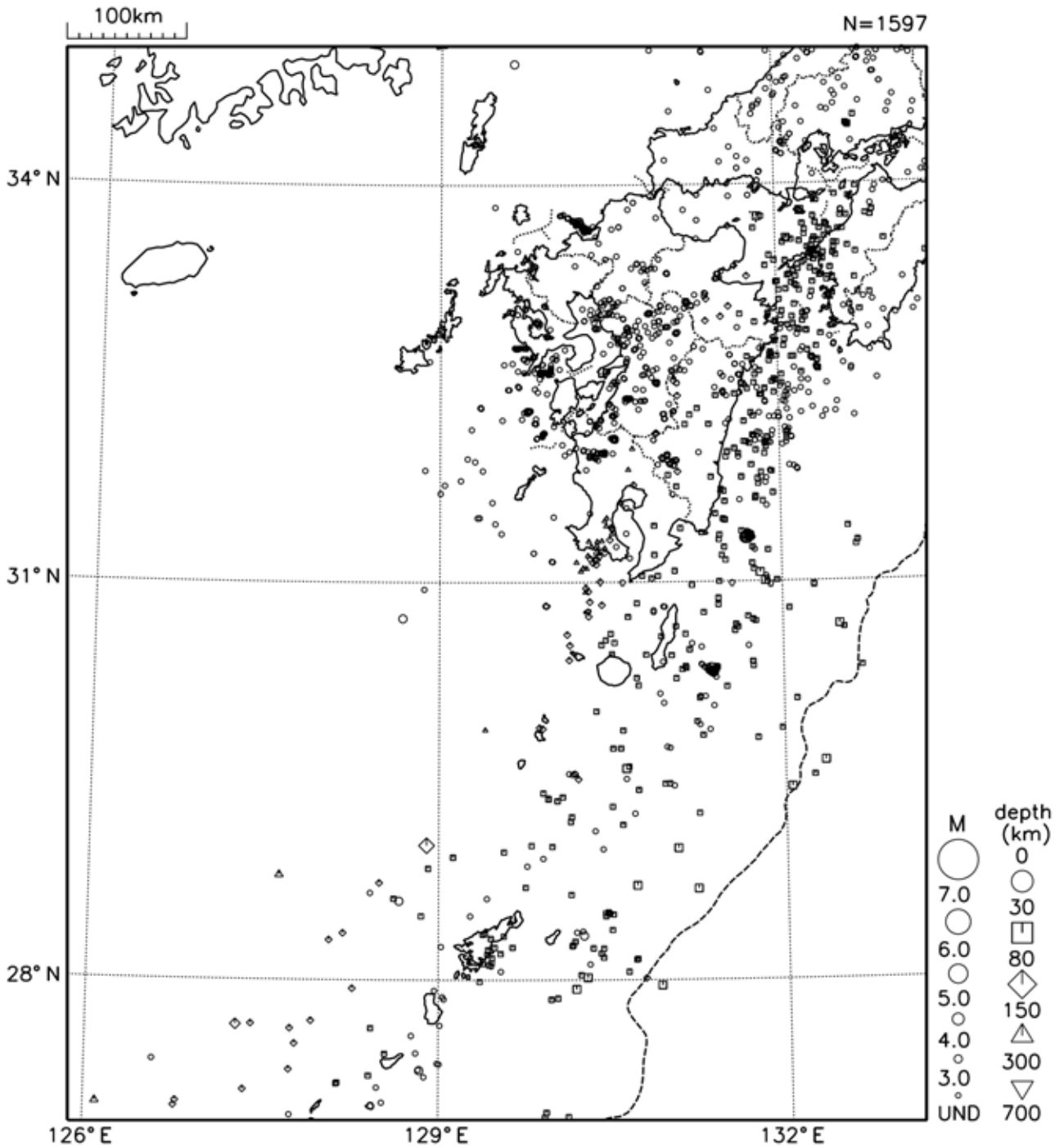


図7 九州地方の震央分布図（2007年12月1日～12月31日）

[概況]

12月に九州地方で震度1以上を観測した地震は19回（11月は16回）であった。
12月中、特に目立った活動はなかった。

沖縄地方の地震活動

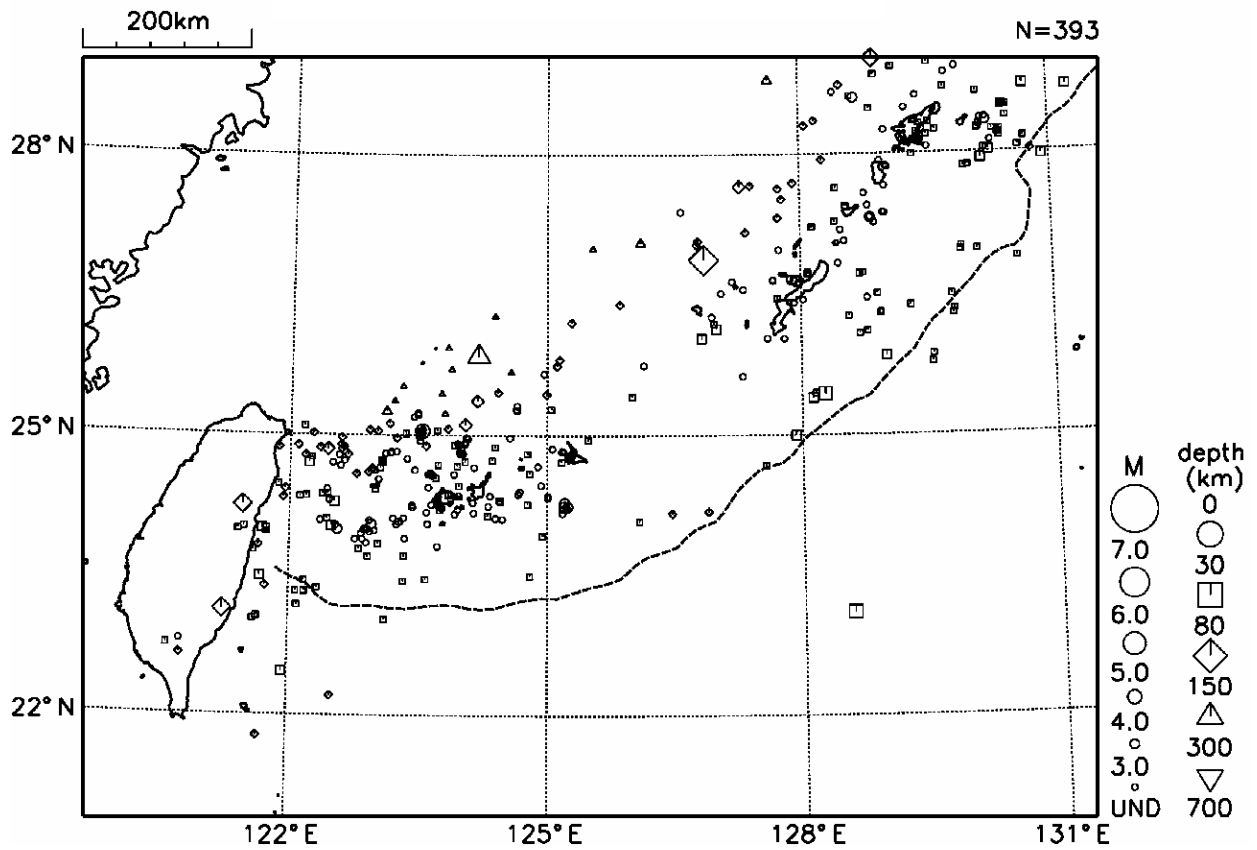


図8 沖縄地方の震央分布図（2007年12月1日～12月31日）

〔概況〕

12月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は3回（11月は6回）であった。
12月中、特に目立った活動はなかった。

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

[概況]

11 月 12 日頃から始まった静岡県西部の地殻内での地震活動は、徐々に収まりつつある。

[地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

12 月 25 日に気象庁において第 259 回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会(定例会)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した(図 3 ~ 図 8)

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

全般的には顕著な地震活動はありません。静岡県中部ではプレート内で通常より活動レベルが低く、地殻内は活発な状態になっていますが、その他の地域では概ね平常レベルです。

東海地域及びその周辺の地殻変動には注目すべき特別な変化は観測されていません。

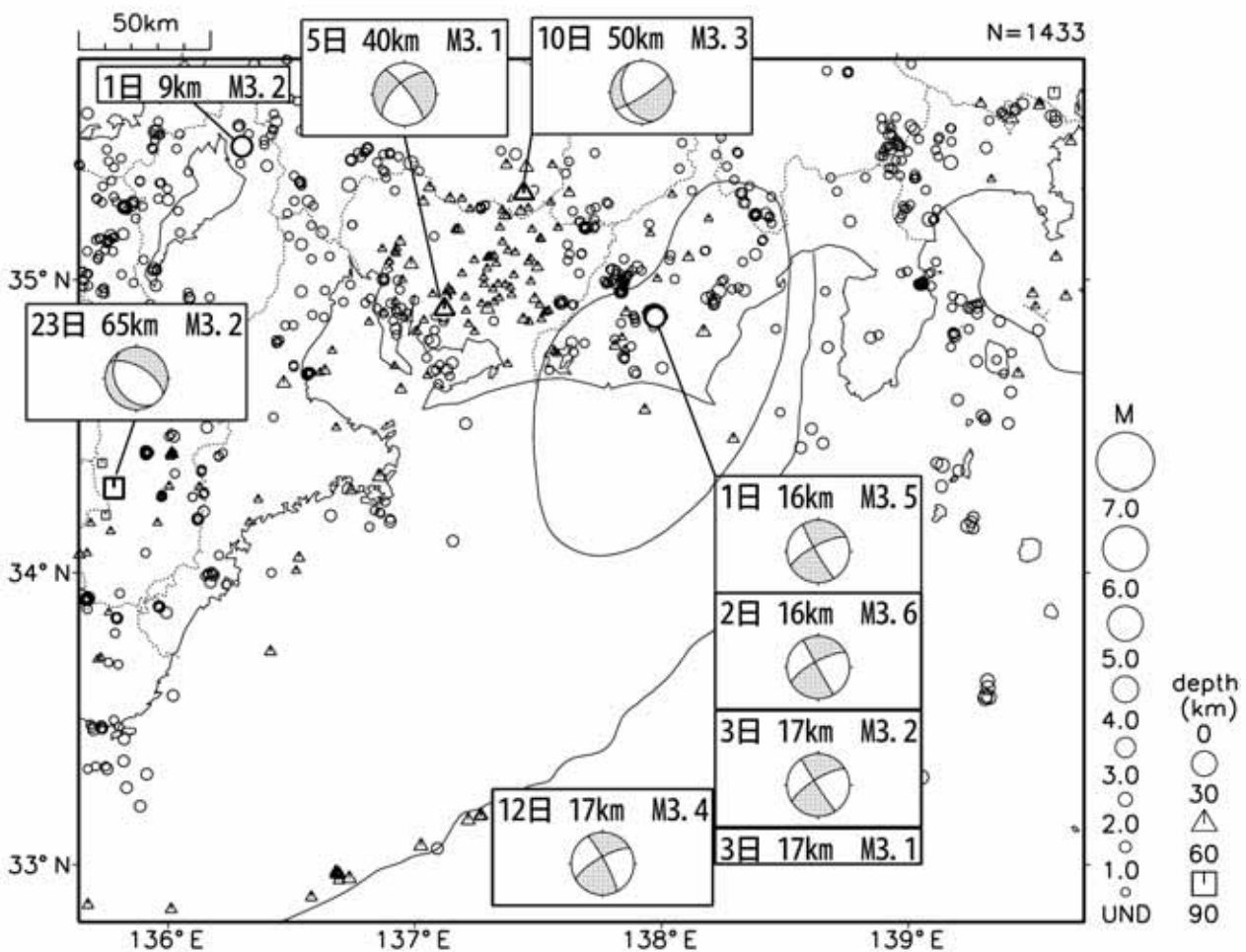


図 1 震央分布図 (2007 年 12 月 1 日 ~ 31 日 : 深さ 90km 以下、M すべて。M3.0 以上の地震に「日、深さ、M」を付けた。すぐ下の図は P 波初動による発震機構 (下半球投影)。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。)

1 日 04 時 46 分、滋賀県北部の深さ 9km で M3.2 の地震があり、最大震度 1 を観測した。陸域の地殻内で発生した地震である。

11 月 12 日頃から発生している地震活動は、消長を繰り返しながら徐々に収まりつつある。最大は、12 月 2 日 06 時 40 分に発生した M3.6

(最大震度 2) の地震で、発震機構は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。陸域の地殻内で発生した地震である。(p17 を参照)

5 日 08 時 37 分、愛知県西部の深さ 40km で M3.1 の地震があり、最大震度 1 を観測した。

発震機構は東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。

10 日 02 時 29 分、岐阜県美濃東部の深さ 50km で M3.3 の地震があり、最大震度 1 を観測した。発震機構は西北西 - 東南東方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。

23 日 20 時 00 分、奈良県の深さ 65km で M3.2

の地震があり、最大震度 1 を観測した。発震機構は北東 - 南西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」(図 1) と「固着域」(図 3 と図 4)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

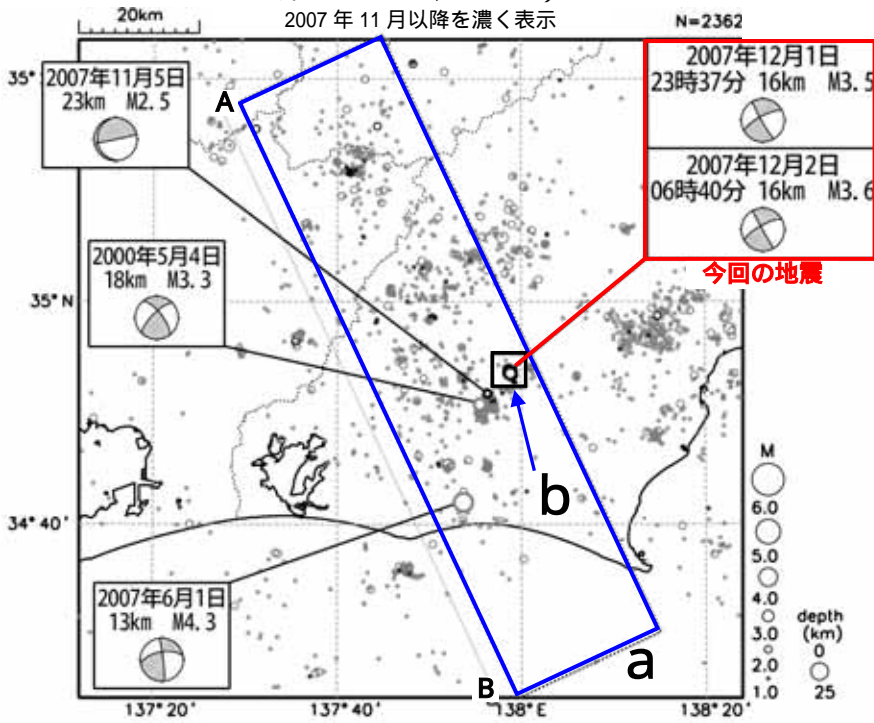
・「クラスタ除去」(図 3 ~ 図 5)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的な群(クラスタ)で、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。震央距離が 3 km 以内、発生時間差が 7 日以内の地震をクラスタと見なし、最大地震で代表させている。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年(1978 年)12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年(2002 年)4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 173 市町村(平成 19 年 4 月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度 6 弱以上(一部地域では震度 5 強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。気象庁では東海地震の直前の前兆現象を捕らえるため、地震、地殻変動等の観測データを常時監視している。

静岡県西部の地震活動

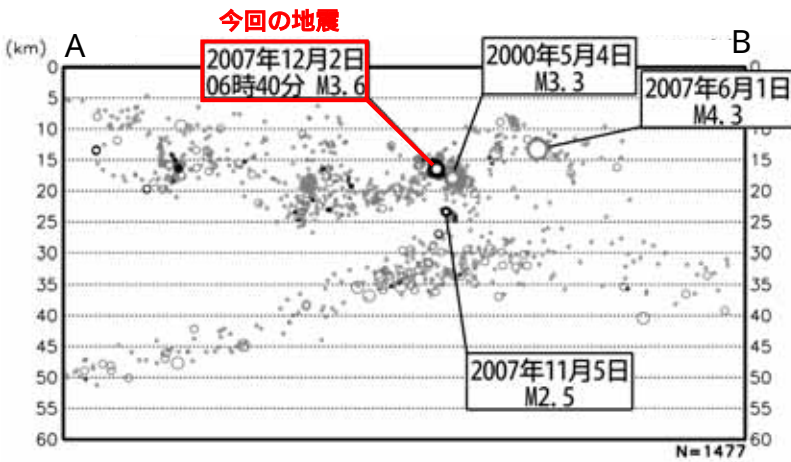
震央分布図（1997年10月1日～2008年1月5日、
深さ0～25km、M 1.0）
2007年11月以降を濃く表示



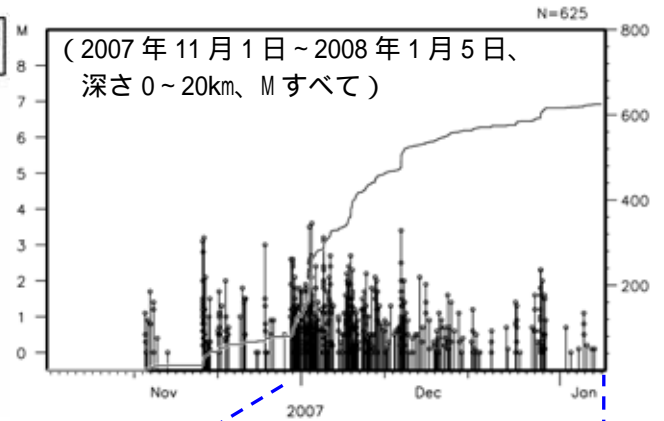
静岡県西部の地殻内で、2007年11月12日頃から発生している地震活動は、消長を繰り返しつつ、徐々に収まりつつある。これまでの最大は、12月2日06時40分に発生したM3.6（最大震度2）の地震で、発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。これまでにM3.0以上の地震が8回、震度1以上を観測した地震が16回（うち最大震度2が6回）発生している（2008年1月5日24時現在）。

今回の地震の震源付近には、2000年5月4日にM3.3（最大震度1）の地震が発生している活動域があるが、今回の活動はそこからやや北東に離れた場所で発生している。

領域a内の断面図（深さ0～60km、A-B投影）



領域b内のM-T図、回数積算図



領域b内のM-T図

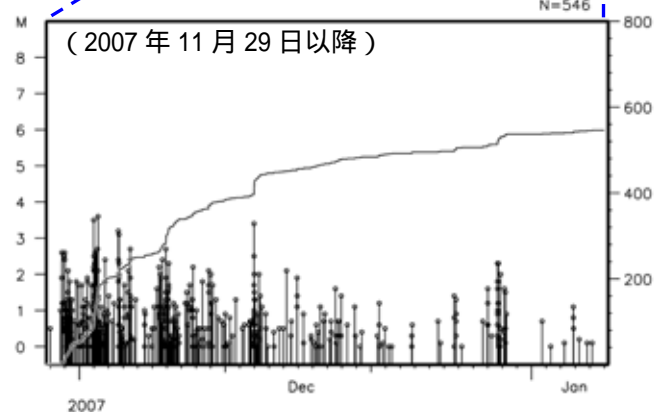
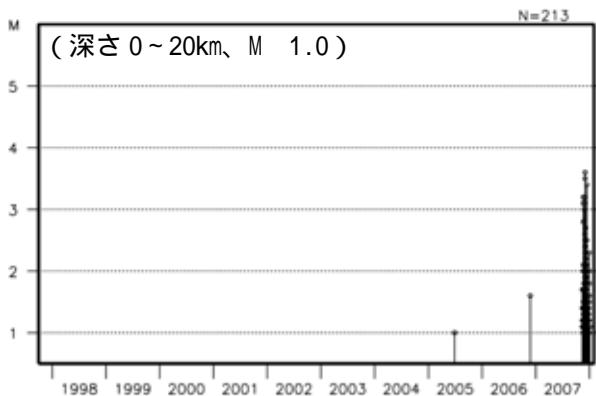


図2 静岡県西部の地震活動

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2007年12月19日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	8	4	7	6	3	1	1	0
短期地震回数 (平均)	13 (6.31)	5 (5.91)	20 (13.23)	20 (14.08)	1 (2.46)	1 (5.99)	0 (3.53)	0 (6.06)
中期活動指数	8	4	8	7	2	2	3	0
中期地震回数 (平均)	32 (18.93)	16 (17.74)	64 (39.68)	53 (42.24)	2 (4.93)	7 (11.99)	5 (7.06)	2 (12.12)

* Mしきい値： M \geq 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M \geq 1.4：駿河湾

* クラスタ除去：震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$ ：固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$ ：駿河湾

* 対象期間： 短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

* 基準期間： 1997年—2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年—2000年（3年間）：浜名湖

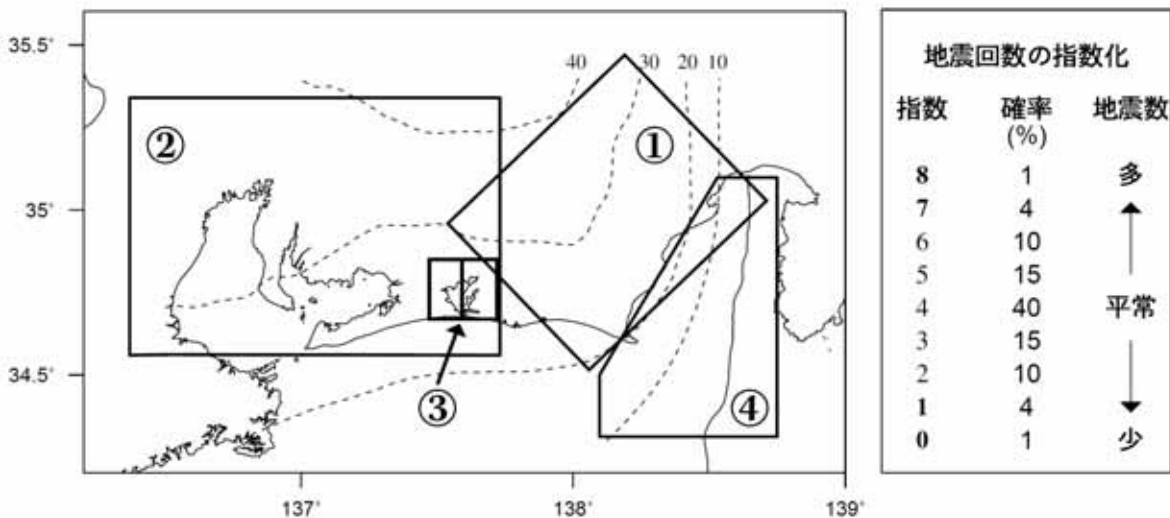
1991年—2000年（10年間）：駿河湾

[各領域の説明] ① 固着域：固着していると考えられる領域。

② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。

③ 浜名湖：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくりすべり）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。

④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。



* プレート境界の等深線を破線で示す。

図3 東海地域の地震活動指数

固着域と愛知県の地殻内で活動指数が高く、浜名湖と駿河湾で低かった他は、ほぼ平常の活動であった。

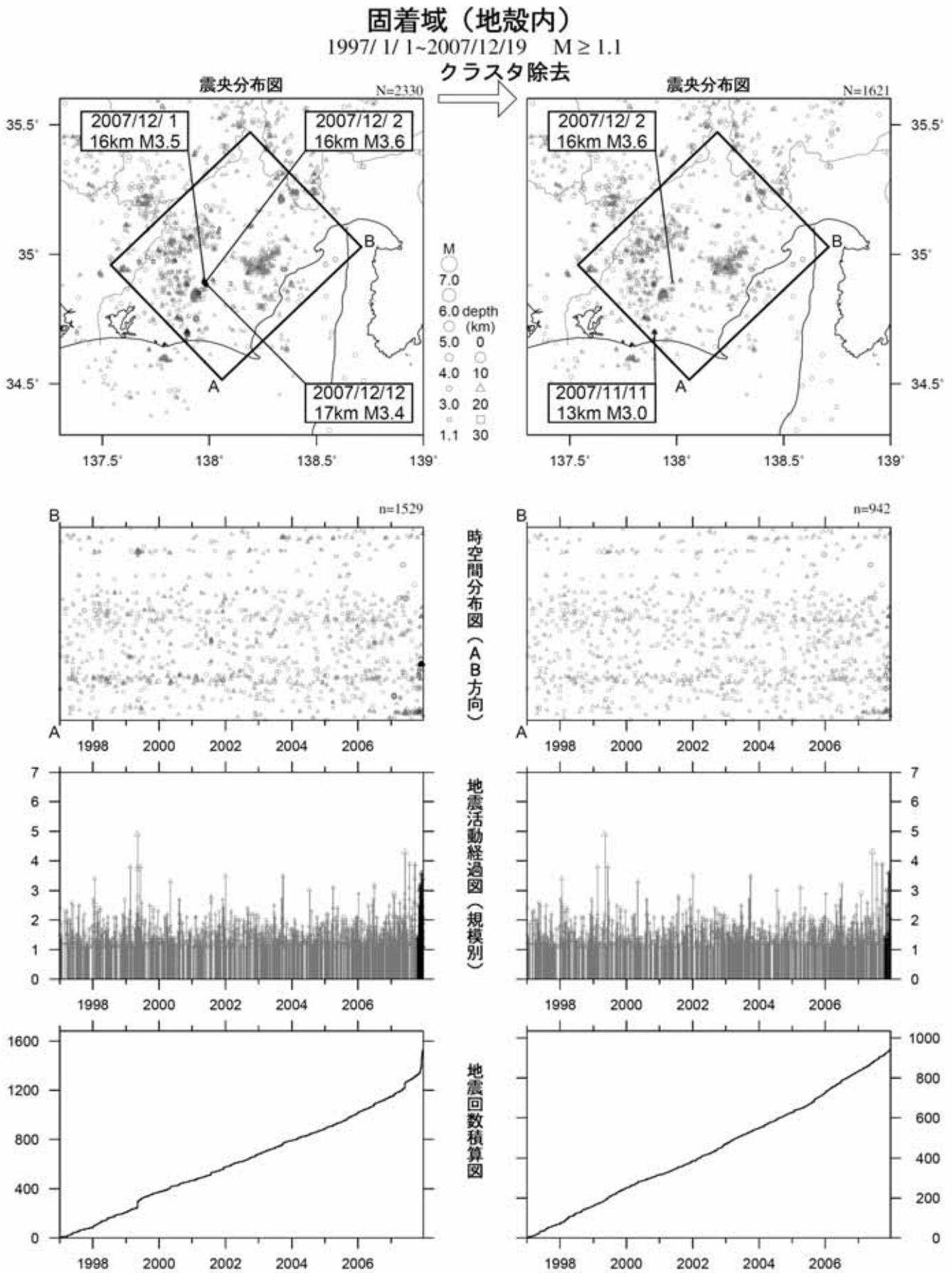


図4 固着域（地殻内）の地震活動

静岡県西部の地震活動活発化は、1997年以降では珍しい規模の地震回数増加であった（左下）。クラスタ除去後の地震回数積算図（右下）を見ると、2000年半ばまでは傾きが急で活発、その後2005年半ばまでは低調、2005年半ば以降は活発、という傾向が見られる。

浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/1/1-2007/12/19 M \geq 1.1 *クラスタ除去したデータ

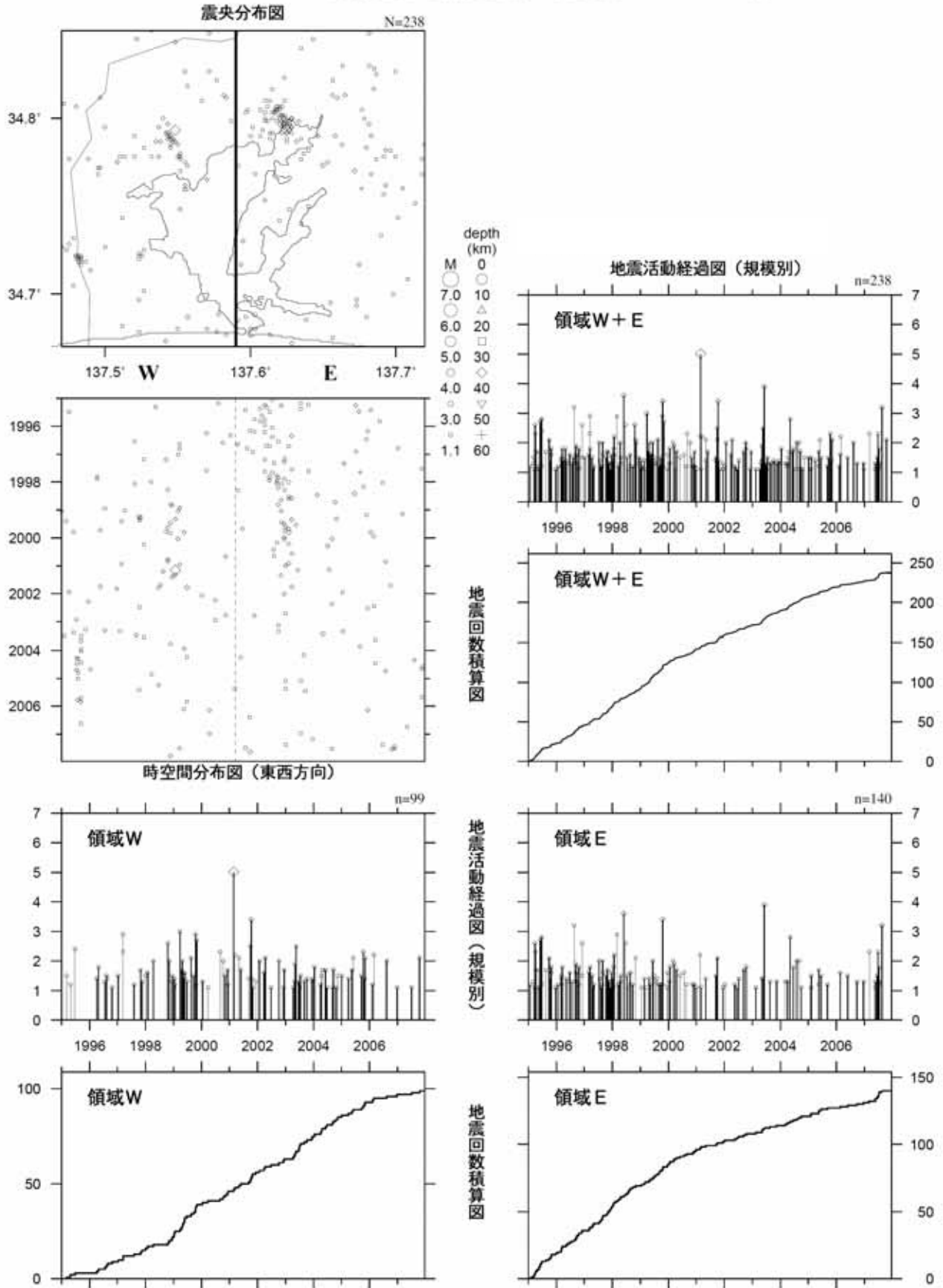


図5 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動

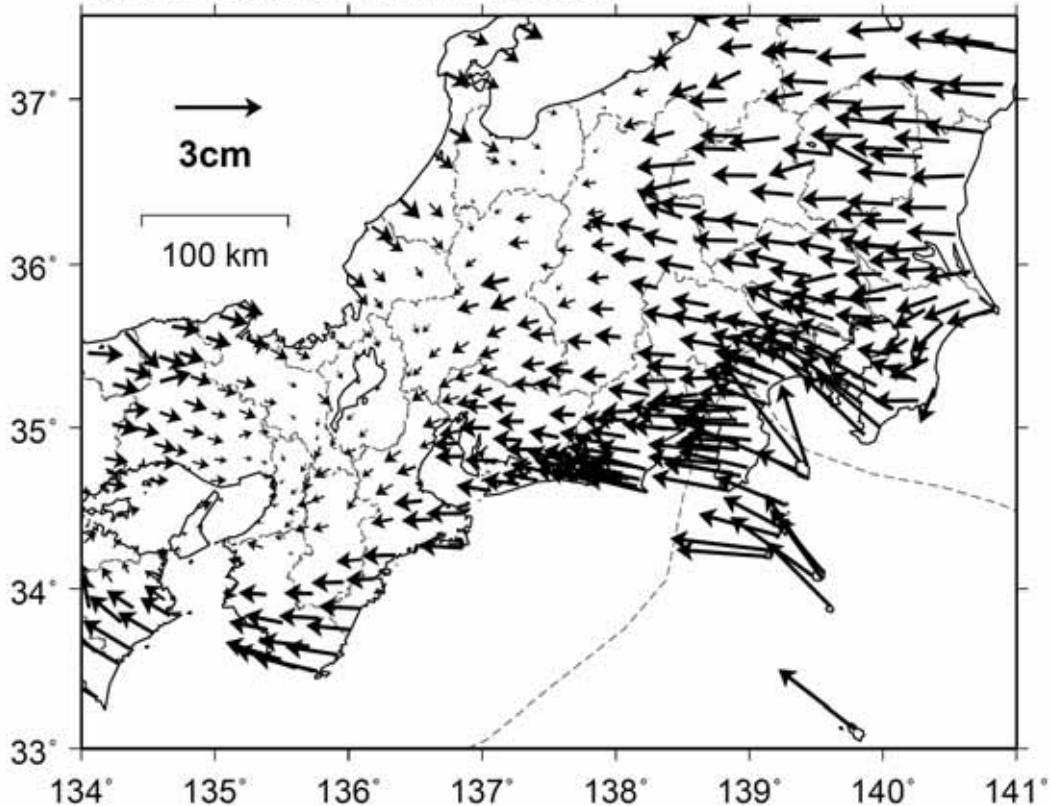
領域Eでは2000年終わりごろからの活動の低下が継続していたが、2007年7月～9月ごろにかけて活動が回復した。その後は再び低下している。領域Wは2006年以降、活動が低下した状況である。

東海地方の最近の地殻変動（水平変動）【大湊固定】

（ 2006 年 11 月～ 2007 年 11 月）

基準期間：2006/11/19 - 2006/12/1 [F2：最終解]

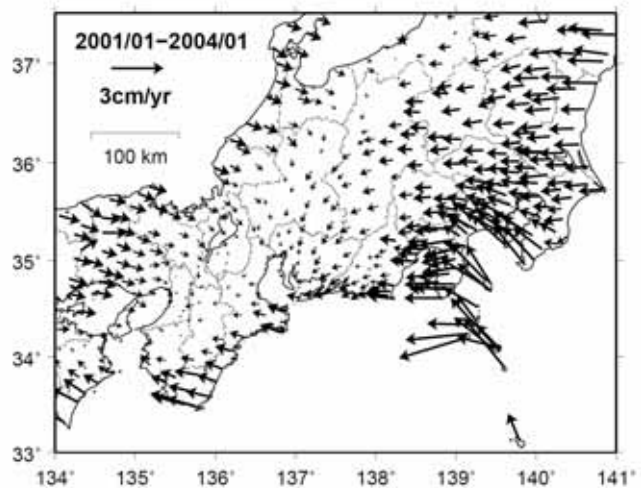
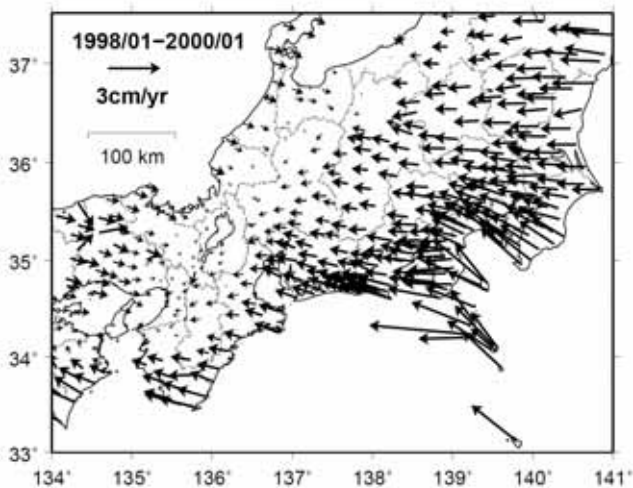
比較期間：2007/11/19 - 2007/12/1 [F2：最終解]



- ・ 2007 年 3 月 25 日に発生した能登半島地震による地殻変動の影響は取り除いている。
- ・ 2007 年 7 月 16 日に発生した新潟県中越沖地震による地殻変動の影響は取り除いている（暫定）。

スロースリップ開始以前の地殻変動速度
（1998 年 1 月～2000 年 1 月）

スロースリップ進行期の地殻変動速度
（2001 年 1 月～2004 年 1 月）

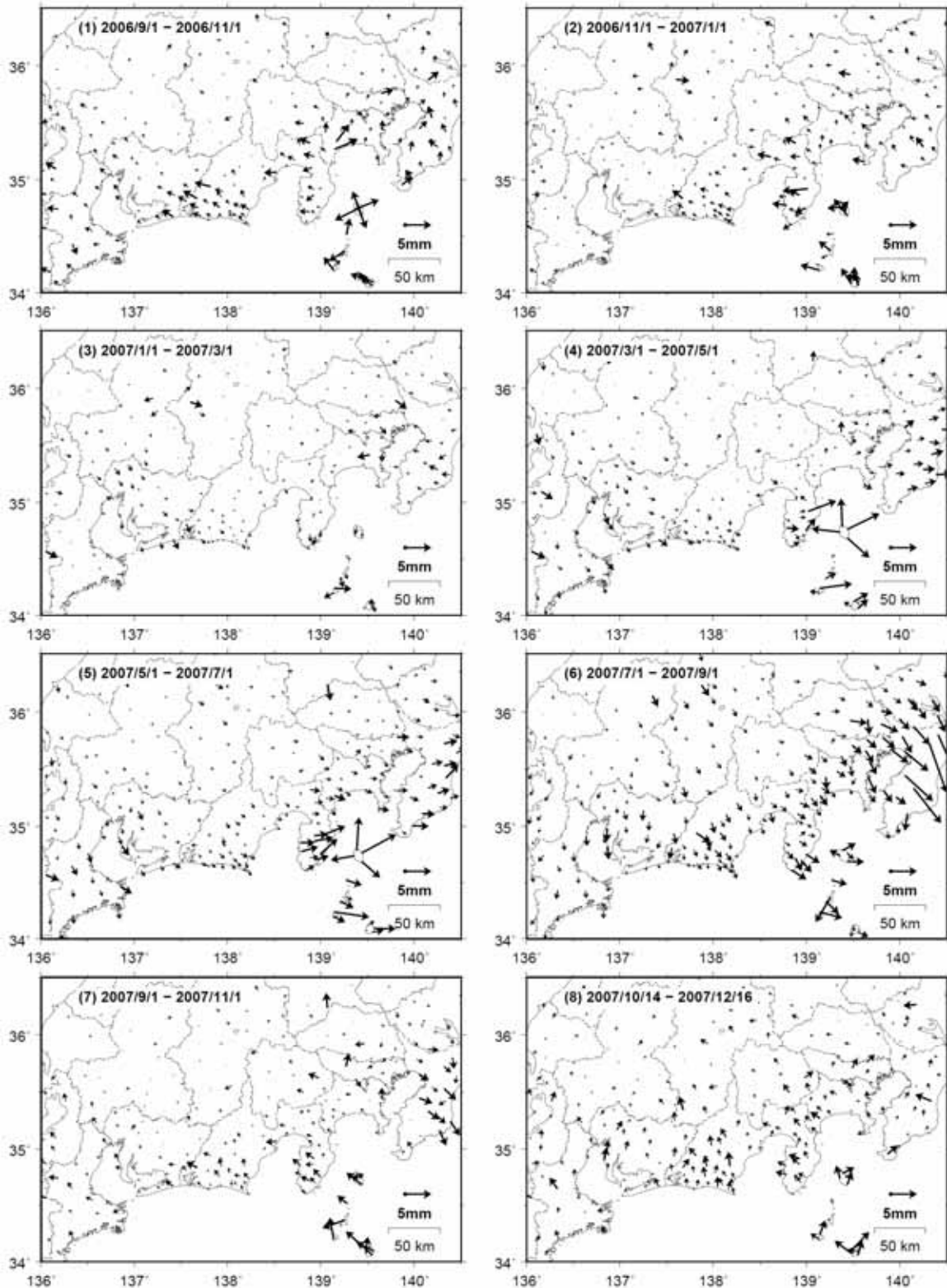


国土地理院資料

図 6 国土地理院の G P S 観測結果による東海地域の非定常的地殻変動

上図は、最近の G P S 観測点が 1 年前と比べて水平方向にどの程度動いたかを示したものである。（最近：2007 年 11 月 19 日～2007 年 12 月 1 日、新潟県の G P S 観測点大湊を固定。）東海地方に西～北西方向に変動する領域が見られるが、これは下左図の、スロースリップ（ゆっくり滑り）開始以前の定常的な状態と似ている。

2ヶ月ごとの東海非定常地殻変動（水平変動）【大潟固定】



- ・平滑化した非定常地殻変動について、2ヶ月ごとの変動量を表示している。
- ・(4)は、2007年3月25日に発生した能登半島地震による地殻変動の影響を取り除いている。
- ・(6)は、2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震による地殻変動の影響を取り除いている（暫定）。

【年周推定（1998.0-2000.0）】国土地理院資料

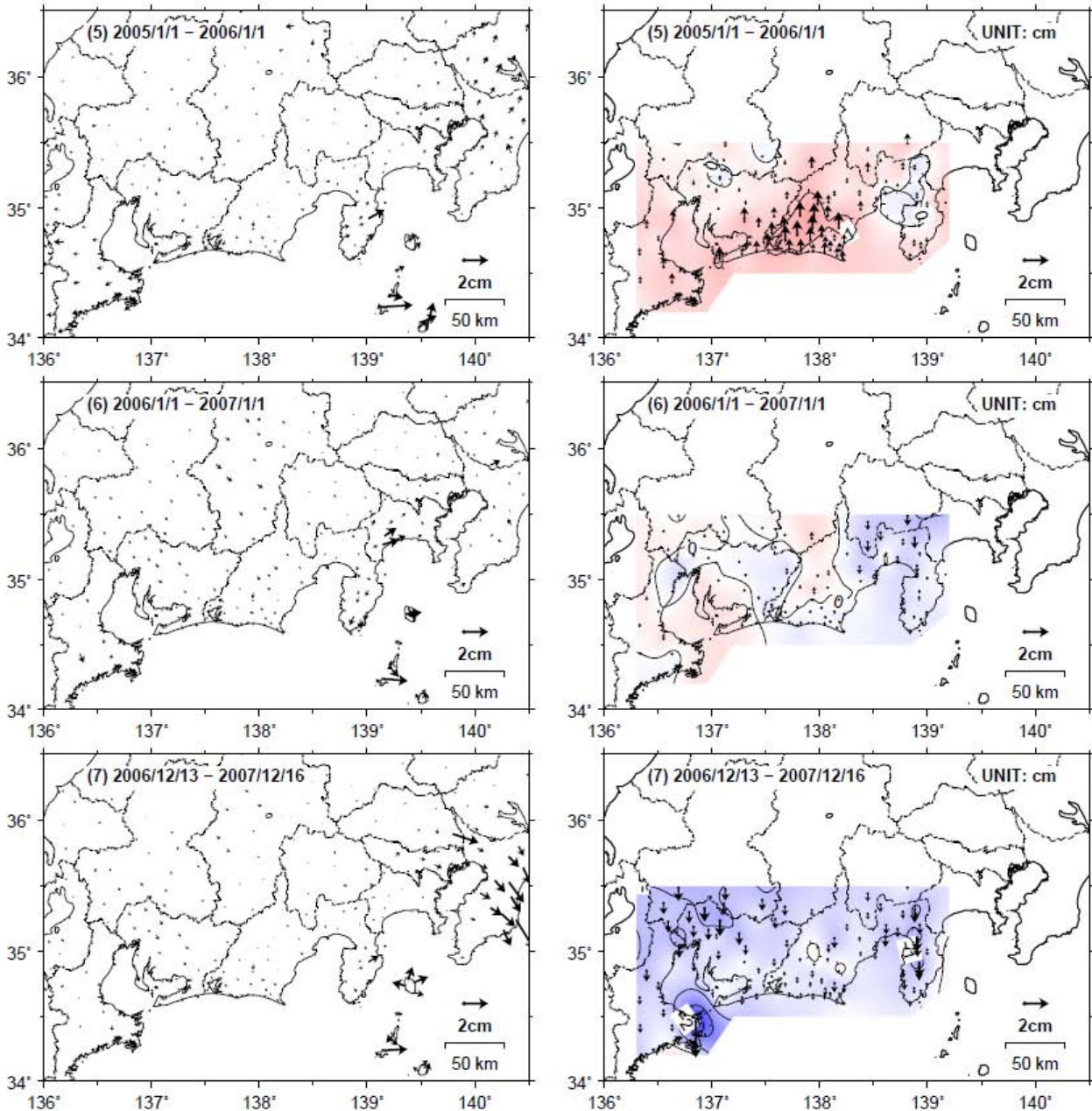
図7 国土地理院のGPS観測結果による2ヶ月間で見た東海非定常地殻変動
（2006年9月～2007年12月16日の水平変動）大潟固定

最近の図(8)で東海地域に見られる北向きのベクトルは年周変化によるものであり、ゆっくり滑りによる顕著な地殻変動は発生していないと思われる。

1 年間で見た東海非定常地殻変動 【大潟固定】

【水平変動】

【上下変動】



- ・平滑化した非定常地殻変動について、1 年間の変動量を表示している。
- ・2003 年以降の上下成分は年周/半年周成分を除去していない。
- ・(7) は、2007 年 3 月 25 日に発生した能登半島地震による地殻変動の影響を取り除いている。
- ・(7) は、2007 年 7 月 16 日に発生した新潟県中越沖地震による地殻変動の影響を取り除いている（暫定）。

【年周推定 (1998.0-2000.0)】国土地理院資料

図 8 国土地理院の GPS 観測結果による 1 年間で見た東海非定常地殻変動

(2005 年、2006 年、最近 1 年間の水平変動と上下変動) 大潟固定

ゆっくり滑りが停止した後の 2006 年以降 (6) と (7) は、水平変動が小さく、浜名湖周辺の顕著な隆起も見られない。

なお、各図の番号は (1)2001 年からの通し番号である ((1)2001 年 ~ (4)2004 年については、平成 19 年 10 月地震・火山月報 (防災編) p25 を参照)。

日本の主な火山活動

気象庁は平成 19 年 12 月 1 日より噴火警報及び噴火予報の発表と 16 火山について噴火警戒レベルの運用を開始した（p 36～37 参照）。運用開始にあたり、同日に全国の活火山に噴火警報及び噴火予報を発表した。噴火警報及び噴火予報の発表状況は以下のとおりである。なお、噴火警戒レベル運用開始に伴い、火山活動度レベルは廃止した。



図 1 噴火警報発表中の火山(平成 19 年 12 月 31 日現在)

火口周辺警報

噴火警戒レベル 2、火口周辺規制 : 桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
 火口周辺危険 : 三宅島、硫黄島

噴火警報（周辺海域）

周辺海域警戒 : 福徳岡ノ場

噴火予報

噴火警戒レベル 1、平常 : 樽前山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、草津白根山、浅間山、富士山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(御鉢、新燃岳)

平常 : 上記以外の火山

注) 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入している（平成 19 年 12 月 31 日現在、噴火警戒レベルを導入している火山は 16 火山である）。

各火山の 12 月の活動解説

【北海道地方】

めあかんだけ 雌阿寒岳 【噴火予報（平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

とかちだけ 十勝岳 【噴火予報（平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

たるまゑさん 樽前山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

A 火口及び B 噴気孔群は、高温の状態が続いていると推定され、溶岩ドーム及びその近傍では、火山ガスや火山灰噴出に対する警戒が必要である。

くつたら 倶多楽 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

なお、登別市によると引き続き大正地獄でごく小規模な泥混じりの熱湯噴出が時々見られた。

うすざん 有珠山 【噴火予報（平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

ほっかいどうこまがたけ 北海道駒ヶ岳

【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

GPS 連続観測ではわずかな山体膨張が継続しているが、地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

えざん 恵山 【噴火予報（平常）】

25 日と 28 日に振幅の小さな地震がやや増加したが、その後は地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

【東北地方】

いわきさん 岩木山 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

いわてさん 岩手山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

18 日に行った上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）では、黒倉山や大地獄谷などの噴気の状態や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

あきたらまがたけ 秋田駒ヶ岳 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

くりこまやま 栗駒山 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

あづまやま 吾妻山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

あだたらやま 安達太良山 【噴火予報（平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

ばんだいざん 磐梯山 【噴火予報（平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】

なすだけ 那須岳 【噴火予報（平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

くまづしらねさん 草津白根山

【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

浅間山 あさまやま **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上 100～200m で推移した。

8 日及び 26 日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量²⁾は一日あたり 40～200 トンで、やや少ない状態が続いている。

地震活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

- 2) 紫外線差分吸収分光計 (DOAS) による。DOAS は、紫外線のある波長帯の二酸化硫黄の吸収を利用して、二酸化硫黄濃度を測定する機器。

新潟焼山 にいがたやけやま **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、新潟県土木部砂防課の焼山温泉監視カメラでは噴煙活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

焼岳 やけどけ **【噴火予報（平常）】**

焼岳近くの住民が 18 日未明にドーンという音を聞くとともに、国土交通省神通川水系砂防事務所のライブカメラの映像で赤い光を見たとの連絡があったが、焼岳付近の地震観測点には、当該時刻に噴火等に伴うと思われる震動記録はなかった。翌 19 日に国土交通省北陸地方整備局の協力を得て行った上空からの観測でも、噴火等の跡は認められず、噴気量にも特段の変化はなかったことから、この現象は火山活動に関連したものであるとは考えられる。

焼岳付近を震源とする地震活動は低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

御嶽山 おんたけさん **【噴火予報（平常）】**

地震活動及び噴気活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

白山 はくさん **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴気は認められず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

富士山 ふじさん **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動は低調な状態で、噴火の兆候はみられない。

箱根山 はこねやま **【噴火予報（平常）】**

4 日に行った上空からの観測（神奈川県との協力による）及び 17 日に行った現地調査では、大涌

谷及びその周辺の噴気の状態や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

伊豆東部火山群 いずとうぶかざんぐん **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、噴煙などの表面現象は認められず、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

伊豆大島 いずおshima **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

GPS、光波距離計³⁾及び体積歪計⁴⁾による連続観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続している。

26 日に行った現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺に引き続き弱い噴気が認められた。三原山山頂火口内の中央火孔の温度や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

地震活動は低調な状態で、三原山山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

- 3) レーザーなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器。山体の膨張や収縮による距離の変化を観測している。

- 4) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測される。

三宅島 みやけじま **【火口周辺警報（火口周辺危険）】**

4 日、12 日、14 日、18 日及び 21 日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量²⁾は一日あたり 1,000～2,400 トンで、依然として多量の火山ガス放出が続いている。また三宅島の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。

地磁気連続観測⁵⁾では、山体内部の温度低下を示す変化が鈍化しながらも続いている。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮が徐々に小さくなりながら継続している。

三宅島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口周辺では噴火等に対する警戒が必要である。また、風下にあたる地区では火山ガスに対する警戒が必要である。雨による泥流にも注意が必要である。

- 5) プロトン磁力計による観測。火山は磁石のように磁気を帯びている。火山体内部で温度上昇があると、山頂火口の北側で全磁力値が増加し、南側で減少がみられる。

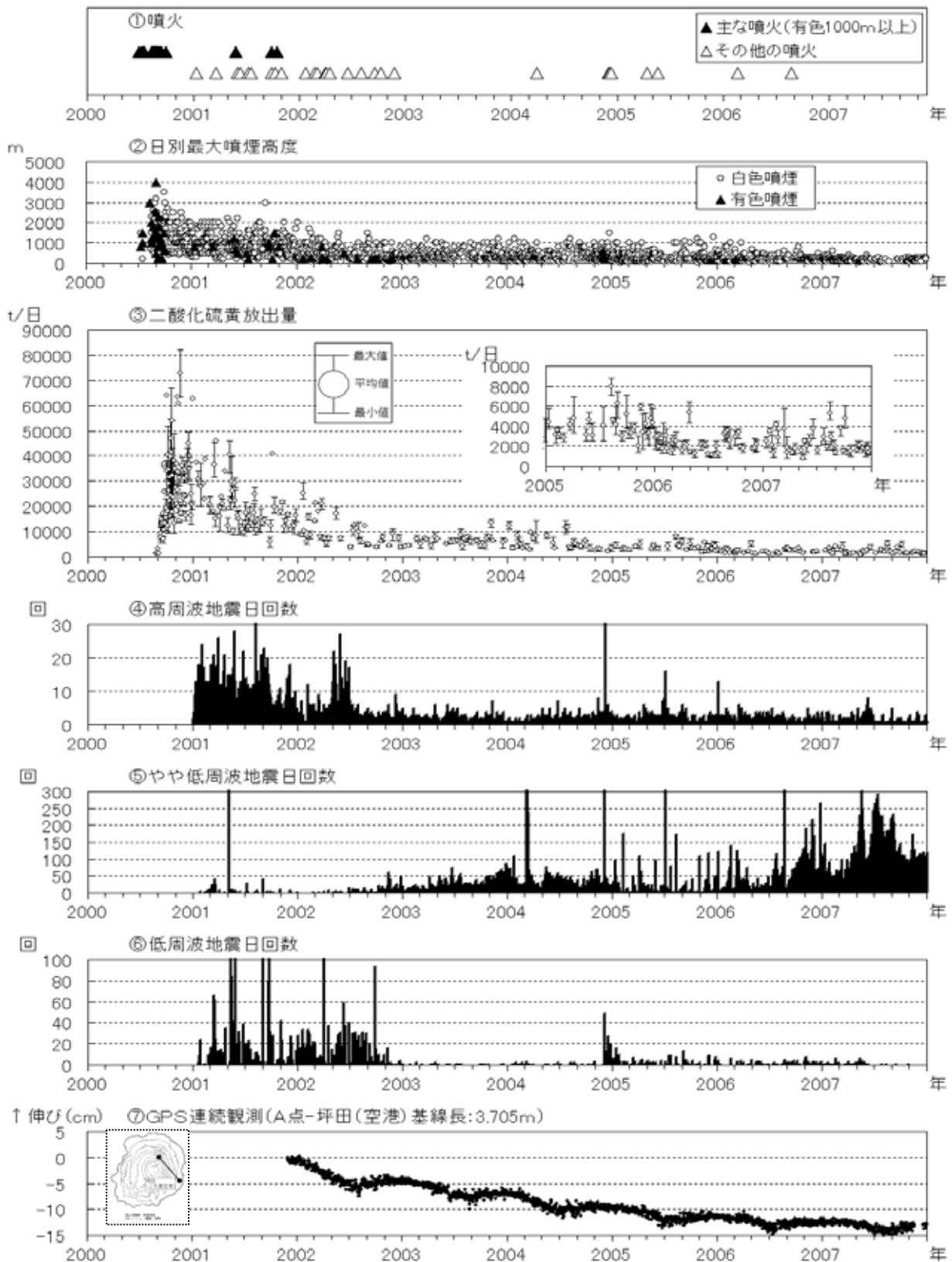


図2 三宅島 最近の火山活動の推移(2000年1月~2007年12月)
 は、海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東京消防庁及び警視庁の協力を得て作成。
 、及び は、地震の種類別に計数を開始した2001年1月1日からのデータを掲載

八丈島 はちじょうしま 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

硫黄島 いおうとう 【火口周辺警報（火口周辺危険）】

海上自衛隊硫黄島航空基地隊気象班により、島西部の阿蘇台陥没孔あそだいかんぼつこうで 19 日から 20 日にかけての夜間に熱泥水が噴出したとみられる跡が確認された。

国土地理院及び防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しているが、島全体が大きく隆起する地殻変動は鈍化したものの継続している。

硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要である。

福岡ノ場 ふくとうかのば 【噴火警報（周辺海域警戒）】

13 日及び 18 日に第三管区海上保安本部が、19 日に海上自衛隊が行った上空からの観測によると、火山活動によると考えられる変色水が確認された。

福岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では警戒が必要である。

【九州地方及び南西諸島】

九重山 くじゅうざん 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

阿蘇山 あそざん 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

10 日、20 日及び 25 日に行った現地調査では、中岳第一火口の湯だまりの湯量や表面温度¹⁾に特段の変化はなかった。中岳第一火口南側火口壁の一部の噴気孔では引き続き赤熱現象が確認された。

6 日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量²⁾は一日あたり 200～300 トンで、やや少ない状態が続いている。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動や地磁気⁵⁾に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

なお、阿蘇火山防災会議協議会の火山ガス濃度観測によると、中岳第一火口付近では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されており、中岳第一火口付近では引き続き火山ガスに対する注意も必要である。

雲仙岳 うんぜんだけ 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

霧島山（新燃岳） きりしまやま しんもえだけ

【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

14 から 15 日にかけて新燃岳の浅い所を震源とする地震が一時的にやや増加したが、火山性微動は観測されず、その他の観測データにも変化はなかった。

GPS 連続観測では、新燃岳のわずかな山体膨張が継続しているが、噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

霧島山（御鉢） きりしまやま みはち

【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

桜島 さくらじま

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

23 日及び 24 日に南岳山頂火口で爆発的噴火が発生したほか、24 日から 26 日にかけてごく小規模な噴火が発生した。

火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

14 日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量²⁾は一日あたり 600～1,100 トンであった。二酸化硫黄放出量は 2007 年 6 月以降、一日あたり 500 トン前後で経過していたが、10 月頃よりやや増加し、一日あたり 1,000 トン前後となっている。

6 日に行った上空からの観測（海上自衛隊の協力による）では、南岳山頂火口及び昭和火口の状況に変化はなかった。

国土地理院による GPS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が継続している。

桜島では今後も南岳山頂火口及び昭和火口の周辺に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要である。

薩摩硫黄島 さつまいおうじま

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙高度は火口縁上概ね 400m で推移した。

火山性地震はやや多い状態が続いている。

6 日に行った上空からの観測（海上自衛隊の協

力による）では、硫黄岳山頂火口及びその周辺の状況や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

薩摩硫黄島では硫黄岳山頂火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要である。

くちのえらぶしま 口永良部島

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

6 日に行った上空からの観測（海上自衛隊の協力による）では、新岳火口^{しんだげ}及びその周辺の状況や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

口永良部島では新岳火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要である。

すわのせしま 諏訪之瀬島

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

11 月 29 日（期間外）～12 月 2 日と 14～16 日に御岳火口^{みたけ}で爆発的噴火がたびたび発生したほか、小規模な噴火が時々発生した。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、17 日に集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰が確認された。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

3 日から 10 日にかけて行った現地調査及び 6 日に行った上空からの観測（海上自衛隊の協力による）では、御岳火口の状況及びその周辺の地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

諏訪之瀬島では今後も御岳火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要である。

資料 1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況（平成 19 年 12 月 31 日現在）

注）最近の予報警報の経過の欄は、噴火警報及び噴火予報の発表開始からの経過を示す。ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

(1) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況 (12月31日現在)	最近の経過
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	安達太良山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	磐梯山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	浅間山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	新瀧焼山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	三宅島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域危険）	2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒）	
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
硫黄島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）	

（ 2 ） その他の活火山

以下の活火山では、火山活動に特段の変化はなく、いずれも平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表し、その後予報事項に変更はない。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、西表島北北東海底火山

世界の主な地震

2007 年 12 月に世界で発生したマグニチュード (M) 6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

2007 年 12 月 1 日 00 時 ~ 12 月 31 日 24 時 (日本時間)

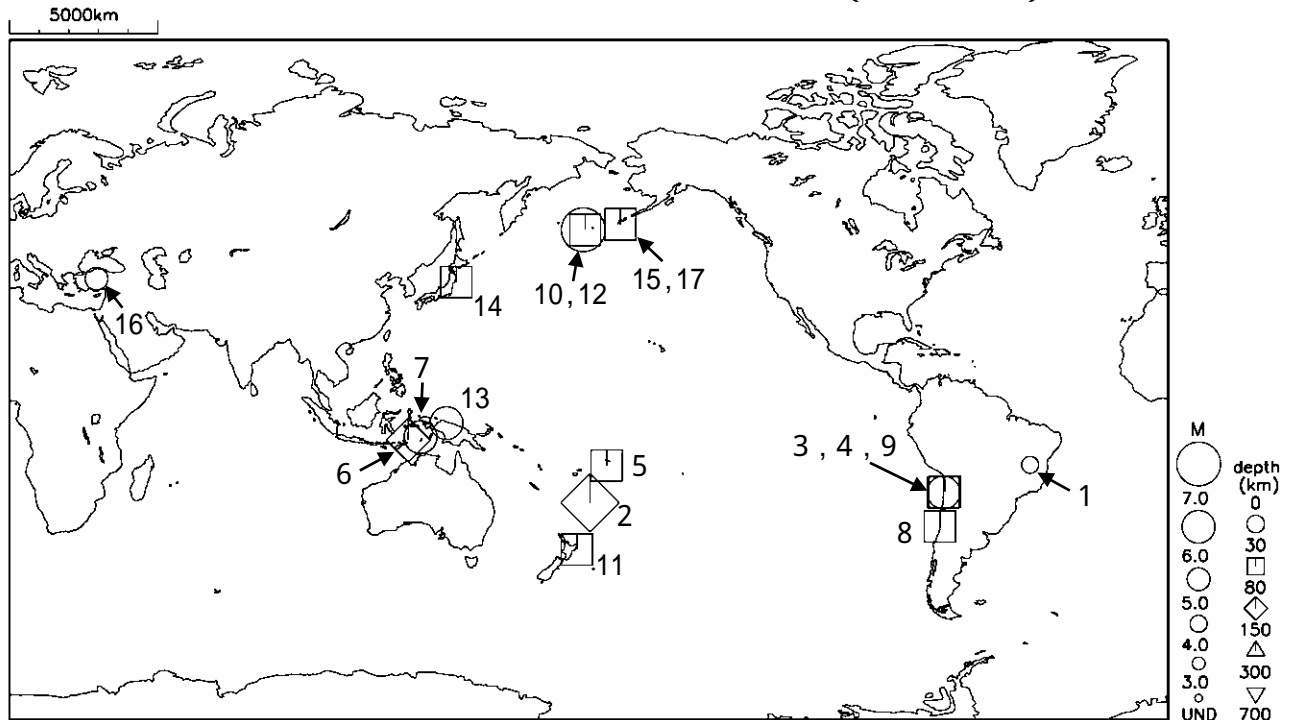


図 1 2007 年 12 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

** : マグニチュードは mb (実体波マグニチュード)、Ms (表面波マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれか大きい値を用いて表示している。

*** : 日本付近で発生した地震については、震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

表 1 2007 年 12 月に世界で発生したマグニチュード 6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	月 日 時	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)
1	12月09日11時03分	S15° 01.9' W 44° 14.7'		10	4.9			ブラジル	死者 1 人、負傷者 6 人、建物被害
2	12月09日16時28分	S26° 03.4' W177° 31.0'		143	7.0		7.8	フィジー諸島南方	(p33参照)
3	12月13日14時20分	S23° 10.0' W 70° 32.4'		41	5.5	5.8	6.0	チリ北部沿岸	
4	12月13日16時23分	S23° 09.3' W 70° 26.9'		19			6.2	チリ北部沿岸	
5	12月14日00時51分	S15° 12.4' W172° 23.5'		35	6.0	5.9	6.1	サモア諸島	
6	12月15日17時03分	S 7° 31.3' E127° 28.9'		148	5.8		6.0	バンドラ海	
7	12月15日18時39分	S 6° 37.3' E131° 10.3'		15	6.1	5.8	6.4	インドネシア、タニンバル諸島	
8	12月16日03時22分	S32° 40.0' W 71° 35.2'		37	5.5	6.0	5.9	チリ中部沿岸	負傷者 4 人、建物被害
9	12月16日17時09分	S22° 54.9' W 70° 04.3'		45	6.1	6.4	6.7	チリ北部沿岸	
10	12月19日18時30分	N51° 22.0' W179° 32.9'		29	6.4	7.1	7.1	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島	(p34参照)
11	12月20日16時55分	S38° 51.6' E178° 31.2'		36			6.6	ニュージーランド、北島東方沖	死者 1 人、建物被害など
12	12月21日16時24分	N51° 20.1' W178° 57.7'		35	6.0	6.1	6.2	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島	
13	12月22日16時11分	S 2° 22.3' E139° 05.5'		27	6.0	6.1	6.1	インドネシア、イリアンジャヤ北岸	
14	12月25日23時04分	N38° 29.0' E141° 09.2'		40	5.4	(5.6)	6.0	宮城県沖	
15	12月27日07時04分	N52° 40.2' W168° 14.1'		35			6.2	アリューシャン列島フォックス諸島	
16	12月27日08時47分	N39° 24.6' E 33° 05.4'		5	5.3			トルコ	建物被害
17	12月30日07時58分	N52° 30.0' W168° 20.4'		42			6.0	アリューシャン列島フォックス諸島	

・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による (2008 年 1 月 4 日現在) ；ただし、日本付近で発生した地震については震源要素及びマグニチュード (Ms の欄に括弧を付して記載) は気象庁による。

・時分は震源時で日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。

12月9日 フィジー諸島南方の地震

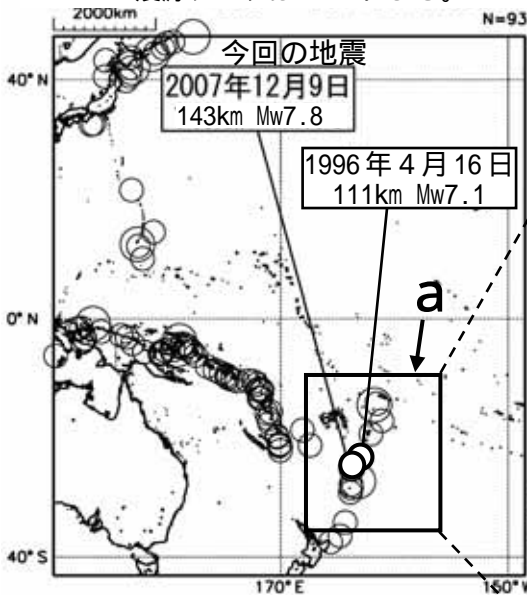
2007年12月9日16時28分(日本時間)フィジー諸島南方の深さ143kmでMw7.8(震源位置はUSGS、モーメントマグニチュードMwはGlobal CMTによる。以下、同じ)の地震が発生した。この地震について気象庁は、同日16時57分に日本への津波の心配がない旨の「遠地地震に関する情報」を発表した。この地震による被害の報告はない(2008年1月4日現在、USGSによる)。

この地震の発震機構は北北西-南南東に圧力軸を持つ逆断層型であった。

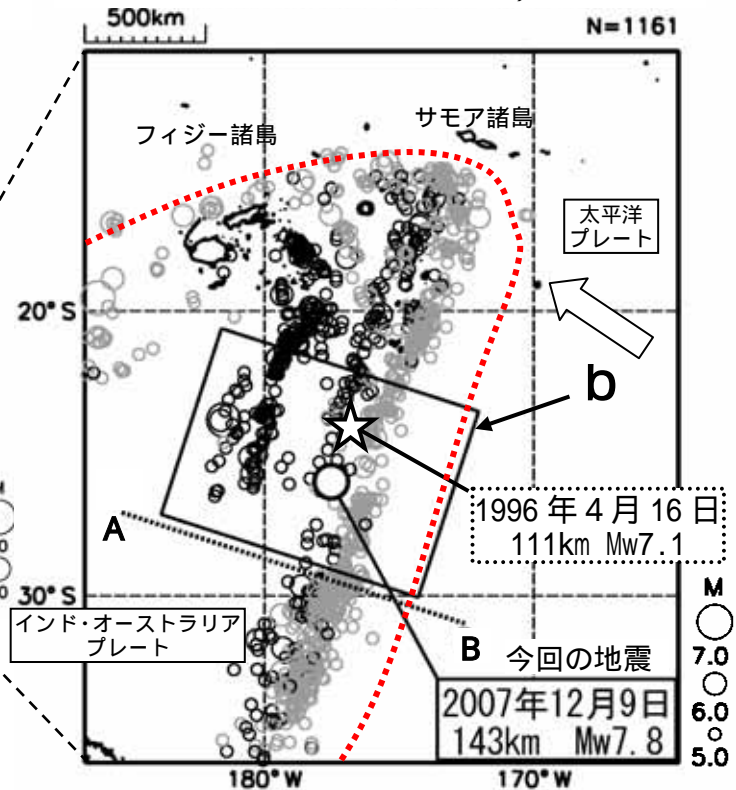
今回の地震の震源付近はインド・オーストラリアプレートの下に太平洋プレートが沈み込んでいるところで、今回の地震は沈み込む太平洋プレート内部で発生した地震と考えられる。

1970年以降の地震活動を見ると、今回の震源付近では1996年4月16日にMw7.1(深さ111km)の地震が発生している。

震央分布図
(1980年1月1日~2007年12月31日、
M 7.0、深さ0~300km)
震源データはUSGSによる。

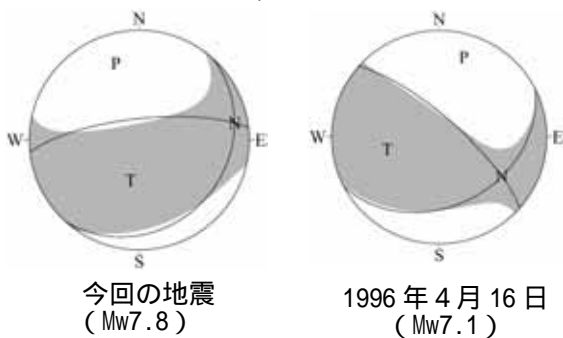


領域aの拡大図
(2000年1月1日~2007年12月31日、
深さ0~800km、M 5.0)

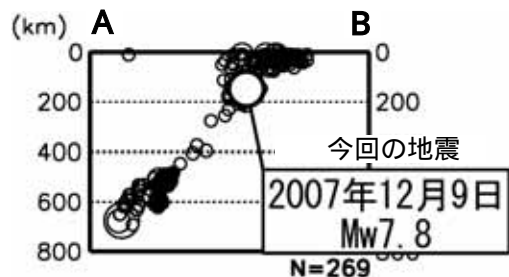


深さ100km以深を濃く表示した。
.....はおおまかなプレート境界を、←は太平洋プレートのおおよその進行方向を示す。

発震機構(Global CMT解)



領域bの断面図(A-B投影)



USGSによると、震源計算により深さの精度が得られない地震については、深さを33kmに固定している。

12月19日 アリューシャン列島の地震

2007年12月19日18時30分（日本時間）アリューシャン列島（アンドリアノフ諸島付近）の深さ29kmでMw7.1（震源位置はUSGS、モーメントマグニチュードMwはGlobal CMTによる）の地震が発生した。この地震について気象庁は、下記の旨の「遠地地震に関する情報」を発表した。

- ・18時51分 「日本への津波の有無について調査中」
- ・20時00分 「日本への津波の心配なし」

この地震による被害の報告はない（2008年1月4日現在、USGSによる）。

この地震の発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

今回の地震の震源付近は太平洋プレートが北米プレートの下に沈み込んでいるところで、今回の地震は太平洋プレートと北米プレートの境界で発生した地震と考えられる。

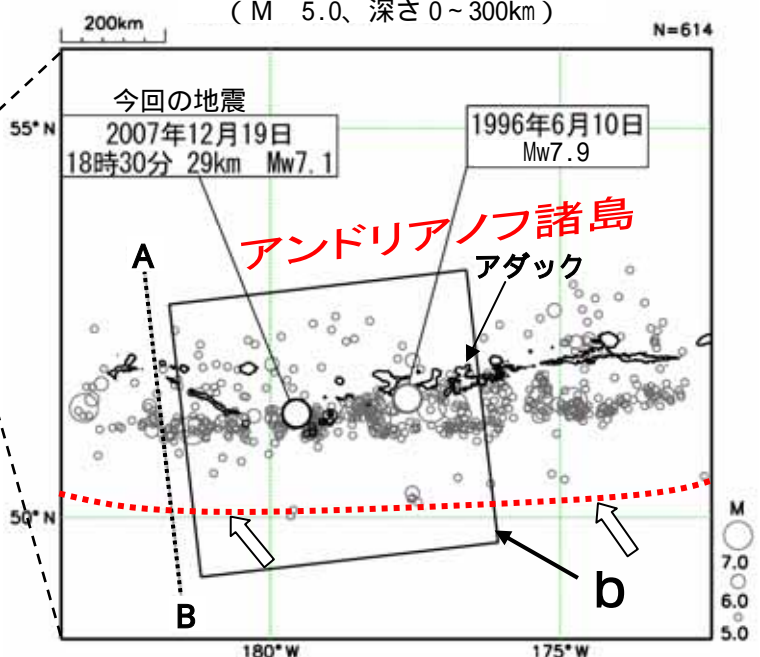
1970年以降の地震活動を見ると、今回の震源付近は地震活動が活発なところで、1996年6月10日にはMw7.9の地震が発生している。また、この地震により津波が発生し、アンドリアノフ諸島のアダックで18cmの津波を観測した（米国海洋大気庁による）。国内では父島二見で14cmの津波を観測するなど、北海道から近畿地方にかけての太平洋沿岸と小笠原諸島で弱い津波を観測した。

震央分布図
（1970年1月1日～2007年12月31日、
M 7.0、深さ0～100km）
震源データはUSGSによる。



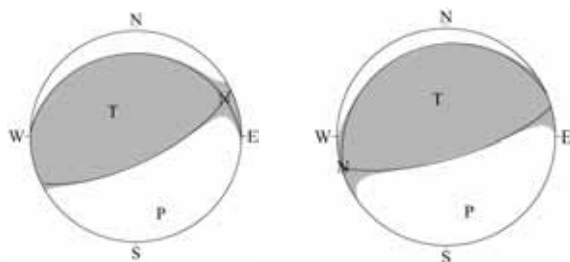
2007年12月1日以降の震源を濃く表示した。.....はおおまかなプレート境界を、←は太平洋プレートのおおよその進行方向を示す。

領域aの拡大図
（M 5.0、深さ0～300km）



2007年12月1日以降の震源を濃く表示した。.....はおおまかなプレート境界を、←は太平洋プレートのおおよその進行方向を示す。

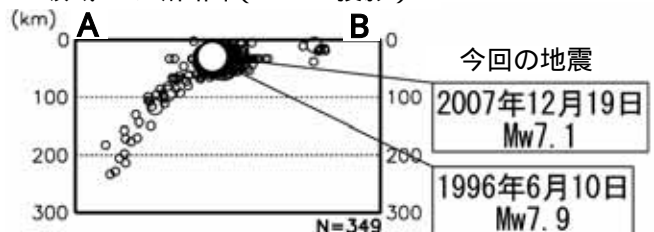
発震機構 (Global CMT 解)



今回の地震
(Mw7.1)

1996年6月10日
(Mw7.9)

領域bの断面図 (A - B 投影)



USGSによると、震源計算により深さの精度が得られない地震については、深さを33kmに固定している。

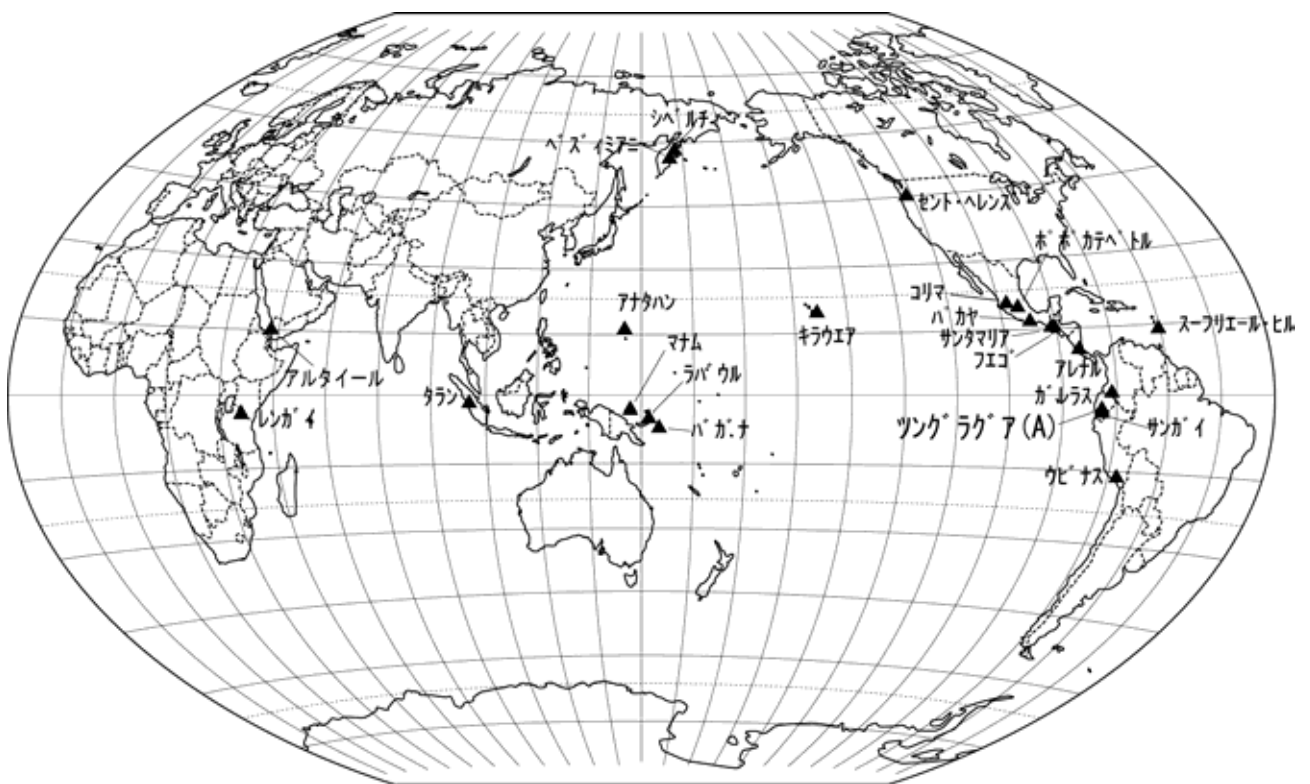
世界の主な火山活動

平成 19 年（2007 年）12 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。このうち、顕著な活動が見られた主な火山は以下のとおりである。

ツングラグア（エクアドル）（図中A）

期間中たびたび噴火し、噴煙高度は最高で約 14,000m に達した。また、噴石が山麓に飛散し、広い範囲で降灰が確認された。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



特集．噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの導入開始について

気象庁は、平成 19 年 12 月 1 日より、全国の活火山を対象とした噴火警報及び噴火予報の発表と 16 火山について噴火警戒レベルの運用を開始した。

噴火警報は、対象となる範囲がわかりやすいよう対象範囲を付した名称（噴火警報（居住地域） 噴火警報（火口周辺）等）とその略称（噴火警報、火口周辺警報）を用いて発表する。警報事項及び予報事項においては、警戒事項等をキーワードとして対象範囲とともに明示し（表 1 - 1 ~ 1 - 3）対象となる市区町村に対して発表する。噴火予報は、噴火警報を解除する場合や静穏（平常）な状態が続くときなどに発表する。

噴火警戒レベルは、火山活動の状況を噴火時等にとるべき防災対応を踏まえて 5 段階に区分したもので、それぞれのレベルにとるべき防災行動を示すキーワードを付している。12 月 1 日に噴火警戒レベルを導入した火山は地域防災計画等でその活用が定められた 16 火山である。噴火警戒レベルは噴火警報または噴火予報で発表する（表 2、図 1）。

なお、噴火警報及び噴火予報と噴火警戒レベルの実施に伴い、従来の緊急火山情報、臨時火山情報、火山観測情報並びに火山活動度レベルは廃止した。

表 1 - 1 対象範囲を付した噴火警報の呼び方及びキーワード（噴火警戒レベル導入火山）

予報及び警報の名称	対象範囲を付した警報の呼び方	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況
噴火警報	噴火警報(居住地域) ↓ (略称) 噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。
	噴火警報(火口周辺) ↓ (略称) 火口周辺警報	火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺	レベル4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。
		火口から少し離れた所までの火口周辺	レベル3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
		火口内等	レベル2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
噴火予報	-	火口内等	レベル1 (平常)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。

表 1 - 2 対象範囲を付した噴火警報の呼び方及びキーワード（噴火警戒レベル未導入火山）

予報及び警報の名称	対象範囲を付した警報の呼び方	対象範囲	警戒事項等 (キーワード)	火山活動の状況
噴火警報	噴火警報(居住地域)* ↓ (略称) 噴火警報	居住地域又は山麓及びそれより火口側	居住地域又は山麓及びそれより火口側の範囲において嚴重に警戒 (居住地域嚴重警戒**)	居住地域又は山麓及びそれより火口側に重大な被害を及ぼす程度の噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
	噴火警報(火口周辺) ↓ (略称) 火口周辺警報	火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺	火口から居住地域又は山麓の近くまでの広い範囲の火口周辺における警戒 (入山危険)	火口から居住地域又は山麓の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)程度の噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
		火口から少し離れた所までの火口周辺	火口から少し離れた所までの火口周辺における警戒 (火口周辺危険)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)程度の噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
噴火予報	-	火口内等	平常	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。

* 居住地域が不明確な場合は「噴火警報(山麓)」

** 居住地域が不明確な場合は「山麓嚴重警戒」と記載。

表 1 - 3 対象範囲を付した噴火警報の呼び方及びキーワード（海底火山）

予報及び警報の名称	対象範囲を付した警報の呼び方	対象範囲	警戒事項等 (キーワード)	火山活動の状況
噴火警報	噴火警報(周辺海域)	周辺海域	海底火山及びその周辺海域で警戒 (周辺海域警戒)	海底火山及びその周辺海域に影響を及ぼす程度の噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
噴火予報	-	直上	平常	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、変色水等が見られることがある。

表 2 噴火警戒レベル

噴火警戒レベルは、火山活動の状況について、噴火時等にとるべき防災対応を踏まえて区分し、警戒を呼びかけるもので、この活用にあたっては以下の点に留意する必要がある。

- ・火山の状況によっては、異常が観測されずに噴火する場合もあり、レベルの発表が必ずしも段階を追って順番通りになるとは限らない（下がる時も同様）。
- ・各レベルで想定する火山活動の状況及び噴火時等の防災対応に係る対象地域や具体的な対応方法は、地域により異なる。
- ・降雨時の土石流等レベル表の対象外の現象についても注意が必要であり、その場合には大雨情報等の情報にも注意する必要がある。

予報 警報	対象 範囲	レベル (キーワード)	説 明		
			火山活動の状況	住民等の行動(1)	登山者・入山者等への対応(1)
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域(2)からの避難等が必要(状況に応じて対象地域や方法を判断)	
		レベル4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	警戒が必要な居住地域(2)での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要(状況に応じて対象地域を判断)	
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	レベル3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活(今後の火山活動の推移に注意、入山規制)。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等	登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等(状況に応じて規制範囲を判断)
	火口周辺	レベル2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活	火口周辺への立入規制等(状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断)
噴火予報	火口内等	レベル1 (平常)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。		特になし(状況に応じて火口内への立入規制等)

1: 住民等の主な行動と登山者・入山者への対応には、代表的なものを記載。
 2: 避難または避難準備の対象として地域防災計画等に定められた地域。ただし、火山活動の状況によって具体的な対象地域はあらかじめ定められた地域とは異なることがある。
 注: 表で記載している「火口」は、噴火が想定される火口あるいはそれらが出現しうる領域(火口出現領域)を意味する。伊豆東部火山群のように、あらかじめ噴火場所(地域)を特定できないものは、地震活動域を火口領域と想定して対応。

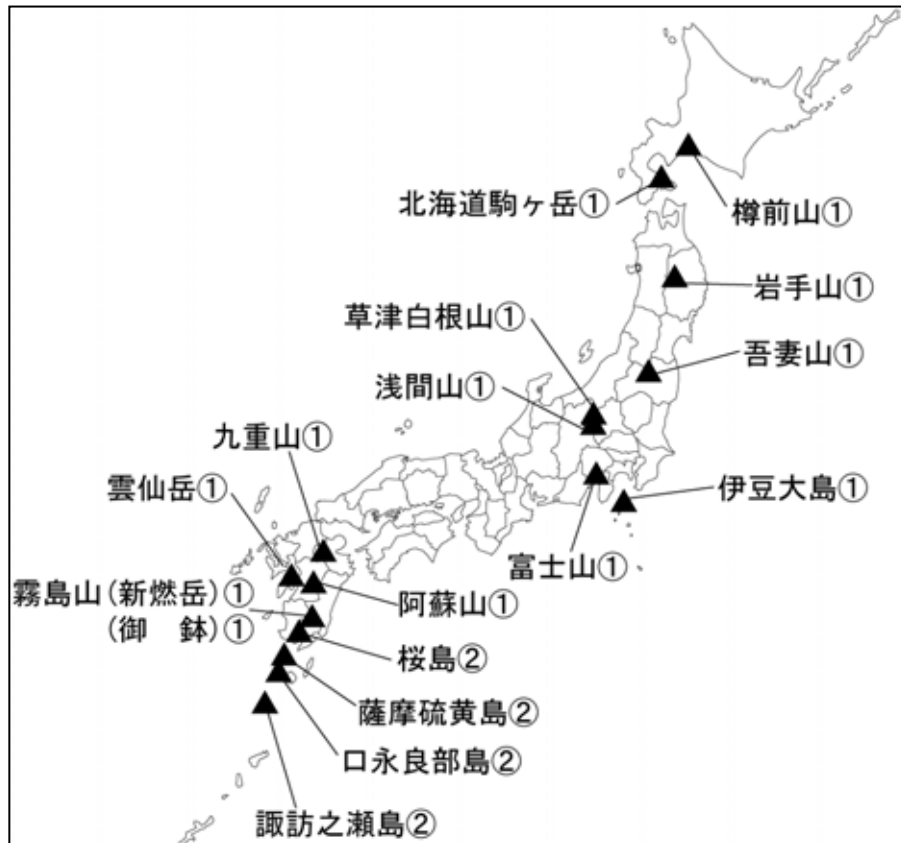


図 1 噴火警戒レベル導入火山と現在の噴火警戒レベル
丸数字は 12 月 31 日現在の噴火警戒レベルを示す

付表 1 . 震度 1 以上を観測した地震の表

地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」を参照。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12月号の付録1参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 04 46	滋賀県北部 岐阜県 滋賀県	35° 28.0' N	136° 15.3' E	9km	M: 3.2
		1 揖斐川町東津汲 *=1.1 揖斐川町東杉原 *=0.8 揖斐川町西横山 *=0.7 1 長浜市落合町 *=1.1 湖北町速水 *=1.0 高月町渡岸寺 *=1.0 木之本町木之本 *=1.0 余呉町中之郷 *=0.9 西浅井町大浦 *=0.5				
2	1 06 18	和歌山県北部 和歌山県	34° 01.5' N	135° 14.7' E	4km	M: 2.2
		1 湯浅町湯浅 *=0.5				
3	1 07 35	新潟県下越地方 新潟県	37° 49.6' N	139° 23.3' E	7km	M: 2.5
		1 阿賀町白崎 *=1.3 阿賀野市畑江=0.5				
4	1 11 33	長崎県南西部 長崎県	32° 57.7' N	129° 51.6' E	12km	M: 3.2
		2 大村市玖島 *=1.8 長崎市長浦町=1.7 1 長崎市元町 *=1.1 平戸市志々伎町 *=0.9 佐世保市干尽町=0.7 諫早市東小路町=0.6 東彼杵町蔵本 *=0.5 時津町浦 *=0.5 西海市西海町 *=0.5				
5	1 16 15	小笠原諸島西方沖 東京都	27° 53.7' N	140° 20.4' E	491km	M: 4.9
		1 小笠原村母島=1.4 小笠原村父島三日月山=0.5				
6	1 19 24	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	32° 04.8' N	130° 32.1' E	8km	M: 3.6
		3 大口市鳥巣 *=3.4 2 湧水町吉松 *=2.0 菱刈町前目 *=1.8 薩摩川内市祁答院町 *=1.8 さつま町宮之城保健センタ *=1.8 大口市山野=1.8 1 霧島市鹿児島空港=1.2 蒲生町上久徳 *=1.0 霧島市隼人町内山田=1.0 さつま町宮之城屋地=0.8 霧島市横川町中ノ *=0.7 薩摩川内市中郷=0.5 阿久根市鶴見町 *=0.5				
		熊本県 2 人吉市城本町=1.9 1 人吉市蟹作町 *=1.3 球磨村渡 *=1.2 錦町一武 *=1.1 八代市坂本町 *=0.9 芦北町芦北=0.6 あさぎり町免田東 *=0.6 水俣市陣内 *=0.6 水俣市牧ノ内 *=0.5 多良木町上球磨消防署 *=0.5				
		宮崎県 1 えびの市加久藤 *=1.1 小林市真方=1.0 宮崎都農町役場 *=0.9 西都市上の宮 *=0.6 国富町本庄 *=0.6 小林市役所 *=0.6 小林市中原 *=0.5				
7	1 23 37	静岡県西部 静岡県	34° 53.6' N	137° 58.7' E	16km	M: 3.5
		2 浜松天竜区春野町 *=1.8 1 掛川市長谷 *=1.3 川根町家山=1.1 袋井市浅名 *=0.8 静岡菊川市堀之内 *=0.8 磐田市下野部 *=0.7 浜松天竜区佐久間町 *=0.7 袋井市新屋=0.6 静岡葵区峰山=0.6 牧之原市相良 *=0.6 掛川市西大淵 *=0.5				
		長野県 1 平谷村役場 *=0.7 下條村睦沢 *=0.6 売木村役場 *=0.6 天龍村天龍小学校 *=0.5				
8	2 01 28	日高支庁東部 北海道	42° 19.9' N	143° 00.3' E	52km	M: 3.4
		2 幕別町忠類錦町 *=1.6 1 浦河町潮見=0.9 浦河町築地 *=0.9 十勝大樹町生花 *=0.8 更別村更別 *=0.6				
9	2 02 04	静岡県西部 静岡県	34° 53.6' N	137° 58.7' E	17km	M: 2.6
		1 浜松天竜区春野町 *=0.6				
10	2 03 50	静岡県西部 静岡県	34° 53.8' N	137° 58.5' E	16km	M: 2.6
		1 浜松天竜区春野町 *=0.6				
11	2 05 51	静岡県西部 静岡県	34° 53.6' N	137° 58.7' E	16km	M: 2.7
		1 浜松天竜区春野町 *=0.9				
12	2 06 40	静岡県西部 静岡県	34° 53.5' N	137° 58.8' E	16km	M: 3.6
		2 浜松天竜区春野町 *=1.9 1 掛川市長谷 *=1.1 川根町家山=0.9 袋井市新屋=0.8 袋井市浅名 *=0.8 磐田市下野部 *=0.7 浜松天竜区佐久間町 *=0.7 静岡菊川市堀之内 *=0.6 牧之原市相良 *=0.5				
		長野県 1 売木村役場 *=0.9 下條村睦沢 *=0.6 平谷村役場 *=0.6				
		愛知県 1 豊根村富山 *=0.6				
13	2 09 24	茨城県南部 茨城県	36° 12.2' N	139° 59.0' E	54km	M: 3.9
		2 鉾田市当間 *=2.2 桜川市羽田 *=2.1 笠間市下郷 *=2.1 桜川市岩瀬 *=1.9 坂東市馬立 *=1.9 坂東市役所 *=1.8 城里町阿波山 *=1.8 水戸市金町=1.8 筑西市門井 *=1.7 石岡市柿岡=1.7				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>取手市寺田 * =1.7 笠間市石井 * =1.7 土浦市大岩田=1.7 筑西市海老ヶ島 * =1.7 石岡市八郷 * =1.6 下妻市本城町 * =1.6 土浦市下高津 * =1.6 水戸市千波町 * =1.6 桜川市真壁 * =1.5 笠間市中央 * =1.5 坂東市山 * =1.5 稲敷市江戸崎甲 * =1.5 筑西市舟生=1.5 小美玉市堅倉 * =1.5 つくば市天王台 * =1.5 水戸市内原町 * =1.5</p> <p>1 日立市助川小学校 * =1.4 ひたちなか市南神敷台 * =1.4 常陸大宮市北町 * =1.4 常陸大宮市野口 * =1.4 つくば市小荊 * =1.4 稲敷市役所 * =1.4 茨城町小堤 * =1.3 鉾田市造谷 * =1.3 常陸大宮市上小瀬 * =1.3 城里町石塚 * =1.3 小美玉市小川 * =1.3 つくば市谷田部 * =1.3 ひたちなか市東石川 * =1.3 守谷市大柏 * =1.3 水戸市中央 * =1.2 かすみがうら市大和田 * =1.2 稲敷市柴崎 * =1.1 筑西市下中山 * =1.1 坂東市岩井=1.1 八千代町菅谷 * =1.1 常総市水海道諏訪町 * =1.1 茨城鹿嶋市鉢形=1.0 かすみがうら市上土田 * =1.0 美浦村受領 * =1.0 稲敷市結佐 * =1.0 阿見町中央 * =1.0 つくばみらい市福田 * =0.9 小美玉市上玉里 * =0.9 土浦市藤沢 * =0.9 常総市新石下 * =0.9 鉾田市鉾田=0.8 城里町徳蔵 * =0.8 日立市役所 * =0.8 茨城古河市仁連 * =0.8 茨城鹿嶋市宮中 * =0.8 牛久市中央 * =0.8 常陸太田市町屋町=0.7 行方市甲 * =0.7 利根町布川=0.7 常陸大宮市中富町=0.7 常陸大宮市山方 * =0.7 常陸太田市高柿町 * =0.6 大洗町磯浜町 * =0.6 下妻市鬼怒 * =0.5 稲敷市須賀津 * =0.5 五霞町小福田 * =0.5 つくばみらい市加藤 * =0.5</p> <p>2 茂木町小井戸 * =2.0 栃木二宮町石島 * =1.9 足利市名草上町=1.6 小山市神鳥谷 * =1.6 益子町益子=1.6</p> <p>1 宇都宮市明保野町=1.4 栃木市旭町=1.4 大平町富田 * =1.4 佐野市中町 * =1.3 鹿沼市晃望台 * =1.3 真岡市田町 * =1.3 下野市石橋 * =1.2 下野市小金井 * =1.2 岩舟町静 * =1.1 佐野市葛生東 * =1.0 小山市中央町 * =1.0 茂木町茂木 * =0.9 西方町本城 * =0.8 宇都宮市旭 * =0.8 宇都宮市中里町 * =0.8 下野市田中 * =0.8 佐野市田沼町 * =0.8 鹿沼市今宮町 * =0.8 真岡市荒町 * =0.8 栃木市入舟町 * =0.5 日光市中宮祠=0.5 宇都宮市鳩田 * =0.5</p> <p>群馬県 1 邑楽町中野 * =1.3 館林市美園町 * =0.9 館林市城町 * =0.7 沼田市利根町 * =0.6 桐生市元宿町 * =0.6 群馬千代田町赤岩 * =0.5</p> <p>埼玉県 1 春日部市金崎 * =1.4 春日部市中央 * =1.2 久喜市下早見=1.2 東松山市松葉町 * =0.9 さいたま岩槻区本町 * =0.8 上尾市本町 * =0.8 滑川町福田 * =0.6 東松山市市ノ川 * =0.6 さいたま浦和区高砂=0.5</p> <p>千葉県 1 柏市旭町=1.4 千葉栄町安食台 * =1.4 香取市佐原下川岸=1.3 成田市花崎町=1.3 香取市佐原諏訪台 * =1.1 成田市中台 * =1.1 鎌ヶ谷市初富 * =1.1 印西市大森 * =1.1 印旛村瀬戸 * =1.0 芝山町小池 * =1.0 野田市鶴奉 * =0.9 柏市大島田 * =0.9 我孫子市我孫子 * =0.9 千葉酒々井町中央 * =0.9 香取市役所 * =0.8 成田市松子 * =0.8 千葉神崎町神崎本宿 * =0.7 本埜村笠神 * =0.7 千葉佐倉市海隣寺町 * =0.6 野田市東宝珠花 * =0.5 富里市七栄 * =0.5 成田市役所 * =0.5 東金市日吉台 * =0.5</p> <p>東京都 1 東京葛飾区立石 * =0.7 東京江戸川区中央=0.7 東京文京区大塚 * =0.6 東京新宿区上落合 * =0.5 東京中野区江古田 * =0.5 東京葛飾区金町 * =0.5</p>				
14	2 12 27	新潟県中越地方 新潟県 1 十日町市松代(旧) * =0.7	37° 06.5' N	138° 41.6' E	11km	M: 2.0
15	3 01 34	紀伊水道 和歌山県 2 和歌山市男野芝丁=1.9 和歌山市一番丁 * =1.9 海南市日方 * =1.5 1 海南市下津 * =1.4 有田市初島町 * =1.2 有田市箕島=0.9 紀美野町下佐々 * =0.9 湯浅町湯浅 * =0.6 由良町里 * =0.5 紀の川市貴志川町神戸 * =0.5 大阪府 1 泉南市男里 * =0.7 岸和田市土生町 * =0.6 大阪岬町深日 * =0.5 兵庫県 1 洲本市小路谷=0.8 淡路市郡家 * =0.5	34° 10.3' N	135° 07.4' E	7km	M: 3.4
16	3 16 16	静岡県西部 静岡県 2 浜松天竜区春野町 * =1.8 1 川根町家山=0.6 掛川市長谷 * =0.6 磐田市下野部 * =0.5 長野県 1 売木村役場 * =0.6	34° 53.8' N	137° 58.6' E	17km	M: 3.2
17	3 17 06	静岡県西部 静岡県 1 浜松天竜区春野町 * =0.8 掛川市長谷 * =0.7	34° 53.7' N	137° 58.9' E	17km	M: 3.1
18	4 11 47	静岡県西部 静岡県 1 浜松天竜区春野町 * =1.0 掛川市長谷 * =0.5	34° 53.3' N	137° 59.1' E	17km	M: 2.7
19	4 19 57	伊予灘 広島県 1 呉市倉橋町鷹ヶ巣=0.5 山口県 1 周防大島町久賀 * =1.3 周防大島町小松 * =0.5	33° 47.5' N	132° 13.6' E	54km	M: 3.4
20	4 21 49	天草灘 長崎県 1 長崎市元町 * =0.8	32° 34.2' N	129° 57.8' E	14km	M: 2.6
21	5 08 13	茨城県南部 茨城県 2 坂東市役所 * =1.8 坂東市馬立 * =1.7 坂東市山 * =1.5 1 茨城古河市下大野 * =1.2 筑西市門井 * =1.1 筑西市海老ヶ島 * =1.0 坂東市岩井=1.0 鉾田市当間 * =1.0 桜川市岩瀬 * =0.9 桜川市羽田 * =0.9 つくば市谷田部 * =0.9 土浦市藤沢 * =0.8 常総市新石下 * =0.8 取手市寺田 * =0.8 土浦市下高津 * =0.7 石岡市柿岡=0.7 下妻市本城町 * =0.7 筑西市舟生=0.7 常陸大宮市北町 * =0.6 城里町阿波山 * =0.6 常総市水海道諏訪町 * =0.6 笠間市下郷 * =0.5 筑西市下中山 * =0.5 水戸市金町=0.5 つくば市天王台 * =0.5 水戸市千波町 * =0.5 五霞町小福田 * =0.5 小美玉市堅倉 * =0.5 栃木県 2 宇都宮市明保野町=1.7 栃木市旭町=1.5 1 栃木藤岡町藤岡 * =1.4 岩舟町静 * =1.3 茂木町小井戸 * =1.2 鹿沼市晃望台 * =1.1 佐野市高砂町 * =1.1	36° 04.7' N	139° 50.0' E	48km	M: 3.7

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		日光市中宮祠=1.0 下野市田中*=0.9 下野市石橋*=0.9 佐野市中町*=0.8 下野市小金井*=0.8 栃木二宮町石島*=0.8 宇都宮市中里町*=0.8 足利市大正町*=0.8 鹿沼市口栗野*=0.7 西方町本城*=0.7 益子町益子=0.7 茂木町茂木*=0.7 鹿沼市今宮町*=0.6 大平町富田*=0.6 小山市神鳥谷*=0.6 上三川町しらさぎ*=0.6 足利市名草上町=0.6 足野市葛生東*=0.5 日光市鬼怒川温泉大原*=0.5 都賀町家中*=0.5 小山市中央町*=0.5 埼玉県 2 宮代町笠原*=1.6 大利根町北下新井*=1.5 1 春日部市金崎*=1.3 久喜市下早見=1.2 加須市下三俣*=0.7 さいたま市岩槻区本町*=0.6 東松山市松葉町*=0.5 群馬県 1 板倉町板倉=0.9 館林市美園町*=0.7 邑楽町中野*=0.7 桐生市元宿町*=0.6 沼田市利根町*=0.6 千葉県 1 野田市東宝珠花*=0.9 東京都 1 東京千代田区大手町=0.7 神奈川県 1 中井町比奈窪*=1.0				
22	5 08 37	愛知県西部 岐阜県 愛知県	34° 54.9' N	137° 06.3' E	40km	M: 3.1
		1 恵那市上矢作町*=0.7 1 東郷町春木*=0.6 西尾市矢曾根町*=0.5 名古屋千種区日和町=0.5				
23	5 10 09	能登半島沖 石川県	37° 10.9' N	136° 33.6' E	0km	M: 3.2
		1 志賀町香能*=0.7 輪島市門前町走出=0.6				
24	5 13 33	宮古島北西沖 沖縄県	25° 50.8' N	124° 11.5' E	167km	M: 5.1
		1 竹富町大原=0.9 宮古島市平良西仲宗根=0.8 竹富町船浮=0.8 石垣市新栄町*=0.7 宮古島市城辺福北=0.7 宮古島市城辺福西*=0.7 石垣市美崎町*=0.6 竹富町上原*=0.6 宮古島市平良狩俣*=0.5				
25	5 21 27	岩手県沖 岩手県 宮城県	39° 07.2' N	142° 31.5' E	27km	M: 4.1
		1 一関市室根町*=1.0 山田町大沢*=0.9 釜石市中妻町*=0.7 一関市千厩町*=0.7 陸前高田市高田町*=0.6 釜石市只越町=0.6 遠野市松崎町*=0.5 藤沢町藤沢*=0.5 1 気仙沼市笹が陣*=0.8 栗原市栗駒=0.6 気仙沼市赤岩=0.5				
26	6 01 50	神奈川県西部 神奈川県	35° 12.9' N	139° 07.5' E	11km	M: 2.5
		1 箱根町湯本*=1.2				
27	6 05 55	宮城県北部 宮城県	38° 52.5' N	141° 35.9' E	74km	M: 3.0
		1 南三陸町歌津*=0.7				
28	6 19 05	熊本県熊本地方 熊本県	32° 50.5' N	130° 53.1' E	11km	M: 2.3
		1 山都町浜町*=0.5				
29	6 22 20	静岡県西部 静岡県	34° 53.8' N	137° 58.5' E	16km	M: 2.7
		1 掛川市長谷*=0.6				
30	7 04 40	大分県西部 熊本県	33° 05.2' N	130° 57.6' E	13km	M: 2.9
		1 阿蘇市内牧*=0.7				
31	7 07 25	根室支庁南部 北海道	43° 23.8' N	145° 43.3' E	67km	M: 3.3
		1 根室市牧の内*=0.5				
32	7 08 24	福岡県北西沖 福岡県 佐賀県	33° 40.4' N	130° 16.7' E	14km	M: 3.2
		1 福岡博多区福岡空港=1.4 志摩町初=1.1 前原市前原西*=1.0 福岡古賀市駅東*=0.9 福津市津屋崎*=0.9 福岡西区玄界島=0.8 新宮町緑ヶ浜*=0.7 春日市原町*=0.7 宗像市東郷*=0.6 前原市前原東*=0.5 福岡中央区大濠=0.5 宮若市福丸*=0.5 1 基山町宮浦*=0.5				
33	7 09 47	鳥島近海 宮城県 福島県 岩手県 茨城県 栃木県 埼玉県 千葉県	30° 03.5' N	141° 37.3' E	75km	M: 6.0
		2 丸森町鳥屋*=1.8 角田市角田*=1.5 1 岩沼市桜*=1.2 石巻市門脇*=1.1 大河原町新南*=1.1 登米市迫町*=1.0 石巻市桃生町*=0.9 亘理町下小路*=0.8 名取市増田*=0.8 山元町浅生原*=0.7 宮城美里町木間塚*=0.7 大崎市松山*=0.7 利府町利府*=0.7 栗原市金成*=0.6 蔵王町円田*=0.6 東松島市矢本*=0.6 登米市登米町*=0.6 宮城川崎町前川*=0.5 登米市米山町*=0.5 登米市南方町*=0.5 村田町村田*=0.5 石巻市前谷地*=0.5 2 葛尾村落合閣下*=1.5 1 福島市五老内町*=1.4 田村市大越町*=1.3 双葉町新山*=1.3 南相馬市小高区*=1.3 福島市松木町=1.1 玉川村小高*=1.1 白河市東*=1.0 二本松市針道*=1.0 浪江町幾世橋=1.0 平田村永田*=0.9 川俣町五百田*=0.9 二本松市油井*=0.8 郡山市朝日=0.8 郡山市湖南町*=0.8 須賀川市八幡山*=0.7 いわき市小名浜=0.7 二本松市郭内*=0.6 田村市都路町*=0.6 田村市船引町=0.5 1 北上市二子町*=0.6 1 筑西市舟生=0.7 石岡市柿岡=0.5 ひたちなか市南神敷台*=0.5 1 茂木町小井戸*=0.6 1 春日部市谷原新田*=1.1 さいたま市大宮区天沼町*=0.8 1 鴨川市横渚*=1.0 館山市長須賀=0.9 長生村本郷*=0.8 市原市姉崎*=0.8 東金市日吉台*=0.5 多古町多古=0.5				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京都 1 小笠原村父島三日月山=1.2 青ヶ島村=1.1 小笠原村父島西町=1.1 八丈町三根=0.8 小笠原村母島=0.8 東京千代田区大手町=0.7 八丈町大賀郷金土川*=0.5 神奈川県 1 横浜中区山田町*=0.7 横浜中区山手町=0.6 川崎中原区小杉陣屋=0.5 中井町比奈窪*=0.5 新潟県 1 南魚沼市六日町=0.8 長野県 1 長野南牧村海ノ口*=0.5				
34	7 21 08	鹿児島県薩摩地方 31°24.2' N 130°30.9' E 4km M: 1.7 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町*=0.8				
35	8 06 47	鳥根県東部 35°24.7' N 133°15.0' E 10km M: 2.1 鳥取県 1 米子市博労町=0.6 鳥根県 1 安来市安来町*=0.8 安来市島田町*=0.7				
36	8 15 20	茨城県南部 36°13.1' N 139°48.0' E 57km M: 3.6 茨城県 1 桜川市羽田*=0.9 鉾田市当間*=0.9 桜川市岩瀬*=0.7 土浦市下高津*=0.7 坂東市役所*=0.6 筑西市舟生=0.5 栃木県 1 栃木藤岡町藤岡*=1.2 足利市名草上町=1.1 小山市神鳥谷*=1.1 大平町富田*=1.0 日光市中宮祠=0.9 鹿沼市晃望台*=0.9 鹿沼市口栗野*=0.9 佐野市高砂町*=0.8 宇都宮市明保野町=0.8 茂木町小井戸*=0.7 宇都宮市中里町*=0.6 日光市足尾町中才*=0.6 佐野市中町*=0.6 佐野市田沼町*=0.5 日光市中鉢石町*=0.5 日光市今市本町*=0.5 栃木市旭町=0.5 日光市足尾町松原*=0.5 群馬県 1 桐生市元宿町*=1.0 桐生市新里町*=0.7 太田市西本町*=0.7 川場村谷地*=0.7 板倉町板倉=0.6 片品村鎌田*=0.6 埼玉県 1 東松山市松葉町*=1.2 久喜市下早見=1.1 滑川町福田*=0.9 東松山市市ノ川*=0.6				
37	8 18 55	鹿児島県薩摩地方 31°24.3' N 130°30.8' E 4km M: 2.4 鹿児島県 2 鹿児島市喜入町*=2.4				
38	9 18 07	埼玉県北部 36°03.6' N 139°32.5' E 60km M: 3.0 群馬県 1 桐生市元宿町*=0.5				
39	10 02 29	岐阜県美濃東部 35°18.8' N 137°26.0' E 50km M: 3.3 長野県 1 売木村役場*=0.8 岐阜県 1 恵那市上矢作町*=0.8 白川町河岐*=0.6 可児市広見*=0.6 八百津町八百津*=0.6 御嵩町御嵩*=0.5 愛知県 1 豊田市小原町*=1.2 豊田市大洞町=0.9				
40	10 12 45	福島県沖 37°05.2' N 141°17.9' E 50km M: 3.7 福島県 1 いわき市三和町=0.8 白河市新白河*=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.6 川内村下川内=0.5				
41	10 14 33	和歌山県北部 34°02.4' N 135°16.4' E 5km M: 2.3 和歌山県 1 湯浅町湯浅*=0.8				
42	10 16 23	釧路沖 42°32.7' N 144°14.8' E 74km M: 4.2 北海道 2 釧路市音別町直別*=2.2 十勝大樹町生花*=1.6 1 十勝池田町西1条*=1.4 浦幌町桜町*=1.4 釧路市黒金町*=1.4 釧路市幸町=1.2 豊頃町茂岩本町*=1.1 幕別町本町*=1.1 幕別町忠類錦町*=1.1 足寄町南1条*=1.1 弟子屈町弟子屈*=1.0 えりも町日黒*=1.0 鹿追町東町*=1.0 新得町2条*=0.9 帯広市東6条*=0.9 本別町北2丁目=0.9 本別町向陽町*=0.9 白糠町西1条*=0.9 標津町北2条*=0.9 釧路市音別町尺別=0.8 十勝大樹町東本通*=0.8 別海町西春別*=0.7 根室市落石東*=0.7 広尾町並木通=0.6 釧路市阿寒町中央*=0.6 厚岸町尾幌=0.6 弟子屈町美里=0.6 十勝清水町南4条=0.6 帯広市東4条=0.6 別海町本別海*=0.6 音更町元町*=0.6 別海町常盤=0.5				
43	10 16 38	岐阜県飛騨地方 36°12.9' N 137°33.7' E 4km M: 2.0 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=1.2				
44	10 20 44	石川県能登地方 37°19.3' N 136°51.5' E 5km M: 2.9 石川県 1 輪島市鳳至町=1.0				
45	11 08 52	薩摩半島西方沖 31°13.7' N 130°23.0' E 158km M: 3.8 鹿児島県 1 大崎町仮宿*=0.6				
46	11 09 03	和歌山県北部 34°02.4' N 135°16.5' E 5km M: 2.3 和歌山県 1 湯浅町湯浅*=0.8 有田川町金屋*=0.5				
47	11 10 05	石川県能登地方 37°19.3' N 136°51.5' E 6km M: 3.1 石川県 2 輪島市鳳至町=1.7 1 輪島市河井町*=0.7				
48	11 13 07	宮城県北部 38°46.5' N 140°43.9' E 4km M: 2.3 宮城県 2 大崎市鳴子*=1.9				
49	11 13 20	宮城県北部 38°46.5' N 140°44.2' E 4km M: 1.8 宮城県 1 大崎市鳴子*=0.7				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
50	11 14 05	種子島南東沖 鹿児島県 1 中種子町野間 * =0.8 南種子町西之 * =0.5	30° 20.6' N	131° 21.9' E	27km	M: 4.3
51	11 15 59	種子島南東沖 鹿児島県 1 中種子町野間 * =0.6	30° 19.8' N	131° 23.8' E	25km	M: 3.9
52	11 17 27	種子島南東沖 鹿児島県 1 中種子町野間 * =0.7 錦江町田代支所 * =0.6	30° 20.5' N	131° 22.5' E	27km	M: 4.0
53	12 22 17	広島県南西部 広島県 1 東広島市黒瀬町=0.8 呉市郷原町 * =0.5	34° 18.7' N	132° 42.3' E	7km	M: 2.3
54	12 23 23	静岡県西部 静岡県 2 浜松天竜区春野町 * =2.0 1 掛川市長谷 * =1.3 川根町家山=1.0 袋井市新屋=0.9 袋井市浅名 * =0.7 浜松天竜区佐久間町 * =0.7 静岡菊川市堀之内 * =0.6 掛川市三保 * =0.5 牧之原市相良 * =0.5 磐田市下野部 * =0.5	34° 53.3' N	137° 58.9' E	17km	M: 3.4
55	12 23 24	静岡県西部 静岡県 1 浜松天竜区春野町 * =0.5	34° 53.3' N	137° 59.1' E	16km	M: 2.5
56	13 00 57	福島県会津 福島県 2 檜枝岐村上河原 * =1.7	37° 07.0' N	139° 20.8' E	7km	M: 2.9
57	14 11 45	栃木県南部 栃木県 1 日光市足尾町松原 * =1.2 鹿沼市今宮町 * =1.2 日光市足尾町中才 * =1.0	36° 35.9' N	139° 29.5' E	8km	M: 2.6
58	15 01 47	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町 * =1.7 1 大船渡市猪川町=1.2 大船渡市大船渡町=1.1 釜石市只越町=1.0 住田町世田米 * =0.9 釜石市中妻町 * =0.7 陸前高田市高田町 * =0.6 藤沢町藤沢 * =0.5 宮城県 1 気仙沼市唐桑町 * =1.3 南三陸町歌津 * =1.3 気仙沼市赤岩=0.9 南三陸町志津川=0.8 気仙沼市笹か陣 * =0.8	38° 58.8' N	142° 12.7' E	46km	M: 3.8
59	15 13 18	岩手県沖 岩手県 2 山田町大沢 * =1.8 宮古市五月町 * =1.5 1 宮古市鎌ヶ崎=1.3 山田町八幡町=1.1 宮古市田老 * =0.8 川井村川井 * =0.8 岩手洋野町大野 * =0.8 大槌町新町 * =0.8 宮古市茂市 * =0.7 遠野市松崎町 * =0.6 釜石市中妻町 * =0.5	39° 38.2' N	142° 06.1' E	48km	M: 3.7
60	15 14 09	福島県沖 宮城県 1 石巻市桃生町 * =0.7 東松島市矢本 * =0.6	37° 44.7' N	142° 08.0' E	33km	M: 4.1
61	16 02 26	浦河沖 北海道 2 新ひだか町三石旭町 * =1.5 1 新ひだか町静内ときわ町=1.3 新冠町北星町 * =1.1 新ひだか町静内御幸町 * =1.1 浦河町築地 * =1.0 浦河町潮見=0.9 浦河町野深=0.8 函館市新浜町 * =0.5 安平町追分柏が丘 * =0.5 恵庭市京町 * =0.5 函館市泊町 * =0.5	42° 03.2' N	142° 39.2' E	61km	M: 4.0
62	16 09 35	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町 * =0.5	36° 02.2' N	137° 21.6' E	10km	M: 2.0
63	16 10 59	和歌山県北部 和歌山県 2 有田市初島町 * =2.4 海南市下津 * =2.1 有田市箕島=2.0 湯浅町湯浅 * =2.0 和歌山広川町広 * =1.6 1 有田川町下津野 * =1.2 紀美野町下佐々 * =1.1 海南市日方 * =1.1 由良町里 * =0.8 日高川町土生 * =0.6 有田川町金屋 * =0.5	34° 05.5' N	135° 10.6' E	5km	M: 3.1
64	16 11 12	和歌山県北部 和歌山県 2 湯浅町湯浅 * =2.4 日高川町高津尾 * =1.9 和歌山広川町広 * =1.8 日高川町土生 * =1.7 由良町里 * =1.7 和歌山日高町高家 * =1.6 海南市日方 * =1.5 紀美野町下佐々 * =1.5 1 海南市下津 * =1.4 有田川町金屋 * =1.4 御坊市園=1.3 日高川町川原河 * =1.3 有田市初島町 * =1.3 紀美野町神野市場 * =1.1 有田川町下津野 * =1.1 和歌山美浜町和田 * =1.1 有田川町清水 * =1.0 みなべ町土井=1.0 みなべ町谷口 * =0.9 和歌山市男野芝丁=0.9 有田市箕島=0.8 高野町高野山中学校=0.8 田辺市本宮町本宮 * =0.7 和歌山市一番丁 * =0.6 紀の川市桃山町元 * =0.5 奈良県 1 十津川村平谷 * =1.0 十津川村小原 * =0.9	34° 01.6' N	135° 14.7' E	4km	M: 3.7
65	16 12 04	苫小牧沖 北海道 1 函館市泊町 * =0.7 青森県 1 東通村砂子又 * =0.7 東通村小田野沢 * =0.6	41° 39.8' N	141° 20.6' E	100km	M: 3.3
66	16 19 53	父島近海 東京都 1 小笠原村父島三日月山=1.0 小笠原村父島西町=0.8	27° 18.8' N	142° 18.2' E	51km	M: 3.7

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
67	17 18 53	周防灘 広島県 愛媛県 山口県	33°45.1' N	131°50.3' E	78km	M: 3.4 1 広島中区羽衣町 *=1.0 広島安佐北区可部南 *=0.6 北広島町有田=0.6 広島西区己斐 *=0.5 1 八幡浜市五反田 *=0.8 1 下松市大手町 *=0.8 光市中央 *=0.7 周防大島町西安下庄 *=0.6 山口市周布=0.5 平生町平生 *=0.5
68	18 02 53	石川県能登地方 石川県 富山県 岐阜県	37°14.1' N	136°44.8' E	9km	M: 3.9 3 穴水町大町 *=2.5 2 輪島市門前町走出=1.9 輪島市鳳至町=1.5 志賀町富来領家町=1.5 1 志賀町香能 *=1.2 七尾市中島町中島 *=1.0 志賀町末吉千古 *=0.8 中能登町能登部下 *=0.8 羽咋市旭町 *=0.7 七尾市能登島向田町 *=0.6 七尾市田鶴浜町=0.6 能美市来丸町 *=0.6 1 富山市新桜町 *=0.6 1 白川村鳩谷 *=0.6
69	18 12 35	新潟県上越地方 新潟県 群馬県 長野県	37°02.0' N	138°29.2' E	12km	M: 3.3 3 十日町市松代(旧) *=2.6 上越市牧区柳島 *=2.5 2 上越市清里区荒牧 *=2.2 上越市安塚区安塚 *=2.1 上越市大島区岡 *=1.5 1 上越市板倉区針 *=1.3 上越市三和区井ノ口 *=1.2 上越市五智 *=1.1 上越市大手町=1.1 津南町下船渡 *=1.0 妙高市栄町 *=1.0 柏崎市高柳町岡野町 *=1.0 上越市吉川区原之町 *=0.9 上越市大潟区土底浜 *=0.9 十日町市松之山 *=0.8 上越市柿崎区柿崎 *=0.7 妙高市田町 *=0.7 1 六合村小雨 *=0.7 1 飯綱町芋川 *=1.4 栄村北信 *=1.1
70	18 12 39	長野県北部 新潟県	37°01.8' N	138°29.1' E	11km	M: 2.1 1 上越市安塚区安塚 *=0.6
71	19 03 09	長野県南部 長野県	35°51.6' N	137°30.1' E	6km	M: 2.1 1 王滝村鈴ヶ沢 *=0.5
72	19 09 02	茨城県沖 茨城県 栃木県	36°27.6' N	141°04.7' E	46km	M: 3.8 2 日立市助川小学校 *=1.5 1 高萩市安良川 *=0.9 鉾田市当間 *=0.9 北茨城市磯原町 *=0.5 常陸太田市町屋町=0.5 日立市役所 *=0.5 1 茂木町小井戸 *=0.8
73	19 11 14	沖縄本島近海 沖縄県	26°39.2' N	127°53.3' E	22km	M: 3.1 1 本部町役場 *=0.9 名護市港 *=0.8 今帰仁村仲宗根 *=0.7
74	20 08 28	宮城県北部 宮城県	38°39.3' N	141°12.8' E	16km	M: 2.6 1 登米市中田町=1.1 石巻市桃生町 *=0.7
75	21 14 22	福井県嶺北 福井県 石川県 三重県 長野県 岐阜県 愛知県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県	35°56.3' N	136°20.9' E	7km	M: 4.5 4 福井池田町稲荷 *=3.9 越前市粟田部 *=3.8 越前町西田中 *=3.6 3 福井市美山町 *=3.0 越前市村国 *=2.9 福井市豊島=2.8 福井市板垣 *=2.6 越前市高瀬=2.6 福井市大手 *=2.6 永平寺町栗住波 *=2.5 2 福井坂井市坂井町下新庄 *=2.4 越前町江波 *=2.3 越前町織田 *=2.3 永平寺町松岡春日 *=2.3 南越前町東大道 *=2.2 福井坂井市春江町随心寺 *=2.2 大野市天神町 *=2.2 福井坂井市丸岡町西里丸岡 *=2.1 あわら市市姫 *=2.0 鯖江市西山町 *=1.9 南越前町今庄 *=1.8 あわら市国影 *=1.8 福井坂井市三国町中央=1.7 永平寺町東古市 *=1.7 1 福井市小羽町 *=1.4 勝山市旭町=1.3 越前町道口 *=1.2 南越前町河野 *=1.2 敦賀市松栄町=1.2 大野市朝日 *=1.1 大野市川合 *=0.9 福井坂井市三国町錦 *=0.9 高浜町宮崎=0.9 小浜市四谷町 *=0.5 2 加賀市山中温泉湯の出町 *=1.6 1 加賀市大聖寺南町 *=1.4 小松市小馬出町=1.3 能美市来丸町 *=1.2 加賀市直下町=0.9 七尾市本府中町=0.8 白山市美川浜町 *=0.7 白山市河内町口直海 *=0.7 川北町巻ヶ屋 *=0.7 津幡町加賀爪=0.7 七尾市田鶴浜町=0.6 白山市倉光 *=0.6 輪島市門前町走出=0.6 2 亀山市西丸町 *=1.5 1 鈴鹿市神戸 *=1.0 津市安濃町東観音寺 *=1.0 亀山市本丸町 *=0.8 鈴鹿市西条=0.8 津市島崎町=0.7 1 泰阜村役場 *=0.7 松本市丸の内 *=0.6 長野高森町下市田 *=0.5 清内路村役場 *=0.5 1 揖斐川町東杉原 *=1.1 岐阜山県市高木 *=1.0 郡上市八幡町旭 *=0.8 岐阜山県市谷合 *=0.8 関ヶ原町関ヶ原 *=0.6 揖斐川町谷汲 *=0.6 本巣市文殊 *=0.5 1 豊田市小原町 *=1.3 常滑市新開町=0.7 知多市八幡 *=0.7 西尾市矢曾根町 *=0.6 愛知三好町三好 *=0.5 新城市作手高里 *=0.5 豊田市小坂町 *=0.5 安城市横山町 *=0.5 1 西浅井町大浦 *=1.3 木之本町木之本 *=1.2 余呉町中之郷 *=1.1 竜王町小口 *=1.0 甲賀市信楽町 *=0.9 甲賀市甲賀町大久保 *=0.8 甲賀市土山町 *=0.8 彦根市城町=0.8 近江八幡市桜宮町=0.8 東近江市市子川原町 *=0.7 滋賀日野町河原 *=0.7 湖南市中央森北公園 *=0.7 守山市吉身 *=0.6 湖南市中央東庁舎 *=0.6 東近江市上二俣町 *=0.6 1 京丹後市久美浜町広瀬 *=1.4 京丹後市網野町 *=1.3 与謝野町加悦町 *=1.2 京丹後市峰山町 *=0.8 八幡市八幡 *=0.8 福知山市大江町河守 *=0.6 伊根町亀島 *=0.6 京丹後市弥栄町溝谷 *=0.6 久御山町田井 *=0.6 与謝野町岩滝 *=0.5 1 四条畷市中野 *=0.5 島本町若山台 *=0.5 1 豊岡市竹野町 *=0.9 豊岡市桜町=0.8 豊岡市中央町 *=0.8 西脇市黒田庄町喜多 *=0.7 豊岡市日高町 *=0.6 加西市北条町 *=0.6 養父市広谷 *=0.5 朝来市和田山町枚田=0.5 丹波市春日町 *=0.5 丹波市市島町 *=0.5 1 奈良市半田開町=0.6 田原本町役場 *=0.6 高取町観音寺 *=0.5

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
76	21 16 01	鳥取県 1 鳥取市鹿野町鹿野小学校 *=0.9 鳥取市吉方=0.5 福井県嶺北 福井県 3 福井池田町稲荷 *=3.0 越前市粟田部 *=2.6 2 大野市天神町 *=2.4 越前町西田中 *=2.3 福井市美山町 *=2.2 福井市豊島=2.2 永平寺町栗住波 *=2.2 福井市大手 *=2.2 福井市板垣 *=2.0 永平寺町松岡春日 *=2.0 越前市村国 *=2.0 福井坂井市坂井町下新庄 *=2.0 南越前町東大道 *=1.8 越前市高瀬=1.7 あわら市市姫 *=1.6 福井坂井市春江町随心寺 *=1.5 あわら市国影 *=1.5 大野市朝日 *=1.5 1 勝山市旭町=1.4 越前町江波 *=1.3 福井坂井市三国町中央=1.3 福井坂井市丸岡町西里丸岡 *=1.3 永平寺町東古市 *=1.3 越前町織田 *=1.2 南越前町今庄 *=1.1 大野市川合 *=0.9 福井坂井市三国町錦 *=0.7 鯖江市西山町 *=0.7 岐阜県 2 揖斐川町東津波 *=1.6 1 揖斐川町東杉原 *=1.4 本巣市根尾 *=1.1 郡上市八幡町旭 *=1.1 高山市荘川町 *=1.0 揖斐川町西横山 *=0.7 岐阜山県市谷合 *=0.6 郡上市大和町 *=0.5 郡上市和良町 *=0.5 石川県 1 小松市小馬出町=1.2 加賀市山中温泉湯の出町 *=1.1 能美市来丸町 *=0.9 加賀市大聖寺南町 *=0.8 白山市河内町口直海 *=0.7 加賀市直下町=0.7 七尾市本府中町=0.7 小松市向本折町 *=0.7 白山市美川浜町 *=0.7 川北町壱ツ屋 *=0.5 七尾市田鶴浜町=0.5 長野県 1 泰阜村役場 *=0.9 長野高森町下市田 *=0.8 清内路村役場 *=0.7 王滝村役場 *=0.6 下條村睦沢 *=0.6 飯田市高羽町=0.5 愛知県 1 豊田市小原町 *=1.1 知多市八幡 *=0.5 三重県 1 亀山市西丸町 *=1.0 滋賀県 1 甲賀市土山町 *=0.7	35°56.3' N	136°20.9' E	7km	M: 4.2
77	21 18 51	福井県嶺北 福井県 1 越前市粟田部 *=0.7	35°56.2' N	136°21.0' E	7km	M: 2.9
78	21 21 50	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 3 大口市鳥巣 *=2.6 2 大口市山野=1.9 さつま町宮之城保健センタ *=1.8 薩摩川内市祁答院町 *=1.5 1 蒲生町上久徳 *=0.7 さつま町宮之城屋地=0.7 霧島市鹿児島空港=0.7 鹿児島出水市緑町 *=0.5 霧島市隼人町内山田=0.5 熊本県 1 人吉市城本町=1.0 球磨村渡 *=0.9 八代市坂本町 *=0.8 人吉市蟹作町 *=0.5	32°04.9' N	130°32.4' E	7km	M: 3.5
79	22 01 16	釧路沖 北海道 2 浜中町霧多布 *=1.5 根室市厚床 *=1.5 1 根室市牧の内 *=1.1 根室市落石東 *=1.0 別海町本別海 *=0.6	42°52.2' N	145°30.8' E	44km	M: 4.3
80	22 07 05	沖縄本島北西沖 沖縄県 2 渡名喜村渡名喜 *=2.3 座間味村座間味 *=2.0 久米島町謝名堂=2.0 国頭村辺土名 *=1.9 久米島町比嘉 *=1.9 糸満市潮崎町 *=1.7 粟国村浜=1.6 本部町役場 *=1.6 名護市港 *=1.5 南城市知念久手堅 *=1.5 今帰仁村仲宗根 *=1.5 久米島町山城=1.5 国頭村奥=1.5 1 渡嘉敷村渡嘉敷 *=1.4 中城村当間 *=1.3 西原町嘉手苜 *=1.3 恩納村恩納 *=1.3 うるま市みどり町 *=1.3 沖縄市仲宗根町 *=1.2 豊見城市翁長 *=1.2 与那原町上与那原 *=1.2 読谷村座喜味=1.2 宜野湾市野嵩 *=1.2 南城市玉城富里 *=1.2 久米島町仲泊 *=1.2 那覇市港町 *=1.1 北谷町桑江 *=1.1 浦添市安波茶 *=1.0 那覇市那覇空港=1.0 北中城村喜舎場 *=0.9 南風原町兼城 *=0.9 東村平良 *=0.9 那覇市樋川=0.8 南城市玉城前川=0.8 大宜味村大兼久 *=0.8 宜野座村宜野座 *=0.8 名護市宮里=0.6 嘉手納町嘉手納 *=0.6 鹿児島県 1 与論町茶花 *=1.0	26°52.6' N	126°50.9' E	107km	M: 5.1
81	22 17 51	房総半島南方沖 東京都 2 三宅村神着=2.1 伊豆大島町岡田 *=1.9 1 伊豆大島町波浮港 *=1.4 八丈町三根=1.4 三宅村坪田=1.2 新島村本村 *=1.0 御蔵島村=1.0 神津島村金長=1.0 八丈町大賀郷金土川 *=1.0 八丈町大賀郷西見=0.8 東京千代田区大手町=0.7 伊豆大島町元町=0.7 伊豆大島町差木地=0.7 新島村式根島=0.7 東京利島村=0.6 静岡県 2 東伊豆町奈良本 *=1.9 1 伊豆の国市長岡(旧) *=1.2 熱海市網代=0.5 千葉県 1 君津市久留里市場 *=1.0 館山市長須賀=1.0 鴨川市横渚 *=0.9 市原市姉崎 *=0.9 勝浦市墨名=0.7 鴨川市八色=0.7 南房総市白浜町白浜 *=0.7 神奈川県 1 相模原市田名 *=0.8 横浜中区山手町=0.7 横須賀市光の丘=0.6 真鶴町真鶴 *=0.5 清川村燻ヶ谷 *=0.5 三浦市城山町 *=0.5	34°23.2' N	140°23.2' E	87km	M: 4.5
82	22 19 39	福島県会津 福島県 3 只見町只見 *=2.5 2 南会津町界 *=1.5 福島金山町川口 *=1.5 1 檜枝岐村上河原 *=1.4 南会津町松戸原 *=1.3 南会津町山口 *=1.2 南会津町古町 *=0.9 西会津町野沢=0.9 福島昭和村下中津川 *=0.8 檜枝岐村下ノ原 *=0.8 南会津町田島=0.6 下郷町高崎 *=0.5 新潟県 3 魚沼市須原 *=3.0 魚沼市六沢 *=2.6 2 長岡市山古志竹沢 *=2.4 魚沼市今泉 *=2.4 魚沼市堀之内 *=2.1 阿賀町豊川 *=1.9 十日町市上山 *=1.7 魚沼市小出島 *=1.6 魚沼市大沢 *=1.5 上越市安塚区安塚 *=1.5 1 長岡市小国町法坂 *=1.4 長岡市千手 *=1.3 小千谷市城内=1.3 川口町川口 *=1.3 魚沼市米沢=1.3 阿賀町津川 *=1.2 新発田市乙次 *=1.1 阿賀町鹿瀬中学校 *=1.1 長岡市幸町=1.1 阿賀町白崎 *=1.1 南魚沼市浦佐 *=0.9 南魚沼市六日町=0.8 十日町市千歳町 *=0.8 阿賀野市畑江=0.8	37°13.8' N	139°17.5' E	5km	M: 4.4

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		十日町市松代(旧)*=0.8 刈羽村割町新田(旧3)=0.8 関川村下関*=0.7 南魚沼市塩沢小学校*=0.7 南魚沼市塩沢庁舎*=0.7 見附市昭和町*=0.7 三条市荻堀*=0.6 出雲崎町米田=0.6 上越市大手町=0.6 五泉市愛宕甲*=0.5 群馬県 2 沼田市利根町*=1.6 1 みなかみ町鹿野沢*=1.0 沼田市下久屋町*=0.8 片品村東小川=0.7 安中市安中*=0.6 栃木県 1 茂木町小井戸*=0.5				
83	23 01 04	茨城県沖 茨城県 1 茨城鹿嶋市宮中*=1.3 ひたちなか市南神敷台*=0.6	36°05.3' N	140°52.4' E	41km	M: 3.3
84	23 02 48	大隅半島東方沖 宮崎県 2 南郷町南町*=1.6 串間市都井*=1.5 1 日南市吾田東*=1.2 日南市油津=1.1 日南市中央通*=1.0 串間市奈留=0.9 北郷町郷之原*=0.9 都城市姫城町*=0.7 都城市菫浦原=0.6 宮崎市田野町体育館*=0.5 鹿児島県 1 大崎町仮宿*=1.4 錦江町田代支所*=1.0 南大隅町佐多伊座敷*=1.0 鹿屋市新栄町=0.9 志布志市志布志町志布志=0.8 鹿児島市東都元=0.7 鹿児島市喜入町*=0.6 肝付町北方*=0.6 曾於市大隅町中之内*=0.5 垂水市田神*=0.5	31°19.8' N	131°41.9' E	24km	M: 4.4
85	23 02 49	大隅半島東方沖 宮崎県 2 宮崎市橋通東*=2.3 南郷町南町*=2.1 日南市中央通*=1.6 日南市吾田東*=1.5 日南市油津=1.5 串間市都井*=1.5 1 高鍋町上江*=1.4 都城市姫城町*=1.3 宮崎市霧島=1.2 宮崎市高岡町内山*=1.2 北郷町郷之原*=1.2 都城市菫浦原=1.2 西都市聖陵町*=1.2 宮崎都農町役場*=1.2 串間市奈留=1.1 川南町川南*=1.0 小林市真方=1.0 宮崎市田野町体育館*=0.9 新富町上富田=0.9 高千穂町三田井=0.9 延岡市古城町*=0.9 綾町南俣健康センター*=0.8 西都市上の宮*=0.8 椎葉村総合運動公園*=0.5 鹿児島県 2 大崎町仮宿*=1.9 霧島市国分中央*=1.6 肝付町新富*=1.5 1 錦江町田代支所*=1.3 鹿屋市新栄町=1.2 垂水市田神*=1.2 鹿屋市礼元*=1.1 霧島市鹿児島空港=1.1 南大隅町佐多伊座敷*=1.1 鹿児島市東都元=1.0 霧島市隼人町内山田=1.0 志布志市志布志町志布志=1.0 曾於市大隅町中之内*=0.9 鹿児島市喜入町*=0.8 錦江町田代麓=0.7 肝付町北方*=0.5 熊本県 1 人吉市城本町=0.7 大分県 1 佐伯市中村南=0.8	31°19.8' N	131°41.1' E	21km	M: 4.8
86	23 18 53	青森県東方沖 青森県 3 東通村小田野沢*=2.7 東通村砂子又*=2.6 2 階上町道仏*=2.2 野辺地町田狭沢*=1.9 青森南部町平*=1.9 八戸市湊町=1.8 平内町小湊=1.7 八戸市内丸*=1.6 野辺地町野辺地*=1.6 六ヶ所村尾駮=1.6 八戸市南郷区*=1.5 1 五戸町古館=1.4 むつ市金曲=1.4 青森南部町苦米地*=1.3 七戸町森ノ上*=1.3 三沢市桜町*=1.3 東北町上北南*=1.2 東北町塔ノ沢山*=1.2 むつ市金谷*=1.2 むつ市大畑町中島*=1.2 五戸町倉石中市*=1.2 横浜町林ノ脇*=1.1 東通村尻屋*=1.0 おいらせ町上明堂*=1.0 青森南部町沖田面*=1.0 七戸町七戸*=0.9 おいらせ町中下田*=0.9 十和田市奥瀬*=0.9 外ヶ浜町蟹田*=0.8 大間町大間*=0.8 六戸町犬落瀬*=0.7 十和田市西十二番町*=0.7 むつ市川内町*=0.7 横浜町寺下*=0.7 八戸市島守=0.6 平内町東田沢*=0.5 北海道 2 函館市泊町*=1.5 1 えりも町えりも岬*=1.1 函館市新浜町*=1.1 様似町栄町*=1.1 函館市日ノ浜町*=0.9 浦河町潮見=0.8 千歳市若草*=0.8 新ひだか町静内ときわ町=0.6 恵庭市京町*=0.5 千歳市新千歳空港=0.5 浦河町築地*=0.5 千歳市北栄=0.5 岩手県 2 岩手洋野町大野*=2.1 軽米町軽米*=1.6 1 盛岡市玉山区薮川*=1.4 二戸市福岡=1.2 二戸市石切所*=1.2 岩手洋野町種子=1.1 二戸市浄法寺町*=1.1 八幡平市田頭*=1.0 北上市二子町*=0.9 久慈市川崎町=0.6 山田町大沢*=0.6 川井村田代*=0.6 葛巻町葛巻元木=0.6 釜石市中妻町*=0.5 宮古市五月町*=0.5 川井村川井*=0.5	41°29.9' N	142°02.4' E	64km	M: 4.5
87	23 20 00	奈良県 奈良県 1 十津川村平谷*=0.9 和歌山県 1 田辺市本宮町本宮*=0.6 新宮市新宮=0.6	34°17.4' N	135°44.9' E	65km	M: 3.2
88	24 19 39	栃木県北部 栃木県 4 那須塩原市塩原庁舎*=3.5 3 那須塩原市中塩原*=3.0 那須塩原市墓沼=2.5 2 茂木町小井戸*=1.6 1 那須塩原市あたご町*=1.2 那須町寺子*=1.1 那須塩原市共墾社*=1.1 宇都宮市中里町*=0.9 大田原市湯津上*=0.7 矢板市本町*=0.6 茂木町茂木*=0.5 福島県 1 白河市新白河*=1.1 白河市郭内=1.1 南会津町田島=0.9 南会津町滝原*=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 下郷町塩生*=0.8 下郷町高崎*=0.5 浅川町浅川*=0.5 茨城県 1 鉾田市当間*=1.1 常陸大宮市山方*=0.8 土浦市大岩田=0.7 土浦市下高津*=0.7 つくば市谷田部*=0.7 常陸太田市高柿町*=0.7 かすみがうら市上土田*=0.5	36°59.1' N	139°49.0' E	8km	M: 3.6
89	25 05 32	新潟県中越地方 新潟県 1 小千谷市城内=1.2 川口町川口*=1.0 長岡市千手*=0.6	37°18.6' N	138°52.4' E	14km	M: 2.8
90	25 06 54	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町湯浅*=1.0 有田川町下津野*=0.9 有田川町金屋*=0.9 由良町里*=0.6 紀美野町下佐々*=0.5	34°03.4' N	135°17.3' E	9km	M: 2.8

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
91	25 23 04	宮城県沖 岩手県	38°29.0' N	142°09.2' E	40km	M: 5.6
		3 北上市二子町 *≈3.0 釜石市中妻町 *≈2.9 陸前高田市高田町 *≈2.8 大槌町新町 *≈2.6 大船渡市大船渡町=2.6 一関市千厩町 *≈2.5 一関市室根町 *≈2.5				
		2 奥州市衣川区 *≈2.4 大船渡市猪川町=2.3 釜石市只越町=2.3 盛岡市玉山区薮川 *≈2.3 矢巾町南矢幅 *≈2.3 藤沢町藤沢 *≈2.2 盛岡市山王町=2.1 一関市花泉町 *≈2.1 山田町大沢 *≈2.1 奥州市前沢区 *≈2.1 盛岡市玉山区洪民 *≈2.1 遠野市宮守町 *≈2.0 一関市舞川=2.0 一関市山目 *≈2.0 平泉町平泉 *≈2.0 二戸市福岡=2.0 奥州市江刺区 *≈2.0 普代村銅屋 *≈2.0 奥州市胆沢区 *≈2.0 遠野市松崎町 *≈2.0 住田町世田米 *≈1.9 野田村野田 *≈1.9 八幡平市田頭 *≈1.9 八幡平市野駄 *≈1.9 岩手洋野町大野 *≈1.9 金ヶ崎町西根 *≈1.9 花巻市大迫町=1.9 北上市柳原町=1.9 花巻市材木町 *≈1.8 川井村田代 *≈1.8 宮古市五月町 *≈1.8 花巻市石鳥谷町 *≈1.8 奥州市水沢区佐倉河 *≈1.7 宮古市鎌ヶ崎=1.7 大船渡市盛町 *≈1.7 滝沢村鶏飼 *≈1.7 一戸町高善寺 *≈1.7 二戸市浄法寺町 *≈1.6 岩手町五日市 *≈1.6 川井村川井 *≈1.6 一関市大東町=1.6 一関市川崎町 *≈1.6 紫波町日詰 *≈1.6 宮古市田老 *≈1.6 山田町八幡町=1.6 八幡平市大更=1.5 奥州市水沢区大鐘町=1.5 宮古市茂市 *≈1.5 盛岡市馬場町 *≈1.5				
		1 宮古市長沢=1.4 軽米町軽米 *≈1.4 花巻市大迫総合支所 *≈1.4 九戸村伊保内 *≈1.3 西和賀町沢内川舟 *≈1.3 久慈市川崎町=1.2 雫石町千刈田=1.2 葛巻町葛巻元木=1.2 八幡平市吹田 *≈1.2 二戸市石切所 *≈1.1 西和賀町沢内太田 *≈1.1 西和賀町川尻 *≈1.1 久慈市長内町 *≈1.0 岩手洋野町種中=1.0 一関市東山町 *≈1.0 岩泉町岩泉 *≈0.9 田野畑村田野畑=0.7				
		宮城県				
		3 南三陸町歌津 *≈3.0 石巻市桃生町 *≈2.9 涌谷町新町=2.7 石巻市門脇 *≈2.7 栗原市金成 *≈2.7 東松島市矢本 *≈2.7 大崎市古川三日町=2.6 大崎市田尻 *≈2.6 塩竈市旭町 *≈2.6 気仙沼市笹が陣 *≈2.6 岩沼市桜 *≈2.5 石巻市泉町=2.5 登米市迫町 *≈2.5 登米市南方町 *≈2.5 東松島市小野 *≈2.5 気仙沼市赤岩=2.5				
		2 気仙沼市唐桑町 *≈2.4 栗原市栗駒=2.4 登米市中田町=2.4 登米市米山町 *≈2.4 大崎市古川北町 *≈2.4 名取市増田 *≈2.4 石巻市北上町 *≈2.4 宮城美里町木間塚 *≈2.3 宮城川崎町前川 *≈2.3 栗原市若柳 *≈2.3 石巻市前谷地 *≈2.3 栗原市志波姫 *≈2.3 大崎市鹿島台 *≈2.2 栗原市築館 *≈2.2 蔵王町円田 *≈2.2 大河原町新南 *≈2.2 登米市豊里町(旧) *≈2.2 宮城加美町中新田 *≈2.2 南三陸町志津川=2.2 大郷町粕川 *≈2.2 栗原市高清水 *≈2.2 山元町浅生原 *≈2.1 仙台青葉区作並 *≈2.1 仙台宮城野区苦竹 *≈2.1 宮城美里町北浦 *≈2.1 栗原市一迫 *≈2.1 栗原市瀬峰 *≈2.1 大崎市松山 *≈2.1 色麻町四竈 *≈2.0 石巻市相野谷 *≈2.0 利府町利府 *≈2.0 大衡村大衡 *≈2.0 女川町女川浜 *≈2.0 角田市角田 *≈2.0 登米市東和町 *≈2.0 丸森町鳥屋 *≈2.0 亶理町下小路 *≈2.0 仙台泉区将監 *≈1.9 石巻市鮎川浜 *≈1.9 登米市登米町 *≈1.9 大崎市鳴子 *≈1.9 仙台青葉区大倉=1.9 宮城加美町小野田 *≈1.8 本吉町津谷 *≈1.8 大崎市岩出山 *≈1.8 栗原市鶯沢 *≈1.8 仙台青葉区落合 *≈1.8 仙台宮城野区五輪=1.8 柴田町船岡=1.7 仙台若林区遠見塚 *≈1.7 石巻市大瓜=1.7 栗原市花山 *≈1.7 白石市亶理町 *≈1.6 村田町村田 *≈1.6 大和町吉岡 *≈1.5 仙台青葉区雨宮 *≈1.5 石巻市雄勝町 *≈1.5 大崎市三本木 *≈1.5 七ヶ浜町東宮浜 *≈1.5				
		1 宮城加美町宮崎 *≈1.4 仙台太白区山田 *≈1.4 松島町松島=1.4 富谷町富谷 *≈1.4 登米市石越町 *≈1.2 七ヶ宿町関 *≈1.1 丸森町上滝=1.0 登米市津山町 *≈0.9 多賀城市中央 *≈0.9				
		福島県				
		3 川俣町五百田 *≈2.6 田村市大越町 *≈2.5 葛尾村落合関下 *≈2.5				
		2 相馬市中村 *≈2.4 南相馬市鹿島区 *≈2.4 国見町藤田 *≈2.2 玉川村小高 *≈2.2 田村市都路町 *≈2.1 福島伊達市霊山町 *≈2.1 楡葉町北田 *≈2.1 新地町谷地小屋 *≈2.1 郡山市朝日=2.0 郡山市開成 *≈2.0 郡山市湖南町 *≈2.0 二本松市油井 *≈2.0 二本松市針道 *≈2.0 田村市薄根町 *≈2.0 いわき市三和町=2.0 南相馬市小高区 *≈2.0 白河市表郷 *≈1.9 須賀川市八幡山 *≈1.9 須賀川市岩瀬支所 *≈1.9 本宮市糠沢 *≈1.9 福島広野町下北迫大谷地原 *≈1.9 浪江町幾世橋=1.9 福島市五老内町 *≈1.9 鏡石町不時沼 *≈1.8 古殿町松川 *≈1.8 田村市船引町=1.8 田村市常葉町 *≈1.8 本宮市本宮 *≈1.8 須賀川市八幡町 *≈1.8 二本松市郭内 *≈1.8 富岡町本岡 *≈1.8 大熊町下野上 *≈1.8 飯館村伊丹沢 *≈1.8 南相馬市原町区高見町 *≈1.8 桑折町東大隅 *≈1.8 会津若松市古川町 *≈1.8 浅川町浅川 *≈1.7 双葉町新山 *≈1.7 福島伊達市前川原 *≈1.7 福島伊達市保原町 *≈1.7 福島市松木町=1.7 猪苗代町千代田 *≈1.7 福島伊達市梁川町 *≈1.6 白河市東 *≈1.6 福島伊達市月館町 *≈1.6 いわき市平梅本 *≈1.6 天栄村下松本 *≈1.6 泉崎村泉崎 *≈1.6 南相馬市原町区三島町=1.6 平田村永田 *≈1.6 福島市桜木町 *≈1.6 小野町小野新町 *≈1.6 白河市新白河 *≈1.6 福島広野町下北迫苗代替 *≈1.5 矢吹町一本木 *≈1.5 棚倉町棚倉中居野=1.5				
		1 大玉村玉井 *≈1.4 小野町中通 *≈1.4 いわき市平四ツ波 *≈1.4 南相馬市原町区本町 *≈1.4 いわき市小名浜=1.3 いわき市錦町 *≈1.3 川内村下川内=1.3 川内村上川内小山平 *≈1.3 大熊町野上 *≈1.3 葛尾村落合落合 *≈1.3 白河市郭内=1.3 二本松市金色 *≈1.3 飯野町飯野 *≈1.3 猪苗代町城南=1.2 西郷村熊倉 *≈1.2 石川町下泉 *≈1.2 大玉村曲藤=1.1 三春町大町 *≈1.1 須賀川市長沼支所 *≈1.1 矢祭町東館本 *≈1.0 棚倉町棚倉館ヶ丘 *≈0.9 白河市大信 *≈0.8 二本松市小浜 *≈0.7 南会津町田島=0.6 矢祭町東館下上野内 *≈0.6				
		青森県				
		2 階上町道仏 *≈2.0 八戸市南郷区 *≈1.7 おいらせ町中下田 *≈1.6 東通村小田野沢 *≈1.6 五戸町古館=1.6 東北町上北南 *≈1.6 八戸市内丸 *≈1.5 青森南部町平 *≈1.5 青森南部町苦米地 *≈1.5 七戸町森ノ上 *≈1.2 六戸町犬落瀬 *≈1.2 おいらせ町上明堂 *≈1.2 八戸市湊町=1.2 七戸町七戸 *≈1.2 田子町田子 *≈1.0 十和田市西十二番町 *≈1.0 五戸町倉石中市 *≈1.0 東通村砂子又 *≈0.9 野辺地町野辺地 *≈0.8 三沢市桜町 *≈0.8 外ヶ浜町蟹田 *≈0.6 八戸市島守=0.5 東北町塔ノ沢山 *≈0.5 十和田市奥瀬 *≈0.5				
		秋田県				
		2 秋田市雄和妙法 *≈1.5 大仙市刈和野 *≈1.5				
		1 由利本荘市前郷 *≈1.3 大仙市高梨 *≈1.3 井川町北川尻 *≈1.2 三種町豊岡 *≈1.2 大仙市北長野 *≈1.1 仙北市西木町上松木内 *≈1.1 秋田市河辺和田 *≈1.1 横手市大雄 *≈1.1 湯沢市沖鶴=0.9 湯沢市川連町 *≈0.9 羽後町西馬音内 *≈0.9 東成瀬村椿川 *≈0.9 東成瀬村田子内 *≈0.9 由利本荘市西目町沼田 *≈0.9 にかほ市平沢 *≈0.9 横手市平鹿町浅舞 *≈0.8 由利本荘市矢島町矢島町 *≈0.8 秋田美郷町六郷東根=0.8 大仙市神宮寺 *≈0.8 秋田市消防庁舎 *≈0.8 仙北市角館町東勝楽丁=0.8 仙北市田沢湖生保内宮ノ後 *≈0.8 能代市上町 *≈0.7 横手市大森町 *≈0.7 秋田美郷町土崎 *≈0.7 秋田市雄和女米木=0.7 五城目町西磯ノ目=0.7 大仙市協和境野田 *≈0.7 由利本荘市岩谷町 *≈0.7 大仙市太田町太田 *≈0.7 横手市雄物川町今宿=0.7				

地震番号	震源時日 時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>仙北市田沢湖生保内上清水 * =0.7 仙北市角館町小勝田 * =0.7 秋田美郷町飯詰 * =0.6 大仙市南外 * =0.6 横手市中心町 * =0.6 由利本荘市尾崎 * =0.5 横手市十文字町 * =0.5 由利本荘市岩城内道川 * =0.5 仙北市西木町上荒井 * =0.5</p> <p>山形県 2 中山町長崎 * =2.2 村山市中央 * =2.0 天童市老野森 * =1.6 米沢市林泉寺 * =1.6 酒田市飛鳥 * =1.5 東根市中央 * =1.5 河北町谷地=1.5</p> <p>1 遊佐町遊佐=1.3 酒田市亀ヶ崎=1.2 戸沢村古口 * =1.1 西川町大井沢 * =1.0 米沢市駅前=1.0 山形小国町岩井沢=1.0 大蔵村肘折 * =1.0 新庄市東谷地田町=0.9 寒河江市寒河江 * =0.8 鶴岡市道田町 * =0.7 新庄市沖の町 * =0.7 山形市緑町=0.6 白鷹町黒鴨=0.5</p> <p>茨城県 2 日立市役所 * =1.7 常陸太田市金井町 * =1.7 常陸太田市高柿町 * =1.6 常陸大宮市野口 * =1.6 笠間市石井 * =1.5 笠間市中央 * =1.5 鉾田市当間 * =1.5</p> <p>1 日立市十王町友部 * =1.4 高萩市安良川 * =1.4 茨城町小堤 * =1.4 那珂市瓜連 * =1.4 石岡市八郷 * =1.4 桜川市真壁 * =1.4 水戸市金町=1.3 城里町石塚 * =1.3 小美玉市上玉里 * =1.3 石岡市柿岡=1.3 石岡市石岡 * =1.3 稲敷市役所 * =1.3 筑西市舟生=1.3 ひたちなか市南神敷台 * =1.2 大子町池田 * =1.2 常陸大宮市山方 * =1.2 那珂市福田 * =1.2 城里町阿波山 * =1.2 つくば市谷田部 * =1.2 桜川市岩瀬 * =1.2 小美玉市小川 * =1.1 土浦市藤沢 * =1.1 水戸市中央 * =1.1 水戸市内原町 * =1.1 小美玉市堅倉 * =1.0 土浦市下高津 * =1.0 高萩市本町 * =1.0 北茨城市磯原町 * =1.0 筑西市門井 * =1.0 常陸大宮市北町 * =1.0 鉾田市汲上 * =1.0 水戸市千波町 * =1.0 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 かつみがうら市上土田 * =0.9 桜川市羽田 * =0.9 鉾田市鉾田=0.9 土浦市大岩田=0.9 ひたちなか市東石川 * =0.9 つくば天王台 * =0.9 常陸太田市町田町 * =0.8 常陸大宮市中富町=0.8 鉾田市造谷 * =0.8 坂東市岩井=0.7 稲敷市江戸崎甲 * =0.7 常陸大宮市上小瀬 * =0.7 常陸太田市大中町 * =0.7 茨城鹿嶋市宮中 * =0.6 常陸太田市町屋町=0.6</p> <p>栃木県 2 大田原市湯津上 * =1.8 茂木町小井戸 * =1.8 那須町寺子 * =1.5 高根沢町石末 * =1.5 1 市貝町市塙 * =1.3 那須烏山市中央=1.2 宇都宮市明保野町=1.1 鹿沼市晃望台 * =1.1 栃木二宮町石島 * =1.1 益子町益子=1.0 真岡市田町 * =0.9 栃木那珂川町馬頭 * =0.9 那須塩原市鍋掛 * =0.8 小山市神鳥谷 * =0.8 宇都宮市中里町 * =0.7 大田原市黒羽田町=0.7 日光市中宮祠=0.5</p> <p>群馬県 1 邑楽町中野 * =1.0 群馬明和町新里 * =0.9 館林市城町 * =0.8 群馬千代田町赤岩 * =0.7 高崎市高松町 * =0.5 桐生市元宿町 * =0.5</p> <p>埼玉県 1 春日部市谷原新田 * =1.2 熊谷市大里 * =1.0 加須市下三俣 * =0.8 久喜市下早見=0.8 川島町平沼 * =0.8 行田市本丸 * =0.7 吉見町下細谷 * =0.7 さいたま大宮区天沼町 * =0.7 行田市南河原 * =0.6</p> <p>千葉県 1 成田市花崎町=1.0 香取市佐原諏訪台 * =0.5</p> <p>東京都 1 東京荒川区東尾久 * =0.8 東京江東区森下 * =0.7 町田市中町 * =0.7 東京千代田区大手町=0.6 東京足立区神明南 * =0.6</p> <p>神奈川県 1 横浜中区山手町=0.5 中井町比奈窪 * =0.5</p> <p>新潟県 1 刈羽村割町新田(旧3) =0.5</p> <p>長野県 1 長野南牧村海ノ口 * =0.7</p>				
92	26 02 01	留萌支庁中北部 北海道 1 初山別村初山別 * =0.9 羽幌町南3条=0.6	44 ° 31.4 ' N	141 ° 49.2 ' E	19km	M: 3.1
93	26 08 38	宮城県沖 岩手県 3 陸前高田市高田町 * =2.6 2 北上市二子町 * =2.4 大船渡市大船渡町=2.1 一関市室根町 * =2.0 奥州市衣川区 * =1.9 釜石市中妻町 * =1.9 藤沢町藤沢 * =1.8 盛岡市玉山区菟川 * =1.7 大槌町新町 * =1.7 一関市千蔵町 * =1.7 一関市花泉町 * =1.6 1 大船渡市猪川町=1.4 矢巾町南矢幅 * =1.4 北上市柳原町=1.4 奥州市江刺区 * =1.4 奥州市前沢区 * =1.4 奥州市胆沢区 * =1.4 花巻市材木町 * =1.3 花巻市大迫町=1.3 遠野市松崎町 * =1.3 一関市山目 * =1.3 平泉町平泉 * =1.3 花巻市石鳥谷町 * =1.2 金ヶ崎町西根 * =1.2 二戸市福岡=1.2 岩手洋野町大野 * =1.2 盛岡市山王町=1.2 遠野市宮守町 * =1.2 川井村田代 * =1.1 釜石市只越町=1.1 山田町大沢 * =1.0 一関市舞川=1.0 住田町世田米 * =1.0 大船渡市盛町 * =1.0 奥州市水沢区佐倉河 * =1.0 滝沢村鶴飼 * =1.0 八幡平市田頭 * =1.0 宮古市五月町 * =0.9 紫波町日詰 * =0.9 八幡平市野駄 * =0.9 西和賀町沢内川舟 * =0.9 盛岡市馬場町 * =0.8 宮古市田老 * =0.8 岩手町五日市 * =0.8 一関市大東町=0.8 川井村川井 * =0.7 宮古市鎌ヶ崎=0.7 八幡平市大更=0.6 花巻市大迫総合支所 * =0.6 葛巻町葛巻元木=0.6 西和賀町沢内太田 * =0.6 奥州市水沢区大鐘町=0.6 雫石町刈田=0.5 山田町八幡町=0.5	38 ° 24.1 ' N	142 ° 17.2 ' E	36km	M: 4.6
		宮城県 2 気仙沼市笹か陣 * =2.3 気仙沼市赤岩=2.1 石巻市桃生町 * =2.1 気仙沼市唐桑町 * =1.9 南三陸町歌津 * =1.9 石巻市北上町 * =1.8 涌谷町新町=1.7 石巻市門脇 * =1.7 東松島市矢本 * =1.7 大崎市田尻 * =1.6 栗原市金成 * =1.6 南三陸町志津川=1.6 大崎市古川三日町=1.6 石巻市前谷地 * =1.5 栗原市栗駒=1.5 登米市米山町 * =1.5 1 栗原市志波姫 * =1.4 大崎市古川北町 * =1.4 登米市中田町=1.3 登米市迫町 * =1.3 登米市南方町 * =1.3 岩沼市桜 * =1.3 石巻市泉町=1.3 大郷町粕川 * =1.3 栗原市若柳 * =1.2 栗原市清水 * =1.2 栗原市一迫 * =1.2 登米市豊里町(旧) * =1.2 宮城美里町木間塚 * =1.2 大崎市鹿島台 * =1.2 名取市増田 * =1.2 仙台青葉区作並 * =1.2 本吉町津谷 * =1.2 塩竈市旭町 * =1.2 東松島市小野 * =1.2 栗原市築館 * =1.2 仙台宮城野区菅竹 * =1.1 大崎市松山 * =1.1 宮城美里町北浦 * =1.1 栗原市瀬峰 * =1.1 宮城川崎町前川 * =1.1 登米市東和町 * =1.0 蔵王町円田 * =1.0 色麻町四蔵 * =1.0 仙台青葉区大倉=1.0 大衡村大衡 * =1.0 宮城加美町中新田 * =0.9 石巻市相野谷 * =0.9 大崎市鳴子 * =0.9 仙台青葉区落合 * =0.8 仙台宮城野区五輪=0.8 栗原市鷺沢 * =0.8 石巻市大瓜=0.8 栗原市花山 * =0.7 登米市登米町 * =0.7 女川町女川浜 * =0.7 山元町浅生原 * =0.7 大崎市岩出山 * =0.7 柴田町船岡=0.6 亘理町下小路 * =0.6 石巻市鮎川浜 * =0.6 大和町吉岡 * =0.6 村田町村田 * =0.5 角田市角田 * =0.5 七ヶ浜町東宮浜 * =0.5				
		青森県 1 階上町道仏 * =1.0 八戸市湊町=0.7 五戸町古館=0.6 おいらせ町中下田 * =0.5 八戸市内丸 * =0.5				
		秋田県 1 大仙市高梨 * =0.6 仙北市西木町上桧木内 * =0.6 大仙市刈和野 * =0.5 大仙市北長野 * =0.5				
		福島県 1 相馬市中村 * =1.2 川俣町五百田 * =0.9 南相馬市鹿島区 * =0.9 二本松市針道 * =0.8 楡葉町北田 * =0.8				

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		田村市都路町* =0.7 新地町谷地小屋* =0.7 南相馬市原町区高見町* =0.7 田村市滝根町* =0.6 福島伊達市梁川町* =0.6 いわき市三和町=0.6 田村市船引町=0.5 飯館村伊丹沢* =0.5				
94	26 12 15	天草灘 熊本県 1 天草市天草町* =0.7	32° 17.3' N	129° 46.4' E	13km	M: 3.0
95	26 13 37	宮城県沖 宮城県 1 南三陸町歌津* =0.7	38° 38.4' N	141° 54.3' E	47km	M: 3.1
96	26 20 25	福井県嶺北 福井県 1 南越前町今庄* =0.6	35° 47.0' N	136° 08.8' E	10km	M: 2.6
97	27 18 43	和歌山県北部 和歌山県 1 紀美野町下佐々* =0.5	34° 12.0' N	135° 17.5' E	5km	M: 2.0
98	27 18 56	茨城県沖 栃木県 1 茂木町小井戸* =0.8	36° 34.4' N	141° 20.6' E	47km	M: 3.7
99	27 22 40	渡島支庁東部 北海道 2 七飯町本町* =2.0 渡島北斗市本町* =2.0 1 七飯町桜町=1.3 渡島北斗市中央* =0.8	41° 53.5' N	140° 40.6' E	10km	M: 2.8
100	28 00 21	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.6	34° 21.2' N	139° 13.8' E	8km	M: 1.8
101	28 02 27	奄美大島近海 鹿児島県 1 喜界町滝川=1.3 奄美市笠利町里* =0.6	27° 55.8' N	130° 10.7' E	54km	M: 3.8
102	28 10 51	浦河沖 北海道 2 浦河町潮見=2.2 浦河町築地* =2.1 函館市泊町* =1.8 函館市新浜町* =1.7 函館市川汲町* =1.5 新ひだか町静内ときわ町=1.5 新ひだか町三石旭町* =1.5 1 浦河町野深=1.3 函館市尾札部町=1.0 安平町追分柏が丘* =0.9 新ひだか町静内御幸町* =0.9 胆振伊達市大滝区本町* =0.8 様似町栄町* =0.8 登別市桜木町* =0.8 恵庭市京町* =0.7 幕別町忠類錦町* =0.7 登別市鉱山=0.7 七飯町本町* =0.5 えりも町えりも岬* =0.5 胆振伊達市梅本=0.5 千歳市若草* =0.5 函館市日ノ浜町* =0.5 青森県 2 東通村小田野沢* =1.6 1 東通村砂子又* =1.3 むつ市大畑町中島* =0.8 大間町大間* =0.8 佐井村佐井* =0.8 むつ市金曲=0.6 八戸市湊町=0.6 野辺地町野辺地* =0.6 七戸町森ノ上* =0.5 岩手県 1 岩手洋野町大野* =0.7	42° 01.2' N	142° 33.3' E	50km	M: 4.3
103	28 19 12	岩手県内陸北部 岩手県 2 二戸市石切所* =1.7 二戸市福岡=1.5 1 一戸町高善寺* =1.0 二戸市浄法寺町* =0.8 青森県 1 青森南部町平* =1.1	40° 14.0' N	141° 11.7' E	7km	M: 2.5
104	28 20 45	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 上天草市大矢野町=0.8	32° 30.8' N	130° 32.5' E	12km	M: 2.8
105	29 08 53	茨城県南部 茨城県 2 鉾田市当間* =1.5	35° 54.3' N	140° 15.0' E	41km	M: 3.1
106	29 17 05	福島県沖 福島県 2 葛尾村落合閣下* =1.7 葛尾村落合落合* =1.5 1 南相馬市原町区高見町* =1.4 田村市都路町* =1.3 田村市常葉町* =1.3 川俣町五百田* =1.3 浪江町幾世橋=1.1 新地町谷地小屋* =1.1 相馬市中村* =1.0 田村市船引町=0.9 二本松市針道* =0.9 川内村下川内=0.9 福島伊達市梁川町* =0.7 南相馬市鹿島区* =0.7 南相馬市原町区三島町=0.6 小野町中通* =0.6 いわき市三和町=0.5 宮城県 1 名取市増田* =1.1 岩沼市桜* =0.8 宮城川崎町前川* =0.7 柴田町船岡=0.6	37° 43.6' N	141° 01.3' E	82km	M: 3.6
107	29 21 50	和歌山県北部 和歌山県 1 紀の川市桃山町元* =1.2 紀の川市粉河=0.8 高野町高野山中学校=0.8 紀の川市那賀支所* =0.7 紀の川市西大井* =0.6	34° 13.8' N	135° 25.1' E	8km	M: 2.6
108	30 04 42	和歌山県北部 和歌山県 2 高野町高野山中学校=1.6 紀の川市桃山町元* =1.5 1 かつらぎ町丁ノ町* =1.3 紀の川市粉河=1.3 紀の川市那賀支所* =1.3 紀の川市西大井* =1.0 紀美野町下佐々* =0.9 紀の川市那賀総合センター* =0.7 橋本市東家* =0.7 岩出市西野* =0.6 橋本市高野口町名倉* =0.5 奈良県 1 五條市大塔町藤* =0.6	34° 13.9' N	135° 25.2' E	8km	M: 3.0
109	31 20 09	福島県沖 福島県 1 浪江町幾世橋=0.6	37° 31.6' N	141° 23.5' E	50km	M: 3.3

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
110	31 23 39	小笠原諸島西方沖 東京都 2 小笠原村母島=1.8 小笠原村父島三日月山=1.7 1 小笠原村父島西町=1.3	27° 31.2' N	140° 54.8' E	332km	M: 5.6

付表 2 . 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成 18 年（2006 年）12 月～平成 19 年（2007 年）12 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
2007年12月	66	33	9	2						110	静岡県西部（震度 2：4 回、震度 1：7 回）
2007年11月	63	22	5	2						92	
2007年10月	89	41	9	4		1				144	1日 神奈川県西部（震度 5 強） 新島・神津島近海（震度 4：1 回、 震度 2：1 回、震度 1：9 回） 大分県中部（震度 3：3 回、震度 2：3 回、 震度 1：6 回）
2007年 9 月	99	21	6							126	
2007年 8 月	107	35	23	4	1					170	平成19年(2007年)新潟県中越沖地震の余震 （震度 3：1 回、震度 2：5 回、震度 1：13回） 九十九里浜付近の地震活動 （震度 5 弱：1 回、震度 4：3 回、 震度 3：7 回、震度 2：7 回、震度 1：10回）
2007年 7 月	169	83	24	7			1	1		285	平成19年(2007年)新潟県中越沖地震とその余震 （震度 6 強：1 回、震度 6 弱：1 回、 震度 4：5 回、震度 3：11回、 震度 2：49回、震度 1：71回） 伊豆大島近海（震度 3：5 回、 震度 2：6 回、震度 1：25回）
2007年 6 月	126	47	13	9						195	大分県中部（震度 4：3 回、震度 3：6 回、 震度 2：16回、震度 1：39回） 平成19年(2007年)能登半島地震の余震 （震度 4：1 回、震度 3：1 回、 震度 2：3 回、震度 1：6 回）
2007年 5 月	92	37	10	3						142	平成19年(2007年)能登半島地震の余震 （震度 4：1 回、震度 2：9 回、 震度 1：20回）
2007年 4 月	135	47	23	7		1				213	15日 三重県中部（震度 5 強） 平成19年(2007年)能登半島地震の余震 （震度 4：1 回、震度 3：7 回、 震度 2：20回、震度 1：66回）
2007年 3 月	280	105	35	8	3			1		432	平成19年(2007年)能登半島地震とその余震 （震度 6 強：1 回、震度 5 弱：3 回、 震度 4：6 回、震度 3：25回、 震度 2：74回、震度 1：213回）
2007年 2 月	62	21	3	1						87	
2007年 1 月	63	28	10	1						102	新島・神津島近海 （震度 2：3 回、震度 1：11回）
2006年12月	82	46	14	3						145	新島・神津島近海（震度 4：1 回、 震度 3：6 回、震度 2：12回、 震度 1：14回）
2007年計	1351	520	170	48	4	2	1	2		2098	（平成19年 1 月～平成19年12月）

注) 「記事」欄の「*」は関連の地震で震度 1 以上を観測した地震の回数。「記事」欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、
 または震度 1 以上を10回以上観測した地震活動について記載した。
 地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。
 平成 9 (1997)年11月10日 秋田県、埼玉県、横浜市（神奈川県）、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県
 平成10(1998)年 6月15日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県
 10月15日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、
 宮崎県、鹿児島県
 平成11(1999)年 7月21日 東京都、長野県
 平成12(2000)年 1月12日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）
 3月28日 滋賀県
 7月18日 富山県、香川県、大分県
 平成13(2001)年 3月22日 佐賀県 5月10日 山梨県、川崎市（神奈川県）
 7月19日 高知県 12月12日 福島県
 平成14(2002)年 3月20日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）
 7月29日 北海道、長崎県
 平成15(2003)年 3月10日 沖縄県
 平成16(2004)年 5月26日 独立行政法人防災科学技術研究所

付表 3 . 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数
 <平成 18 年 (2006 年) 12 月 ~ 平成 19 年 (2007 年) 12 月 >

	M3.0 ~ M3.9	M4.0 ~ M4.9	M5.0 ~ M5.9	M6.0 ~ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
2007年12月	247	58	13	1		319	72	7日：鳥島近海(M6.0)
2007年11月	254	62	6	1		323	69	26日：福島県沖(M6.0)
2007年10月	281	79	8	1	1	370	89	25日：千島列島東方(M6.2) 31日：マリアナ諸島(M7.1)
2007年9月	224	52	4	2	1	283	59	4日：千島列島(M6.3) 7日：台湾付近(M6.6) 28日：マリアナ諸島(M7.6)
2007年8月	404	104	18	3		529	125	1日：沖縄本島北西沖(M6.1) 2日：サハリン西方沖(M6.4) 7日：沖縄本島北西沖(M6.3)
2007年7月	348	76	14	3		441	93	9日：千島列島東方(M6.2) 16日：平成19年(2007年)新潟県中越沖地震(M6.8) 16日：京都府沖(M6.7) 平成19年(2007年)新潟県中越沖地震の余震活動 (M3.0~3.9:88回、M4.0~4.9:12回、 M5.0~5.9:1回)
2007年6月	269	70	12			351	82	
2007年5月	263	70	11			344	81	平成19年(2007年)能登半島地震の余震活動 (M3.0~3.9:20回、M4.0~4.9:3回)
2007年4月	373	110	33	3		519	146	20日：宮古島北西沖(M6.3,M6.7,M6.1) 平成19年(2007年)能登半島地震の余震活動 (M3.0~3.9:55回、M4.0~4.9:8回)
2007年3月	474	106	13	3		596	122	8日：鳥島近海(M6.0) 9日：日本海北部(M6.2) 25日：平成19年(2007年)能登半島地震(M6.9) 平成19年(2007年)能登半島地震の余震活動 (M3.0~3.9:231回、M4.0~4.9:29回、 M5.0~5.9:3回)
2007年2月	232	57	9	1		299	67	17日：十勝沖(M6.2)
2007年1月	244	113	24	2	2	385	141	13日：千島列島東方(M8.2) 14日：千島列島東方(M6.5) 25日：台湾付近(M6.1) 31日：マリアナ諸島(M7.1)
2006年12月	274	107	26	2	1	410	136	8日：千島列島東方(M6.4) 26日：台湾付近(M6.9、M7.2)
2007年計	3613	957	165	20	4	4759	1146	(平成19年1月~平成19年12月)

注)日本及びその周辺：原則、北緯20~49度、東経120~154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

目次 2007 年の地震・火山活動

2007 年の日本の地震活動	54
東海地震の想定震源域及びその周辺における 2007 年の地震活動	72
2007 年の日本及びその周辺で発生した主な地震	76
2007 年の都道府県別の震度観測回数表	79
2007 年の観測点別の震度観測回数表	80
2007 年に主な観測点で震度 1 以上を観測した回数分布	88
1998 年～2007 年に震度 1 以上を観測した地震の 最大震度別の月別回数	89
2007 年の日本の主な火山活動	90
2007 年の世界の主な地震	97
2007 年の世界の主な火山活動	99

2007 年の日本の地震活動

【概況】

2007 年に国内で被害を伴った地震は 9 回（2006 年は 5 回）発生し、死者・行方不明者を伴った地震は 3 月 25 日に発生した「平成 19 年（2007 年）能登半島地震」と 7 月 16 日に発生した「平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震」であった（2006 年はなし）。

震度 1 以上を観測した地震は 2,098 回（2006 年は 1,343 回）である。なお 1995 年以降、順次震度観測点が増えたため、単純に過去と比較できない（図 4）。震度 4 以上を観測した地震は 57 回（2006 年は 28 回）で、震度 5 弱以上を観測した地震は 9 回だった（2006 年は 3 回）。2007 年中に観測した最大の震度は、「平成 19 年（2007 年）能登半島地震」（M6.9）と「平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震」（M6.8）の震度 6 強であった（図 1）。

M6.0 以上の地震は 24 回（2006 年は 23 回）発生した。過去 82 年間の発生回数の平均が 17.1 回、標準偏差が 8.1 であることから、ほぼ平均的な発生回数であったといえる（図 4）。2007 年中で最大の地震は、1 月 13 日に発生した千島列島東方の地震（M8.2、Global CMT によるモーメントマグニチュード Mw8.1）であった（図 2）。

日本で津波を観測した地震（外国の地震を含む）は 4 回（2006 年も 4 回）で、過去 80 年間の平均が 2.4 回であることから、ほぼ平均的な発生回数であったといえる。

* 地方公共団体等の震度計の運用開始時期については p50 参照

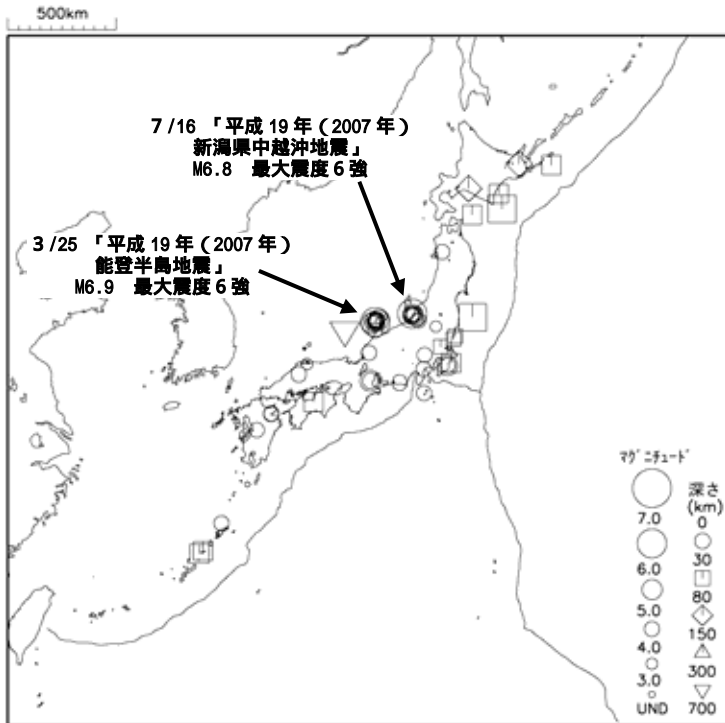


図 1 2007 年に震度 4 以上を観測した地震の震央分布

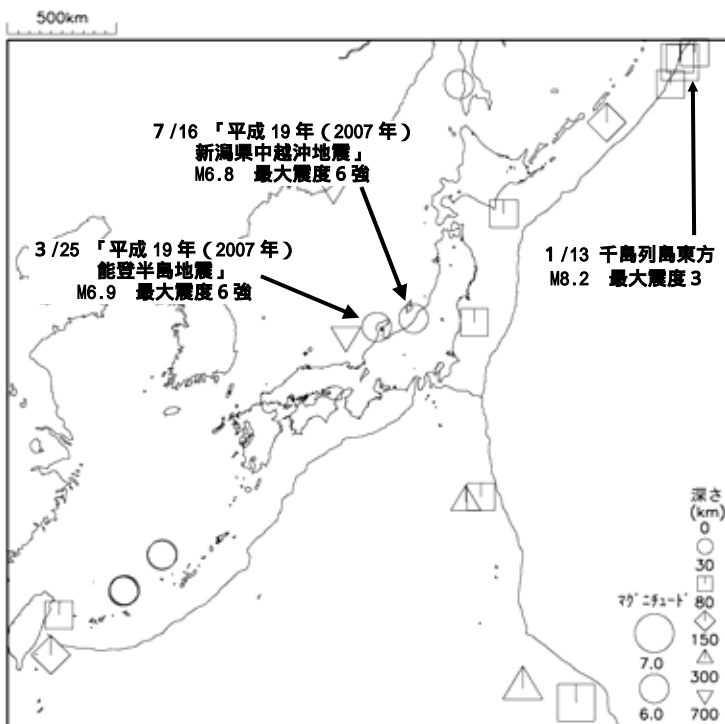


図 2 2007 年に発生した M6.0 以上の地震の震央分布

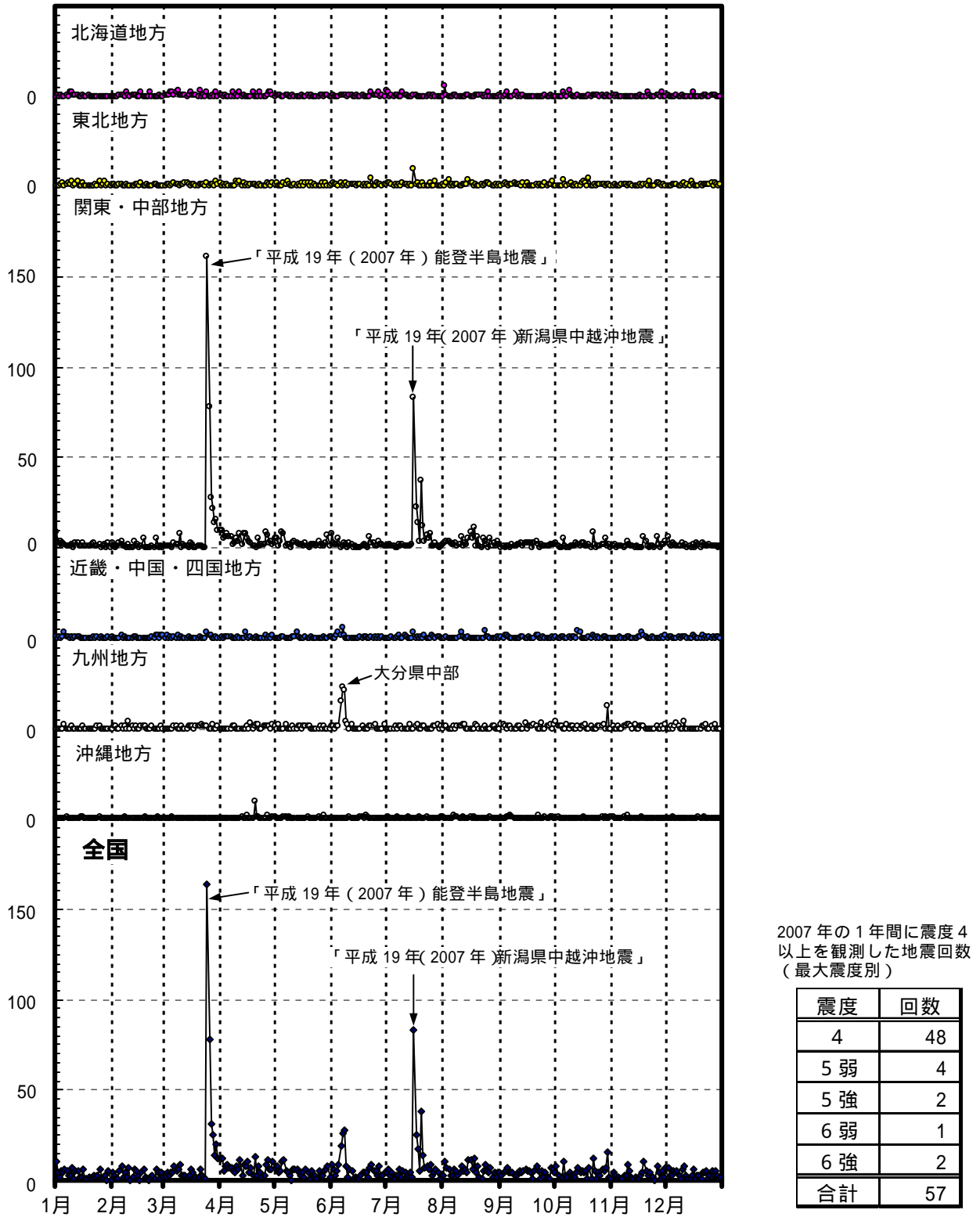


図 3 2007 年に全国及び各地方別の震度 1 以上を観測した日別回数

6 つの地方（北海道地方、東北地方、関東・中部地方、近畿・中国・四国地方、九州地方及び沖縄地方）に分割した。なお、三重県及び福井県は関東・中部地方に、滋賀県及び山口県は近畿・中国・四国地方に含めた。

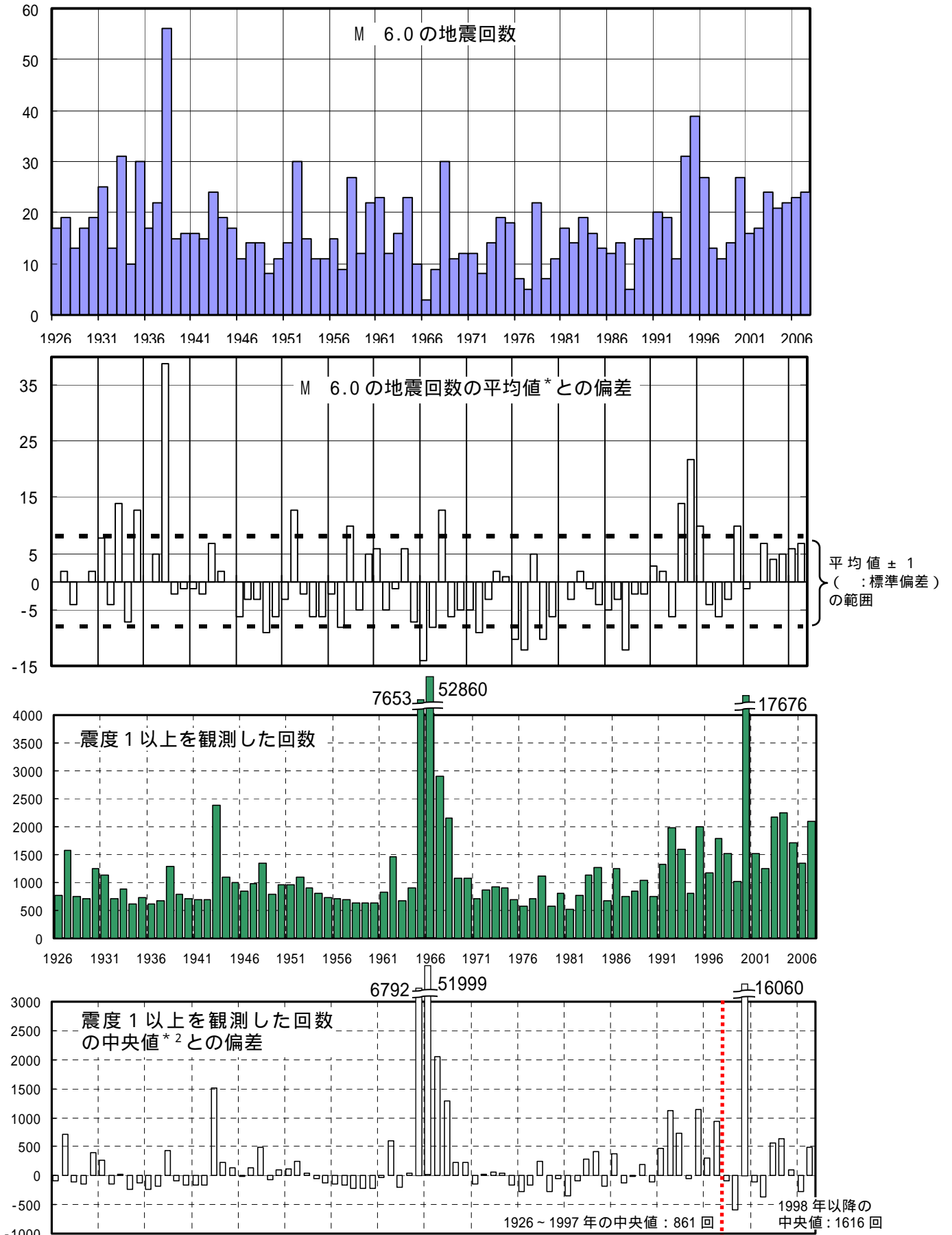


図4 全国の M 6.0 及び震度 1 以上を観測した年別地震回数 (1926 - 2007 年)

* M 6.0 の過去 81 年間の平均は、17.1 回 / 年、標準偏差は 8.10 回であった。
 * 2 震度 1 以上を観測した地震の年回数を比較するにあたっては、近年、震度観測点が増えたことを考慮する必要がある。ここでは、地方公共団体の震度計が運用された年 (1998 年) を区切りとして、その前後で各々中央値を求めて比較した。なお、中央値からの偏差が大きい 1965 ~ 1968 年には松代群発地震が、2000 年には新島・神津島の地震活動が発生している。

北海道地方の地震活動

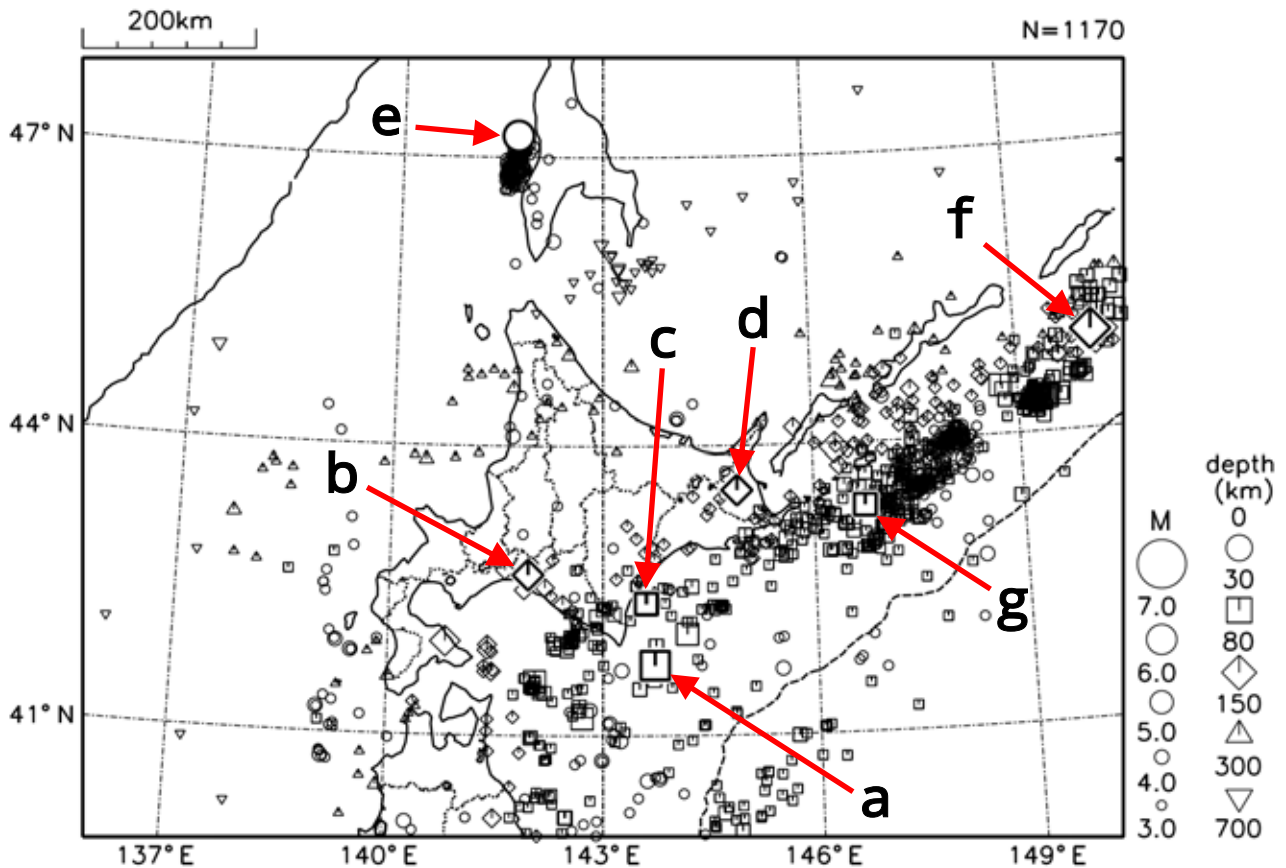


図 5 北海道地方の震央分布図（2007 年 1 月 1 日～2007 年 12 月 31 日、M 3.0）

[概況]

2007 年に北海道地方で震度 4 以上を観測した地震は 6 回（2006 年は 5 回）であった。2007 年中の主な活動は次のとおりである。

2 月 17 日 09 時 02 分、十勝沖の深さ 40km で M6.2 の地震（図 5 中の a）が発生し、十勝支庁で震度 4 を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

4 月 19 日 00 時 07 分、胆振支庁中東部の深さ 126km で M5.6 の地震（図 5 中の b）が発生し、日高支庁で震度 4 を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

4 月 27 日 01 時 37 分、十勝沖の深さ 58km で M5.2 の地震（図 5 中の c）が発生し、十勝支庁で震度 4 を観測した。この地震は太平洋プレートの沈み込みに伴い発生した。

7 月 1 日 13 時 12 分、根室支庁北部の深さ 132km で M5.8 の地震（図 5 中の d）が発生し、釧路支庁と根室支庁で震度 4 を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

7 月 9 日 03 時 54 分、千島列島東方の深さ 30km で M6.2 の地震（図 5 の範囲外）が発生した。

7 月 16 日 23 時 17 分、京都府沖の深さ 374km で M6.7 の地震（図 5 の範囲外、p 60 の図 7 中の j）が発生し、十勝支庁で震度 4 を観測した。

8 月 2 日 11 時 37 分、サハリン西方沖で M6.4 の地震（図 5 中の e）があり、北海道の猿払村、豊富町で震度 2 を観測した。この地震の発生後、稚内や留萌などで微弱な潮位変動を観測した。その後の調査で、この潮位変動は気象擾乱による副振動によるものと考えられる（平成 19 年 8 月地震・火山月報（防災編）p 43～44 参照）。

9 月 4 日 01 時 14 分、千島列島で M6.3 の地震（図 5 中の f）があり、北海道、青森県、岩手県、宮城県で震度 2～1 を観測した。

10 月 9 日 02 時 10 分、北海道東方沖の深さ 40km で M5.8 の地震（図 5 中の g）が発生し、根室支庁で震度 4 を観測した。この地震は太平洋プレートの沈み込みに伴い発生した。

10 月 25 日 22 時 50 分、千島列島東方の深さ 30km で M6.2 の地震（図 5 の範囲外）があり、北海道と岩手県で震度 1 を観測した。

なお、1 月 13 日 13 時 23 分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などで津波を観測した（p74～75 参照）。

また、8 月 16 日 08 時 40 分（日本時間）に発生したペルー沿岸の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などで津波を観測した。

東北地方の地震活動

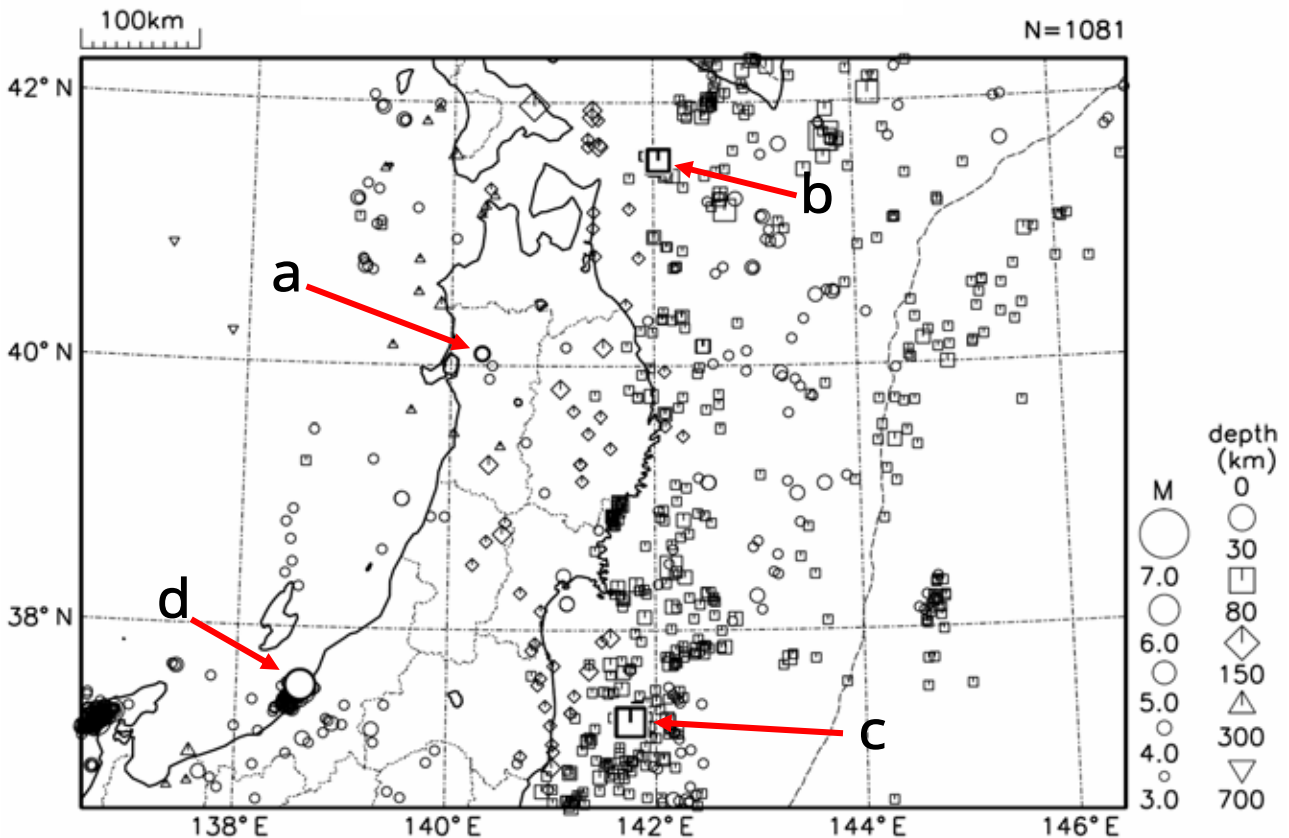


図6 東北地方の震央分布図（2007年1月1日～12月31日 M 3.0）

[概況]

2007年に東北地方で震度4以上を観測した地震は5回（2006年は2回）であった。2007年中の主な地震は次のとおりである。

3月7日21時59分、秋田県内陸北部の深さ16kmでM4.2の地震（図6中のa）があり、秋田県北秋田市で震度4を観測した。この地震は地殻内で発生した地震である。

5月19日00時59分、青森県東方沖の深さ67kmでM5.3の地震（図6中のb）があり、青森県階上町、東通村で震度4を観測した。この地震は陸のプレートと太平洋プレートの境界で発生した地震である。

7月16日10時13分、「平成19年（2007年）新潟県中越沖地震」（図6中のd）があり、新潟県、長野県で震度6強を観測し、東北地方では山形県上山市、小国町などで震度4を観測した。この地震により津波が発生し、東北地方の日本海側から北陸地方にかけて津波を観測した（p64参照）。

11月26日22時51分、福島県沖の深さ44kmでM6.0の地震（図6中のc）があり、福島県葛尾村で震度4を観測した。この地震は陸のプレートと太平洋プレートの境界で発生した地震である。

なお、1月13日13時23分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などで津波を観測した（p74参照）。

また、8月17日08時40分（日本時間）に発生したペルー沿岸の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などで津波を観測した。

関東・中部地方の地震活動

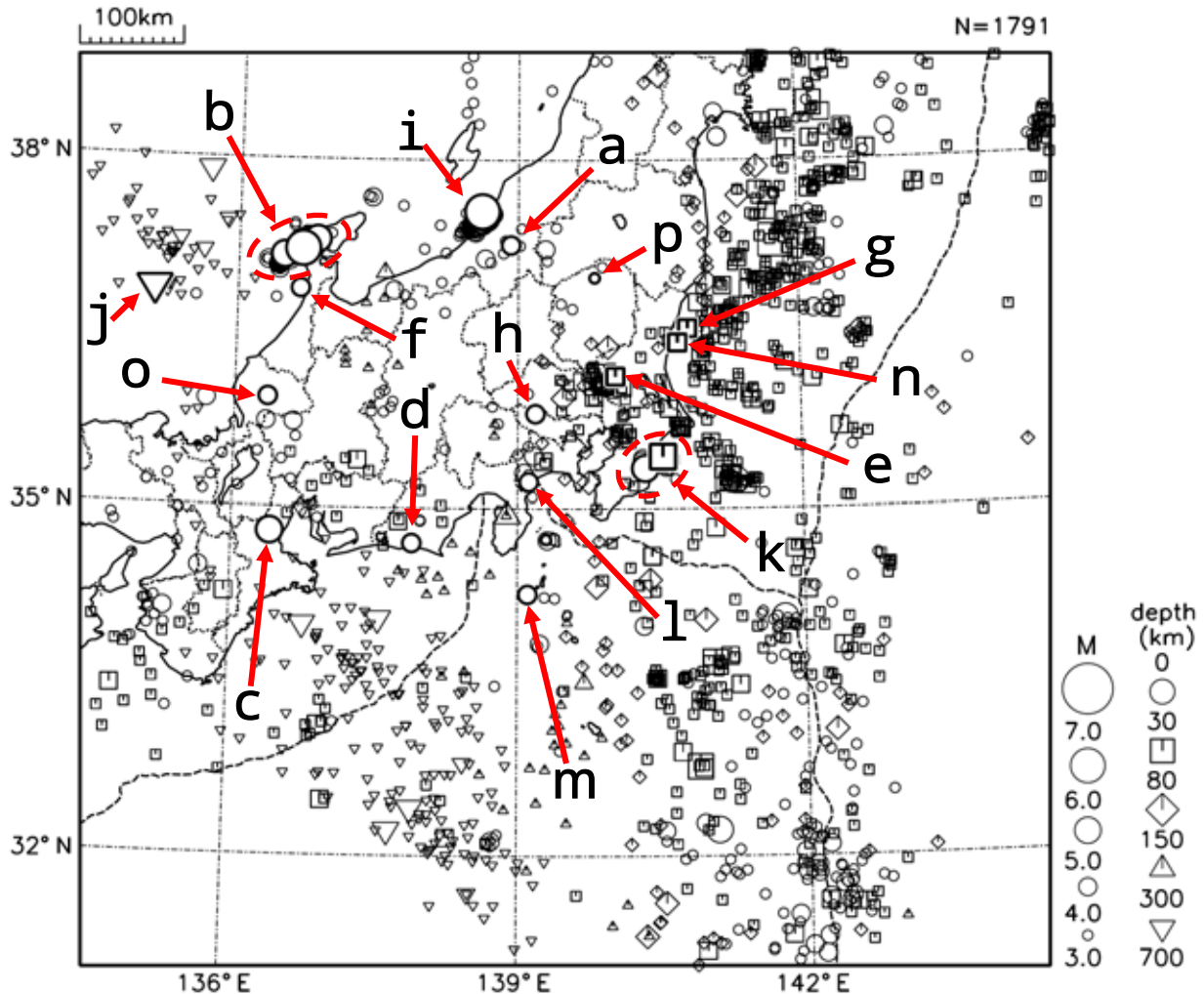


図7 関東・中部地方の震央分布図（2007年1月1日～12月31日、M 3.0）

[概況]

2007年に関東・中部地方で震度4以上を観測した地震は38回（2006年は14回）であった。2007年中の主な活動は次のとおりである（被害状況は総務省消防庁による）。

1月8日18時59分、新潟県中越地方でM4.8の地震（図7中のa）があり、新潟県で震度4を観測した。

3月8日14時03分、鳥島近海の深さ152kmでM6.0の地震（図7の範囲外）があり、宮城県、埼玉県、千葉県で震度2を観測した。

3月25日09時41分、能登半島沖の深さ11kmでM6.9の地震（図7中のb、「平成19年（2007年）能登半島地震」）があり、石川県七尾市、輪島市、穴水町で震度6強を観測したほか、石川県、富山県、新潟県で震度6弱～震度5弱を観測した。この地震により、死者1名、負傷者356名（うち重傷者91名）全壊家屋684棟、半壊家屋1,733棟等の被害を生じた（12月28日14時現在）。この地震に伴い、珠洲市長橋で22cm、金沢で18cmの微弱な津波を観測した（p62参照）。

4月15日12時19分、三重県中部の深さ16kmでM5.4の地震（図7中のc）があり、三重県亀山市で震度5強を観測したほか、三重県内で震度5弱を観測した。この地震により、負傷者13名（うち重傷者3名）住家の一部破損122棟等の被害を生じた。15日18時34分にはM4.6の最大余震が発生し、三重県亀山市、津市、多気町で震度4を観測した。

6月1日11時42分、静岡県西部の深さ13kmでM4.3の地震（図7中のd）があり、静岡県掛川市で震度4を観測した。

6月2日14時43分、茨城県南部の深さ50kmでM4.6の地震（図7中のe）があり、茨城県と栃木県で震度4を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

6月22日03時34分、石川県西方沖の深さ8kmでM4.6の地震（図7中のf）があり、石川県羽咋市、宝達志水町で震度4を観測した。

6月23日23時52分、茨城県沖の深さ53kmでM4.2の地震（図7中のg）があり、茨城県日立市、常陸大宮市で震度4を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した。

6月28日18時26分、東京都多摩西部の深さ15kmでM4.1の地震（図7中のh）があり、東京都あきる野市で震度4を観測した。

7月16日10時13分、新潟県上中越沖の深さ17kmでM6.8の地震（図7中のi、「平成19年（2007年）新潟県中越沖地震」）があり、新潟県長岡市、柏崎市、刈羽村、長野県飯綱町で震度6強を観測したほか、新潟県、石川県、長野県で震度6弱～5弱を観測した。この地震により、死者15名、負傷者2,345名（うち重傷者329名）、全壊家屋1,319棟、半壊家屋5,621棟等の被害を生じた（12月28日14時現在）。この地震に伴い、柏崎や小木で高さ0.3mの津波を観測するなど、新潟県沿岸を中心に津波を観測した。16日15時37分にはM5.8（深さ23km）の余震が発生し、新潟県長岡市、出雲崎町で震度6弱を観測したほか、新潟県内で震度5強～5弱を観測した（p64参照）。

7月16日23時17分、京都府沖の深さ374kmでM6.7の地震（図7中のj）があり、北海道浦幌町で震度4を観測した。

8月18日04時14分、九十九里浜付近〔千葉県東方沖〕の深さ23kmでM4.8の地震（図7中のk）があり、千葉県一宮町で震度5弱を観測した。この地震により、負傷者1名の被害を生じた。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した。九十九里浜付近では、16日04時15分にM5.3（最大震度4）、18日16時55分にM5.2（最大震度4）の地震が発生するなど、13日以降まとまった地震活動が見られた。16日04時15分のM5.3の地震では、負傷者1名の被害を生じた。

10月1日02時21分、神奈川県西部の深さ14kmでM4.9の地震（図7中のl）があり、神奈川県箱根町で震度5強、神奈川県小田原市で震度5弱を観測した。この地震により、負傷者2名、住家一部破損5棟の被害を生じた。

10月17日02時03分、新潟県中越地方の深さ15kmでM3.7の地震（図7中のa）があり、新潟県小千谷市で震度4を観測した。

10月22日09時35分、新島・神津島近海の深さ9kmでM4.3の地震（図7中のm）があり、東京都神津島村で震度4を観測した。

11月30日18時36分、茨城県沖の深さ53kmでM4.7の地震（図7中のn）があり、茨城県で震度4を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

12月7日09時47分、鳥島近海の深さ75kmでM6.0の地震（図7の範囲外）があり、宮城県と福島県で震度2を観測した。

12月21日14時22分、福井県嶺北の深さ7kmでM4.5の地震（図7中のo）があり、福井県で震度4を観測した。

12月24日19時39分、栃木県北部の深さ8kmでM3.6の地震（図7中のp）があり、栃木県那須塩原市で震度4を観測した。

なお、1月13日13時23分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などで津波を観測した（p74参照）。

また、8月16日08時40分（日本時間）に発生したペルー沿岸の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などで津波を観測した。

平成 19 年（2007 年）能登半島地震

2007 年 3 月 25 日 09 時 41 分、能登半島沖の深さ 11km で M6.9（最大震度 6 強）の地震が発生した。この地震により死者 1 名、負傷者 356 名、住家全壊 684 棟、住家半壊 1,733 棟などの被害を生じた（12 月 28 日分現在、総務省消防庁による）。

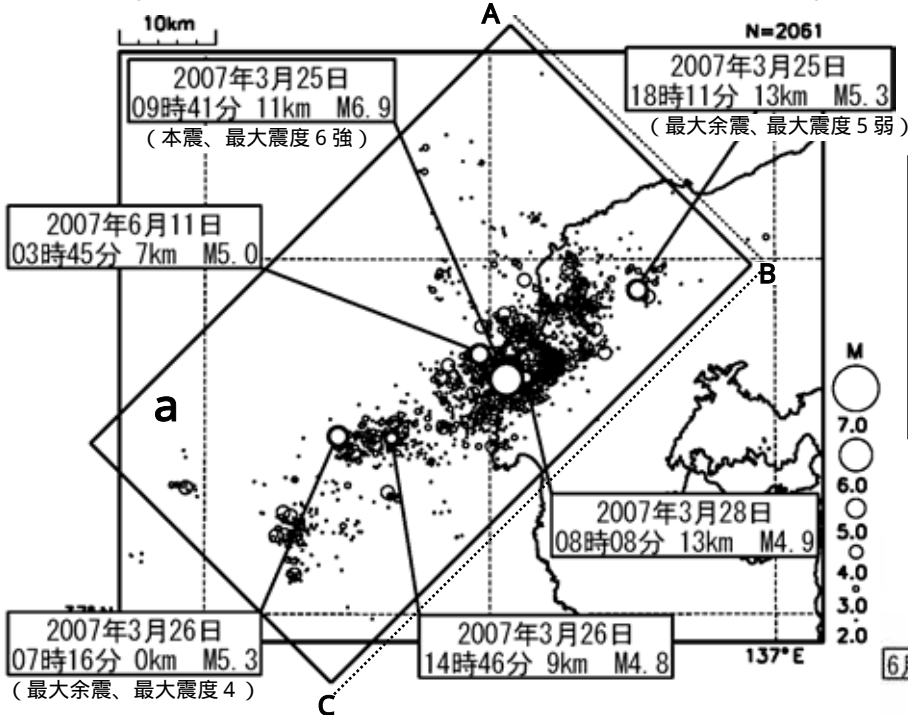
地震活動は本震 余震型で推移し、2007 年 12 月末現在ほぼ落ち着いている。最大余震は 3 月 25 日 18 時 11 分（最大震度 5 弱）と 3 月 26 日 07 時 16 分（最大震度 4）の M5.3 の地震であった。本震及び余震は北東 南西方向に約 40km にわたって分布しており、南東側に傾斜する面上で発生している。本震の発震機構は東北東 - 西南西方向に圧力軸を持ち、横ずれ成分を含む逆断層型であった。

気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から 3.6 秒後に、「石川県の能登地方で震度 5 弱以上が予想される」旨の緊急地震速報第 1 報を発信し、先行的に利用している機関に提供した。

この地震により、珠洲市長橋で 22cm、金沢で 18cm の微弱な津波を観測した。

震央分布図

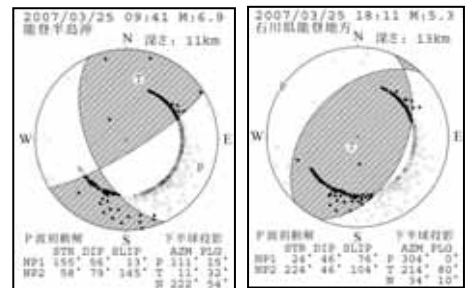
（2007 年 3 月 25 日～12 月 31 日、深さ 0～25km、M 2.0）



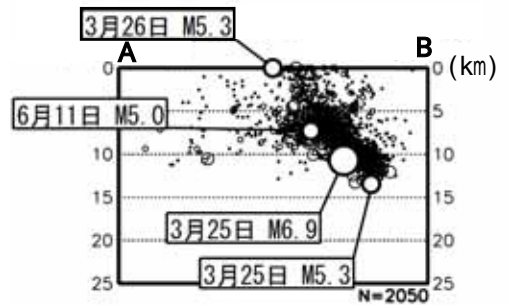
発震機構（P波初動解）

本震

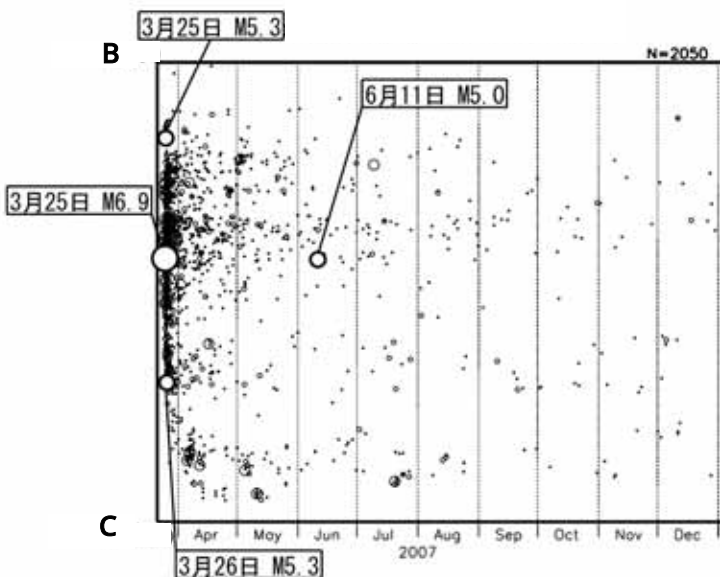
最大余震
（25日 M5.3）



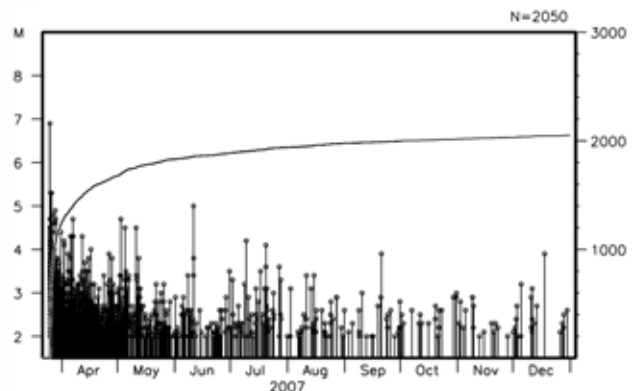
領域 a 内の断面図（A - B 投影）



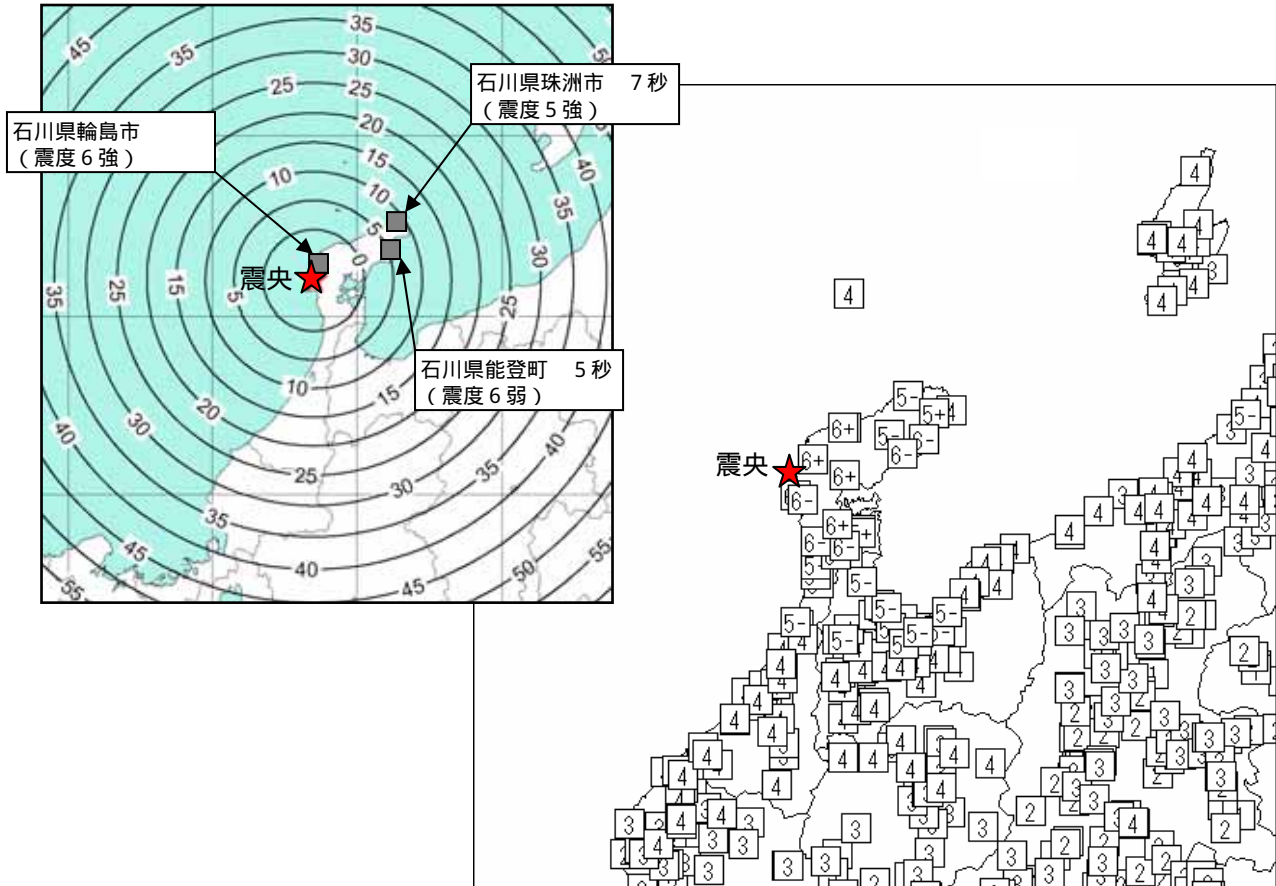
領域 a 内の時空間分布図（B - C 投影）



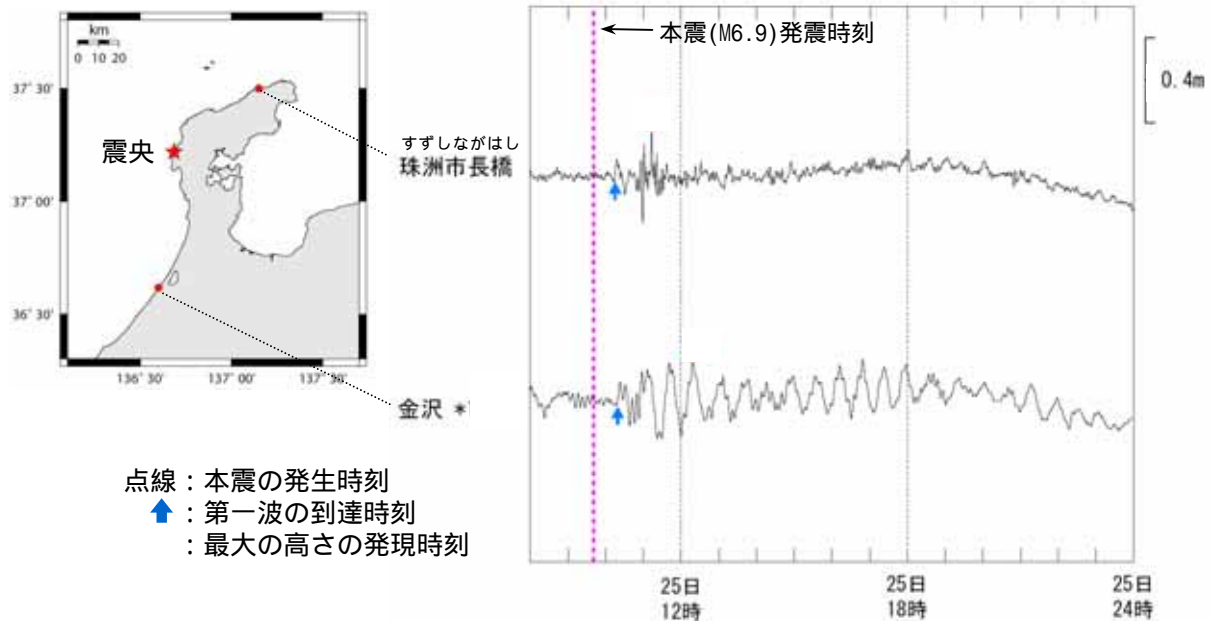
領域 a 内の M - T 図、回数積算図



緊急地震速報の第 1 報提供から主要動到達までの時間（秒）と震度分布



検潮所の位置（左図）と検潮所で観測した津波の波形（右図）



今回の地震によって津波が観測された検潮所における観測値

観測点名	第一波		最大の高さ	
	到達時刻	高さ(cm)	発現時刻	高さ (cm)
珠洲市長橋	10 時 15 分	9	11 時 13 分	22
金沢 *	10 時 21 分	8	12 時 21 分	18

*：国土交通省北陸地方整備局

表中の値は暫定値で後日変更される場合がある。

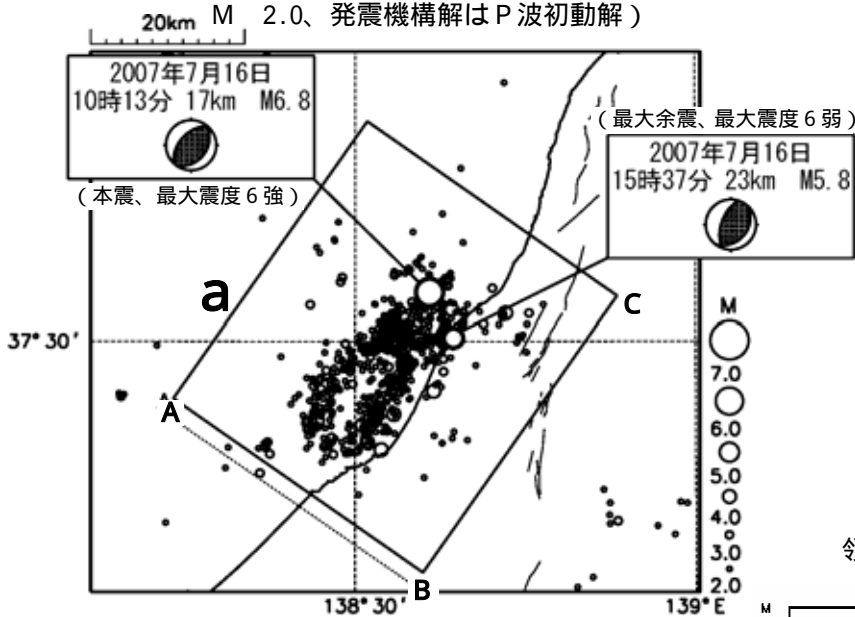
「平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震」

2007 年 7 月 16 日 10 時 13 分、新潟県上中越沖の深さ 17km で M6.8（最大震度 6 強）の地震が発生した。この地震により死者 15 名、負傷者 2,345 名、住家全壊 1,319 棟、住家半壊 5,621 棟などの被害を生じた（12 月 28 日分現在、総務省消防庁による）。地震活動は本震 余震型で推移し、余震回数は順調に減少している。最大余震は 7 月 16 日 15 時 37 分に発生した M5.8（最大震度 6 弱）の地震であった。余震は北東 - 南西方向に約 30km にわたって分布しており、主として南東傾斜の面上で発生している。地震調査委員会によれば、震源域北東部については北西傾斜の分布も見られる。本震及び最大余震の発震機構は、北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

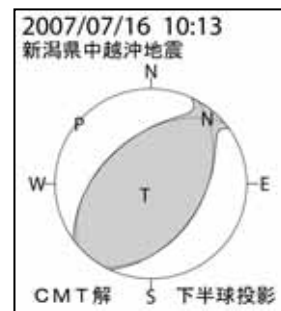
気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から 3.8 秒後に「新潟県の中越地方で震度 5 強程度以上が予想される」旨の緊急地震速報第 1 報を発信し、先行的に利用している機関に提供した。この地震により、柏崎（国土地理院の検潮所）で高さ 32cm、小木（国土地理院の検潮所）で高さ 27cm など、秋田県から石川県の沿岸で津波を観測した。なお、地震調査委員会によれば、柏崎（新潟県の検潮所）で高さ約 1 m の津波を観測した。

震央分布図

（2007 年 7 月 16 日～12 月 31 日、深さ 0～40km、
M 2.0、発震機構解は P 波初動解）

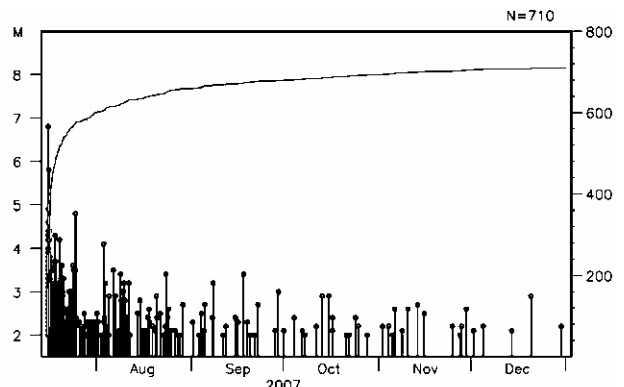
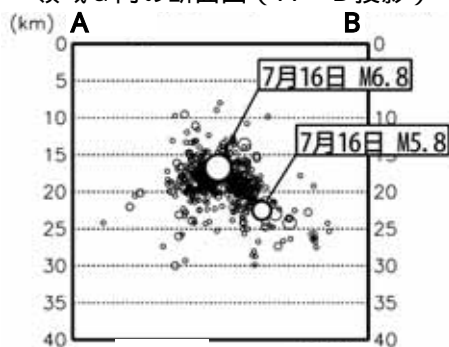


本震の発震機構解（CMT 解）

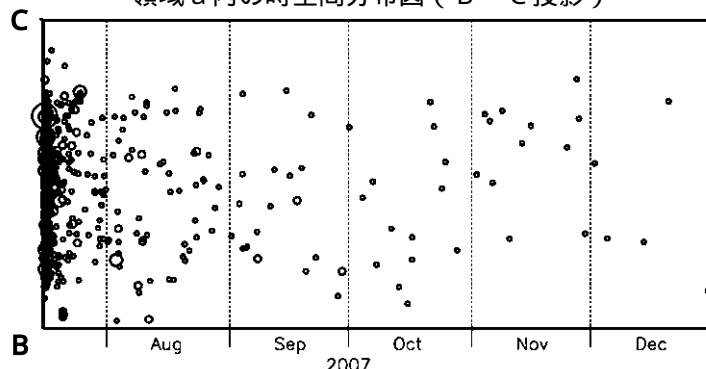


領域 a 内の M - T 図、回数積算図

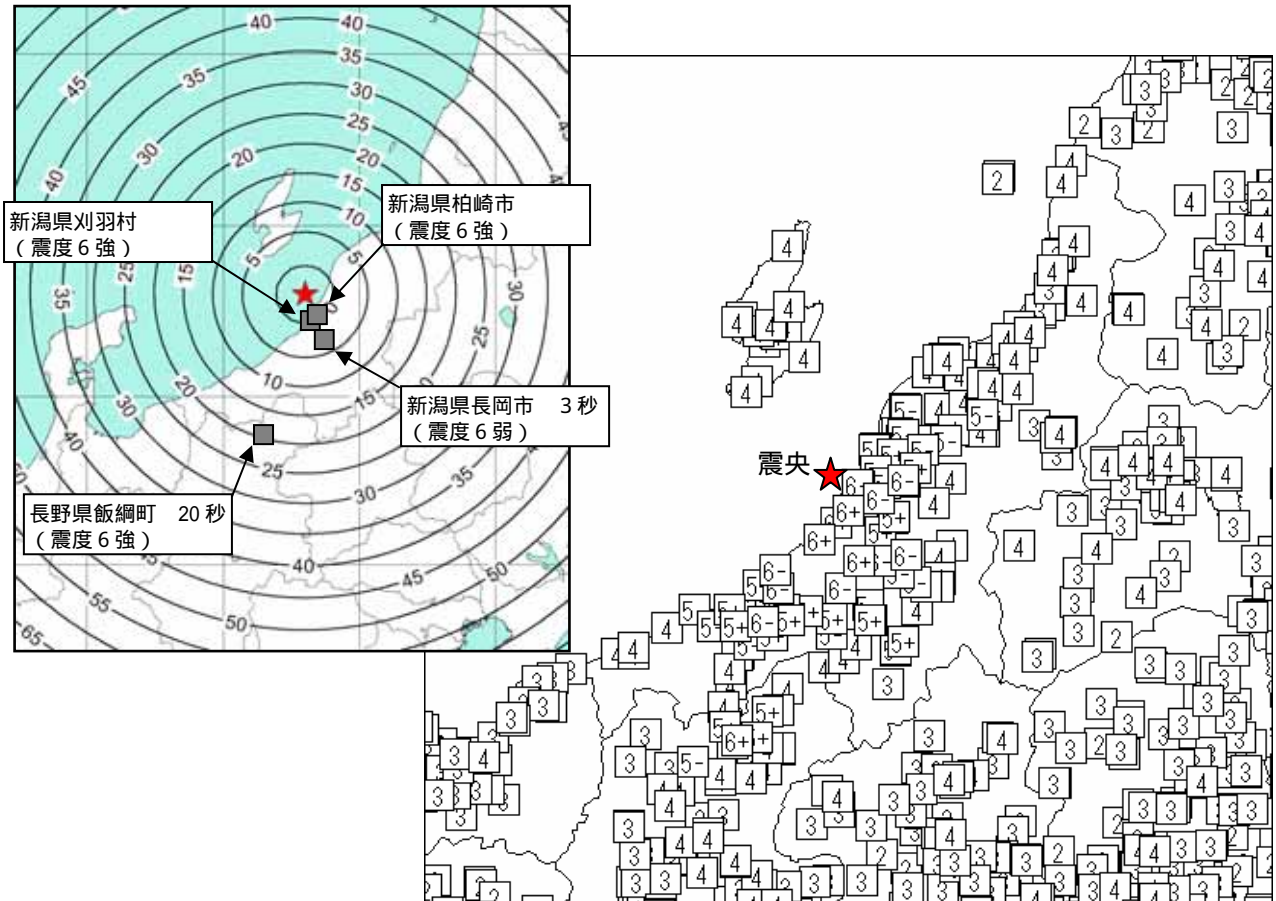
領域 a 内の断面図（A - B 投影）



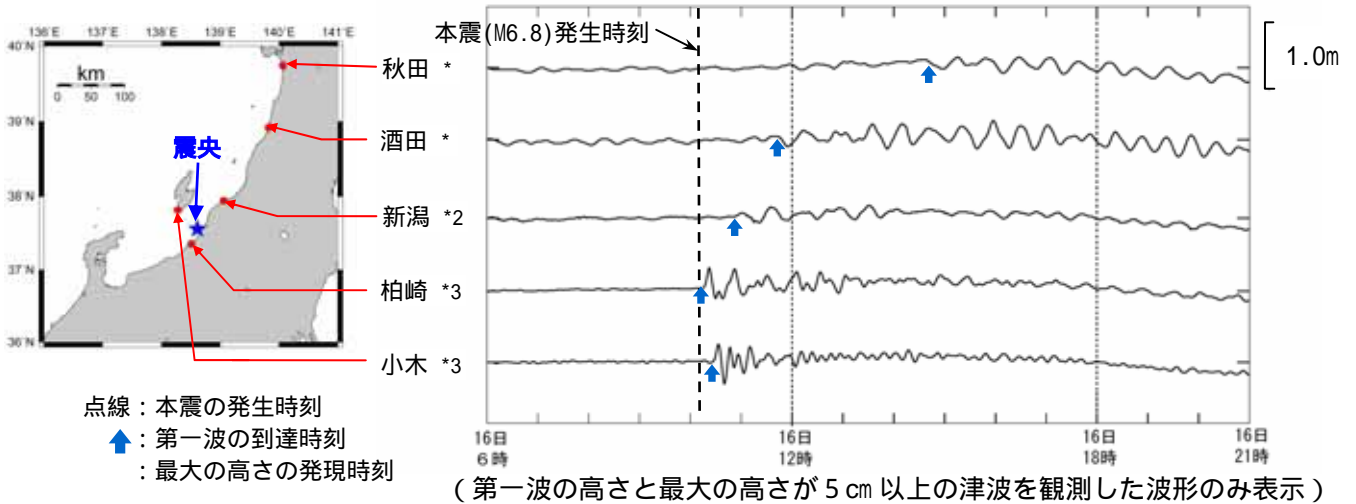
領域 a 内の時空間分布図（B - C 投影）



緊急地震速報の第 1 報提供から主要動到達までの時間（秒）と震度分布



今回の地震に伴って観測した津波の波形（右図）と検潮所における観測値（下表）



観測点名	第一波			最大の高さ	
	到達時刻	押し引き	高さ(cm)	発現時刻	高さ(cm)
秋田*	14時43分	引き	10	17時05分	12
酒田*	11時47分	引き	13	15時58分	24
新潟*2	10時53分	押し	6	11時35分	14
小木*3	10時27分	押し	27	10時33分	27
柏崎*3	10時16分	押し	32	10時22分	32
鼠ヶ関*3	11時54分	押し	3	14時22分	9
佐渡市鷺崎	10時39分	押し	4	12時33分	7
輪島*3	-	-	-	17時36分	6
珠洲市長橋	-	-	-	12時41分	5
富山	10時44分	押し	4	12時03分	5

表中の - は、値が決定できないことを示す
値は暫定値で後日変更される場合がある。

* : 国土交通省東北地方整備局
*2 : 国土交通省北陸地方整備局
*3 : 国土交通省国土地理院

「平成 19 年（2007 年）能登半島地震」の地震回数表

震度 1 以上を観測した地震の最大震度別回数表（2007 年 3 月 25 日～12 月 31 日、月別）
本震を回数に含む

期 間	最 大 震 度 別 回 数										震度1以上の地震回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
2007/3/25 ~ 3/31	213	74	25	6	3	0	0	1	0	322	322	
2007/4/1 ~ 4/30	66	20	7	1	0	0	0	0	0	94	416	
2007/5/1 ~ 5/31	20	9	0	1	0	0	0	0	0	30	446	
2007/6/1 ~ 6/30	6	3	1	1	0	0	0	0	0	11	457	
2007/7/1 ~ 7/31	10	4	1	0	0	0	0	0	0	15	472	
2007/8/1 ~ 8/31	4	0	1	0	0	0	0	0	0	5	477	
2007/9/1 ~ 9/30	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	482	
2007/10/1 ~ 10/31	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	484	
2007/11/1 ~ 11/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	484	
2007/12/1 ~ 12/31	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	488	
合 計	327	112	36	9	3	0	0	1	0	---	488	

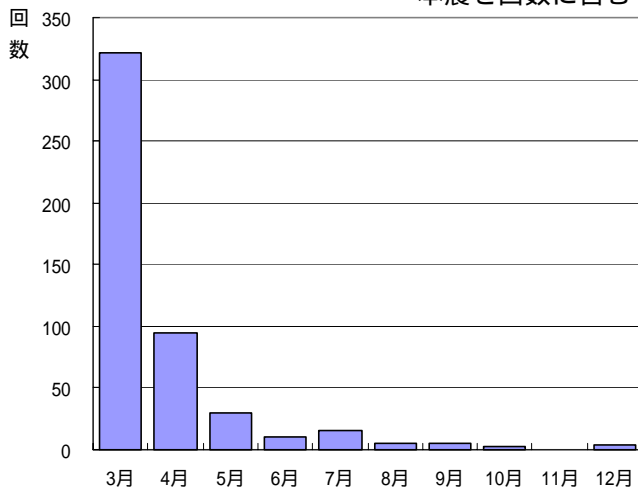
「平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震」の地震回数表

震度 1 以上を観測した地震の最大震度別回数表（2007 年 7 月 16 日～12 月 31 日、月別）
本震を回数に含む

期 間	最 大 震 度 別 回 数										震度1以上の地震回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
2007/7/16 ~ 7/31	71	49	11	5	0	0	1	1	0	138	138	
2007/8/1 ~ 8/31	13	5	1	0	0	0	0	0	0	19	157	
2007/9/1 ~ 9/30	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	160	
2007/10/1 ~ 10/31	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	162	
2007/11/1 ~ 11/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	162	
2007/12/1 ~ 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	162	
合 計	87	56	12	5	0	0	1	1	0	---	162	

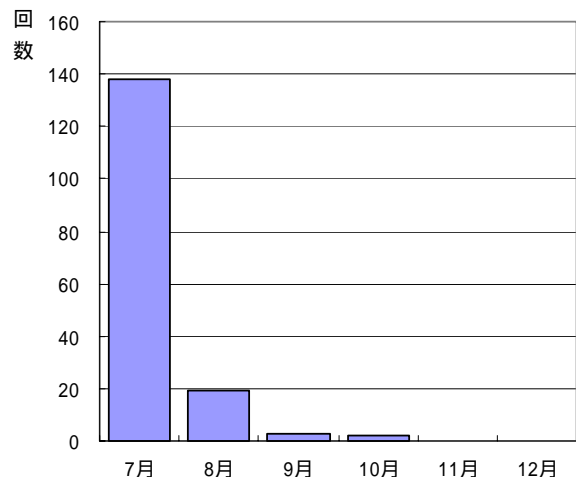
「平成 19 年（2007 年）能登半島地震」

震度 1 以上を観測した地震の月別回数グラフ
本震を回数に含む



「平成 19 年(2007 年)新潟県中越沖地震」

震度 1 以上を観測した地震の月別回数グラフ
本震を回数に含む



近畿・中国・四国地方の地震活動

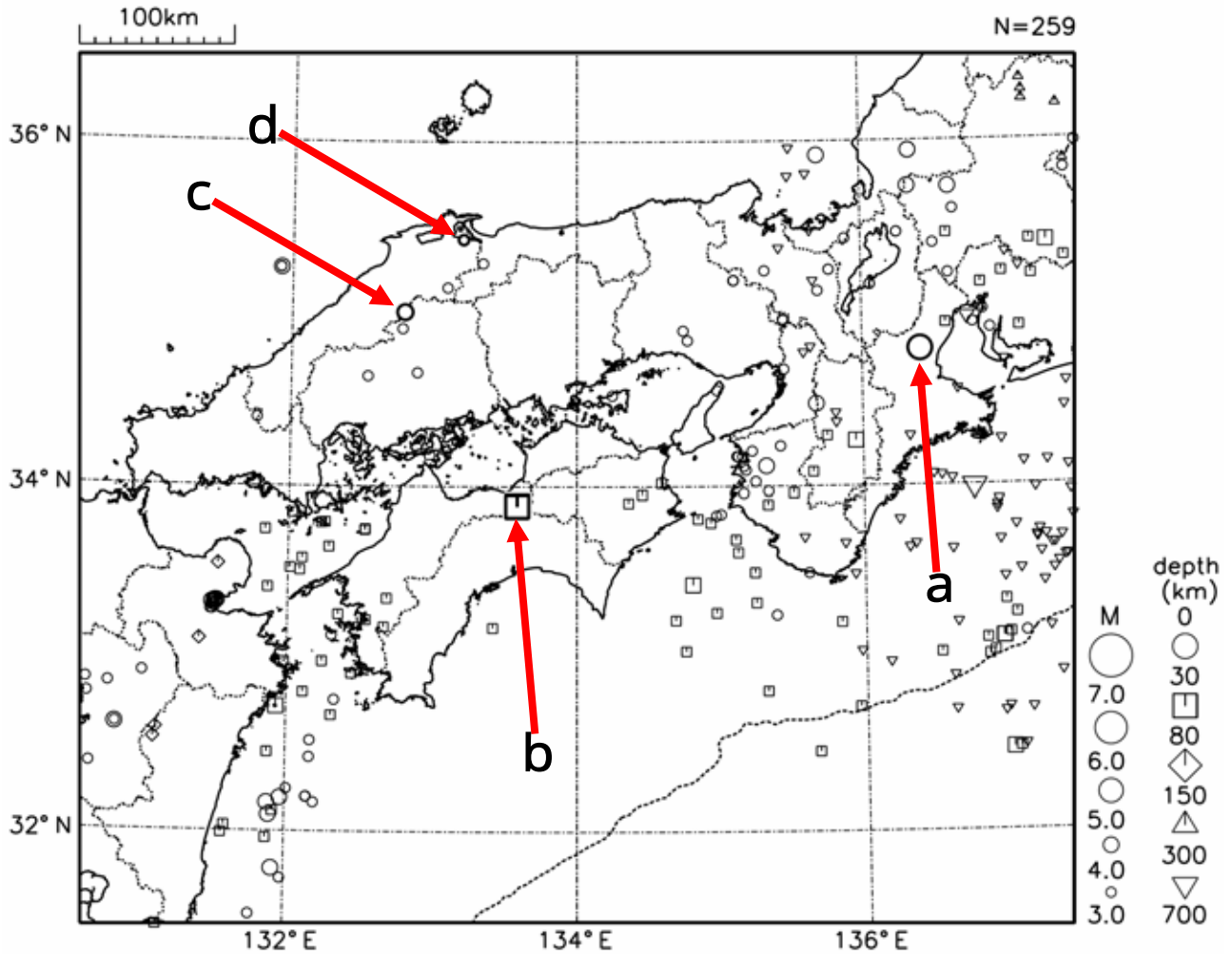


図 8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2007 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

[概況]

2007 年に近畿・中国・四国地方で震度 4 以上を観測した地震は 4 回（2006 年は 5 回）であった。2007 年中の主な活動は次のとおりである。

4 月 15 日 12 時 19 分 三重県中部の深さ 16km で M5.4 の地震（図 8 中の a）があり、滋賀県、奈良県で震度 4（最大震度は三重県亀山市で震度 5 強）を観測した。この地震により、負傷者 13 名（うち重傷者 3 名）、住家の一部破損 122 棟等の被害を生じた（被害状況は総務省消防庁による）。

4 月 26 日 09 時 02 分 愛媛県東予の深さ 39 km で M5.3 の地震（図 8 中の b）があり、四国地方、広島県、岡山県で震度 4 を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

5 月 13 日 08 時 13 分 島根県東部の深さ 9 km で M4.6 の地震（図 8 中の c）があり、島根県美郷町・邑南町で震度 4 を観測した。

10 月 14 日 03 時 07 分 島根県東部の深さ 11km で M3.7 の地震（図 8 中の d）があり、島根県松江市で震度 4 を観測した。

なお、1 月 13 日 13 時 23 分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋岸などで津波を観測した（p74 参照）。

また、8 月 16 日 08 時 40 分（日本時間）に発生したペルー沿岸の地震により津波が発生し、日本の太平洋岸などで津波を観測した。

九州地方の地震活動

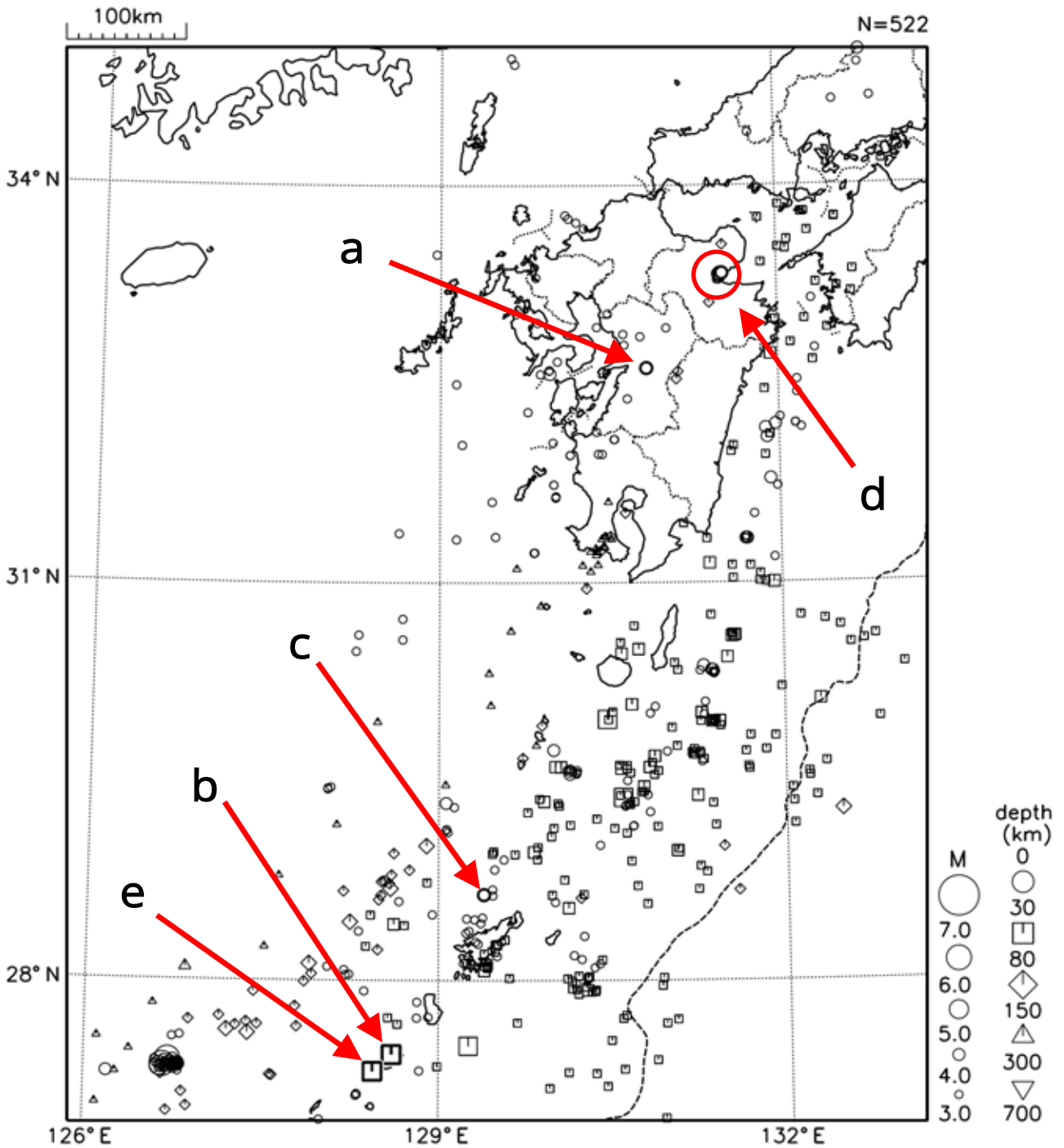


図9 九州地方の震央分布図（2007年1月1日～12月31日）

[概況]

2007年に九州地方で震度4以上を観測した地震は7回（2006年は5回）であった。
2007年中の主な活動は次のとおりである。

3月23日22時37分、熊本県熊本地方の深さ6kmでM4.1の地震（図9中のa）があり、熊本県美里町で震度4を観測した。

4月21日04時37分、沖縄本島近海でM5.7の地震（図9中のb）があり、鹿児島県の与論町と和泊町で震度4を観測した。

4 月 30 日 05 時 41 分、奄美大島近海（奄美大島の北方沖）で M4.9 の地震（図 9 中の c）があり、鹿児島県奄美市で震度 4 を観測した。

6 月 6 日 23 時 42 分、大分県中部の深さ 11km で M4.9 の地震（図 9 中の d）があり、大分県の別府市などで震度 4 を観測した。また、7 日 17 時 22 分に発生した地震（M4.7、深さ 9 km）と 7 日 20 時 50 分に発生した地震（M4.7、深さ 8 km）で、大分県の別府市などでそれぞれ震度 4 を観測するなど、6 月 10 日までに震度 1 以上を観測した地震が 63 回発生した。なお、この地震活動域に近接した場所では、10 月 30 日にも地震活動があり、震度 3 を 3 回観測した。

8 月 9 日 00 時 19 分、沖縄本島近海で M5.1 の地震（図 9 中の e）があり、鹿児島県の与論町と和泊町で震度 4 を観測した。

なお、1 月 13 日 13 時 23 分に発生した千島列島東方の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などで津波を観測した（p74 参照）。

また、8 月 16 日 08 時 40 分（日本時間）に発生したペルー沿岸の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などで津波を観測した。

沖縄地方の地震活動

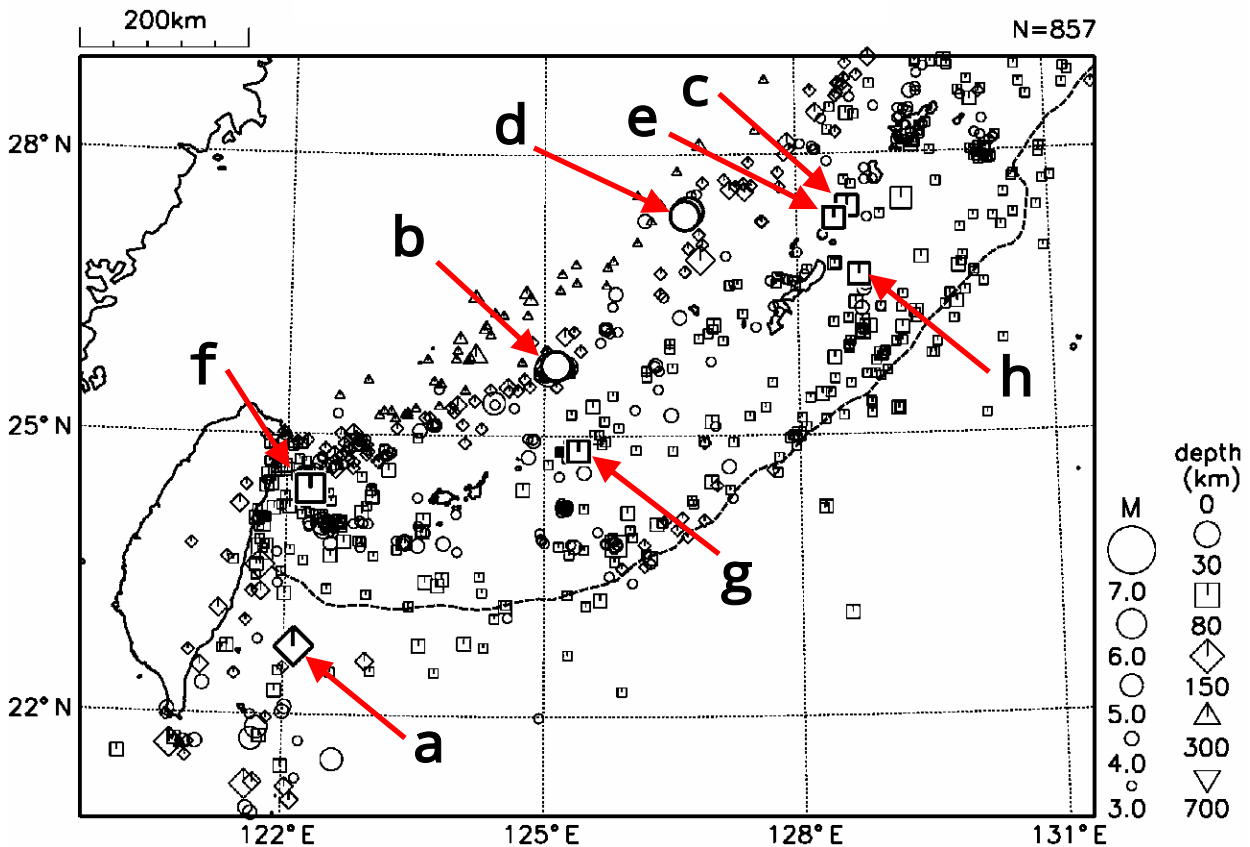


図 10 沖縄地方の震央分布図（2007 年 1 月 1 日～12 月 31 日、M 3.0）

[概況]

2007 年に沖縄地方で震度 4 以上を観測した地震はなかった（2006 年もなし）、2007 年中の主な活動は次のとおりである。

1 月 25 日 19 時 59 分に台湾付近で M6.1 の地震（図 10 中の a）があり、波照間島で震度 2 を観測した。

4 月 20 日 10 時 45 分に宮古島北西沖で M6.7（深さ 21km）の地震（図 10 中の b）があり、宮古島で震度 3 を観測した。この地震により 10 時 51 分に宮古島・八重山地方に津波注意報を発表し、11 時 50 分に解除した。なお、津波は観測されなかった。また、09 時 26 分と 11 時 23 分にもそれぞれ M6.3（深さ 22km）、M6.1（深さ 24km）の地震があり、宮古島で震度 3 を観測した。

4 月 21 日 04 時 37 分に沖縄本島近海で M5.7（深さ 42km）の地震（図 10 中の c）があり、沖永良部島や与論島で震度 4（沖縄地方では最大震度 3）を観測した。

8 月 1 日 00 時 07 分と 7 日 09 時 02 分に沖縄本島北西沖で、それぞれ M6.1（深さ 6km）、M6.3（深さ 5km）の地震（図 10 中の d）があり、久米島で震度 3 を観測した。

8 月 9 日 00 時 19 分に沖縄本島近海で M5.1（深さ 44km）の地震（図 10 中の e）があり、沖永良部島や与論島で震度 4（沖縄地方では最大震度 3）を観測した。

9 月 7 日 02 時 51 分に台湾付近で M6.6（深さ 66km）の地震（図 10 中の f）があり、与那国島で震度 3 を観測した。

9 月 22 日 17 時 00 分に宮古島近海で M5.1（深さ 48km）の地震（図 10 中の g）があり、宮古島で震度 3 を観測した。

10 月 17 日 19 時 58 分に沖縄本島近海で M5.4（深さ 39km）の地震（図 10 中の h）があり、与論島と沖縄本島で震度 3 を観測した。

なお、8 月 16 日 08 時 41 分（日本時間）に発生したペルー沿岸の地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸などで津波を観測した。

東海地震の想定震源域及びその周辺における 2007 年の地震活動

[概況]

東海地震の想定震源域内では地殻内の地震活動が活発であり、6月1日に M4.3 の地震が発生したほか、11月12日頃から静岡県西部でまとまった地震活動が発生した（最大は12月2日 M3.6）。一方、フィリピン海プレート内では8月31日に M4.3 の地震が発生している。

プレート境界の短期的なゆっくり滑りに起因すると見られる歪変化と低周波地震活動は、2月5日～10日、6月15日～17日、9月26日～10月2日および10月6日～12日にかけて観測された。

国土地理院のGPS観測によると、東海地域及びその周辺において長期的なゆっくり滑りによる顕著な地殻変動は発生していないと思われる。

周辺では、4月15日に三重県中部で M5.4、また、10月1日に神奈川県西部で M4.9 の地震が発生し、それぞれ最大震度5強を観測した。

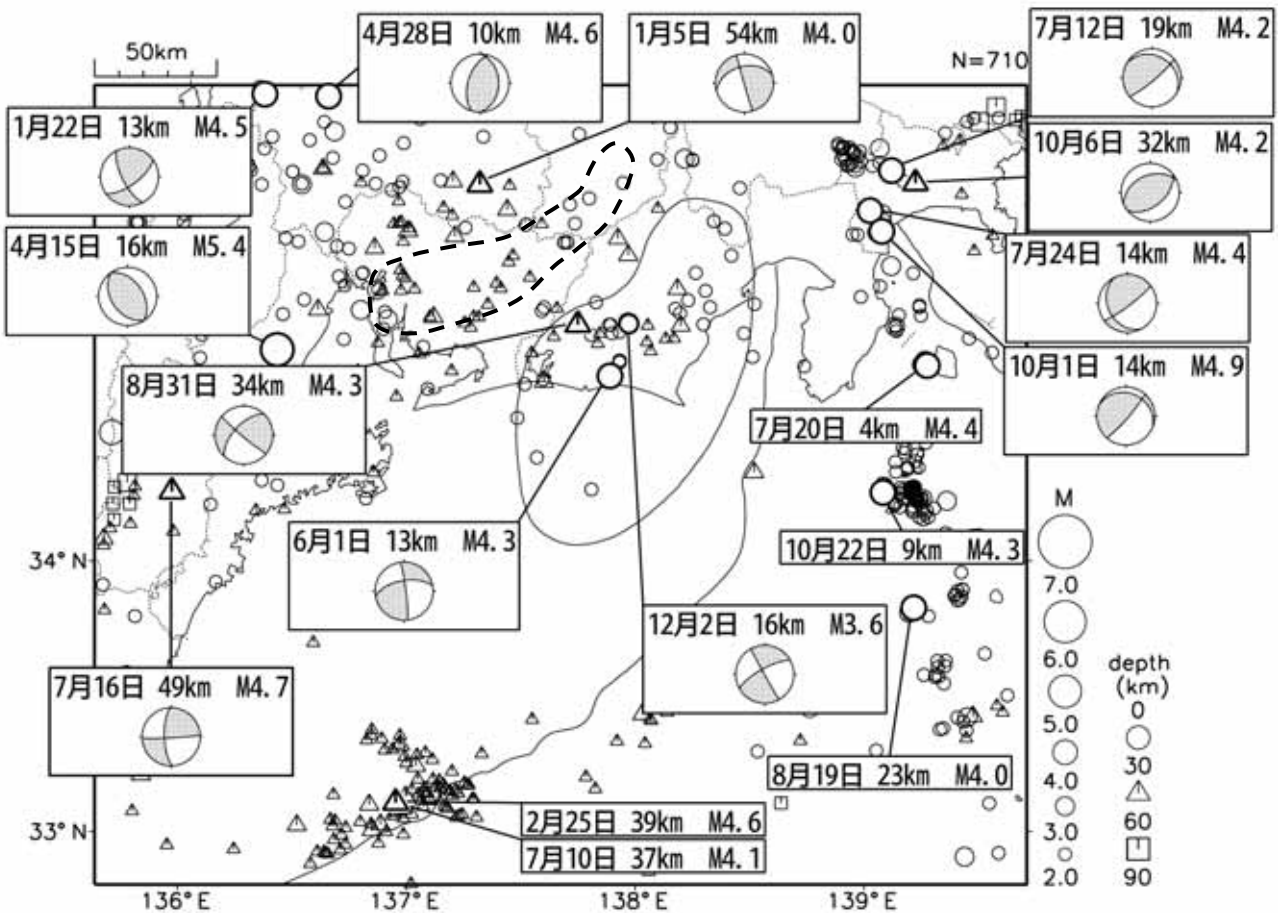


図1 震央分布図（2007年1月1日～2007年12月31日：深さ90km以浅、M2.0以上。主な地震に「月日、深さ、M」を付けた。すぐ下の図はP波初動による発震機構（下半球投影）。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。）

1月5日、岐阜県美濃東部の深さ54kmで M4.0 の地震があり、最大震度3を観測した。発震機構は東南東 - 西北西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

1月22日、岐阜県美濃中西部の深さ13kmで M4.5 の地震があり、最大震度3を観測した。発震機構は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内で

発生した地震である。

2月5日頃から2月10日前後にかけて、愛知県下のプレート境界の短期的なゆっくり滑りに起因すると見られる、歪変化と低周波地震活動が観測された。また、6月15日頃から6月17日頃にかけて長野県南部、さらに9月26日～10月2日及び10月6日～10月12日にかけては長野県南部から愛知県西部にかけて、同様な現象が観測された。

（この現象の詳細については平成 17 年 7 月地震・火山月報（防災編）を参照。）

2004 年 9 月 5 日に発生した東海道沖（紀伊半島南東沖）の地震（M7.4、最大震度 5 弱）の余震域内で発生した M4.0 以上の地震は 2 回で、2 月 25 日に深さ 39km で発生した M4.6（最大震度 2）の地震と、7 月 10 日に深さ 37km で発生した M4.1 の地震であった。

4 月 15 日、三重県中部の深さ 16km で M5.4 の地震があり、最大震度 5 強を観測した。発震機構は北東 - 南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸域の地殻内で発生した地震である。

4 月 28 日、岐阜県美濃中西部の深さ 10km で M4.6 の地震があり、最大震度 3 を観測した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸域の地殻内で発生した地震である。

6 月 1 日、静岡県西部の深さ 13km で M4.3 の地震があり、最大震度 4 を観測した。発震機構は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内で発生した地震である。

7 月 12 日、神奈川県西部の深さ 19km で M4.2 の地震があり、最大震度 3 を観測した。発震機構は北北西 - 南南東方向に圧力軸を持つ型であった。

7 月 16 日、奈良県の深さ 49km で M4.7 の地震があり、最大震度 3 を観測した。発震機構は北東 - 南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。

7 月 20 日、伊豆大島近海の深さ 4km で M4.4 の地震があり、最大震度 3 を観測した。この地震以後、震度 3 以上を観測した地震が 4 回発生するなど、地震活動は一時活発で

あった。

7 月 24 日、神奈川県西部の深さ 14km で M4.4 の地震があり、最大震度 3 を観測した。発震機構は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ型であった。

8 月 19 日、三宅島近海の深さ 23km で M4.0 の地震があり、最大震度 1 を観測した。

8 月 31 日、静岡県西部の深さ 34km で M4.3 の地震があり、最大震度 3 を観測した。発震機構は東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。

10 月 1 日、神奈川県西部の深さ 14km で M4.9 の地震があり、最大震度 5 強を観測した。発震機構は北北西 - 南南東方向に圧力軸を持つ型で、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。

10 月 6 日、神奈川県西部の深さ 32km で M4.2 の地震があり、最大震度 3 を観測した。発震機構は北北西 - 南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。

10 月 22 日、新島・神津島近海の深さ 9km で M4.3 の地震があり、最大震度 4 を観測した。

11 月 12 日頃から静岡県西部の深さ約 16km でまとまった地震活動が発生した。地震活動は、消長を繰り返しながら徐々に収まりつつある。最大は、12 月 2 日 06 時 40 分に発生した M3.6（最大震度 2）の地震で、発震機構は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。陸域の地殻内で発生した地震である。

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

2007 年 1 月 13 日の千島列島東方（シムシル島東方沖）の地震

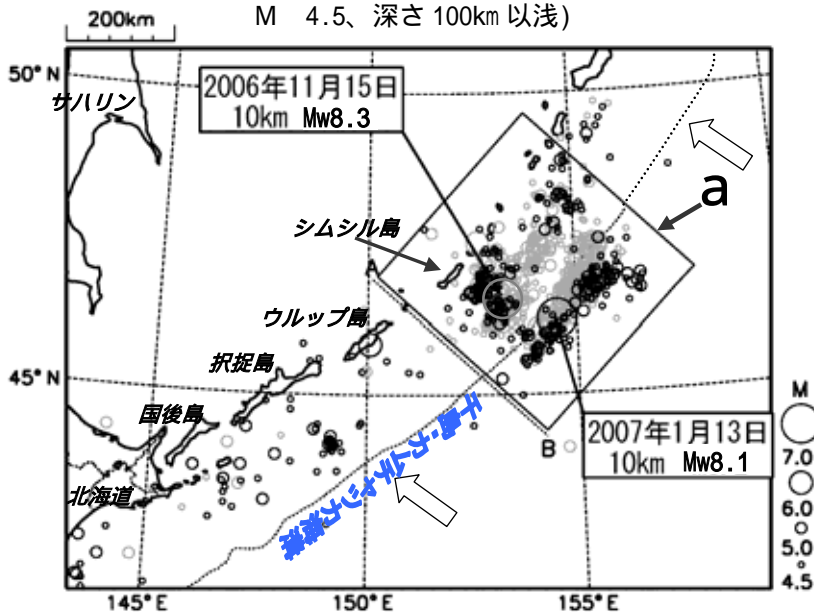
< 2007 年 1 月 13 日 13 時 23 分（日本時間）北緯 46° 16.3′ 東経 154° 27.3′ 深さ 10km mb7.3 Ms8.2 Mw8.1 >
震源要素、マグニチュードは USGS による。また Mw は Global CMT Project によるモーメントマグニチュードである。

2007 年 1 月 13 日 13 時 23 分頃（日本時間）千島列島東方（シムシル島東方沖）で、Mw8.1^{*1}（気象庁のマグニチュードは M8.2）の地震が発生した。本震の発震機構^{*2}は北北西 - 南南東方向に張力軸を持つ正断層型で、千島・カムチャツカ海溝の外側の太平洋プレート内部で発生した浅い地震と考えられる。今回の地震の震源付近では、千島・カムチャツカ海溝の北西側で 2006 年 9 月下旬から 10 月はじめにかけて地震活動が一時活発になり、2006 年 11 月 15 日に Mw8.3 の地震が発生した後、海溝の南東側で M6.0 以上の地震が数回発生するなど地震活動が一時活発になった。その後南東側の活動が一旦低調となった後、2007 年 1 月 13 日に Mw8.1 の地震が発生した。今回の地震により津波が発生し、国内では北海道日本海沿岸北部、オホーツク海沿岸から太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島で数十 cm 程度の津波を観測した。また、国外ではアメリカ太平洋沿岸やハワイなどで津波が観測された。今回の地震による被害は国内外ともに報告されていない（2 月 5 日現在 総務省消防庁、USGS による）。

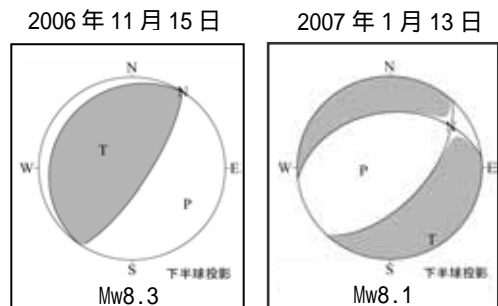
*1 Global CMT 解によるモーメントマグニチュード
*2 Global CMT 解による CMT 解

震央分布図

(2006 年 9 月 1 日 ~ 2007 年 12 月 31 日、
M 4.5、深さ 100km 以浅)

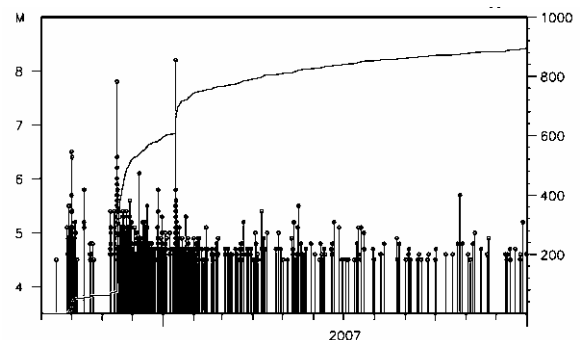


発震機構 (Global CMT 解)

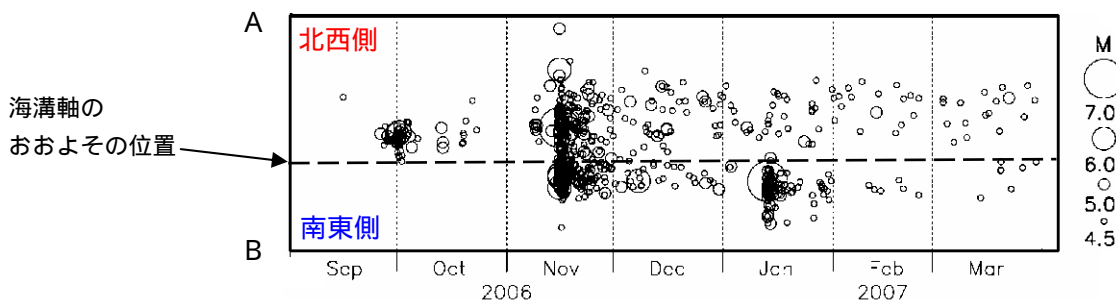


震源は USGS (但しマグニチュードは mb(実体波マグニチュード)または Ms(表面波マグニチュード)のいずれか大きい値を使用) による。白抜き矢印は太平洋プレートのおおよその進行方向を示す。2007 年 1 月 13 日以降の活動を濃く表示した。

領域 a 内の M - T 図および回数積算図



領域 a 内の時空間分布図
(A-B 方向、2006 年 9 月 1 日 ~ 2007 年 3 月 31 日)

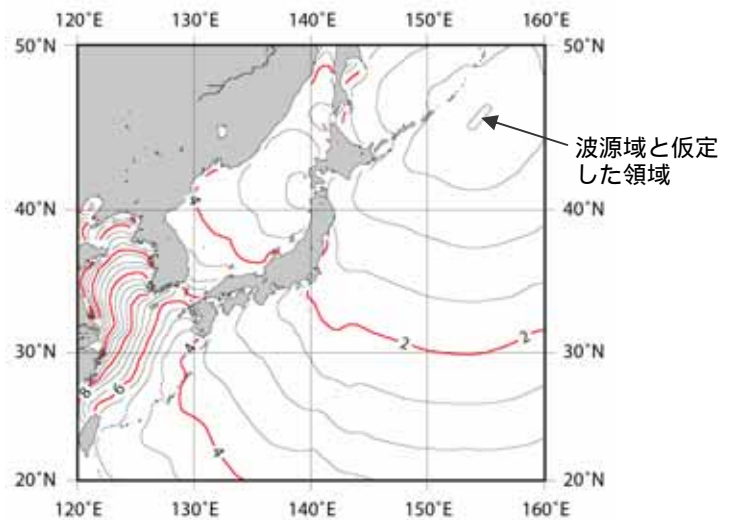
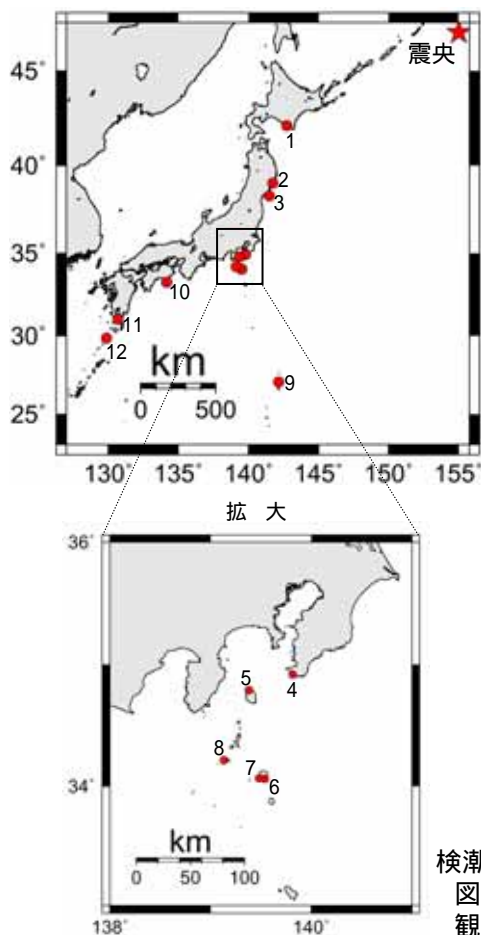


今回の地震に伴って発生した津波の観測値

観測点名	第一波		最大の高さ	
	到達時刻	高さ(cm)	発現時刻	高さ(cm)
稚内	13日16:48	-3	14日00:56	5
網走	13日15:25	+5	13日16:33	8
根室市花咲	13日14:39	-11	13日16:34	15
釧路	13日14:56	-7	14日05:46	13
1 浦河 *1	—	—	13日21:51	18
十勝港 *2	13日15:06	-12	13日22:37	14
むつ市関根浜	—	—	14日00:00	14
八戸	13日15:26	-8	13日21:48	17
宮古	13日15:07	-8	13日21:30	14
釜石 *1	13日15:13	-7	13日23:44	13
2 大船渡	—	—	13日22:20	27
3 石巻市鮎川	—	—	13日20:40	28
いわき市小名浜	13日15:44	-7	13日21:12	11
銚子	—	—	13日20:40	7
4 館山市布良	—	—	13日21:29	26
5 伊豆大島岡田	—	—	13日22:46	31
6 三宅島坪田	—	—	13日21:21	43
7 三宅島阿古 *1	—	—	13日23:41	28
8 神津島神津島港 *1	—	—	13日21:47	27
9 父島二見	13日16:24	-16	13日16:56	38
八丈島神湊 *1	—	—	13日20:43	19

観測点名	第一波		最大の高さ	
	到達時刻	高さ(cm)	発現時刻	高さ(cm)
南伊豆 *1	—	—	13日22:07	16
南伊豆町石廊崎	—	—	13日21:49	18
御前崎	—	—	13日19:52	13
舞阪	—	—	13日22:53	6
鳥羽	—	—	13日21:06	10
尾鷲	—	—	14日01:47	11
熊野市遊木	—	—	14日00:04	10
那智勝浦町浦神	—	—	14日03:22	13
串本町袋港	—	—	14日02:22	8
御坊	—	—	13日22:15	15
阿波由岐	—	—	13日23:11	18
10 室戸市室戸岬	—	—	14日01:27	25
高知	—	—	14日01:51	8
土佐清水	—	—	13日23:06	17
11 南大隅町大泊 *1	—	—	14日00:29	27
種子島西之表 *1	—	—	14日03:11	15
種子島熊野	—	—	14日01:44	22
奄美市名瀬 *1	—	—	13日22:56	14
奄美市小湊	—	—	13日22:31	22
12 中之島 *1	—	—	14日00:04	36

観測点名欄の*1 は海上保安庁、*2 は国土交通省北海道開発局の所属であることを示す。その他の観測点は気象庁の所属である。表中の値は暫定値であり、後日変更される場合がある。第一波の高さの数値は正の値が押し、負の値は引きであることを示す。第一波の到達時刻と高さの欄の — は、値が決定できないことを示す。



— 津波の理論等時線
(30 分間隔)
(図中の数字は津波の到達
時間を示す)

日本付近の津波の伝播図

検潮所の位置
図中の番号は表欄外の
観測点番号と対応している。

2007 年の日本及びその周辺で発生した主な地震

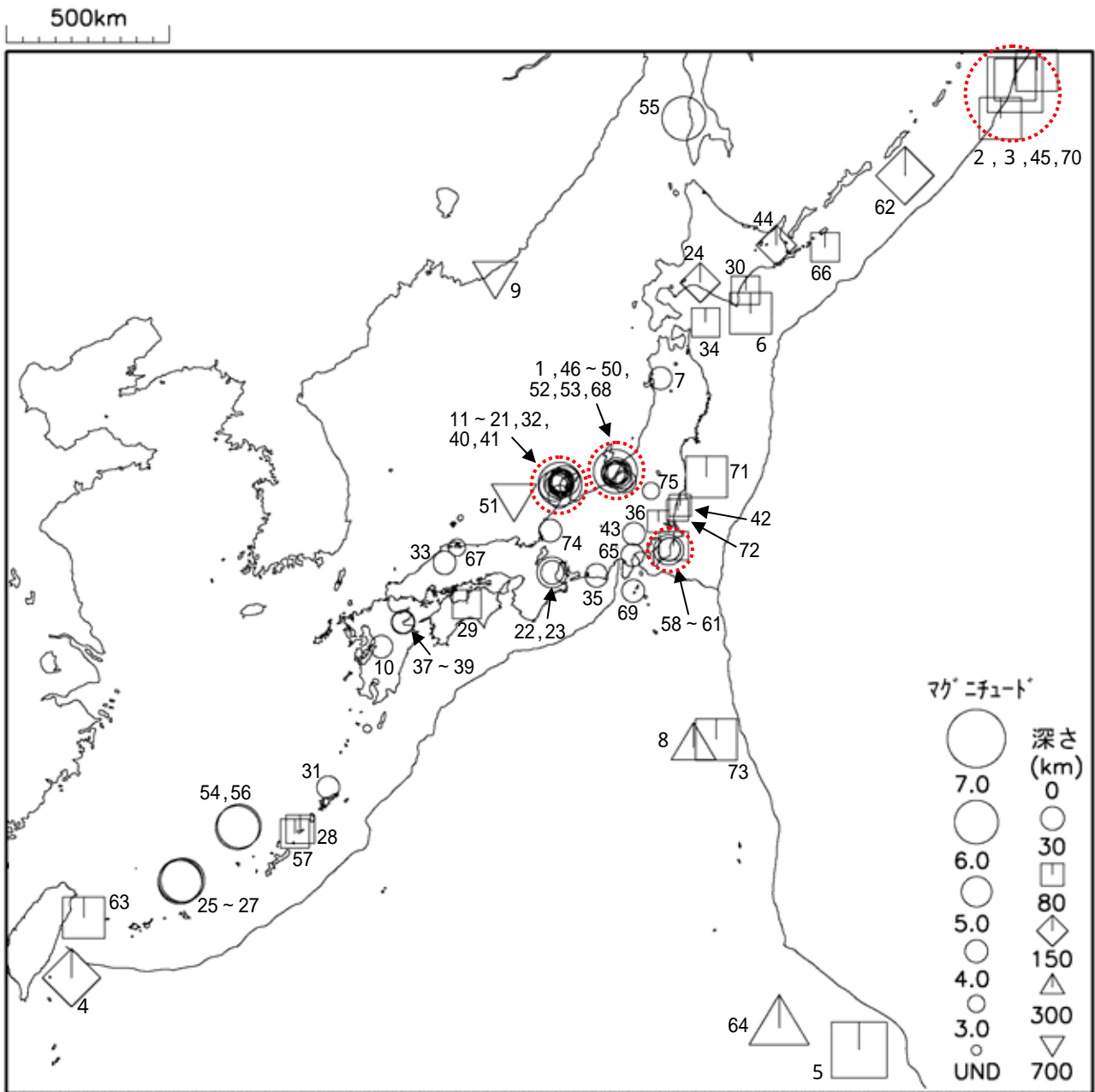


図 1 2007 年の日本及びその周辺で発生した主な地震の震央分布図

数字は表 1 の番号に対応する。

- 掲載基準
- ・「マグニチュード 6.0 以上」
 - ・「被害を伴った」
 - ・「震度 4 以上を観測した」
 - ・「津波を観測した」

表1 図1中の「マグニチュード6.0以上」、「被害を伴った」、「震度4以上を観測した」、「津波を観測した」のいずれかに該当する地震の表

番号	震源時				震央地名	震源要素（注1）				M H S T （注2）	最大震度・被害状況など （注3）		
	月	日	時	分		緯度 度 分	経度 度 分	深さ (km)	マグニ チュード				
1	1	8	18	59	新潟県中越地方	37	16.0	138	55.1	13	4.8	・ ・ S ・	4：新潟県 魚沼市堀之内* など1県 9地点
2	1	13	13	23	千島列島東方	46	56.2	155	3.1	30	8.2	M ・ ・ T	3：北海道 標津町北2条* など1道4県 35地点 津波警報等：気象庁は13時36分に、北海道太平洋沿岸東部とオホーツク海沿岸に津波警報を、北海道日本海沿岸北部と北海道太平洋沿岸中部から和歌山県にかけての太平洋沿岸及び伊豆諸島に津波注意報を発表し、15時28分には小笠原諸島に津波注意報を発表した。その後17時59分に北海道太平洋沿岸東部とオホーツク海沿岸の津波警報を津波注意報に切り替え、北海道日本海沿岸北部の津波注意報を解除した。19時45分にはオホーツク海沿岸の津波注意報を解除し、21時30分には北海道の津波注意報を解除した。その後22時10分にはすべての津波注意報を解除した。 津波観測：三宅島坪田で43cmなど、北海道日本海沿岸北部、オホーツク海沿岸から太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島で津波を観測した。
3	1	14	2	37	千島列島東方	47	11.3	156	2.8	30	6.5	M ・ ・ ・	震度1以上を観測した地点なし
4	1	25	19	59	台湾付近	22	43.5	122	6.9	92	6.1	M ・ ・ ・	2：沖縄県 竹富町波照間
5	1	31	6	37	マリアナ諸島	21	13.4	145	24.1	38	7.1	M ・ ・ ・	震度1以上を観測した地点なし
6	2	17	9	2	十勝沖	41	43.9	143	43.3	40	6.2	M ・ S ・	4：北海道 浦幌町桜町* など1道 3地点
7	3	7	21	59	秋田県内陸北部	40	5.3	140	18.2	16	4.2	・ ・ S ・	4：秋田県 北秋田市新田目*、北秋田市米内沢*
8	3	8	14	3	鳥島近海	29	52.1	140	53.6	152	6.0	M ・ ・ ・	2：宮城県 丸森町鳥屋* など3県 4地点
9	3	9	12	22	日本海北部	43	0.8	134	17.3	501	6.2	M ・ ・ ・	2：青森県 東通村小田野沢
10	3	23	22	37	熊本県熊本地方	32	37.1	130	49.6	6	4.1	・ ・ S ・	4：熊本県 熊本美里町永富*
11	3	25	9	41	能登半島沖	37	13.2	136	41.1	11	6.9	M H S T	6強：石川県 輪島市門前町走出（旧）* など1県 4地点 「平成19年（2007年）能登半島地震」 被害：死者1人、負傷者356人、住家全壊684棟など （2007年12月28日14時00分現在） 津波警報等：気象庁は09時43分に石川県に津波注意報を発表し、11時30分に解除した。 津波観測：珠洲市長橋で22cmなど、石川県の沿岸で津波を観測した。
12	3	25	9	45	能登半島沖	37	12.1	136	39.9	6	4.7	・ ・ S ・	4：石川県 志賀町香能*
13	3	25	9	52	能登半島沖	37	18.8	136	42.4	5	4.5	・ ・ S ・	4：石川県 輪島市門前町走出（旧）*
14	3	25	15	43	石川県能登地方	37	17.6	136	46.3	9	4.5	・ ・ S ・	4：石川県 輪島市門前町走出（旧）*、輪島市鳳至町
15	3	25	18	11	石川県能登地方	37	18.2	136	50.3	13	5.3	・ H S ・	5弱：石川県 輪島市鳳至町、穴水市大町*
16	3	26	7	16	能登半島沖	37	10.0	136	29.3	0	5.3	・ ・ S ・	4：石川県 輪島市門前町走出（旧）* など1県 5地点
17	3	26	14	46	能登半島沖	37	9.9	136	33.1	9	4.8	・ H S ・	5弱：石川県 志賀町香能*
18	3	26	18	2	能登半島沖	37	16.5	136	42.0	6	4.6	・ ・ S ・	4：石川県 輪島市門前町走出（旧）*
19	3	28	8	8	石川県能登地方	37	13.3	136	42.5	13	4.9	・ H S ・	5弱：石川県 輪島市鳳至町
20	3	28	13	5	能登半島沖	37	16.9	136	40.9	7	4.7	・ ・ S ・	4：石川県 輪島市門前町走出 など1県 5地点
21	4	6	15	18	石川県能登地方	37	16.0	136	47.4	12	4.3	・ ・ S ・	4：石川県 穴水町大町*
22	4	15	12	19	三重県中部	34	47.4	136	24.4	16	5.4	・ H S ・	5強：三重県 亀山市西丸町* 被害：負傷者13名、住家一部破損122棟
23	4	15	18	34	三重県中部	34	47.6	136	25.0	17	4.6	・ ・ S ・	4：三重県 津市西丸之内* など1県 8地点
24	4	19	0	7	胆振支庁中東部	42	40.2	141	56.8	126	5.6	・ ・ S ・	4：北海道 新冠町北星町*、新ひだか町静内ときわ町
25	4	20	9	26	宮古島北西沖	25	44.3	125	4.2	22	6.3	M ・ ・ ・	3：沖縄県 宮古島市平良西仲宗根 など1県5地点
26	4	20	10	45	宮古島北西沖	25	44.8	125	8.2	21	6.7	M ・ ・ ・	3：沖縄県 宮古島市平良西仲宗根 など1県6地点 津波警報等：気象庁は10時51分に宮古島・八重山地方に津波注意報を発表し、11時50分に解除した。
27	4	20	11	23	宮古島北西沖	25	41.3	125	3.1	24	6.1	M ・ ・ ・	3：沖縄県 宮古島市平良西仲宗根 など1県3地点
28	4	21	4	37	沖縄本島近海	27	26.3	128	36.2	42	5.7	・ ・ S ・	4：鹿児島県 与論町茶花*、和泊町和泊*
29	4	26	9	2	愛媛県東予	33	53.3	133	35.0	39	5.3	・ H S ・	4：香川県 綾川町山田下* など6県 56地点 被害：住家一部破損1棟
30	4	27	1	37	十勝沖	42	22.4	143	36.3	58	5.2	・ ・ S ・	4：北海道 浦幌町桜町*、広尾町西4条*
31	4	30	5	41	奄美大島近海	28	38.8	129	23.3	13	4.9	・ ・ S ・	4：鹿児島県 奄美市名瀬港町
32	5	2	20	44	石川県能登地方	37	19.8	136	45.7	7	4.7	・ ・ S ・	4：石川県 輪島市門前町走出
33	5	13	8	13	島根県東部	35	0.5	132	47.5	9	4.6	・ ・ S ・	4：島根県 美郷町都賀本郷*、邑南町下羽*
34	5	19	0	59	青森県東方沖	41	33.7	142	3.1	68	5.3	・ ・ S ・	4：青森県 東通村砂子又*、階上町道仏*
35	6	1	11	42	静岡県西部	34	41.9	137	53.7	13	4.3	・ ・ S ・	4：静岡県 掛川市三俣*
36	6	2	14	43	茨城県南部	36	8.0	140	2.0	50	4.6	・ ・ S ・	4：栃木県 二宮町石島* など2県 13地点
37	6	6	23	42	大分県中部	33	20.0	131	29.7	11	4.9	・ H S ・	4：大分県 別府市鶴見 など1県 5地点 被害：負傷者1人、住宅の水道管からの漏水3戸
38	6	7	17	22	大分県中部	33	18.9	131	29.5	9	4.7	・ H S ・	4：大分県 別府市鶴見、別府市上野口町*
39	6	7	20	50	伊予灘	33	20.0	131	30.7	8	4.7	・ H S ・	4：大分県 別府市鶴見、別府市上野口町*、日出町役場*
40	6	11	3	45	能登半島沖	37	14.6	136	39.2	7	5.0	・ ・ S ・	4：石川県 輪島市門前町走出 など1県 5地点
41	6	22	3	34	石川県西方沖	36	52.6	136	40.0	8	4.6	・ ・ S ・	4：石川県 羽咋市旭町*、宝達志水町子浦*、羽咋市柳田町
42	6	23	23	52	茨城県沖	36	32.9	140	48.2	53	4.2	・ ・ S ・	4：茨城県 日立市助川小学校*、常陸大宮市北町*
43	6	28	18	26	東京都多摩西部	35	48.7	139	11.2	15	4.1	・ ・ S ・	4：東京都 あきる野市伊奈*

番号	震源時				震央地名	震源要素（注1）						M H S T （注2）	最大震度・被害状況など （注3）
						緯度		経度		深さ (km)	マグニ チュード		
	月	日	時	分		度	分	度	分				
44	7	1	13	12	根室支庁北部	43	32.6	144	54.5	132	5.8	・・S・	4：北海道 標茶町塘路* など1道 6地点
45	7	9	3	54	千島列島東方	47	4.2	155	6.4	30	6.2	M・・・・	震度1以上を観測した地点なし
46	7	16	10	13	新潟県上中越沖	37	33.4	138	36.5	17	6.8	M H S T	6強：新潟県 柏崎市中央町* など2県 5地点 「平成19年（2007年）新潟県中越沖地震」 被害 ：死者15人、負傷者2,345人、住家全壊1,319棟など （2007年12月28日14時00分現在） 津波警報等：気象庁は10時14分に新潟県に津波注意報を発表し、 11時20分に解除した。 津波観測：柏崎（国土地理院の検潮所）で32cmなど、新潟県の 沿岸で津波を観測した。（地震調査委員会によると、柏崎（新潟県 の検潮所）で約1mの津波を観測。）
47	7	16	10	16	新潟県上中越沖	37	32.2	138	38.4	14	4.6	・・S・	4：新潟県 長岡市千手*、長岡市中之島*
48	7	16	10	18	新潟県上中越沖	37	30.3	138	32.8	18	4.9	・・S・	4：新潟県 長岡市小国町法坂*、出雲崎町米田
49	7	16	15	37	新潟県上中越沖	37	30.2	138	38.6	23	5.8	・H S・	6弱：新潟県 長岡市小島谷*、出雲崎町米田
50	7	16	21	8	新潟県上中越沖	37	30.5	138	37.7	20	4.4	・・S・	4：新潟県 出雲崎町米田、刈羽村割町新田*
51	7	16	23	17	京都府沖	36	51.9	135	6.2	374	6.7	M・S・	4：北海道 浦幌町桜町*
52	7	18	16	53	新潟県中越地方	37	26.5	138	36.9	23	4.3	・・S・	4：新潟県 出雲崎町米田
53	7	25	6	52	新潟県中越地方	37	31.9	138	43.2	24	4.8	・・S・	4：新潟県 出雲崎町米田 など1県 5地点
54	8	1	0	7	沖縄本島北西沖	27	23.3	126	42.7	6	6.1	M・・・・	3：沖縄県 久米島町比嘉* 2：北海道 猿払村浅茅野*、豊富町西6条* 津波警報等：気象庁は13時37分に北海道日本海沿岸北部に津波 注意報を発表し、14時26分に解除した。この地震の発生後、稚内と 留萌（国土交通省北海道開発局の検潮所）などで微弱な潮位変動を 観測した。この潮位変動は気象擾乱による副振動によるものと考え られる（平成19年8月地震・火山月報（防災編）p43～44参照）。
55	8	2	11	37	サハリン西方沖	47	13.3	141	43.4	0	6.4	M・・・・	3：沖縄県 久米島町比嘉* 4：鹿児島県 和泊町国頭、与論町茶花*
56	8	7	9	2	沖縄本島北西沖	27	20.8	126	40.0	5	6.3	M・・・・	3：沖縄県 久米島町比嘉*
57	8	9	0	19	沖縄本島近海	27	18.6	128	26.6	44	5.1	・・S・	4：千葉県 大網白里町大網* など1県 11地点 被害 ：負傷者1人
58	8	16	4	15	千葉県東方沖	35	26.6	140	31.8	31	5.3	・H S・	5弱：千葉県 一宮町一宮 被害 ：負傷者1人
59	8	18	4	14	千葉県南部	35	20.9	140	21.6	23	4.8	・H S・	4：千葉県 一宮町一宮 など1県 4地点
60	8	18	13	36	千葉県北東部	35	21.5	140	21.1	24	4.5	・・S・	4：千葉県 一宮町一宮 など1県 9地点
61	8	18	16	55	千葉県南部	35	20.5	140	20.7	20	5.2	・・S・	4：千葉県 一宮町一宮 など1県 9地点
62	9	4	1	14	千島列島	45	1.1	150	7.4	126	6.3	M・・・・	2：北海道 標津町北2条* など1道 3県 14地点
63	9	7	2	51	台湾付近	24	24.7	122	16.4	66	6.6	M・・・・	3：沖縄県 与那国町役場*、与那国町祖納
64	9	28	22	38	マリアナ諸島	21	59.1	143	5.8	268	7.6	M・・・・	2：東京都 小笠原村母島 など1都 8県 24地点
65	10	1	2	21	神奈川県西部	35	13.5	139	7.1	14	4.9	・H S・	5強：神奈川県 箱根町湯本* 被害 ：負傷者2人、住家一部破損5棟
66	10	9	2	10	北海道東方沖	43	21.1	146	43.5	40	5.8	・・S・	4：北海道 根室市瑤瑤瑠*、根室市落石東*
67	10	14	3	7	島根県東部	35	25.8	133	12.0	11	3.7	・・S・	4：島根県 松江市美保関町下宇部尾*
68	10	17	2	3	新潟県中越地方	37	17.3	138	53.1	15	3.7	・・S・	4：新潟県 小千谷市内
69	10	22	9	35	新島・神津島近海	34	15.6	139	6.4	9	4.3	・・S・	4：東京都 神津島村役場*、神津島村金長
70	10	25	22	50	千島列島東方	46	6.9	154	12.6	30	6.2	M・・・・	1：北海道 別海町常盤 など1道 1県 5地点
71	11	26	22	51	福島県沖	37	18.2	141	45.4	44	6.0	M・S・	4：福島県 葛尾村落合閣下*
72	11	30	18	36	茨城県沖	36	25.6	140	41.7	53	4.7	・・S・	4：茨城県 日立市十王町友部* など1県 7地点
73	12	7	9	47	鳥島近海	30	3.5	141	37.3	75	6.0	M・・・・	2：宮城県 丸森町鳥屋* など2県 3地点
74	12	21	14	22	福井県嶺北	35	56.3	136	20.9	7	4.5	・・S・	4：福井県 池田町稲荷*、越前市粟田部*、越前町西田中*
75	12	24	19	39	栃木県北部	36	59.1	139	49.0	8	3.6	・・S・	4：栃木県 那須塩原市塩原庁舎*

注1)震源要素は再調査された後、修正されることがある。

注2)M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注3)最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報である。被害の報告は総務省消防庁による。

2007 年の都道府県別の震度観測回数表

都道府県名	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
北海道	106	57	19	6	0	0	0	0	0	188
青森県	58	33	7	1	0	0	0	0	0	99
岩手県	89	32	13	0	0	0	0	0	0	134
宮城県	90	25	10	0	0	0	0	0	0	125
秋田県	18	12	1	1	0	0	0	0	0	32
山形県	16	10	3	2	0	0	0	0	0	31
福島県	64	42	9	2	0	0	0	0	0	117
茨城県	72	41	9	4	0	0	0	0	0	126
栃木県	69	28	11	3	0	0	0	0	0	111
群馬県	54	17	5	2	0	0	0	0	0	78
埼玉県	35	31	9	1	0	0	0	0	0	76
千葉県	75	36	12	3	1	0	0	0	0	127
東京都	151	47	17	2	0	0	0	0	0	217
神奈川県	67	18	9	0	0	1	0	0	0	95
新潟県	136	79	20	7	1	0	1	1	0	245
富山県	38	13	4	1	1	0	0	0	0	57
石川県	350	119	38	10	4	0	0	1	0	522
福井県	32	10	5	2	0	0	0	0	0	49
山梨県	25	13	6	0	0	0	0	0	0	44
長野県	91	25	3	2	0	0	0	1	0	122
岐阜県	69	15	7	1	0	0	0	0	0	92
静岡県	66	27	6	2	0	0	0	0	0	101
愛知県	33	6	4	0	0	0	0	0	0	43
三重県	17	7	2	1	0	1	0	0	0	28
滋賀県	19	8	2	1	0	0	0	0	0	30
京都府	15	10	4	0	0	0	0	0	0	29
大阪府	18	5	5	0	0	0	0	0	0	28
兵庫県	19	9	4	0	0	0	0	0	0	32
奈良県	22	4	2	1	0	0	0	0	0	29
和歌山県	60	17	5	0	0	0	0	0	0	82
鳥取県	10	5	4	0	0	0	0	0	0	19
島根県	10	9	2	2	0	0	0	0	0	23
岡山県	10	4	0	1	0	0	0	0	0	15
広島県	15	5	1	1	0	0	0	0	0	22
徳島県	7	3	1	1	0	0	0	0	0	12
香川県	8	2	0	1	0	0	0	0	0	11
愛媛県	13	7	0	1	0	0	0	0	0	21
高知県	20	4	0	1	0	0	0	0	0	25
山口県	14	5	1	0	0	0	0	0	0	20
福岡県	19	7	0	0	0	0	0	0	0	26
佐賀県	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6
長崎県	14	6	1	0	0	0	0	0	0	21
熊本県	30	11	5	1	0	0	0	0	0	47
大分県	57	22	9	3	0	0	0	0	0	91
宮崎県	29	11	0	0	0	0	0	0	0	40
鹿児島県	79	27	7	3	0	0	0	0	0	116
沖縄県	49	16	13	0	0	0	0	0	0	78
全国	1351	520	170	48	4	2	1	2	0	2098

2007 年の観測点別の震度観測回数表

- ・ 気象庁の震度観測点について記載した。
- ・ 表の「観測点」欄の「注」は、計数期間注意（欄外記載）。

北海道地方

支庁	観測点	震度									合計	
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7		
石狩	石狩市花川	2	2	1	0	0	0	0	0	0	5	
	札幌中央区北 2 条	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	江別市高砂町	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8	
	千歳市北栄	7	3	1	0	0	0	0	0	0	11	
	千歳市新千歳空港 ^{注)}	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
	恵庭市漁平	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	八雲町上の湯	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	函館市美原	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
	函館市尾札部町	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9	
	七飯町桜町	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
渡島	渡島森町御幸町	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
	渡島松前町福山	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	知内町小谷石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	檜山江差町姥神	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
後志	小樽市勝納町	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8	
	積丹町日司町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	余市町朝日町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	倶知安町南 1 条	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	
	島牧村江ノ島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	寿都町新栄	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	岩内町清住	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	奥尻町松江	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	空知	北竜町竜西	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		芦別市旭町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
滝川市大町		1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
夕張市若菜		3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
岩見沢市 5 条		6	2	0	0	0	0	0	0	0	8	
美唄市西 5 条		2	3	0	0	0	0	0	0	0	5	
士別市東 6 条		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
士別市朝日町		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
名寄市大通		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
旭川市宮前通東		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
上川	上川支庁上川町越路	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	富良野市若松町	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7	
	上富良野町大町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	南富良野町幾寅	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
	留萌町南 3 条	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	留萌町焼尻	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	初山別村有明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	留萌市大町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	稚内市開運	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	稚内市恵北	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
宗谷	宗谷枝幸町岬町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	宗谷枝幸町本町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	利尻富士町鬼脇	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	

支庁	観測点	震度									合計
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
網走	網走市台町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	美幌町東 3 条	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
	斜里町本町	7	5	0	0	0	0	0	0	0	12
	北見市公園町	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	北見市留辺蘂町上町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	北見市常呂町吉野 ^{注)}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	紋別市南が丘町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	遠軽町丸瀬布金湧山	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	雄武町雄武	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	胆振伊達市梅本	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
日高	室蘭市山手町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	苫小牧市未広町	10	2	1	0	0	0	0	0	0	13
	登別市鉾山	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	白老町大町	12	1	0	0	0	0	0	0	0	13
	平取町仁世宇	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	新ひだか町静内ときわ町	29	12	4	1	0	0	0	0	0	46
	浦河町潮見	35	15	5	0	0	0	0	0	0	55
	浦河町野深 ^{注)}	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7
	えりも町本町	7	1	1	0	0	0	0	0	0	9
	足寄町上螺湾	8	4	1	0	0	0	0	0	0	13
十勝	帯広市東 4 条	9	8	2	0	0	0	0	0	0	19
	十勝清水町南 4 条	6	7	1	0	0	0	0	0	0	14
	幕別町忠類明和	6	3	1	0	0	0	0	0	0	10
	本別町北 2 丁目	11	6	1	0	0	0	0	0	0	18
	広尾町並木通	13	6	4	0	0	0	0	0	0	23
	弟子屈町美里	11	6	0	0	0	0	0	0	0	17
	釧路市幸町	11	8	0	1	0	0	0	0	0	20
	釧路市音別町尺別	6	7	0	0	0	0	0	0	0	13
	厚岸町尾幌	15	4	1	0	0	0	0	0	0	20
	中標津町養老牛	13	4	0	0	0	0	0	0	0	17
根室	羅臼町春日	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9
	別海町常盤	22	9	6	0	0	0	0	0	0	37
	根室市弥栄	10	4	1	0	0	0	0	0	0	15
	根室市豊里 ^{注)}	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5

注)
 「千歳市新千歳空港」 2007 年 7 月 2 日 12 時から
 「北見市常呂町吉野」 2007 年 7 月 2 日 12 時から
 「浦河町野深」 2007 年 7 月 2 日 12 時から
 「根室市豊里」 2007 年 7 月 2 日 12 時から

東北地方

都道府県	観測点	震度									合計
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
青森県	青森市花園	9	4	0	0	0	0	0	0	0	13
	五所川原市栄町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	五所川原市太田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平内町小湊	3	9	0	0	0	0	0	0	0	12
	弘前市和田町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	鱒ヶ沢町本町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	深浦町深浦(旧)注)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	深浦町深浦注)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	深浦町長慶平	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	八戸市湊町(旧)注)	20	7	0	0	0	0	0	0	0	27
岩手県	八戸市湊町注)	11	1	0	0	0	0	0	0	0	12
	八戸市島守	13	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	七戸町天間館	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	六ヶ所村尾駸	18	7	0	0	0	0	0	0	0	25
	五戸町古館	34	11	1	0	0	0	0	0	0	46
	むつ市金曲	19	8	0	0	0	0	0	0	0	27
	むつ市大畑町	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	宮古市鎌ヶ崎	14	5	0	0	0	0	0	0	0	19
	宮古市長沢注)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	久慈市川崎町	17	4	1	0	0	0	0	0	0	22
山形県	山田町八幡町	15	6	0	0	0	0	0	0	0	21
	田野畑村田野畑	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	岩手洋野町種市	19	3	0	0	0	0	0	0	0	22
	大船渡市大船渡町	23	7	2	0	0	0	0	0	0	32
	大船渡市猪川町	10	6	2	0	0	0	0	0	0	18
	釜石市只越町	19	6	0	0	0	0	0	0	0	25
	盛岡市山王町	22	6	1	0	0	0	0	0	0	29
	二戸市福岡	37	11	2	0	0	0	0	0	0	50
	雫石町千刈田	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9
	葛巻町葛巻元木	18	0	0	0	0	0	0	0	0	18
福島県	八幡平市大更	12	3	0	0	0	0	0	0	0	15
	花巻市大迫町	19	5	0	0	0	0	0	0	0	24
	北上市柳原町	15	5	0	0	0	0	0	0	0	20
	一関市舞川	15	6	0	0	0	0	0	0	0	21
	一関市大東町	11	2	0	0	0	0	0	0	0	13
	奥州市水沢区大鐘町	8	6	0	0	0	0	0	0	0	14
	気仙沼市赤岩	28	12	1	0	0	0	0	0	0	41
	涌谷町新町	3	9	4	0	0	0	0	0	0	16
	栗原市栗駒	21	6	1	0	0	0	0	0	0	28
	登米市中田町	26	10	0	0	0	0	0	0	0	36
宮城県	南三陸町志津川	28	8	2	0	0	0	0	0	0	38
	大崎市古川三日町	17	8	3	0	0	0	0	0	0	28
	柴田町船岡	15	7	0	0	0	0	0	0	0	22
	丸森町上滝	12	1	0	0	0	0	0	0	0	13
	仙台青葉区大倉	13	6	0	0	0	0	0	0	0	19
	仙台宮城野区五輪	7	6	0	0	0	0	0	0	0	13
	石巻市泉町	16	4	2	0	0	0	0	0	0	22
	石巻市大瓜	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9
	松島町松島	6	3	1	0	0	0	0	0	0	10

都道府県	観測点	震度									合計
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
秋田県	能代市緑町	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	男鹿市男鹿中	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	五城目町西磯ノ目	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	秋田市山王	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	秋田市雄和女米木	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9
	由利本荘市石脇	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	大館市比内町味噌内	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	北秋田市花園町	5	0	1	0	0	0	0	0	0	6
	横手市雄物川町今宿	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	湯沢市沖鶴	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11
山形県	秋田美郷町六郷東根	6	4	0	0	0	0	0	0	0	10
	仙北市角館町東勝楽丁	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	鶴岡市馬場町	2	2	1	0	0	0	0	0	0	5
	鶴岡市温海川	8	1	2	0	0	0	0	0	0	11
	酒田市亀ヶ崎	8	3	1	0	0	0	0	0	0	12
	酒田市飛鳥	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	遊佐町遊佐	7	3	1	0	0	0	0	0	0	11
	新庄市東谷地田町	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7
	山形市山町中田	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	山形市緑町	5	0	1	0	0	0	0	0	0	6
福島県	河北町谷地	5	6	1	0	0	0	0	0	0	12
	米沢市駅前	7	2	2	0	0	0	0	0	0	11
	山形小国町岩井沢	9	0	2	1	0	0	0	0	0	12
	白鷹町黒鴨	6	2	1	0	0	0	0	0	0	9
	福島市松木町	16	4	0	0	0	0	0	0	0	20
	郡山市朝日	26	5	1	0	0	0	0	0	0	32
	白河市郭内	20	3	0	0	0	0	0	0	0	23
	大玉村曲藤	10	2	1	0	0	0	0	0	0	13
	棚倉町棚倉中居野	37	6	0	0	0	0	0	0	0	43
	田村市船引町	36	5	0	0	0	0	0	0	0	41
福島県	いわき市小名浜	24	4	2	0	0	0	0	0	0	30
	いわき市三和町注)	15	6	2	0	0	0	0	0	0	23
	川内村下川内	27	2	1	0	0	0	0	0	0	30
	浪江町幾世橋	34	8	3	0	0	0	0	0	0	45
	南相馬市原町区三島町	17	4	0	0	0	0	0	0	0	21
	会津若松市材木町	2	2	1	0	0	0	0	0	0	5
	西会津町野沢	8	4	2	1	0	0	0	0	0	15
	猪苗代町城南	11	2	1	1	0	0	0	0	0	15
	柳津町大成沢	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8
	南会津町田島	14	3	0	1	0	0	0	0	0	18

注)
 「深浦町深浦(旧)」 2007年12月5日19時まで
 「深浦町深浦」 2007年12月5日19時から
 「八戸市湊町(旧)」 2007年9月13日18時まで
 「八戸市湊町」 2007年9月13日18時から
 「宮古市長沢」 2007年7月2日12時から
 「いわき市三和町」 2007年7月2日12時から

関東地方

都道府県	観測点	震度									合計
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
茨城県	水戸市金町	38	12	2	1	0	0	0	0	0	53
	常陸太田市町屋町	27	6	0	0	0	0	0	0	0	33
	常陸大宮市中富町	18	4	2	0	0	0	0	0	0	24
	土浦市大岩田	31	15	2	0	0	0	0	0	0	48
	石岡市柿岡	46	17	4	0	0	0	0	0	0	67
	茨城鹿嶋市鉢形	32	12	2	0	0	0	0	0	0	46
	利根町布川	29	5	2	0	0	0	0	0	0	36
	坂東市岩井	34	12	4	0	0	0	0	0	0	50
	筑西市舟生	39	16	3	1	0	0	0	0	0	59
	鉾田市鉾田	38	7	3	0	0	0	0	0	0	48
栃木県	日光市中宮祠	30	10	2	0	0	0	0	0	0	42
	日光市瀨川	21	2	1	0	0	0	0	0	0	24
	大田原市黒羽田町	11	2	0	0	0	0	0	0	0	13
	那須塩原市暮沼	6	1	2	0	0	0	0	0	0	9
	宇都宮市明保野町	40	14	7	0	0	0	0	0	0	61
	足利市名草上町	15	15	1	0	0	0	0	0	0	31
	栃木市旭町	22	8	5	0	0	0	0	0	0	35
	益子町益子	32	11	2	1	0	0	0	0	0	46
	那須烏山市中央	29	7	1	0	0	0	0	0	0	37
	群馬県	沼田市西倉内町	8	9	1	1	0	0	0	0	0
六合村日影		7	1	1	0	0	0	0	0	0	9
片品村東小川		27	10	2	1	0	0	0	0	0	40
東吾妻町原町		0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
前橋市昭和町		4	1	1	0	0	0	0	0	0	6
桐生市織姫町		13	5	1	0	0	0	0	0	0	19
富岡市七日市		13	1	0	0	0	0	0	0	0	14
板倉町板倉		18	11	2	0	0	0	0	0	0	31
熊谷市桜町		11	5	1	0	0	0	0	0	0	17
本庄市児玉町		14	5	1	0	0	0	0	0	0	20
埼玉県	久喜市下早見	35	11	5	1	0	0	0	0	0	52
	鳩山町大豆戸	11	2	0	0	0	0	0	0	0	13
	川越市旭町	12	2	0	0	0	0	0	0	0	14
	飯能市苅生	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	さいたま浦和高砂	14	8	3	0	0	0	0	0	0	25
	秩父市上町	15	2	0	0	0	0	0	0	0	17
	小鹿野町両神薄	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	銚子市川口町	19	3	0	0	0	0	0	0	0	22
	銚子市天王台 ^{注)}	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	東金市東新宿	23	11	3	1	0	0	0	0	0	38
千葉県	多古町多古	35	12	1	0	0	0	0	0	0	48
	千葉一宮町一宮	23	12	2	3	1	0	0	0	0	41
	長柄町大津倉	12	6	4	0	0	0	0	0	0	22
	香取市佐原下川岸	22	12	2	0	0	0	0	0	0	36
	千葉中央区中央港	22	7	2	0	0	0	0	0	0	31
	成田市花崎町	24	18	3	0	0	0	0	0	0	45
	柏市旭町	25	5	3	0	0	0	0	0	0	33
	館山市長須賀	29	11	1	0	0	0	0	0	0	41
	木更津市太田	17	6	0	0	0	0	0	0	0	23
	勝浦市墨名	26	10	3	0	0	0	0	0	0	39
千葉県	鴨川市八色	20	9	0	0	0	0	0	0	0	29
	南房総市上堀 ^{注)}	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4

都道府県	観測点	震度									合計
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
東京都	東京千代田区大手町	48	17	2	0	0	0	0	0	0	67
	東京大田区東京国際空港 ^{注)}	16	5	0	0	0	0	0	0	0	21
	東京杉並区阿佐谷	18	1	1	0	0	0	0	0	0	20
	東京江戸川区中央	33	9	1	0	0	0	0	0	0	43
	八王子市大横町	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18
	国分寺市戸倉	9	8	1	0	0	0	0	0	0	18
	青梅市東青梅	16	2	0	0	0	0	0	0	0	18
	神津島村金長	19	2	0	1	0	0	0	0	0	22
	伊豆大島町元町	31	7	5	0	0	0	0	0	0	43
	伊豆大島町差木地	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9
東京都	東京利島村	15	0	0	0	0	0	0	0	0	15
	新島村式根島	38	6	2	0	0	0	0	0	0	46
	三宅村神着	12	2	0	0	0	0	0	0	0	14
	三宅村阿古	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三宅村坪田	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	御蔵島村	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	八丈町三根	13	3	1	0	0	0	0	0	0	17
	八丈町大賀郷西見	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	青ヶ島村	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	小笠原村父島西町	10	5	0	0	0	0	0	0	0	15
東京都	小笠原村父島三日月山	12	4	2	0	0	0	0	0	0	18
	小笠原村母島 ^{注)}	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	横浜中区山手町	42	12	2	0	0	0	0	0	0	56
	川崎中原区小杉陣屋	24	6	0	0	0	0	0	0	0	30
	横須賀市光の丘	24	5	0	0	0	0	0	0	0	29
	茅ヶ崎市茅ヶ崎	21	6	1	0	0	0	0	0	0	28
	小田原市久野	4	2	2	0	0	0	0	0	0	8
	相模原市中央	15	6	1	0	0	0	0	0	0	22
	秦野市曾屋	16	5	2	0	0	0	0	0	0	23
	湯河原町宮上	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3

注)
 「銚子市天王台」 2007年7月2日12時から
 「南房総市上堀」 2007年7月2日12時から
 「東京大田区東京国際空港」2007年7月2日12時から
 「小笠原村母島」 2007年7月2日12時から

近畿地方

都道府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
滋賀県	彦根市城町	11	1	2	0	0	0	0	0	0	14
	大津市御陵町	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	大津市北消防署志賀分署	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10
	近江八幡市桜宮町	11	4	2	0	0	0	0	0	0	17
	甲賀市水口町	4	1	1	0	0	0	0	0	0	6
	東近江市君ヶ畑町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	福知山市内記	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
京都府	舞鶴市下福井	4	1	1	0	0	0	0	0	0	6
	京丹後市弥栄町吉沢	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	京都中京区西ノ京	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8
	宇治市宇治琵琶	4	4	1	0	0	0	0	0	0	9
	亀岡市安町	12	2	2	0	0	0	0	0	0	16
	京丹波町坂原	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	大阪中央区大手前	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
大阪府	豊中市大阪国際空港 ^{注)}	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	高槻市桃園町	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	箕面市箕面	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7
	岸和田市岸城町	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7
	富田林市本町	3	4	0	0	0	0	0	0	0	7
	大阪堺市中区深井清水町	3	4	0	0	0	0	0	0	0	7
	兵庫県	豊岡市桜町	8	3	1	0	0	0	0	0	0
兵庫香美町香住区三川		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
朝来市和田山町枚田		6	3	1	0	0	0	0	0	0	10
神戸東灘区魚崎北町		5	2	0	0	0	0	0	0	0	7
神戸灘区神ノ木		4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
神戸兵庫区荒田町		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
神戸長田区神楽町		1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
神戸須磨区緑ヶ丘		4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
神戸垂水区日向		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
神戸北区南五葉町 ^{注)}		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
神戸中央区脇浜		1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
神戸西区神出町		7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
明石市中崎		5	2	0	0	0	0	0	0	0	7
西宮市宮前町		4	4	0	0	0	0	0	0	0	8
加古川市加古川町		4	4	0	0	0	0	0	0	0	8
三木市細川町		8	1	0	0	0	0	0	0	0	9
三田市下深田		7	2	0	0	0	0	0	0	0	9
加西市下万願寺町		3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
篠山市北新町		5	2	0	0	0	0	0	0	0	7
加東市社		4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
姫路市今宿		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
相生市旭		5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
宍粟市山崎町鹿沢		5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
洲本市小路谷	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
南あわじ市福良	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
淡路市中田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
淡路市富島	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	

都道府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
奈良県	奈良市半田開町	3	5	1	0	0	0	0	0	0	9
	桜井市池之内	2	2	1	0	0	0	0	0	0	5
	平群町鳴川	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	大淀町桧垣本	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7
	和歌山市男野芝丁	17	5	1	0	0	0	0	0	0	23
和歌山県	有田市箕島	13	3	0	0	0	0	0	0	0	16
	御坊市園	11	2	0	0	0	0	0	0	0	13
	高野町高野山中学校	6	5	0	0	0	0	0	0	0	11
	みなべ町土井	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	紀の川市粉河	12	6	0	0	0	0	0	0	0	18
	新宮市新宮	8	3	1	0	0	0	0	0	0	12
	白浜町湯崎	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	串本町潮岬	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
古座川町峯	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	

注)
 「豊中市大阪国際空港」 2007年7月2日12時から
 「神戸市北区南五葉町」 2007年3月1日12時まで

中国地方

都道府県	観測点	震度										
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
鳥取県	鳥取市吉方	2	3	0	0	0	0	0	0	0	5	
	岩美町浦富	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	智頭町智頭	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	倉吉市岩倉長峯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	米子市博労町	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9	
	境港市東本町	6	3	2	0	0	0	0	0	0	11	
岡山県	松江市西津田	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	松江市西生馬町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	出雲市今市町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	雲南市大東町大東	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	浜田市大辻町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	益田市匹見町石谷	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	江津市波積町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	隠岐の島町西町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	津山市林田	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
岡山県	新見市新見	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	真庭市西河内	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	美作市尾谷	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	岡山市桑田町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	倉敷市新田	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	備前市伊部	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	赤磐市上市	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	
	浅口市天草公園	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	広島県	広島三次市十日市中	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
		庄原市西城町熊野	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		北広島町有田	4	1	1	0	0	0	0	0	0	6
北広島町都志見		2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
三原市円一町		1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
福山市松永町		1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
広島府中市上下町矢多田		1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
広島中区上八丁堀		4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
呉市宝町		6	0	1	0	0	0	0	0	0	7	
呉市倉橋町鶯ヶ巣		4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
東広島市黒瀬町		5	0	1	0	0	0	0	0	0	6	
山口県		萩市土原	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		山口市周布	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	防府市寿	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	下松市瀬戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	岩国市今津	2	3	0	0	0	0	0	0	0	5	
	田布施町下田布施	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
	下関市竹崎	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	下関市豊田町一ノ俣	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	下関市豊浦町川棚	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	宇部市野中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

四国地方

都道府県	観測点	震度										
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
徳島県	徳島市大和町	6	0	1	0	0	0	0	0	0	7	
	鳴門市撫養町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	吉野川市鴨島町	4	0	1	0	0	0	0	0	0	5	
	美馬市脇町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	徳島三好市池田町ウエノ ^{注)}	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	徳島三好市池田総合体育館 ^{注)}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
香川県	阿南市富岡町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	那賀町横石	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	高松市伏石町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
愛媛県	東かがわ市三本松	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	
	土庄町甲	5	1	1	0	0	0	0	0	0	7	
	坂出市王越町	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	観音寺市坂本町	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
	多度津町家中	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	今治市南宝来町二丁目	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
高知県	新居浜市一宮町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	西条市丹原町鞍瀬	5	0	0	1	0	0	0	0	0	6	
	松山市北持田町	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
	宇和島市住吉町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	八幡浜市広瀬	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	大洲市豊茂	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	西予市野村町	5	0	1	0	0	0	0	0	0	6	
	愛媛鬼北町成川 ^{注)}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	高知県	室戸市室戸岬町	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
		室戸市吉良川町 ^{注)}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安芸市西浜		4	0	0	1	0	0	0	0	0	5	
高知市本町		1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
須崎市山手町		0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
香美市土佐山田町宝町		0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
香美市物部町神池		0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
宿毛市片島		9	1	0	0	0	0	0	0	0	10	
土佐清水市足摺岬		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
土佐清水市有永		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
高知県	四万十町窪川中津川	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	黒潮町入野	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	

注)
 「徳島三好市池田町ウエノ」 2007年8月8日12時まで
 「徳島三好市池田総合体育館」 2007年8月8日12時から
 「愛媛鬼北町成川」 2007年7月2日12時から
 「室戸市吉良川町」 2007年7月2日12時から

九州地方

都道府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
福岡県	福岡博多区福岡空港 ^{注)}	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	福岡中央区大濠	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	福岡西区玄界島	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9
	福岡早良区板屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	志摩町初	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	福津市手光	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	北九州八幡東区桃園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	苅田町若久	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	飯塚市川島	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	福智町上野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大牟田市笠林	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	久留米市津福本町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	黒木町北木屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	筑前町下高場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県	唐津市西城内	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	佐賀市駅前中央	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	太良町多良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嬉野市不動山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	佐世保市千尽町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	平戸市岩の上町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	長崎市南山手	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	長崎市長浦町	4	2	1	0	0	0	0	0	0	7
	長崎市黒浜町 ^{注)}	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	諫早市東小路町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	雲仙市国見町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	雲仙市小浜町雲仙	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	長崎対馬市厳原町東里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長崎対馬市上県町飼所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	壱岐市芦辺町中野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五島市木場町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五島市富江町繁敷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	熊本県	南阿蘇村中松	3	1	1	0	0	0	0	0	0
熊本市京町		7	1	1	0	0	0	0	0	0	9
八代市平山新町		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
八代市泉町		1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
玉名市築地		2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
宇城市松橋町		3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
人吉市城本町		10	4	0	0	0	0	0	0	0	14
多良木町多良木		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町芦北		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
上天草市大矢野町		3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
天草市本町		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
天草市牛深町		1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
中津市上宮永		6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
国東市国見町西方寺		5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
国東市鶴川	4	4	1	0	0	0	0	0	0	9	
大分市長浜(旧) ^{注)}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大分市長浜 ^{注)}	9	3	4	0	0	0	0	0	0	16	
別府市鶴見	47	18	8	3	0	0	0	0	0	76	
臼杵市乙見	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	
佐伯市中村南	16	5	4	0	0	0	0	0	0	25	
佐伯市蒲江	9	5	1	0	0	0	0	0	0	15	
豊後大野市三重町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
日田市中津江村合瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日田市三本松	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
玖珠町帆足	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	

都道府県	観測点	震度										
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
宮崎県	延岡市天神小路	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	延岡市北方町末	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	日向市亀崎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	新富町上富田	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	宮崎都農町川北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	高千穂町三田井	12	4	0	0	0	0	0	0	0	16	
	宮崎市霧島	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
	日南市油津	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
	串間市奈留	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	都城市菖蒲原	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	都城市高崎町江平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小林市真方	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	鹿児島県	鹿児島市東都元	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		鹿児島市下福元	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
枕崎市高見町		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
阿久根市赤瀬川(旧) ^{注)}		4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
阿久根市赤瀬川 ^{注)}		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
鹿児島出水市緑町(旧) ^{注)}		0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
大口市山野		2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
指宿市山川新生町		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
薩摩川内市中郷		6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
さつま町宮之城屋地		5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
いちき串木野市昭和通 ^{注)}		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
霧島市隼人町内山田		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
霧島市鹿児島空港		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
鹿屋市新栄町		12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
錦江町田代麓	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
志布志市志布志町志布志	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
鹿児島十島村中之島徳之尾	8	3	1	0	0	0	0	0	0	12		
薩摩川内市下甕町青瀬	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
西之表市住吉	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
西之表市西之表	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
屋久島町小瀬田	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4		
屋久島町口永良部島池田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
龍郷町屋入	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3		
喜界町滝川	9	3	0	0	0	0	0	0	0	12		
奄美市名瀬港町	19	6	1	1	0	0	0	0	0	27		
天城町当部	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6		
和泊町国頭	4	2	1	1	0	0	0	0	0	8		

注)
「福岡博多区福岡空港」 2007年7月2日12時から
「長崎市黒浜町」 2007年7月2日12時から
「大分市長浜(旧)」 2007年2月28日12時まで
「大分市長浜」 2007年2月28日12時から
「阿久根市赤瀬川(旧)」 2007年4月2日12時まで
「阿久根市赤瀬川」 2007年4月2日12時から
「鹿児島出水市緑町(旧)」 2007年4月2日12時まで
「いちき串木野市昭和通」 2007年4月2日12時まで

沖縄地方

都道府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
沖	名護市宮里	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	国頭村奥	3	2	3	0	0	0	0	0	0	8
	粟国村浜	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6
	伊平屋村我喜屋	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	那覇市樋川	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	那覇市那覇空港 ^{注)}	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	読谷村座喜味	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	南城市玉城前川	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	久米島町謝名堂	7	3	2	0	0	0	0	0	0	12
	久米島町山城	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6
縄	南大東村在所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南大東村池之沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	多良間村塩川	8	3	0	0	0	0	0	0	0	11
	宮古島市平良下里	10	3	4	0	0	0	0	0	0	17
	宮古島市平良西仲宗根	17	5	5	0	0	0	0	0	0	27
	宮古島市城辺福北	14	8	3	0	0	0	0	0	0	25
	石垣市登野城	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9
	石垣市新川	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	与那国町祖納	5	0	1	0	0	0	0	0	0	6
	竹富町大原	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10
県	竹富町黒島	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
	竹富町波照間	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6
	竹富町船浮 ^{注)}	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7

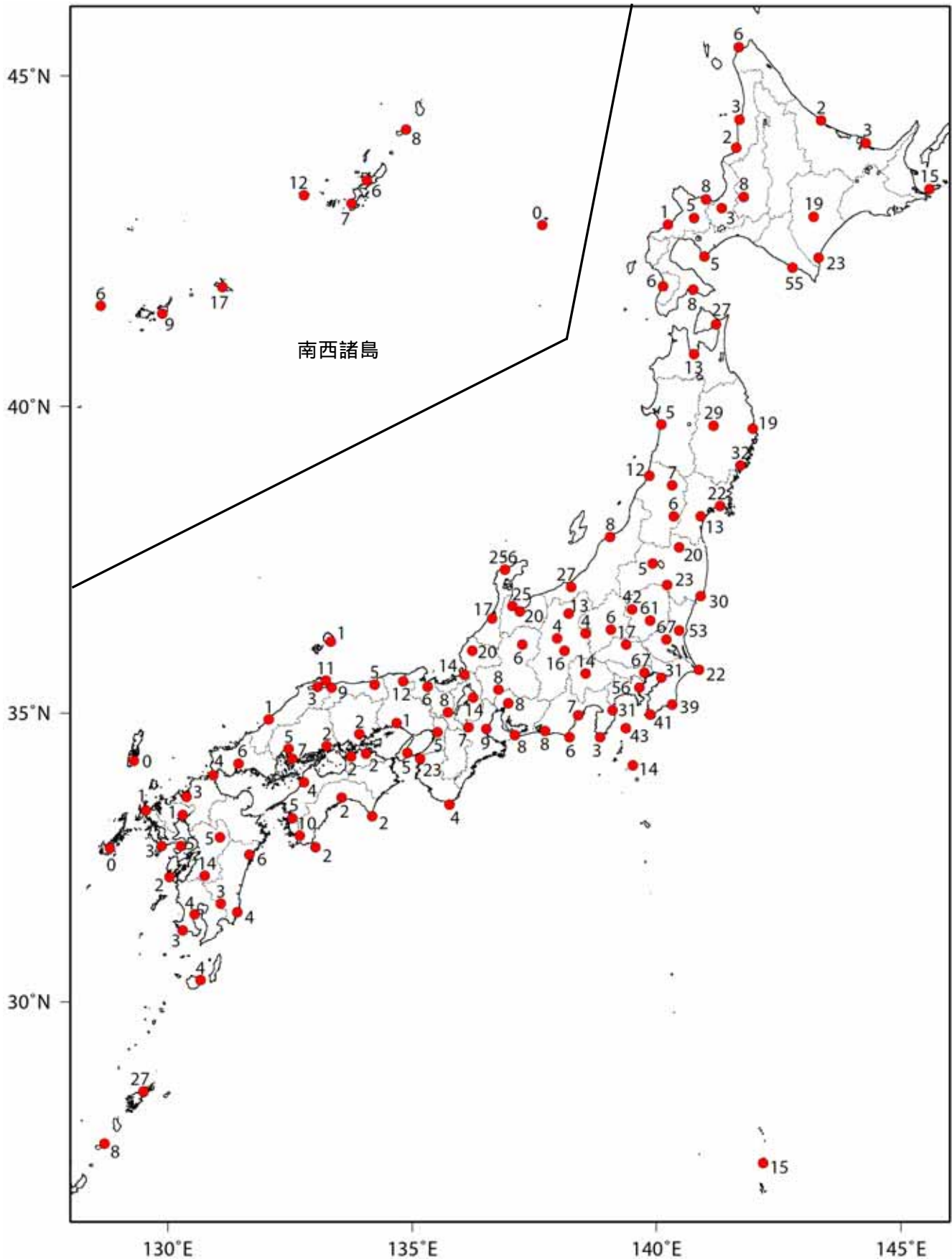
注)

「那覇市那覇空港」 2007年7月2日12時から

「竹富町船浮」 2007年7月2日12時から

2007 年に主な観測点で震度 1 以上を観測した回数分布

（主な観測点：過去 20 年以上にわたり震度観測を行っている地点）



● 2007 年の日本の主な火山活動

【北海道地方】

しれとこいおうざん 知床硫黄山

5 月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、北西側中腹の爆裂火口の噴気などの状況に変化はなかった。

らうすだけ 羅臼岳

5 月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、羅臼岳やその周辺に噴気は認められなかった。

ましゅう 摩周

3 月、7 月及び 8 月に行った上空からの観測（北海道開発局及び北海道の協力による）では、カムイヌプリ付近に噴気は認められなかった。

アトサヌプリ

3 月、7 月及び 8 月に行った上空からの観測（北海道開発局及び北海道の協力による）及び 7 月、8 月及び 11 月に行った現地調査では、アトサヌプリ溶岩ドームの噴気の状況や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

めあかんだけ 雌阿寒岳

3 月に振幅の小さな地震が一時的にやや増加したが、その後は地震活動は低調に経過した。
5 月及び 9～10 月に行った現地調査では、ポンマチネシリ 96-1 火口及び赤沼 06 火口群の温度¹⁾の低下傾向が引き続き認められた。その他の火口等の噴煙の状況や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。また、3 月、7 月及び 8 月に行った上空からの観測（北海道開発局及び北海道の協力による）では、赤沼火口、北西斜面 06 噴気孔列やポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなかった。

地磁気連続観測²⁾では、96-1 火口付近の地下の温度低下を示す変化が続いている。

地殻変動に特段の変化はなかった。

2) プロトン磁力計による観測。火山は磁石のように磁気を帯びている。火山体内部で温度上昇があると、山頂火口の北側で全磁力値が増加し、南側で減少がみられる。

まるやま 丸山

2 月、7 月及び 8 月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、山頂北西斜面の火口列に噴気は認められなかった。

たいせつざん 大雪山

2 月、7 月、8 月及び 11 月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、旭岳地獄谷爆裂火口の噴気の状況や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

とかあだけ 十勝岳

2006 年 1 月以降、62-2 火口の噴煙活動や火口温度は次第に低下したことから、2 月に火山活動は静穏な状況となった。

62-2 火口周辺で行った GPS 繰り返し観測では、6 月に 62-2 火口付近の膨張を示す地殻変動が確認されたが、7 月、8 月及び 9 月の観測では、膨張傾向の継続は認められなかった。また、山麓での GPS 連続観測には特段の変化はみられなかった。

2 月、7 月、8 月及び 11 月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）及び 6 月及び 9 月に行った現地調査では、62-2 火口及びその周辺の火口の噴煙の状況や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

地震活動は低調な状態で経過した。

りしりきん 利尻山

2 月及び 8 月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、山頂部や南山麓に噴気や地熱域¹⁾は認められなかった。

たるまえざん 樽前山

5 月、7 月、8 月及び 10 月に行った現地調査では、A 火口及び B 噴気孔群では高温¹⁾の状態が続いていた。また、3 月、5 月及び 11 月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、山頂ドーム及びその周辺の火口の状況に変化はなかった。

10 月に行った地磁気繰り返し観測²⁾では、特段の変化は認められなかった。

10 月に山頂ドーム周辺で行った GPS 繰り返し観測では、山体直下のわずかな膨張が引き続きみられたが、山麓での GPS 連続観測では特段の変化はなかった。

地震活動は低調な状態で経過した。

恵庭岳

5月及び11月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、山頂東側の爆裂火口で従来から見られていた弱い噴気が認められた。

倶多楽

繰り返し行った現地調査や3月、4月及び11月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、地獄谷や大湯沼等の状況に特段の変化はなかった。

5月3日朝、大正地獄で熱湯が噴出しているとの通報があり、同日午後に札幌管区气象台及び北海道大学が行った現地調査で、ごく小規模な泥混じりの熱湯の連続的な噴出が確認されたが、その後は、噴出は間欠的になり、噴出の高さ・頻度ともに次第に弱まり、6月以降は時々見られる程度となっている。

地震活動は低調な状態で経過した。

有珠山

5月及び9月に行った現地調査では、西山西麓火口群及び山頂火口原の噴気や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。また、3月、5月及び11月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、西山西麓火口群及び山頂火口原の噴気状況に変化はなかった。

地震活動、噴煙活動は低調な状態で経過した。

羊蹄山

5月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では羊蹄山に噴気は認められなかった。

ニセコ

5月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、イワオヌプリ山頂部や五色温泉付近に噴気は認められなかった。

北海道駒ヶ岳

山腹のGPS連続観測ではわずかな山体膨張が継続した。

5月及び10月に行った現地調査では、昭和4年火口等の噴煙の状況や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。また、3月、7月、10月及び11月に行った上空からの観測（北海道開発局及び北海道の協力による）では、昭和4年火口等の噴煙の状況に変化はなかった。

10月に山頂付近で行ったGPS繰り返し観測及び地磁気繰り返し観測²⁾では、特段の変化は認められなかった。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で経過した。

恵山

11月に行った現地調査では、溶岩ドーム西側の噴気状況や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。また、3月、7月及び10月に行った上空からの観測（北海道開発局及び北海道の協力による）では、溶岩ドーム西側の噴気状況に変化はなかった。

11月に行ったGPS繰り返し観測では、特段の変化は認められなかった。

12月に振幅の小さな地震が一時的にやや増加したが、その他は地震活動は低調な状態で経過した。

渡島大島

10月に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、山頂付近に噴気は認められず、中央火口丘の地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

【東北地方】**岩木山**

8月に行った現地調査では、赤沢上流爆裂火口跡及び鳥ノ海火口に噴気は認められなかった。

地震活動は低調な状態で経過した。

岩手山

7月に継続時間は短いですが、振幅のやや大きな火山性微動が観測されたが、地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、東北大学の傾斜計³⁾等による地殻変動観測でも特段の変化は認められなかった。

8月に行った現地調査及び12月に行った上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）では、大地獄谷の噴気状況や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で経過した。

- 3) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがある。

秋田駒ヶ岳

10月に行った現地調査では、女岳山頂部の噴気状況や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

地震活動は低調な状態で経過した。

栗駒山

7月に行った現地調査では、ゼッタ沢上流の地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

地震活動は低調な状態で経過した。

**あづまやま
吾妻山**

火山性地震は 2006 年 11 月以降減少しつつもやや多い状態が続いていたが、4 月頃より少ない状態となった。

大穴火口周辺で行った GPS 繰り返し観測では、2006 年 7 月から地震増加と同時に大穴火口付近の浅い所の膨張が認められたが、2007 年 4 月以降はほぼ横ばいの状況が続いた。山体での GPS 連続観測には特段の変化は認められなかった。

8 月に行った現地調査では、大穴火口の噴気の状態や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

**あだたらやま
安達太良山**

6 月に行った現地調査では、沼ノ平火口の噴気や地熱域の状況に特段の変化はなかった。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなかった。

**ぼんだいさん
磐梯山**

6 月と 10 月に振幅が小さく、継続時間の短い火山性微動が観測されたが、微動発生の前後で地震の増加はなく、噴気などの表面現象の状況にも特段の変化は認められなかった。

10 月に行った現地調査では、山体北側火口壁及び沼の平の噴気の状態や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなかった。

【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】**なすだけ
那須岳**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなかった。

**くまつしらねさん
草津白根山**

7 月に振幅の小さな火山性微動が観測され、湯釜付近の浅い所を震源とする振幅の小さな地震が一時的にやや増加した。また 8 月にも火山性微動が観測されたが、いずれも振幅は小さく継続時間も短かった。11 月に湯釜の南側のごく浅いところを震源とする振幅の小さな火山性地震が一時的にやや増加した。

11 月 7 から 8 日にかけて行った現地調査では、湯釜北方斜面の噴気温度や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

噴気の状態や地殻変動に特段の変化は認められなかった。

**あさまやま
浅間山**

噴煙活動はやや活発な状態が続いた。

二酸化硫黄放出量は一日あたり 40～800 トンとやや少ない状態が続いた。

5 月に行った山頂付近の現地調査及び上空からの観測（陸上自衛隊、群馬県の協力による）では、火口内は高温状態¹⁾が続いていた。

地震活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなかった。

**にいがたやま
新潟焼山**

地震活動は低調な状態で、新潟県土木部砂防課の焼山温泉監視カメラでは噴煙活動に特段の変化はなかった。

**やげだけ
焼岳**

10 月に従来と比べ噴気がやや多いとの連絡があったが、上空から行った観測（国土交通省北陸地方整備局の協力による）の結果、噴気量や噴気孔の位置に特段の変化はなかった。

焼岳付近を震源とする地震活動は低調に経過した。

焼岳近くの住民が 12 月 18 日未明にドーンという音を聞くとともに、国土交通省神通川水砂防事務所のライブカメラで赤い光を見たとの連絡があったが、焼岳付近の地震観測点には、当該時刻に噴火等に伴うと思われる震動記録はなかった。翌 19 日に国土交通省北陸地方整備局の協力を得て行った上空からの観測でも、噴火等の跡は認められず、噴気量にも特段の変化はなかったことから、この現象は火山活動に関連したものではないとは考えられる。

**おんたけさん
御嶽山**

5 月に行った現地調査で、79-7 火口から北東方向約 200m の範囲に、3 月頃にごく小規模な噴火が発生したと考えられる火山灰を確認した。

2006 年 12 月下旬から山頂付近の浅い所を震源とする振幅の小さな火山性地震が増加し始め、増減を繰り返しながらやや多い状態が続いたが、4 月以降は少ない状態で経過した。1 月 19 日以降は振幅の小さな火山性微動が発生し、増減を繰り返していたが、4 月頃より時々発生する程度で経過した。

気象庁及び国土地理院による GPS の地殻変動観測では、2006 年 12 月から御嶽山の地下での膨張を示すと考えられるわずかな伸びの変化が認められたが、4 月頃にはほぼ収まった。

剣ヶ峰の南東約 14km に設置してある遠望カメラで、3 月 16 日以降山頂付近の少量の噴気が時々観測された。遠望カメラで噴気が観測されたのは、2003 年 9 月 22 日以来である。3 月 16 日に長野県

が行った上空からの調査では、この噴気が地獄谷上部からのものであることが確認された。その後も弱い噴気は時々観測されている。

1 月、2 月及び 6 月に行った上空からの観測（長野県の協力による）では、山頂部の噴気の状態に特段の変化はなかった。

白山

地震活動は低調な状態で、国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴気は認められなかった。

富士山

地震活動は低調な状態で経過した。

箱根山

1 月に駒ヶ岳の南東約 2 km 付近の浅い所を震源とするマグニチュード 2.3 の地震が発生し、箱根町湯本で震度 1 を観測した。また、2 月には、駒ヶ岳の南西側を震源とする地震がやや増加した。最大の地震はマグニチュード 2.1 であった。いずれの地震活動でも、気象庁が湯河原に設置している体積歪計⁴⁾や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計³⁾等による地殻変動観測には特段の変化はなかった。また、環境省インターネット研究所の箱根・大涌谷カメラでは大涌谷の噴気等に特段の変化はなかった。

5 月及び 12 月に行った上空からの観測（神奈川県協力の協力による）及び 12 月に行った現地調査では、大涌谷の噴気等に変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

4) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測される。

伊豆東部火山群

1 月に伊東市街の西北西 6 km 付近の浅い所を震源とする地震が一時的にやや増加した。最大地震はマグニチュード 2.5 で、熱海市網代などで震度 1 を観測した。

11 月には伊東市城ヶ崎の沖合 4 km 付近の深さ約 5 ～ 8 km を震源とする地震が一時的にやや増加した。最大の地震はマグニチュード 3.7 で、東伊豆町で震度 3 を観測した。

これらの活動時も含めて、火山性微動及び低周波地震は観測されず、地殻変動にも特段の変化はなかった。

伊豆大島

GPS、光波距離計⁵⁾及び体積歪計⁴⁾による連続観測では、2006 年 8 月頃からわずかな収縮傾向が続いていたが、2007 年 3 月頃から再び深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨脹傾向が 7 月以降やや鈍化したもののみられた。

毎月行っている現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺に引き続き弱い噴気が認められた。三原山山頂火口内の中央火孔の温度や地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

4 月から 7 月にかけて、島内及び西方海域で地震の増加が時々みられたほか、体に感じる地震が時々発生した。特に 7 月 20 日から 21 日にかけては、島の西部から西方海域で地震が多発し、震度 1 以上を 29 回観測した。最大の地震はマグニチュード 4.4 で、震源に近い伊豆大島町岡田及び元町で震度 3 を観測した。これらの地震活動に伴って、体積歪計⁴⁾や傾斜計³⁾による地殻変動データに特段の変化は認められなかった。

5) レーザーなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器。山体の膨脹や収縮による距離の変化を観測している。

三宅島

二酸化硫黄放出量は一日あたり 800 ～ 6,400 トンで、依然として多量の火山ガス放出が続いている。また三宅島の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いている。空振を伴う低周波地震が時々発生したが、いずれも地震発生時の噴煙状況に特段の変化は認められなかった。

噴煙高度は火口縁上 200 ～ 300 m で推移した。

1 月、2 月、3 月、4 月及び 6 月に行った上空からの観測（航空自衛隊、海上自衛隊、警視庁及び東京消防庁の協力による）では、火口内の地形等に大きな変化はなかった。また、山頂火口南側内壁に位置する主火口及びその周辺には引き続き高温部分が認められたが、地表面温度分布¹⁾に特段の変化はみられなかった。

地磁気連続観測²⁾では、山体内部の温度低下を示す変化が鈍化しながらも続いている。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮が徐々に小さくなりながら継続している。

八丈島

地震活動は低調な状態で経過した。

硫黄島

国土地理院及び防災科学技術研究所の観測によると、島内の地震活動は、1月に低下したもののその後も一時的な増加を繰り返すなどやや活発な状態で経過していたが、11月に入り落ち着いた状態となっている。2006年8月以降見られていた島全体が大きく隆起する地殻変動は、1月に鈍化したものの継続している。

海上自衛隊硫黄島航空基地隊気象班により、島西部の阿蘇台陥没孔あそだいかんぼつこうで12月19日から20日にかけての夜間に熱泥水が噴出したとみられる跡が確認された。

※気象庁は平成19年11月22日より、硫黄島の火山名の呼称を「いおうじま (Iojima)」から「いおうとう (Ioto)」に変更した。

福徳岡ノ場

海上保安庁、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測では、福徳岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる変色水が確認された。

【九州地方、南西諸島】**九重山**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなかった。

阿蘇山

毎月行っている現地調査では、中岳第一火口の湯だまりの湯量や表面温度¹⁾に特段の変化はなかった。9月15日夜、阿蘇火山博物館の火口カメラにより、中岳第一火口南側火口壁の一部の噴気孔で赤熱現象が確認された。この現象はその後も確認されている。

二酸化硫黄放出量は、一日あたり100～500トンとやや少ない状態が続いている。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動や地磁気²⁾に特段の変化はなかった。

なお、南阿蘇村吉岡では、5月に噴気孔の一つが閉塞し、その西側約5mの位置に新たな噴気孔が形成されているのを確認したが、南阿蘇村吉岡の全体的な噴気量に変化は認められなかった。

雲仙岳

10月に行った現地調査では、平成新山の地表面温度分布¹⁾に変化はなかった。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなかった。

霧島山 (新燃岳)

2006年12月に火山性地震が一時的に多発し、2007年1月頃までやや多い状態で経過した。また、8月にも火山性地震が一時的にやや増加した。これらの期間を含め、火山性微動は観測されず、遠望カメラ(火口の南西約7kmに設置)では、火口縁を超える噴気は観測されなかった。

GPS連続観測及び9月に行ったGPS繰り返し観測では、新燃岳のわずかな山体膨張が継続している。

9月に行った地磁気繰り返し観測²⁾では、特段の変化はなかった。

霧島山 (御鉢)

2月に振幅のやや大きな火山性微動が発生したが、その後は振幅の小さな火山性微動が時々発生する程度で経過した。

7月に火山性地震が一時的にやや増加し、振幅の小さな火山性微動が観測された。

7月に行った現地調査では、噴気活動は低調な状態であった。

火口縁を超える噴気は認められず、地殻変動に特段の変化はなかった。

桜島

5月16日06時13分に昭和火口のごく小規模な噴火を観測した。昭和火口の噴火を観測したのは、2006年6月20日以来である。その後、昭和火口では、噴煙高度が火口上500m程度のごく小規模な噴火が断続的に発生していたが、20日以降は、噴煙が火口上1,200～1,800mまで上がる小規模な噴火も時々発生するようになり、6月5日には噴煙を火口上2,400mまで上げる噴火が発生した。しかし、6月22日以降は噴火は観測されなかった。5月17日に行った上空からの観測(国土交通省九州地方整備局及び大隅河川国道事務所の協力による)では、2007年の噴火が、昭和火口が南側に拡大してできた新たな噴出口で発生したことを確認した。5月24日に行った上空からの観測(鹿児島県の協力による)では、昭和火口内に溶岩は認められなかった。

南岳山頂火口では爆発的噴火が時々あったほか、小規模な噴火も発生した。

火山性地震及び火山性微動は5月上旬まではやや多い状態であった。その後減少したが、10月下旬頃より再び増加し、消長を繰り返しながらやや多い状態が続いた。

二酸化硫黄放出量は、5月の昭和火口の噴火開始以降、一日あたり2千～3千トン(京都大学防災研究所、東京工業大学及び東京大学の観測による)に増加したが、6月以降は減少し一日あたり500トン前後と噴火以前の状態に戻った。10月頃

より再びやや増加し、一日あたり 1,000 トン前後となっている。

国土地理院の GPS 観測によると、始良カルデラ (鹿児島湾奥部) の地下深部へのマグマ注入による膨張が引き続き観測されている。

まつまいおえじま 薩摩硫黄島

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発な状態が続き、噴煙高度は火口縁上 400~600m で推移した。

火山性地震はやや多い状態で経過した。火山性微動が時々観測されたが、いずれも継続時間が短く振幅の小さいものであった。

12 月に行った上空からの観測 (海上自衛隊の協力による) では、硫黄岳山頂火口及びその周辺の状況や地表面温度分布¹⁾ に変化はなかった。

くちのえらぶじま 口永良部島

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

1 月、5 月、11 月に行った現地調査では、新岳火口内及びその周辺で引き続き熱活動の高まりが認められたが、12 月に行った上空からの観測 (海上自衛隊の協力による) では、新岳火口及びその周辺の状況や地表面温度分布¹⁾ に変化はなかった。

京都大学防災研究所及び産業技術総合研究所

の GPS による地殻変動観測により、2006 年 8 月以降新岳火口付近の膨張傾向が認められていたが、気象庁の GPS 連続観測、GPS 繰り返し観測及び光波測距繰り返し観測⁵⁾ では、膨張傾向は 2006 年 12 月に入って鈍化し、2007 年 6 月にはほぼ停止した。

遠望カメラ (新岳火口の北西約 3 km に設置) による観測では、4 月頃までは新岳火口周辺の噴気地帯で高さ 10 m 程度の弱い噴気が時々観測されたが、その後は観測されていない。

すわのせじま 諏訪之瀬島

爆発的噴火が時々発生したほか、小規模な噴火が発生するなど、噴火活動は活発な状態で経過した。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、時々集落 (御岳の南南西約 4 km) で降灰が確認された。

火山性地震及び火山性微動は増減を繰り返しながら多い状態で経過した。

12 月に行った現地調査及び上空からの観測 (海上自衛隊の協力による) では、御岳火口の噴煙の状況およびその周辺の地表面温度分布¹⁾ に変化はなかった。

いおうとりしま 硫黄島

1 月、4 月、7 月及び 10 月に海上から行った観測では、従来から見られていたごく弱い少量の白色噴気が認められた程度で、火山活動に特段の変化はなかった。

資料 1 2007 年の火山情報発表状況 (月別発表回数)

火山名	情報種別	平成19年 (2007年)											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年計
十勝岳	観測		1										1
御嶽山	観測	3	8	5	4	6							26
三宅島	観測	5	4	5	4	4	4						26
霧島山 (新燃岳)	観測	1											1
霧島山 (御鉢)	観測		1	1									2
桜島	観測					1							1

注 1) 表中の観測は火山観測情報を示す。

注 2) 平成 19 年 12 月 1 日より噴火警報及び噴火予報の発表を開始し、それに伴い従来の緊急火山情報、臨時火山情報及び火山観測情報は廃止した。

資料 2 2007 年の噴火警報及び噴火予報発表状況

噴火警戒レベル導入火山

火山名	噴火警報又は噴火予報 (12 月 1 日発表)
樽前山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
北海道駒ヶ岳	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
岩手山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
吾妻山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
草津白根山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
浅間山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
富士山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
伊豆大島	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
九重山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
阿蘇山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
雲仙岳	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
霧島山 (御鉢)	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
霧島山 (新燃岳)	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)

噴火警戒レベル未導入の火山

火山名	噴火警報又は噴火予報 (12 月 1 日発表)
三宅島	火口周辺警報 (火口周辺危険)
硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)
福德岡ノ場	噴火警報 (周辺海域) (周辺海域警戒)
上記以外の活火山 (89 火山) <注>	噴火予報 (平常)

計 108 火山

<注> 上記以外の活火山 (89 火山) は以下のとおり

知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、雌阿寒岳、丸山、大雪山、十勝岳、利尻山、恵庭岳、倶多楽、有珠山、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、安達太良山、磐梯山、沼沢、燧ヶ岳、那須岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、御嶽山、白山、箱根山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、挾挾焼山、挾挾阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅白山、泊山 (火山の順は日本活火山総覧 (第 3 版による))

2007 年の世界の主な地震

2007 年に人的被害^注を伴った地震は 41 回であり、Ms (USGS の表面波マグニチュード) もしくは Mw (USGS のモーメントマグニチュード) 7.0 以上の地震は 20 回 (2006 年は 11 回) であった。また、Ms もしくは Mw 8.0 以上の地震は 5 回発生した (2006 年は 0 回) (図 1 及び表 1 参照)。2007 年に世界で発生した地震のうち、最も規模が大きかった地震は、9 月 12 日にインドネシアのスマトラ南部で発生した Mw8.4 (Ms8.5) の地震であった。

USGS の統計と比較すると、2007 年の M8.0 以上の地震の回数は平均的な回数 (1 回) より多く、M7.0~M7.9 の地震の回数も平均的な回数 (17 回) と比べやや多かったといえる。

以下、死者 10 名以上の地震について記述する (以下、日本時間を基準とする)。

3 月 6 日、インドネシアのスマトラ南部で 12 時 49 分に Mw6.4 (深さ 19km)、14 時 49 分に Mw6.3 (深さ 20km) の地震が発生し、スマトラ島中部のプキティンギからソロックにかけての地域で死者 67 人以上、負傷者 826 人以上の被害を生じた。

4 月 2 日、ソロモン諸島で Mw8.1 (深さ 10km) の地震が発生した。この地震により津波が発生し、ソロモン諸島で死者 54 人等の被害が生じた。

7 月 16 日、日本の新潟県上中越沖で M6.8 (深さ 17km)

の地震 (「平成 19 年 (2007 年) 新潟県中越沖地震」) が発生し、新潟県中越地方を中心に死者 15 人、負傷者 2,345 人、住家全壊 1,319 棟などの被害を生じた。

7 月 22 日、アフガニスタン - タジキスタン国境で Ms5.0 (深さ 10km) の地震が発生し、死者 12 人 (地滑りによる死者 9 人) の被害を生じた。

8 月 16 日、ペルー沿岸で Mw8.0 (深さ 39km) の地震が発生し、ペルー中部のチンチャアルタ、イカ、ピスコを中心に、死者 514 人以上、負傷者 1,090 人以上、建物被害 39,700 棟以上の被害を生じた。また、この地震により津波が発生し、南米からハワイ、日本の太平洋沿岸にかけての広い範囲で数十 cm の津波を観測した。

9 月 12 日、インドネシアのスマトラ南部で Mw8.4 (深さ 34km) の地震が発生し、スマトラ島南部のブンクルを中心に、死者 25 人、負傷者 161 人以上、建物被害 56,425 棟などの被害を生じた。また、この地震により津波が発生し、インド洋沿岸で津波を観測した。さらに、9 月 13 日には、Mw7.9 (深さ 35km)、Mw7.0 (深さ 22km) の地震が発生するなど、周辺では地震活動が活発な状態がしばらく続いた。

注：被害については、USGS の地震リスト (表 1 脚注参照) に記載があるものを対象とした (ただし、日本付近の地震については総務省消防庁による)。

2007 年 1 月 1 日 00 時 ~ 12 月 31 日 24 時 (日本時間)

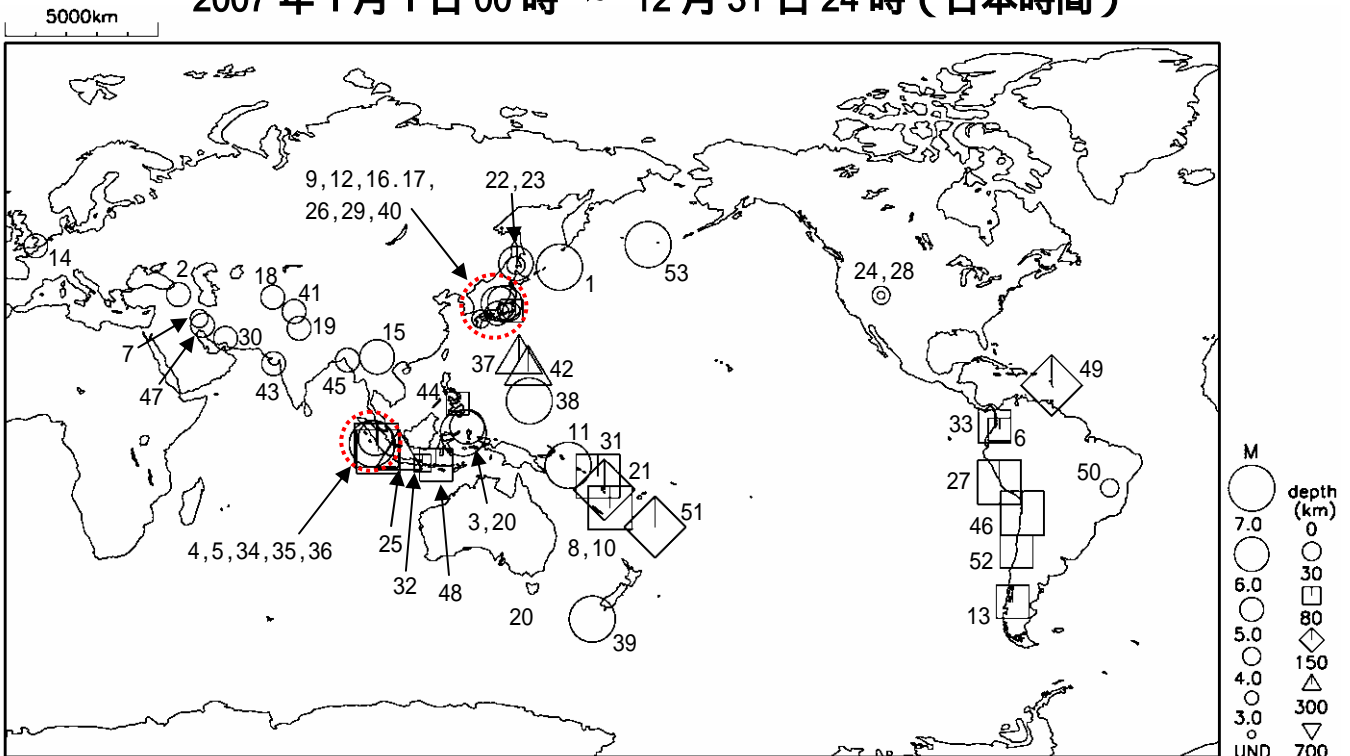


図 1 2007 年に世界で発生した M7.0 以上または人的被害を伴った地震の震央分布

・震源要素は、1 月 1 日 ~ 11 月 18 日は米国地質調査所 (USGS) 発表の PRELIMINARY DETERMINATION OF EPICENTERS (PDE) に、11 月 19 日 ~ 12 月 31 日は同所発行の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による (2008 年 1 月 4 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震については気象庁による。

* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

** : マグニチュードは mb (実体波マグニチュード)、Ms (表面波マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれか大きいを表示している。

表 1 2007 年に世界で発生したマグニチュード 7.0 以上または人的被害を伴った地震の震源要素等

番号	震源時 月 日 時 分	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	被害状況等	北 西	印 洋	遠 地
1	01月13日13時23分	N46° 56.2'E155° 03.1'		30	7.3	(8.2)	8.1	千島列島東方	津波発生			
2	01月21日16時38分	N39° 35.5'E 42° 51.7'		3	5.1		5.2	トルコ	軽傷者 2 人、住家被害数棟			
3	01月21日20時27分	N 1° 03.9'E126° 16.9'		22	6.7	7.3	7.5	モルッカ海北部	死者 4 人、負傷者 4 人、建物被害			
4	03月06日12時49分	S 0° 29.5'E100° 29.8'		19	5.9	6.4	6.4	インドネシア、スマトラ南部	死者 67 人以上、負傷者 826 人以上、			
5	03月06日14時49分	S 0° 28.8'E100° 32.8'		20	5.9	6.3	6.3	インドネシア、スマトラ南部	住家被害 43,719 棟以上			
6	03月06日22時05分	N 2° 04.9'W 76° 29.7'		43	5.0	5.0		コロンビア	負傷者 9 人以上、建物被害 111 棟			
7	03月07日07時32分	N33° 29.4'E 48° 55.8'		16	4.7			イラン西部	負傷者 35 人、建物被害			
8	03月25日09時40分	S20° 37.0'E169° 21.4'		34	6.5	7.0	7.1	パヌアツ諸島	津波発生			
9	03月25日09時41分	N37° 13.2'E136° 41.1'		11	6.1	(6.9)	6.7	能登半島沖	「平成 19 年 (2007 年) 能登半島地震」 死者 1 人、負傷者 365 人、 住家全壊 684 棟など、津波発生			
10	03月25日10時08分	S20° 45.2'E169° 21.2'		35	5.9	7.1	6.9	パヌアツ諸島				
11	04月02日05時39分	S 8° 27.6'E157° 02.6'		10	6.8	7.9	8.1	ブーゲンビル-ソロモン諸島	死者 54 人、住家被害約 800 棟など、 津波発生			
12	04月15日12時19分	N34° 47.4'E136° 24.4'		16	5.4	(5.4)		三重県中部	負傷者 13 人、住家一部破損 122 棟			
13	04月22日02時53分	S45° 14.5'W 72° 38.8'		37	6.1	6.3	6.2	チリ南部	死者 3 人以上、行方不明 7 人以上、 津波発生			
14	04月28日16時18分	N51° 05.1'E 1° 00.5'		10	4.6			イギリス	負傷者 1 人、建物被害			
15	06月03日06時34分	N23° 01.6'E101° 03.1'		5	5.7	6.3	6.1	中国、ユンナン(雲南)省	死者 3 人、負傷者 329 人以上など			
16	06月06日23時42分	N33° 20.0'E131° 29.7'		11	4.8	(4.9)		大分県中部	負傷者 1 人など			
17	07月16日10時13分	N37° 33.4'E138° 36.5'		17	6.5	(6.8)	6.6	新潟県上中越沖	「平成 19 年 (2007 年) 新潟県中越沖地震」 死者 15 人、負傷者 2,345 人、 住家全壊 1,319 棟など、津波発生			
18	07月22日07時44分	N38° 56.1'E 70° 29.1'		10	5.6	5.0	5.2	アフガニスタン-タジキスタン国境	死者 12 人			
19	07月23日08時02分	N30° 52.8'E 78° 14.3'		19	5.1	4.3		インド北部	負傷者 3 人、建物被害など			
20	07月26日14時40分	N 2° 52.3'E127° 27.8'		25	6.4	6.8	6.9	モルッカ海北部	負傷者数人、住家被害多数			
21	08月02日02時08分	S15° 35.7'E167° 40.8'		120	6.2		7.2	パヌアツ諸島	建物被害			
22	08月02日11時37分	N47° 06.9'E141° 47.8'		5	5.3	6.2	6.2	ロシア、サハリン島	死者 2 人以上、負傷者 12 人以上、 建物被害 31 棟以上、津波発生			
23	08月05日07時21分	N46° 39.7'E141° 46.3'		9	4.9			ロシア、サハリン島	負傷者 2 人			
24	08月06日17時48分	N39° 27.9'W111° 14.2'		2	4.2			米国、ユタ州	死者 6 人、負傷者数人			
25	08月09日02時05分	S 5° 51.5'E107° 25.1'		280	6.5		7.5	インドネシア、ジャワ				
26	08月16日04時15分	N35° 26.6'E140° 31.8'		31	5.3	(5.3)		千葉県東方沖	負傷者 1 人			
27	08月16日08時40分	S13° 23.1'W 76° 36.1'		39	6.7	7.9	8.0	ペルー沿岸	死者 514 人以上、負傷者 1,090 人以上、 建物被害 39,700 棟以上、津波発生			
28	08月17日09時38分	N39° 27.8'W111° 12.4'		0				米国、ユタ州	死者 3 人、負傷者 6 人			
29	08月18日04時14分	N35° 20.9'E140° 21.6'		23	4.9	(4.8)		千葉県南部	負傷者 1 人			
30	08月25日13時24分	N28° 09.2'E 56° 39.1'		10	5.0			イラン南部	負傷者 4 人以上			
31	09月02日10時05分	S11° 36.6'E165° 45.7'		35	5.9	7.3	7.2	サンタクルーズ諸島				
32	09月10日03時36分	S 7° 46.9'E114° 20.2'		35	4.8			バリ海	負傷者 13 人以上、建物被害			
33	09月10日10時49分	N 2° 58.9'W 77° 58.0'		31	6.1	6.7	6.8	コロンビア西岸	負傷者 5 人、住家被害 34 棟			
34	09月12日20時10分	S 4° 26.2'E101° 22.0'		34	6.9	8.5	8.4	インドネシア、スマトラ南部				
35	09月13日08時49分	S 2° 37.5'E100° 50.4'		35	6.6	8.1	7.9	インドネシア、スマトラ南部	死者 25 人、負傷者 161 人以上、 建物被害 56,425 棟、津波発生			
36	09月13日12時35分	S 2° 07.8'E 99° 37.6'		22	6.3	7.2	7.0	インドネシア、スマトラ南部				
37	09月28日22時38分	N21° 59.1'E143° 05.8'		268	6.7	(7.6)	7.4	マリアナ諸島				
38	09月30日11時08分	N10° 27.2'E145° 43.0'		14	6.4	7.1	6.9	マリアナ諸島南方				
39	09月30日14時23分	S49° 16.2'E164° 06.9'		10	6.4	7.4	7.4	オー克兰ド諸島				
40	10月01日02時21分	N35° 13.5'E139° 07.1'		14	5.0	(4.9)		神奈川県西部	負傷者 2 人、住家一部破損 5 棟			
41	10月26日15時50分	N35° 18.2'E 76° 45.1'		10	5.3	4.8		カシミール東部	死者 1 人、負傷者 12 人以上			
42	10月31日12時30分	N18° 53.7'E145° 21.7'		223	6.2		7.2	マリアナ諸島				
43	11月06日18時38分	N21° 10.8'E 70° 43.4'		10	5.0			インド南部	死者 1 人、負傷者 5 人、建物被害数棟			
44	11月07日13時12分	N 9° 43.2'E124° 38.8'		72	5.1			フィリピン諸島、ミンダナオ	死者 1 人			
45	11月07日16時10分	N22° 09.0'E 92° 23.2'		29	5.1	5.1		インド-バングラデシュ国境	負傷者 10 人			
46	11月15日00時40分	S22° 14.8'W 69° 53.4'		40	6.7	7.4	7.7	チリ北部	死者 2 人、負傷者 65 人以上、 建物被害多数、津波発生			
47	11月20日14時20分	N31° 40.8'E 49° 55.8'		7	4.8	4.0		イラン西部	負傷者 30 人、住家被害数棟			
48	11月26日01時02分	S 8° 16.4'E118° 18.7'		58	6.1	6.3	6.5	インドネシア、スンパワ	死者 3 人、負傷者数百人、 住家被害数百棟			
49	11月30日04時00分	N14° 58.3'W 61° 14.3'		147	6.8		7.4	ウィンドワード諸島	死者 1 人、負傷者 102 人以上、 建物被害数棟			
50	12月09日11時03分	S15° 01.9'W 44° 14.7'		10	4.9			ブラジル	死者 1 人、負傷者 6 人、 建物被害 76 棟			
51	12月09日16時28分	S26° 03.4'W177° 31.0'		143	7.0		7.8	フィジー諸島南方				
52	12月16日03時22分	S32° 40.0'W 71° 35.2'		37	5.5	6.0	5.9	チリ中部沿岸	負傷者 4 人、建物被害数棟			
53	12月19日18時30分	N51° 22.0'W179° 32.9'		29	6.4	7.1	7.1	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島				

- ・震源要素、被害状況等は、1 月 1 日～11 月 18 日は米国地質調査所 (USGS) 発表の PRELIMINARY DETERMINATION OF EPICENTERS (PDE) に、11 月 19 日～12 月 31 日は同所発行の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による (2008 年 1 月 4 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震については震源及びマグニチュード (Ms の欄に括弧を付して記載) は気象庁、被害状況は総務省消防庁 (2008 年 1 月 4 日現在) による。震源時は、日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。
- ・Mw は USGS によるモーメントマグニチュードである。
- ・「北西」、「印洋」、「遠地」は、それぞれ気象庁が発表する北西太平洋津波情報とインド洋津波監視情報、遠地地震に関する情報を示し、発表した地震は「」印を付けた。

2007 年の世界の主な火山活動

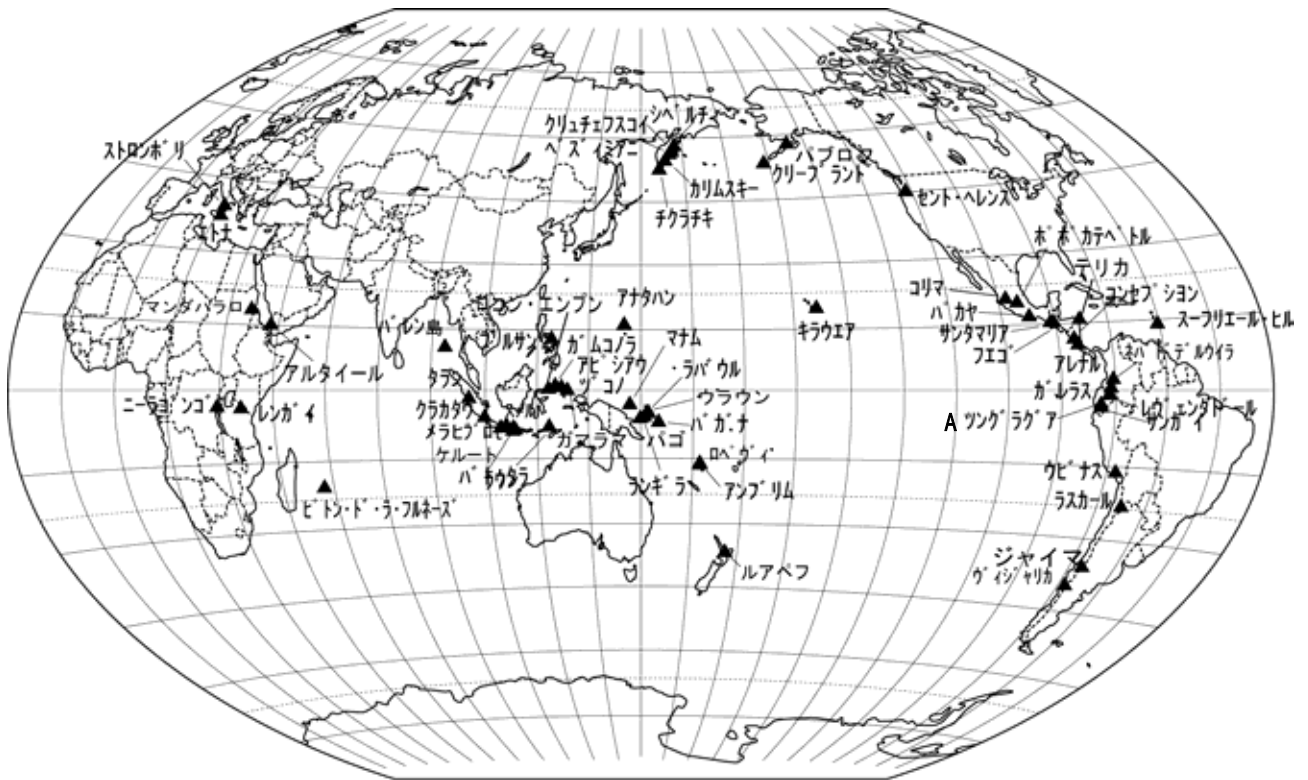
2007 年に噴火の報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

このうち顕著な活動がみられた火山は以下のとおりである。

ツングラグア火山（エクアドル）（図中A）

活発な噴火活動が続いた。3月と12月には噴煙高度が10,000mを超える噴火も発生した。また、火砕流もたびたび発生し、噴石も山腹に飛散した。しかし、顕著な被害の報告はない。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館のGVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



2007 年に噴火の報告された主な火山（日本を除く）

付録 1 . 気象庁震度階級関連解説表

平成 8 年 2 月

震度は、地震動の強さの程度を表すもので、震度計を用いて観測します。この「気象庁震度階級関連解説表」は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すものです。この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

(1) 気象庁が発表する震度は、震度計による観測値であり、この表に記述される現象から決定するものではありません。

(2) 震度が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や地震動の性質によって、被害が異なる場合があります。この表では、ある震度が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

(3) 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は、震度計が置かれている地点での観測値ですが、同じ市町村であっても場所によっては震度が異なることがあります。また、震度は通常地表で観測していますが、中高層建物の上層階では一般にこれより揺れが大きくなります。

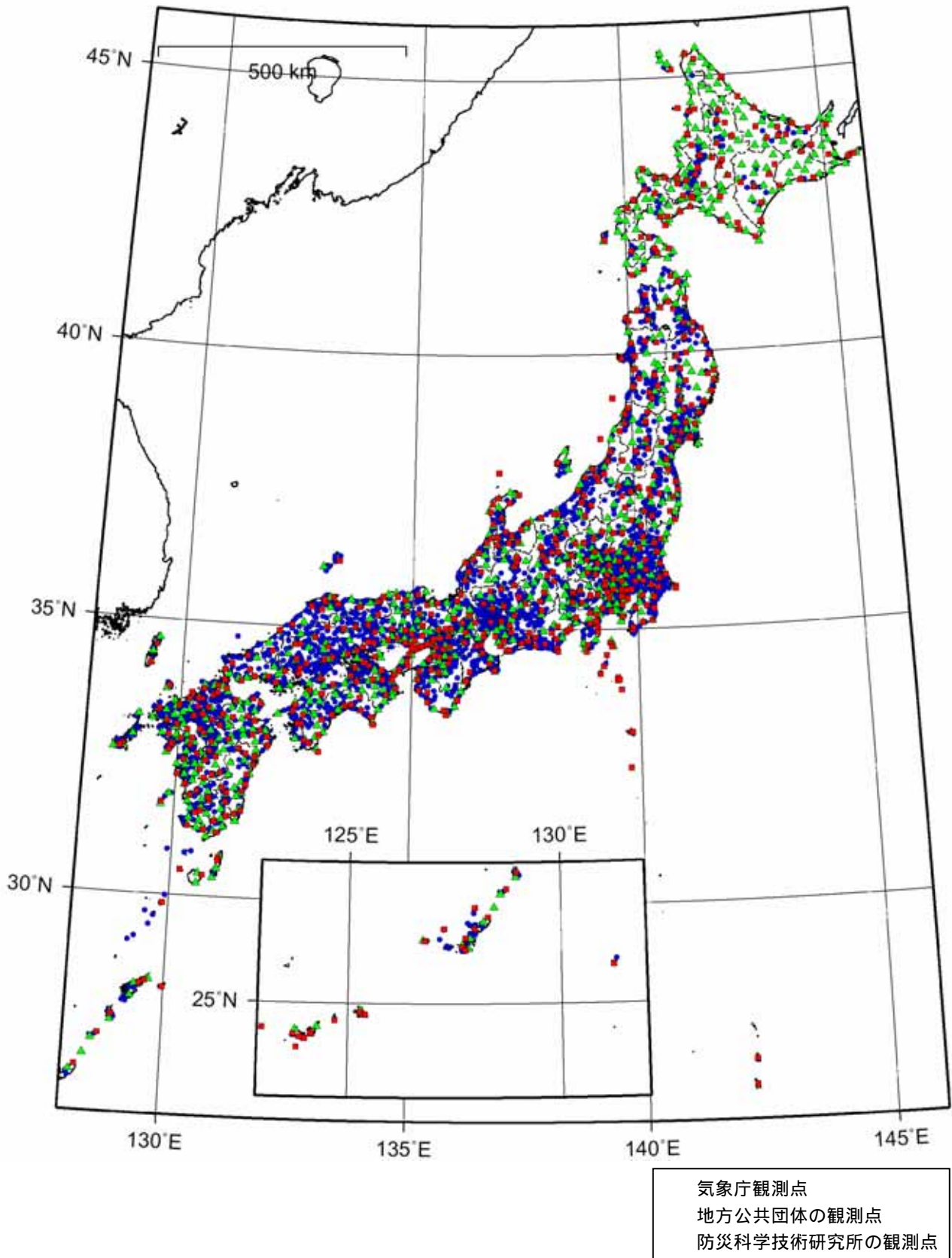
(4) 大規模な地震では長周期の地震波が発生するため、遠方において比較的低い震度であっても、エレベーターの障害、石油タンクのスロッシングなどの長周期の揺れに特有な現象が発生することがあります。

(5) この表は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、新しい事例が得られたり、建物、構造物の耐震性の向上などで実状と合わなくなった場合には、内容を変更することがあります。

計測震度	震度階級	人 間	屋内の状況	屋外の状況	木 造 建 物	鉄筋コンクリート造建物	ライフライン	地盤・斜面
	0	人は揺れを感じない。						
-0.5	1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。						
-1.5	2	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。					
-2.5	3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。	電線が少し揺れる。				
-3.5	4	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れを感じる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。				
-4.5	5弱	多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。道路に被害が生じることがある。	耐震性の低い住宅では、壁や柱が破壊するものがある。	耐震性の低い建物では、壁などに亀裂が生じるものがある。	安全装置が作動し、ガスが遮断される家庭がある。まれに水道管の被害が発生し、断水することがある。[停電する家庭もある。]	軟弱な地盤で、亀裂が生じることがある。山地で落石、小さな崩壊が生じることがある。
-5.0	5強	非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちることがある。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。	耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。	耐震性の低い建物では、壁、梁、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。耐震性の高い建物でも、壁などに亀裂が生じるものがある。	家庭などにガスを供給するための導管、主要な水道管に被害が発生することがある。[一部の地域でガス、水道の供給が停止することがある。]	
-5.5	6弱	立っていることが困難になる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。	耐震性の低い建物では、壁や柱が破壊するものがある。耐震性の高い建物でも壁、梁、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。	家庭などにガスを供給するための導管、主要な水道管に被害が発生する。[一部の地域でガス、水道の供給が停止し、停電することもある。]	地割れや山崩れなどが発生することがある。
-6.0	6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。	耐震性の低い建物では、倒壊するものがある。耐震性の高い建物でも、壁や柱が破壊するものがある。	ガスを地域に送るための導管、水道の配水施設に被害が発生することがある。[一部の地域で停電する。広い地域でガス、水道の供給が停止することがある。]	
-6.5	7	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。	耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。	耐震性の高い建物でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。	[広い地域で電気、ガス、水道の供給が停止する。]	大きな地割れ、地すべりや山崩れが発生し、地形が変わることもある。

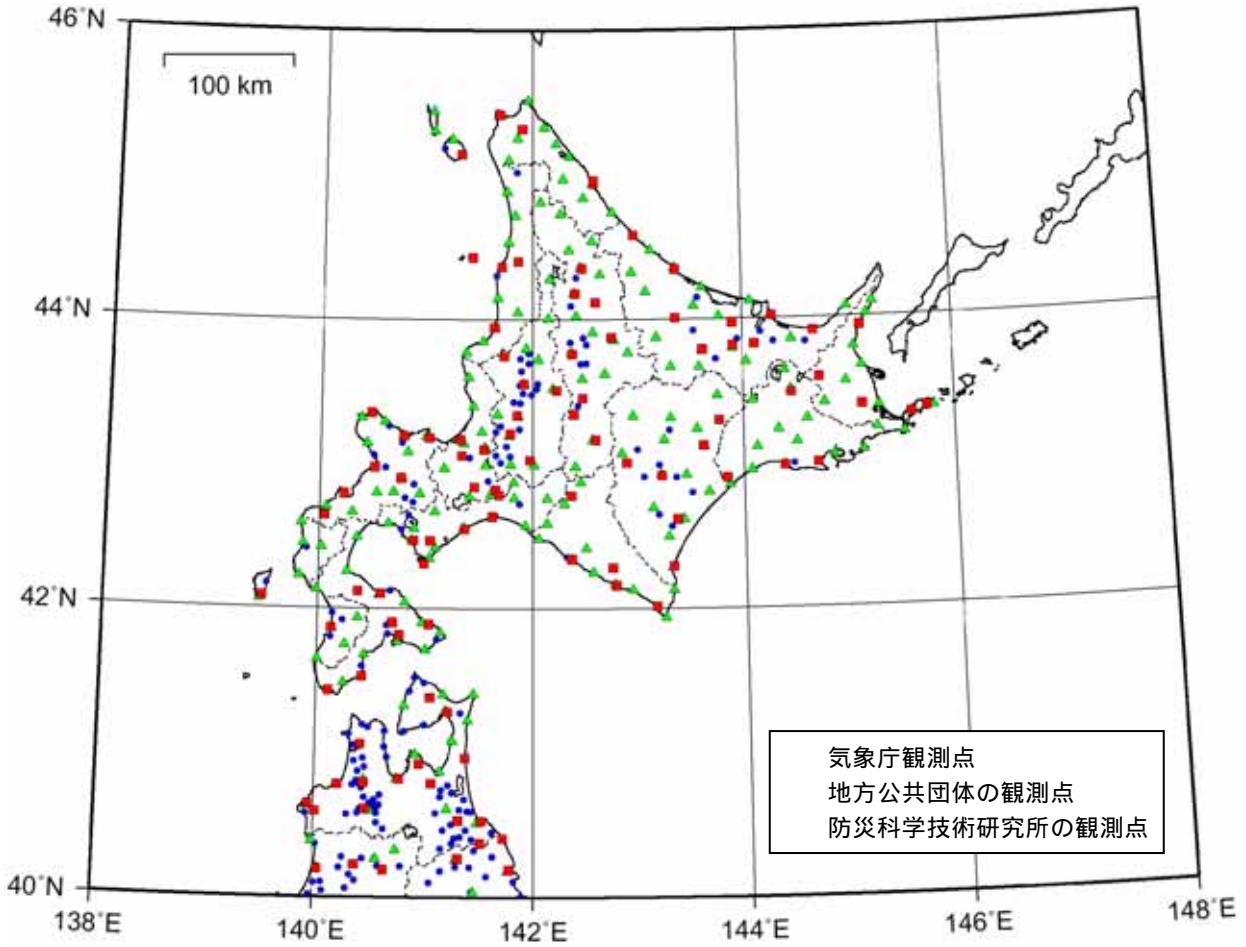
*ライフラインの [] 内の事項は、電気、ガス、水道の供給状況を参考として記載したものである。

付録 2 震度観測点（2008 年 1 月 7 日現在）

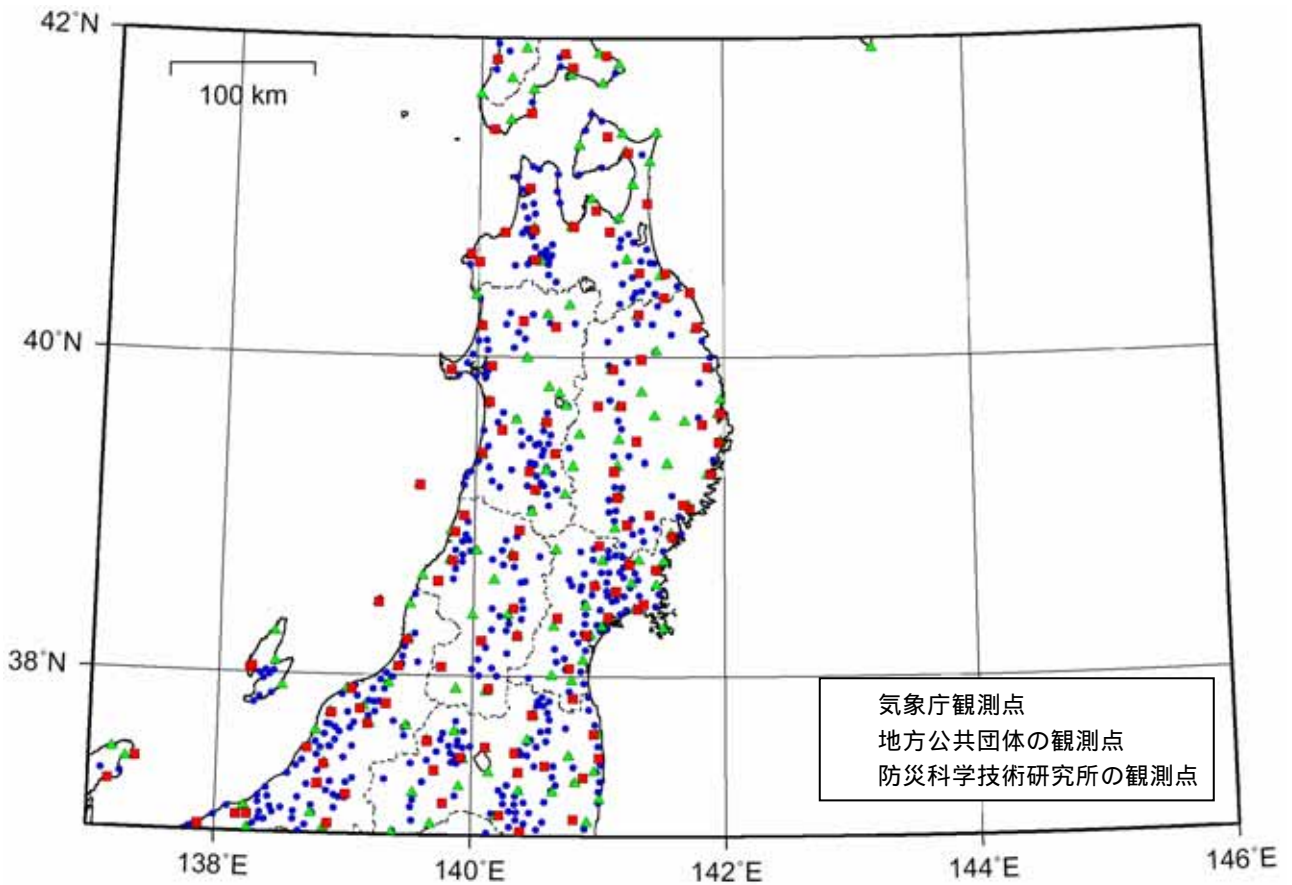


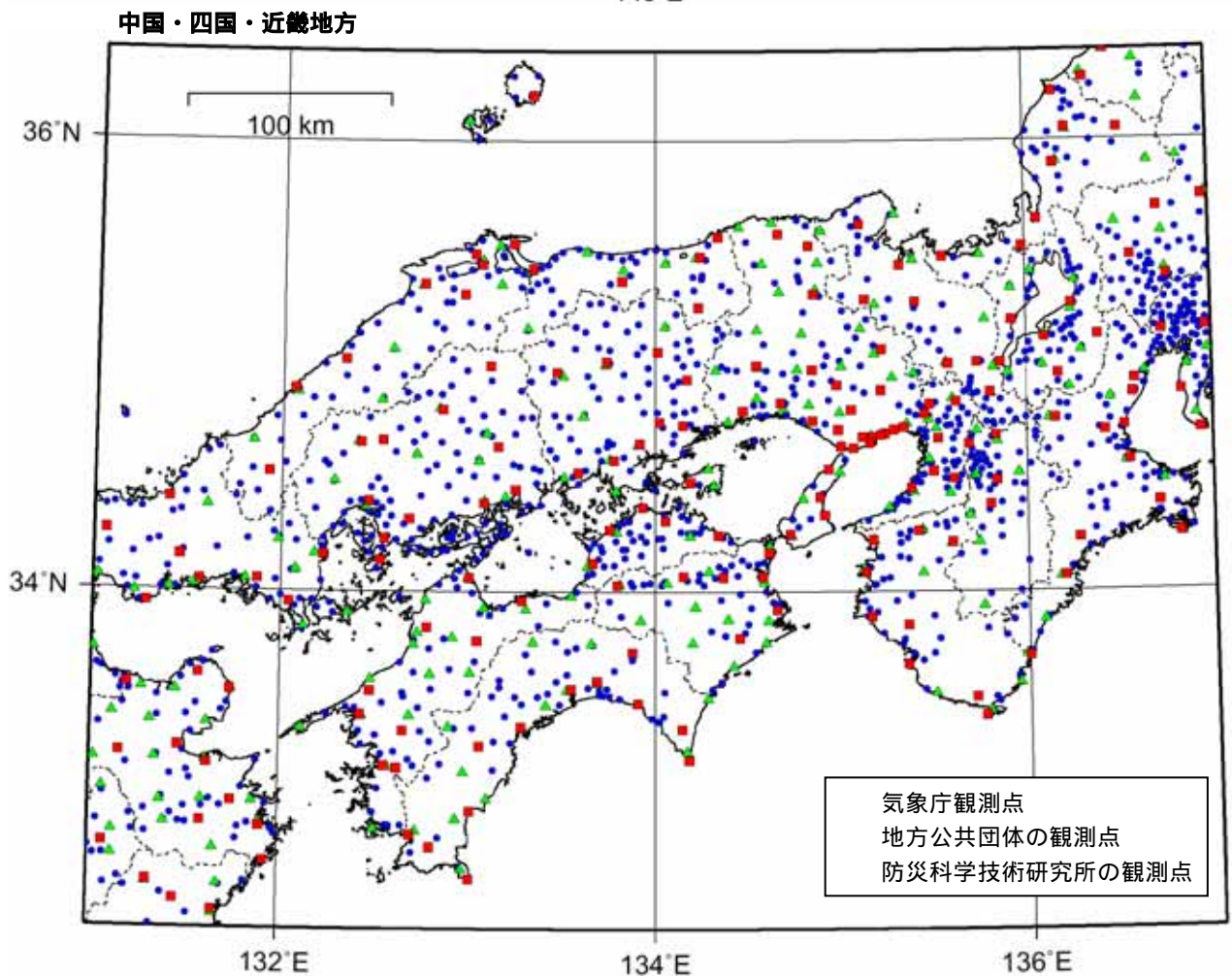
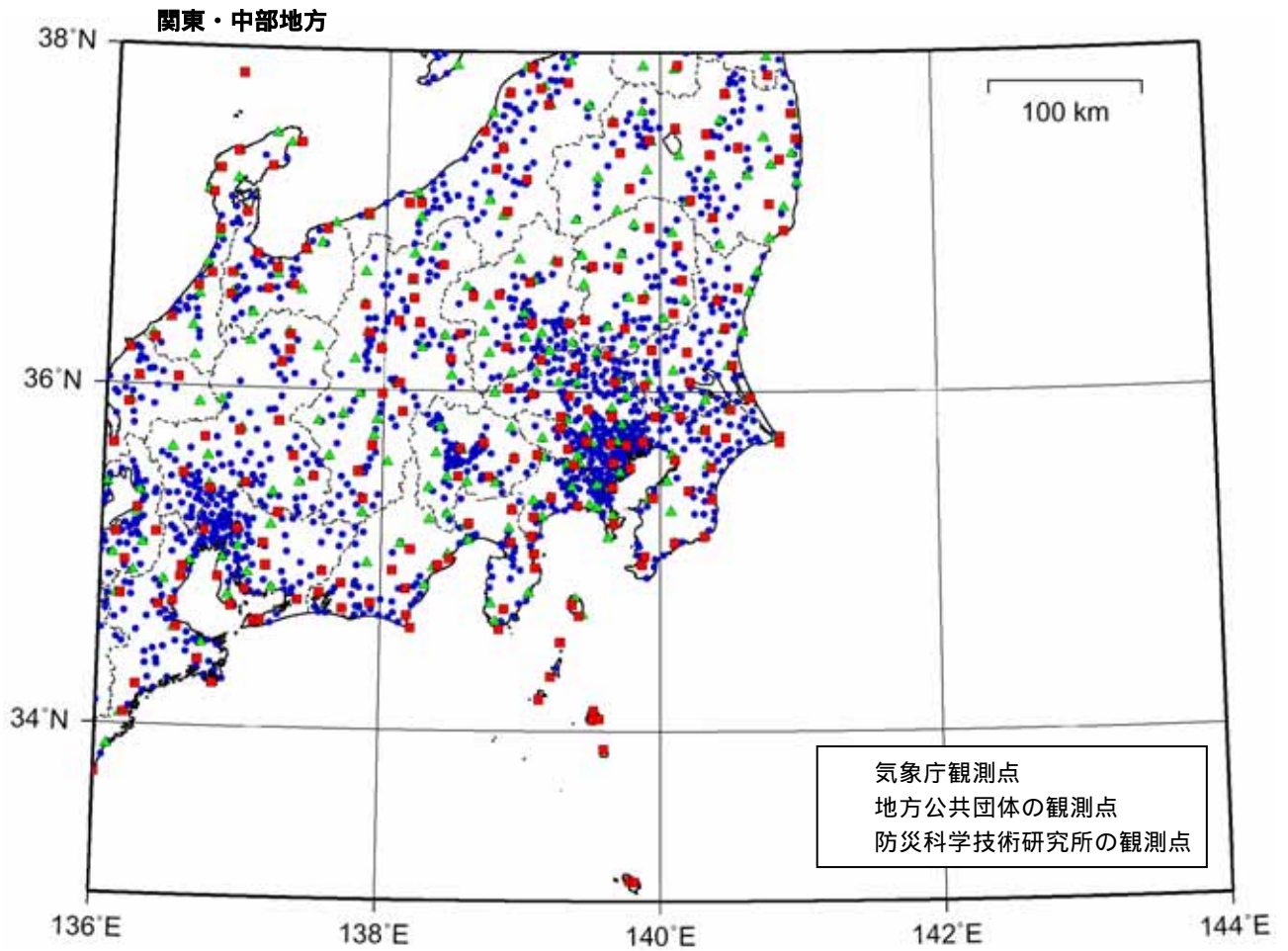
2008 年 1 月 7 日現在、気象庁の観測点（印）は 617 点、地方公共団体の観測点（印）は 2,837 点、独立行政法人防災科学技術研究所の観測点（印）は 781 点である。

北海道地方

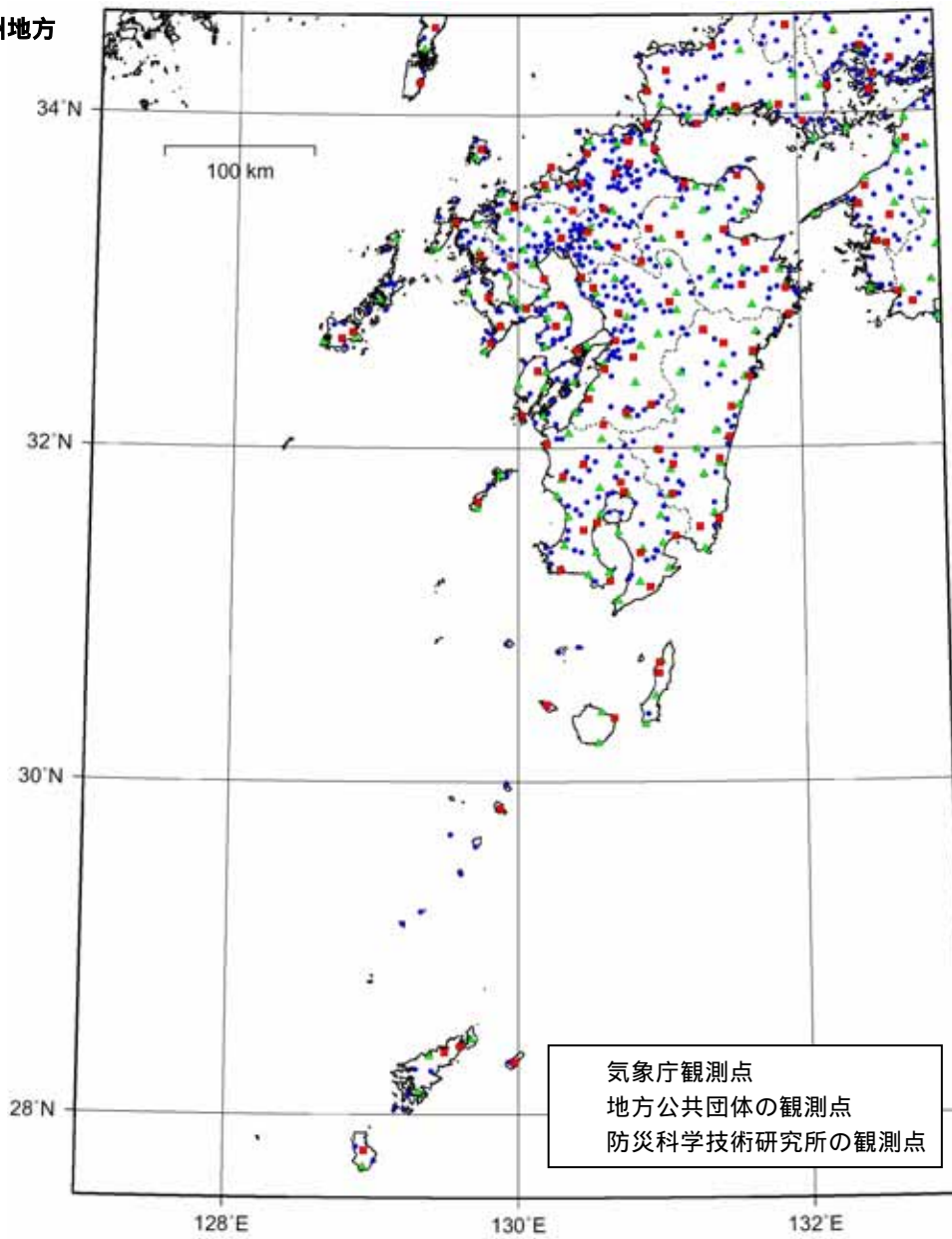


東北地方

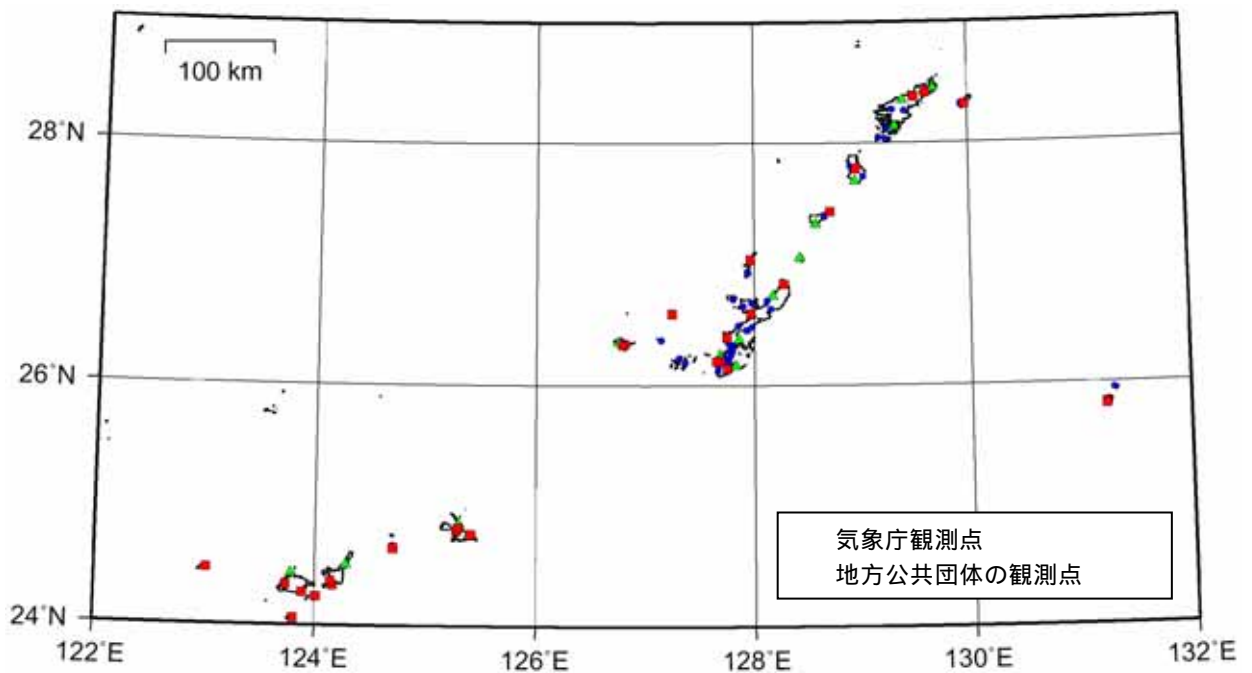




九州地方



沖縄地方



付録 3

震度 6 または震度 6 弱以上を観測した地震の表（1926年 1 月～2007年12月）

*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す。

最大震度 6 または 6 弱以上を観測した地震とその地震において震度 5 または震度 5 弱以上を観測した観測点について掲載した。

各観測点の末尾に計測震度を記す（ただし、計測震度計で観測した期間のみ）

観測点名称は2008年 1 月現在、情報発表に用いているものである。なお、地震番号 1～13 に記載してある観測点名称は、原則気象官署名とし、括弧内に所在地を情報発表に用いる名称で記載した（ただし、当時の所在地が現在と異なる官署については、当時の所在地を情報発表に用いる名称に準じる形で記載した）。

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度	緯度	経度	深さ	規模	地震名（地震の通称） 備考
1	1927 3 7 18 27	京都府北部 兵庫県 京都府 福井県 奈良県 広島県	35°37.9' N	134°55.8' E	18km	M: 7.3	（北丹後地震） 死者 2,925人 津波あり
		6 豊岡測候所（豊岡市山王町） 5 洲本測候所（洲本市小路谷） 6 宮津測候所（宮津市鶴賀） 5 京都地方気象台（京都中京区西ノ京） 5 福井地方気象台（福井市日之出） 敦賀測候所（敦賀市川崎町） 5 奈良地方気象台（橿原市八木町） 5 福山測候所（福山市松永町）					
2	1930 11 26 04 02	静岡県伊豆地方 静岡県 神奈川県	35°02.5' N	138°58.4' E	1km	M: 7.3	（北伊豆地震） 死者 272人
		6 三島測候所（三島市東本町（旧）） 5 沼津測候所（沼津市末広町） 5 横浜地方気象台（横浜中区山手町） 横須賀観測所（横須賀市夏島町）					
3	1935 7 11 17 24	静岡県中部 静岡県	35°01.4' N	138°23.6' E	10km	M: 6.4	（静岡地震） 死者 9人
		6 静岡地方気象台（静岡駿河区曲金）					
4	1941 7 15 23 45	長野県北部 長野県	36°39.4' N	138°11.6' E	5km	M: 6.1	死者 5人
		6 長野地方気象台（長野市箱清水）					
5	1943 9 10 17 36	鳥取県東部 鳥取県 岡山県 山口県	35°28.3' N	134°11.0' E	0km	M: 7.2	（鳥取地震） 死者 1,083人
		6 鳥取地方気象台（鳥取市湖山町南） 5 岡山地方気象台（岡山市内山下） 5 萩測候所（萩市江向）					
6	1944 12 7 13 35	三重県南東沖 静岡県 三重県 福井県 山梨県 岐阜県 愛知県 滋賀県 奈良県	33°34.4' N	136°10.5' E	40km	M: 7.9	（東南海地震） 死者 998人 津波あり
		6 御前崎測候所（御前崎市御前崎） 5 浜松測候所（浜松中区鴨江町） 6 津地方気象台（津市下弁財町） 5 亀山測候所（亀山市北町） 尾鷲測候所（尾鷲市南陽町（旧）） 5 福井地方気象台（福井市日之出） 敦賀測候所（敦賀市松栄町） 5 甲府地方気象台（甲府市伊勢） 5 岐阜地方気象台（岐阜市加納二之丸） 5 名古屋地方気象台（名古屋千種区日和町） 5 彦根地方気象台（彦根市城町） 5 奈良地方気象台（橿原市八木町紺屋の坪）					
7	1948 6 28 16 13	福井県嶺北 福井県	36°10.3' N	136°17.4' E	0km	M: 7.1	（福井地震） 死者 3,769人
		6 福井地方気象台（福井市豊島）					
8	1972 12 4 19 16	八丈島東方沖 東京都	33°12' N	141°05' E	50km	M: 7.2	1972年12月4日 八丈島東方沖地震 津波あり
		6 八丈島測候所（八丈町大賀郷（旧））					
9	1982 3 21 11 32	浦河沖 北海道	42°04' N	142°36' E	40km	M: 7.1	昭和57年（1982年） 浦河沖地震
		6 浦河測候所（浦河町潮見）					
10	1993 1 15 20 06	釧路沖 北海道 青森県	42°55.2' N	144°21.2' E	101km	M: 7.5	平成 5 年（1993年） 釧路沖地震 死者 2人
		6 釧路地方気象台（釧路市幣舞町（旧）） 5 浦河測候所（浦河町潮見） 帯広測候所（帯広市東 4 条） 広尾測候所（広尾町並木通） 5 八戸測候所（八戸市湊町）					
11	1994 10 4 22 22	北海道東方沖 北海道	43°22.5' N	147°40.4' E	28km	M: 8.2	平成 6 年（1994年） 北海道東方沖地震 択捉島で死者10人以上 津波あり
		6 釧路地方気象台（釧路市幣舞町（旧）） 厚岸町尾幌 5 浦河測候所（浦河町潮見） 足寄町上螺湾 広尾測候所（広尾町並木通） 中標津町養老牛 羅臼町春日 根室測候所（根室市弥栄）					
12	1994 12 28 21 19	三陸沖 青森県 岩手県	40°25.8' N	143°44.7' E	0km	M: 7.6	平成 6 年（1994年） 三陸はるか沖地震 死者 3人 津波あり
		6 八戸測候所（八戸市湊町） 5 青森地方気象台（青森市花園） むつ測候所（むつ市金曲） 5 盛岡地方気象台（盛岡市山王町）					

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度	緯度	経度	深さ	規模	地震名（地震の通称） 備考
13	1995 1 17 05 46	大阪湾 兵庫県 7（現地調査により、神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市及び淡路島北部の一部で震度7を観測） 6 神戸海洋気象台（神戸中央区中山手） 洲本測候所（洲本市小路谷） 5 豊岡測候所（豊岡市桜町） 滋賀県 5 彦根地方気象台（彦根市城町） 京都府 5 京都地方気象台（京都中京区西ノ京）	34°35.9' N	135°02.1' E	16km	M: 7.3	平成7年（1995年） 兵庫県南部地震 死者 6,434人 行方不明3人 津波あり
14	1997 5 13 14 38	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 6弱 薩摩川内市中郷=5.6 5強 さつま町宮之城屋地=5.4 5弱 阿久根市赤瀬川（旧）=4.8	31°56.9' N	130°18.1' E	9km	M: 6.4	
15	1998 9 3 16 58	岩手県内陸北部 岩手県 6弱 雫石町長山（旧）=5.9	39°48.3' N	140°54.0' E	8km	M: 6.2	
16	2000 7 1 16 01	東京都 6弱 神津島村金長=5.9 神津島村役場*=5.6 5弱 新島村本村*=4.8	34°11.4' N	139°11.6' E	16km	M: 6.5	死者 1人
17	2000 7 9 03 57	東京都 6弱 神津島村役場*=5.5 5強 神津島村金長=5.1	34°12.7' N	139°13.8' E	15km	M: 6.1	
18	2000 7 15 10 30	東京都 6弱 新島村本村*=5.6 5弱 伊豆大島町差木地（旧）=4.9	34°25.4' N	139°14.5' E	10km	M: 6.3	
19	2000 7 30 21 25	東京都 6弱 三宅村阿古2（旧）=5.6 5弱 三宅村神着=4.9 神津島村金長=4.5	33°58.2' N	139°24.6' E	17km	M: 6.5	
20	2000 8 18 10 52	東京都 6弱 新島村式根島=5.5 5強 神津島村役場*=5.0 5弱 神津島村金長=4.9	34°12.0' N	139°14.4' E	12km	M: 6.1	
21	2000 8 18 12 49	東京都 6弱 新島村式根島=5.7	34°17.6' N	139°10.4' E	7km	M: 5.1	
22	2000 10 6 13 30	鳥根県東部 鳥取県 6強 鳥取日野町根雨*=6.3 境港市東本町=6.0 6弱 鳥取南部阿法勝寺*=5.9 鳥取南部町天萬*=5.9 伯耆町溝口*=5.7 境港市上道町*=5.6 伯耆町吉長*=5.6 米子市淀江町*=5.6 日吉津村日吉津*=5.5 米子市博労町=5.1 5強 大山町国信*=4.7 北栄町由良宿*=4.7 倉吉市関金町大鳥居*=4.6 湯梨浜町龍島*=4.6 北栄町土下*=4.6 大山町御来屋*=4.5 大山町赤坂*=4.5 琴浦町徳万*=4.5 鳥根県 5強 奥出雲町三成*=5.4 安来市安来町*=5.3 松江市宍道町昭和*=5.0 5弱 松江市八束町波入*=4.9 東出雲町揖屋*=4.9 松江市玉湯町湯町*=4.8 松江市西津田=4.8 松江市鹿島町佐陀本郷*=4.8 仁摩町仁万（旧）*=4.8 雲南市大東町大東=4.7 雲南市加茂町加茂中*=4.7 八雲村西岩坂（旧）*=4.6 出雲市湖陵町二部*=4.5 雲南市三刀屋三刀屋*=4.5 江津市桜江町川戸（旧）*=4.5 鳥根斐川町莊原町*=4.5 岡山県 5強 新見市哲多町*=5.2 真庭市西河内=5.2 新見市大佐小阪部*=5.0 新見市新見=5.0 真庭市美甘*=5.0 5弱 新庄村役場*=4.9 真庭市久世*=4.9 玉野市宇野*=4.9 真庭市下皆部*=4.8 真庭市蒜山上福田*=4.8 真庭市蒜山上長田*=4.7 真庭市蒜山下和*=4.7 神郷町下神代（旧）*=4.7 倉敷市真備町*=4.6 早島町前潟*=4.6 岡山市大供*=4.6 岡山市御津金川*=4.6 真庭市勝山*=4.5 笠岡市笠岡*=4.5 高梁市有漢町（旧）*=4.5 賀陽町豊野（旧）*=4.5 岡山市灘崎町*=4.5 岡山市瀬戸町*=4.5 香川県 5強 土庄町甲=5.0 5弱 東かがわ市湊*=4.7 小豆島町池田*=4.7 高松市庵治町*=4.6高松市国分寺町*=4.5 観音寺市坂本町=4.5 三豊市三野町*=4.5 豊中町本山（旧）*=4.5 兵庫県 5弱 淡路市志筑*=4.7 広島県 5弱 庄原市高野町*=4.9 福山市駅家町*=4.8 大崎上島町中野*=4.8 呉市川尻町*=4.6 府中町大通り*=4.6 福山市新市町*=4.5 徳島県 5弱 徳島市大和町（旧）=4.5 徳島市新蔵町*=4.5	35°16.4' N	133°20.9' E	9km	M: 7.3	平成12年（2000年） 鳥取県西部地震
23	2001 3 24 15 27	安芸灘 広島県 6弱 東広島市河内町*=5.9 大崎上島町中野*=5.5 熊野町役場（旧）*=5.5 5強 呉市川尻町*=5.4 呉市倉橋町支所*=5.4 広島安佐南区緑井*=5.3 呉市下蒲刈町*=5.3 府中町大通り*=5.3 江田島市能美町*=5.3 三原市円一町=5.2 廿日市市下平良*=5.2 呉市広*=5.2 海田町上市*=5.2 首戸町鯉浜（旧）*=5.2 三原市久井町*=5.2 広島西区己斐*=5.2 東広島市安芸津町*=5.1 尾道市向島町*=5.1 江田島市沖美町*=5.1 江田島市大柿町*=5.1 広島豊浜町豊島（旧）*=5.1 呉市豊町*=5.1 呉市宝町=5.0 呉市安浦町*=5.0 三原市本郷町*=5.0 東広島市黒瀬町=5.0 東広島市豊栄町*=5.0 北広島町有田=5.0 広島安佐北区可部南*=5.0	34°07.9' N	132°41.6' E	46km	M: 6.7	平成13年（2001年） 芸予地震 死者 2人

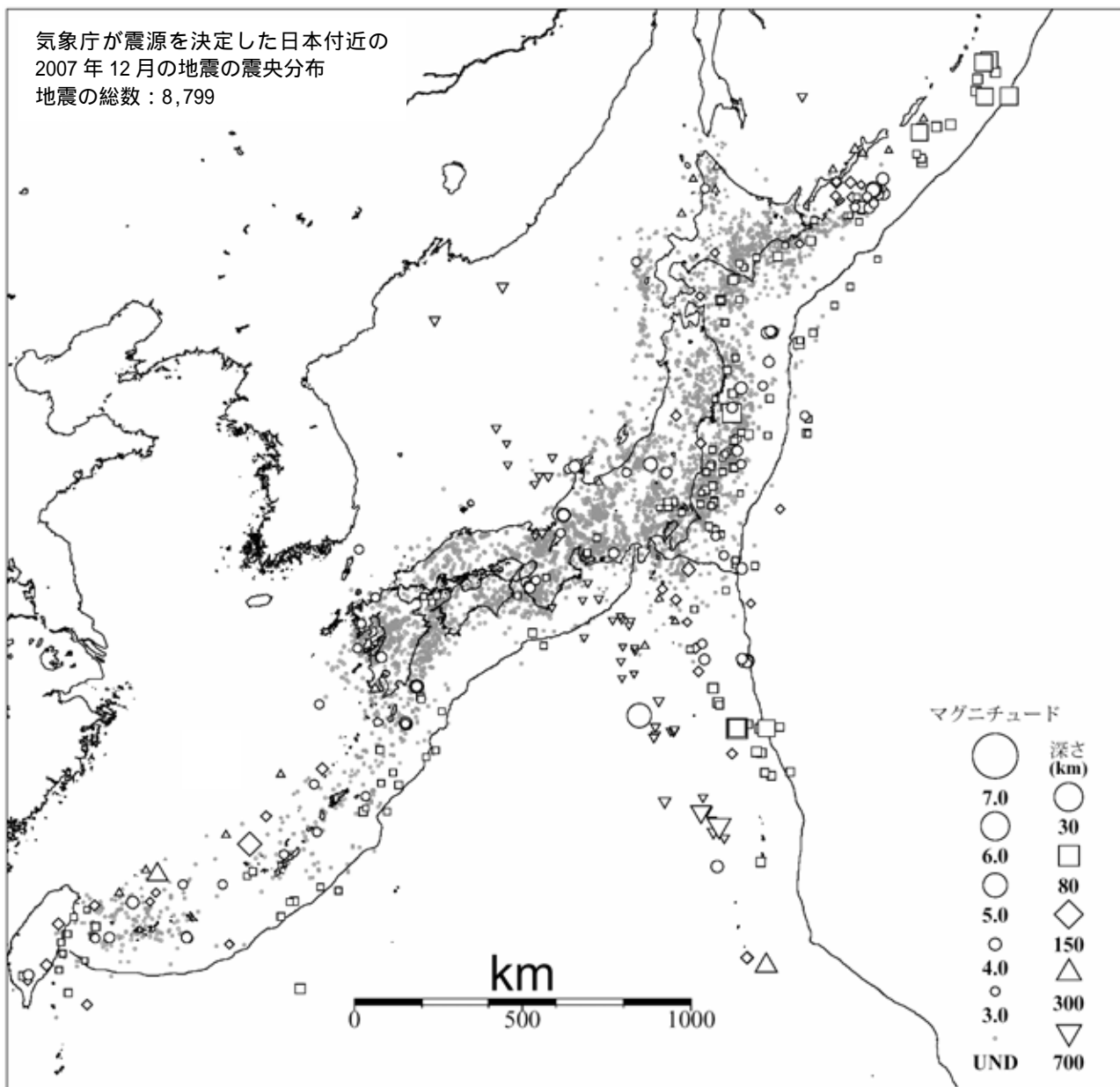
地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度	緯度	経度	深さ	規模	地震名（地震の通称） 備考
		5 弱 三原市大和町 * =4.9 尾道市瀬戸田町 * =4.9 呉市倉橋町鷹ヶ巣=4.9 呉市焼山 * =4.9 呉市蒲刈町 * =4.9 廿日市市津田 * =4.9 大崎上島町東野（旧） * =4.9 大崎上島町木江 * =4.8 広島中区大手町 * =4.8 広島安芸区中野 * =4.8 世羅町西上原 * =4.8 江田島市江田島町 * =4.7 福山市松永町=4.7 福山市内海町（旧） * =4.7 広島三次市吉舎町 * =4.7 安芸高田市吉田町（旧） * =4.7 広島福富町久芳（旧） * =4.7 広島南区宇品海岸 * =4.7 廿日市市宮島町 * =4.7 世羅西町小国（旧） * =4.6 広島中区上八丁堀=4.6 安芸高田市八千代町 * =4.6 坂町役場 * =4.6 広島三次市三良坂町 * =4.6 北広島町都志見=4.5 福山市新市町 * =4.5 尾道市久保 * =4.5 尾道市御調町 * =4.5					
		愛媛県 5 強 今治市南宝来町二丁目=5.4 今治市上浦町 * =5.4 今治市大三島町 * =5.4 西条市丹原町鞍瀬=5.3 松山市北持田町=5.3 今治市波方町 * =5.2 今治市菊間町 * =5.2 今治市吉海町 * =5.2 愛媛松前町筒井 * =5.2 久万高原町久万 * =5.2 西予市三瓶町 * =5.2 今治市大西町 * =5.1 砥部町宮内 * =5.1 愛媛吉田町東小路（旧） * =5.1 西予市宇和町 * =5.1 上島町弓削 * =5.1 西条市丹原町池田 * =5.0 上島町生名 * =5.0 上島町岩城（旧） * =5.0					
		山口県 5 弱 今治市朝倉北 * =4.9 今治市玉川町 * =4.9 西条市小松町 * =4.9 西条市小松町 * =4.9 内子町平岡 * =4.9 西予市明浜町 * =4.9 今治市宮窪町 * =4.8 松山市中島大浦 * =4.8 伊予市中山町 * =4.8 八幡浜市保内町 * =4.8 大洲市大洲 * =4.8 宇和島市住吉町=4.7 西予市野村町=4.7 今治市関前岡村 * =4.7 東温市見奈良 * =4.6 伊方町湊浦（旧） * =4.6 宇和島市三間町 * =4.5 新居浜市一宮町=4.5					
		島根県 5 強 和木町和木 * =5.4 阿東町徳佐（旧） * =5.3 周防大島町森 * =5.3 周防大島町久賀 * =5.2 周防大島町小松 * =5.2 岩国市今津=5.1 柳井市南町（旧）=5.1 柳井市大島（旧） * =5.1 平生町平生 * =5.1 田布施町役場 * =5.0 周防大島町西安下庄 * =5.0					
		高知県 5 弱 下松市大手町 * =4.8 岩国市由宇町 * =4.8 岩国市玖珂町総合支所 * =4.8 岩国市美和町生見 * =4.7 大分県 5 弱 上関町長島 * =4.7 田布施町下田布施=4.7 周南市岐山通り * =4.6 光市中央 * =4.6 山口市小郡下郷 * =4.5 光市岩田 * =4.5 岩国市周東町下久原 * =4.5					
24	2003 5 26 18 24	宮城県沖 岩手県 6 弱 大船渡市大船渡町=5.8 一関市室根町 * =5.7 平泉町平泉 * =5.6 奥州市衣川区 * =5.6 奥州市江刺区 * =5.5 5 強 岩手洋野町大野 * =5.4 大船渡市猪川町=5.4 矢巾町南矢幅 * =5.4 金ヶ崎町西根 * =5.4 藤沢町藤沢 * =5.3 一関市舞川=5.3 遠野市宮守町 * =5.2 釜石市只越町=5.2 陸前高田市高田町 * =5.2 花巻市大迫町=5.2 花巻市東和町 * =5.2 奥州市胆沢区 * =5.1 一関市川崎町 * =5.1 住田町世田米 * =5.1 盛岡市玉山区洪民 * =5.0 二戸市福岡=5.0 花巻市材木町 * =5.0	38° 49.2' N	141° 39.0' E	72km	M: 7.1	
		宮城県 5 弱 山田町八幡町=4.9 普代村銅屋 * =4.9 大槌町新町 * =4.9 一関市大東町=4.9 奥州市水沢区大鐘町=4.9 奥州市前沢区 * =4.9 北上市柳原町=4.8 盛岡市山王町=4.8 紫波町日詰 * =4.8 宮古市茂市 * =4.7 一関市東山町 * =4.7 八幡平市大更=4.7 野田村野田 * =4.7 滝沢村鶴飼 * =4.6 久慈市川崎町=4.6 岩泉町岩泉 * =4.6 大迫町役場 * =4.5 西和賀町沢内太田 * =4.5					
		宮城県 6 弱 栗原市高清水 * =5.6 石巻市桃生町（旧） * =5.6 栗原市栗駒=5.5 栗原市金成 * =5.5 石巻市泉町=5.5 涌谷町新町=5.5 5 強 気仙沼市赤岩=5.4 栗原市志波姫 * =5.4 登米市米山町 * =5.4 宮城美里町木間塚 * =5.4 登米市中田町=5.3 登米市登米町 * =5.3 栗原市一迫 * =5.3 鹿島台町平渡（旧） * =5.3 栗原市瀬峰 * =5.2 登米市迫町 * =5.2 気仙沼市唐桑町 * =5.2 大崎市田尻 * =5.2 栗原市若柳 * =5.2 石巻市前谷地 * =5.2 東松島市矢本 * =5.2 鳴瀬町小野（旧） * =5.2 南三陸町志津川=5.1 大崎市松山 * =5.1 栗原市花山 * =5.1 宮城加美町小野田 * =5.1 色麻町四蔵（旧） * =5.1 栗原市鷺沢 * =5.0 大崎市古川三日町=5.0 大崎市岩出山 * =5.0					
		青森県 5 弱 宮城川崎町前川 * =4.9 南方町八の森 * =4.8 宮城美里町北浦 * =4.8 亘理町下小路 * =4.8 仙台泉区将監 * =4.8 名取市増田 * =4.7 大河原町新南 * =4.7 仙台青葉区大倉=4.7 石巻市相野谷 * =4.7 宮城加美町宮崎 * =4.7 本吉町津谷 * =4.7 大郷町粕川 * =4.6 大衡村大衡 * =4.6 蔵王町円田 * =4.6 石巻市雄勝町 * =4.6 石巻市大瓜=4.5					
		秋田県 5 強 階上町道仏 * =5.1 5 弱 八戸市南郷区 * =4.7 青森南部町苦米地 * =4.5 五戸町古館=4.5					
		山形県 5 強 大仙市刈和野 * =5.0 5 弱 横手市大雄 * =4.9 大仙市大曲花園町 * =4.7 大仙市高梨 * =4.7 秋田市雄和妙法 * =4.6 羽後町西馬音内 * =4.6 湯沢市川連町 * =4.5					
		福島県 5 強 山形中山町長崎（旧） * =5.1 5 弱 村山市中央 * =4.8 最上町向町 * =4.5					
		5 弱 南相馬市鹿島区 * =4.8 相馬市中村 * =4.6 田村市都路町 * =4.5 南相馬市原町区三島町=4.5 富岡町本岡 * =4.5 南相馬市小高区 * =4.5					
25	2003 7 26 00 13	宮城県中部 宮城県 6 弱 鳴瀬町小野（旧） * =5.9 東松島市矢本 * =5.5 5 強 鹿島台町平渡（旧） * =5.4 宮城美里町木間塚 * =5.1 5 弱 石巻市泉町=4.8 大崎市松山 * =4.8 大崎市田尻 * =4.7 涌谷町新町=4.6 大郷町粕川 * =4.5 石巻市前谷地 * =4.5	38° 26.0' N	141° 09.8' E	12km	M: 5.6	
26	2003 7 26 07 13	宮城県中部 宮城県 6 強 東松島市矢本 * =6.2 鳴瀬町小野（旧） * =6.0 宮城美里町木間塚 * =6.0 6 弱 鹿島台町平渡（旧） * =5.9 涌谷町新町=5.8 石巻市前谷地 * =5.7 石巻市桃生町（旧） * =5.5 宮城美里町北浦 * =5.5 5 強 大崎市松山 * =5.4 石巻市泉町=5.2 大崎市田尻 * =5.1 大崎市古川三日町=5.0 登米市米山町 * =5.0 5 弱 石巻市相野谷 * =4.9 栗原市志波姫 * =4.9 栗原市一迫 * =4.8 栗原市瀬峰 * =4.8 大郷町粕川 * =4.8 栗原市高清水 * =4.7 登米市迫町 * =4.7 仙台泉区将監 * =4.7 登米市中田町=4.6 大崎市三本木 * =4.5 栗原市金成 * =4.5	38° 24.3' N	141° 10.2' E	12km	M: 6.4	

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度	緯度	経度	深さ	規模	地震名(地震の通称) 備考
27	2003 7 26 16 56	宮城県中部 宮城県 6弱 石巻市前谷地 * =5.7 5強 宮城美里町木間塚 * =5.4 涌谷町新町 * =5.2 5弱 石巻市桃生町(旧) * =4.7	38° 30.0' N	141° 11.3' E	12km	M: 5.5	
28	2003 9 26 04 50	釧路沖 北海道 6弱 幕別町本町 * =5.8 釧路町別保 * =5.8 新冠町北星町 * =5.7 浦河町潮見 * =5.6 新ひだか町静内ときわ町 * =5.5 豊頃町茂岩本町 * =5.5 幕別町忠類錦町 * =5.5 鹿追町東町 * =5.5 厚岸町尾幌 * =5.5 5強 釧路市幸町 * =5.4 別海町常盤 * =5.4 更別村更別 * =5.3 広尾町並木通 * =5.2 本別町北2丁目 * =5.2 厚真町京町 * =5.2 釧路市音別町尺別 * =5.1 足寄町上螺湾 * =5.1 弟子屈町美里 * =5.0 帯広市東4条 * =5.0 5弱 南幌町栄町 * =4.9 音更町元町 * =4.9 十勝清水町南4条 * =4.9 幕別町忠類明和 * =4.9 北見市公園町 * =4.8 芽室町東2条 * =4.8 長沼町中央 * =4.8 苫小牧市しらかば * =4.7 上士幌町上士幌 * =4.7 清里町羽衣町 * =4.7 新篠津村第47線 * =4.6 栗山町松風 * =4.5 訓子府町東町 * =4.5 中富良野町市街地 * =4.5 岩見沢市栗沢町東本町 * =4.5	41° 46.7' N	144° 04.7' E	45km	M: 8.0	平成15年(2003年) 十勝沖地震 死者 1人 行方不明1人 津波あり
29	2003 9 26 06 08	十勝沖 北海道 6弱 浦河町潮見 * =5.8 5強 新冠町北星町 * =5.2 5弱 新ひだか町静内ときわ町 * =4.8 厚真町京町 * =4.6 青森県 5弱 むつ市金曲 * =4.7 東通村砂子又(旧) * =4.6 野辺地町野辺地 * =4.5	41° 42.5' N	143° 41.4' E	21km	M: 7.1	
30	2004 10 23 17 56	新潟県中越地方 新潟県 7 川口町川口 * =6.5 6強 長岡市古志竹沢 * =6.3 小千谷市城内 * =6.3 長岡市小国町法坂 * =6.0 6弱 十日町市千歳町 * =5.9 十日町市上山 * =5.9 魚沼市堀之内 * =5.9 十日町市水口沢 * =5.7 魚沼市須原 * =5.7 長岡市浦 * =5.6 刈羽村割町新田(旧) * =5.6 長岡市上岩井 * =5.5 長岡市幸町 * =5.5 魚沼市今泉 * =5.5 長岡市栃尾大町 * =5.5 魚沼市穴沢 * =5.5 魚沼市今泉 * =5.5 長岡市栃尾大町 * =5.5 魚沼市穴沢 * =5.5 5強 長岡市中之島 * =5.4 上越市安塚区安塚 * =5.3 長岡市与板町与板 * =5.3 見附市昭和町 * =5.3 長岡市小島谷 * =5.2 出雲崎町米田 * =5.2 魚沼市小出島 * =5.2 南魚沼市六日町 * =5.2 南魚沼市浦佐 * =5.2 南魚沼市塩沢庁舎 * =5.2 津南町下船渡 * =5.1 十日町市松之山 * =5.0 十日町市松代(旧) * =5.0 5弱 三条市西裏館 * =4.9 三条市新堀 * =4.9 柏崎市中央町 * =4.9 柏崎市西山町池浦(旧) * =4.9 弥彦村矢作 * =4.8 柏崎市高柳町岡野町 * =4.7 上越市吉川区原之町 * =4.7 出雲崎町川西 * =4.7 魚沼市米沢 * =4.7 燕市秋葉町 * =4.7 燕市分水桜町 * =4.7 新潟市中之口 * =4.7 加茂市幸町 * =4.6 上越市三和区井ノ口 * =4.6 新潟市月潟 * =4.6 魚沼市大沢 * =4.6 上越市頸城区百間町 * =4.5 上越市大手町 * =4.5 燕市吉田日之出町 * =4.5 上越市木田 * =4.5 上越市浦川原区釜淵 * =4.5 新潟西蒲区役所 * =4.5 上越市牧区柳島 * =4.5 上越市柿崎区柿崎 * =4.5 福島県 5弱 只見町只見 * =4.7 西会津町野沢 * =4.5 柳津町柳津 * =4.5 群馬県 5弱 渋川市北橋町 * =4.7 高崎市高松町 * =4.6 片品村東小川 * =4.5 埼玉県 5弱 久喜市下早見 * =4.7 長野県 5弱 飯綱町芋川 * =4.6	37° 17.5' N	138° 52.0' E	13km	M: 6.8	平成16年(2004年) 新潟県中越地震 死者 68人 (総務省消防庁第74報)
31	2004 10 23 18 11	新潟県中越地方 新潟県 6強 小千谷市城内 * =6.0 6弱 長岡市浦 * =5.7 長岡市小国町法坂 * =5.7 5弱 出雲崎町米田 * =4.9 魚沼市堀之内 * =4.9 長岡市小島谷 * =4.8 柏崎西山町池浦(旧) * =4.8 長岡市与板町与板 * =4.8 長岡市幸町 * =4.7 長岡市栃尾大町 * =4.7 十日町市水口沢 * =4.6 長岡市中之島 * =4.6 魚沼市今泉 * =4.5	37° 15.1' N	138° 49.7' E	12km	M: 6.0	
32	2004 10 23 18 34	新潟県中越地方 新潟県 6強 川口町川口 * =6.2 十日町市千歳町 * =6.1 長岡市小国町法坂 * =6.1 6弱 十日町市水口沢 * =5.9 小千谷市城内 * =5.7 南魚沼市六日町 * =5.7 魚沼市堀之内 * =5.6 魚沼市今泉 * =5.6 十日町市松代(旧) * =5.6 南魚沼市浦佐 * =5.6 魚沼市穴沢 * =5.5 十日町市上山 * =5.5 上越市安塚区安塚 * =5.5 5強 魚沼市須原 * =5.4 長岡市上岩井 * =5.3 出雲崎町米田 * =5.3 上越市浦川原区釜淵 * =5.3 南魚沼市塩沢庁舎 * =5.3 魚沼市小出島 * =5.2 柏崎市高柳町岡野町 * =5.2 長岡市浦 * =5.2 長岡市幸町 * =5.1 柏崎市西山町池浦(旧) * =5.1 長岡市小島谷 * =5.1 長岡市与板町与板 * =5.0 上越市大手町 * =5.0 魚沼市大沢 * =5.0 上越市牧区柳島 * =5.0 上越市三和区井ノ口 * =5.0 5弱 上越市清里区荒牧 * =4.9 十日町市松之山 * =4.9 見附市昭和町 * =4.8 長岡市栃尾大町 * =4.7 長岡市中之島 * =4.7 津南町下船渡 * =4.7 魚沼市米沢 * =4.7 上越市木田 * =4.6 上越市吉川区原之町 * =4.6 上越市頸城区百間町 * =4.5 三条市新堀 * =4.5 柏崎市中央町 * =4.5 上越市板倉区針 * =4.5 出雲崎町川西 * =4.5 上越大島区上達 * =4.5 上越市柿崎区柿崎 * =4.5 群馬県 5弱 片品村東小川 * =4.8 渋川市北橋町 * =4.7 沼田市白沢町 * =4.6 群馬昭利村糸井 * =4.5	37° 18.3' N	138° 55.8' E	14km	M: 6.5	
33	2004 10 23 19 45	新潟県中越地方 新潟県 6弱 小千谷市城内 * =5.7 5強 長岡市小国町法坂 * =5.0 5弱 魚沼市堀之内 * =4.7 長岡市浦 * =4.5	37° 17.7' N	138° 52.5' E	12km	M: 5.7	
34	2004 10 27 10 40	新潟県中越地方 新潟県 6弱 魚沼市今泉 * =5.6 魚沼市須原 * =5.5 魚沼市穴沢 * =5.5 5強 魚沼市堀之内 * =5.4 魚沼市米沢 * =5.3 南魚沼市六日町 * =5.3 魚沼市大沢 * =5.2 長岡市幸町 * =5.1	37° 17.5' N	139° 02.0' E	12km	M: 6.1	

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度	緯度	経度	深さ	規模	地震名（地震の通称） 備考	
35	2005 3 20 10 53	福島県 群馬県					長岡市上岩井 * =5.1 魚沼市小出島 * =5.1 長岡市栃尾大町 * =5.1 小千谷市城内 =5.1 長岡市小国町法坂 * =5.0 長岡市浦 * =5.0 5 弱 長岡市中之島 * =4.9 見附市昭和町 * =4.9 南魚沼市浦佐 * =4.9 長岡市小島谷 * =4.7 三条市新堀 * =4.6 長岡市与板町与板 * =4.6 出雲崎町米田 =4.6 燕市秋葉町 * =4.6 上越市安塚区安塚 * =4.5 刈羽村割町新田（旧） * =4.5 上越市大手町 =4.5 5 弱 只見町只見 * =4.6 5 弱 渋川市北碓町 * =4.7 沼田市西倉内町 =4.5	
		福岡県	福岡県北西沖	33° 44.3' N	130° 10.5' E	9km	M: 7.0	6 弱 福岡中央区舞鶴 * =5.7 前原市前原西 * =5.5 福岡東区東浜 * =5.5 死者 1 人 5 強 須恵町須恵 * =5.3 福岡新宮町緑ヶ浜 * =5.3 福岡志摩町初 =5.3 (総務省消防庁第34報) 大川市酒見 * =5.3 福岡西区今宿 * =5.2 嘉麻市上臼井 * =5.2 福岡早良区百道浜 * =5.2 春日市原町 * =5.1 久留米市津福本町 =5.1 福岡中央区大濠 =5.1 久山町久原 * =5.0 飯塚市忠隈 * =5.0 粕屋町仲原 * =5.0 二丈町深江 * =5.0 5 弱 福岡博多区博多駅前 * =4.9 大野城市曙町 * =4.9 宮若市福丸 * =4.9 みやま市高田町 * =4.9 筑前町篠隈 * =4.8 福津市津屋崎 * =4.8 久留米市北野町 * =4.8 久留米市城島町 * =4.8 柳川市本町 * =4.8 筑前町下高場 =4.8 福岡城南区神松寺 * =4.7 遠賀町今古賀 * =4.7 福岡南区塩原 * =4.7 篠栗町篠栗 * =4.7 志免町志免 * =4.7 うきは市浮羽町 * =4.6 北九州八幡西区相生町 * =4.6 宗像市大島 * =4.6 朝倉市宮野 * =4.6 宗像市東郷 * =4.6 小郡市小郡 * =4.6 大木町八町牟田 * =4.6 北九州戸畑区千防 * =4.5 宗像市江口 * =4.5 中間市中間 * =4.5 福岡那珂川町西隈 * =4.5 大刀洗町富多 * =4.5 直方市新町 * =4.5 飯塚市川島（旧） =4.5 飯塚市長尾 * =4.5 宇美町宇美 * =4.5 佐賀県 6 弱 みやき町北茂安 * =5.6 5 強 上峰町坊所 * =5.1 白石町有明 * =5.1 唐津市七山 * =5.0 5 弱 佐賀市久保田 * =4.9 白石町福田 * =4.9 小城市芦刈 * =4.9 神崎市千代田 * =4.9 唐津市西城内 =4.8 鳥栖市宿町 * =4.8 白石町福富 * =4.8 佐賀市川副 * =4.7 嬉野市下宿乙 * =4.7 神崎市神崎 * =4.7 佐賀市諸富 * =4.7 佐賀市三瀬 * =4.6 多久市北多久町 * =4.6 江北町山口 * =4.6 小城市牛津 * =4.6 唐津市北波多 * =4.6 吉野ヶ里町三田川 * =4.6 佐賀市大和 * =4.6 武雄市北方 * =4.5 唐津市呼子 * =4.5 みやき町中原 * =4.5 小城市三日月 * =4.5 佐賀市東与賀 * =4.5 長崎県 5 強 壱岐市芦辺町芦辺 * =5.1 5 弱 壱岐市石田町 * =4.5 大分県 5 弱 中津市三光 * =4.5
36	2005 8 16 11 46	宮城県	宮城県沖	38° 08.9' N	142° 16.6' E	42km	M: 7.2	
		宮城県						6 弱 宮城川崎町前川 * =5.6 5 強 石巻市桃生町（旧） * =5.3 東松島市矢本 * =5.2 蔵王町円田 * =5.2 栗原市築館 * =5.2 宮城美里町北浦 * =5.1 涌谷町新町 =5.1 石巻市門脇 * =5.0 大崎市田尻 * =5.0 名取市増田 * =5.0 登米市迫町 * =5.0 仙台宮城野区苦竹 * =5.0 仙台泉区将監 * =5.0 5 弱 栗原市金成 * =4.9 登米市南方町 * =4.9 南三陸町志津川 =4.9 南三陸町歌津 * =4.9 岩沼市桜 * =4.9 山元町浅生原 * =4.9 石巻市泉町 =4.9 塩竈市旭町 * =4.9 東松島市小野 * =4.9 宮城美里町木間塚 * =4.8 登米市中田町 * =4.8 登米市米山町 * =4.8 石巻市北上町 * =4.8 石巻市鮎川浜 * =4.8 石巻市相野谷 * =4.8 石巻市前谷地 * =4.8 仙台宮城野区五輪 =4.7 仙台若林区遠見塚 * =4.7 栗原市若柳 * =4.7 栗原市高清水 * =4.7 栗原市志波姫 * =4.7 大崎市古川三日町 =4.7 大崎市鹿島台 * =4.7 大衡村大衡 * =4.7 登米市登米町 * =4.7 栗原市瀬峰 * =4.6 大崎市松山 * =4.6 角田市角田 * =4.6 大河原町新南 * =4.6 女川町女川浜 * =4.6 亘理町下小路 * =4.6 栗原市栗駒 =4.6 村田町村田 * =4.5 柴田町船岡 =4.5 大郷町粕川 * =4.5 気仙沼市赤岩 =4.5 宮城加美町中新田 * =4.5 登米市東和町 * =4.5 白石市亘理町 * =4.5 栗原市一迫 * =4.5 石巻市雄勝町 * =4.5 岩手県 5 強 藤沢町藤沢 * =5.0 5 弱 一関市室根町 * =4.9 奥州市前沢区 * =4.8 奥州市衣川区 * =4.8 一関市千厩町 * =4.8 一関市花泉町 * =4.7 平泉町平泉 * =4.7 矢巾町南矢幅 * =4.7 一関市山目 * =4.6 奥州市江刺区 * =4.6 二戸市福岡 =4.6 奥州市胆沢区 * =4.6 陸前高田市高田町 * =4.6 花巻市東和町 * =4.6 北上市柳原町 =4.5 一関市舞川 =4.5 花巻市材木町 * =4.5 金ケ崎町西根 * =4.5 福島県 5 強 新地町谷地小屋 * =5.4 相馬市中村 * =5.3 国見町藤田 * =5.1 川俣町五百田 * =5.1 南相馬市鹿島区 * =5.0 5 弱 二本松市針道 * =4.8 桑折町東大隅 * =4.8 南相馬市小高区 * =4.7 福島市五老内町 * =4.6 田村市大越町 * =4.6 福島伊達市梁川町 * =4.6 飯館村伊丹沢 * =4.6 中島村滑津 * =4.5 田村市都路町 * =4.5 福島伊達市保原町 * =4.5 福島伊達市靈山町 * =4.5 南相馬市原町区三島町 =4.5 茨城県 5 弱 日立市役所 * =4.5
37	2007 3 25 09 41	石川県	能登半島沖	37° 13.2' N	136° 41.1' E	11km	M: 6.9	平成19年（2007年） 能登半島地震 死者 1 人 （総務省消防庁第48報） 津波あり
		石川県						6 強 輪島市門前町走出（旧） * =6.4 穴水町大町 * =6.3 七尾市田鶴浜町（旧） * =6.2 輪島市鳳至町 =6.1 6 弱 志賀町香能 * =5.9 中能登町能登部下 * =5.7 志賀町富来領家町 =5.6 能登町宇出津 =5.6 中能登町末坂 * =5.5 輪島市河井町 * =5.5 志賀町末吉千古 * =5.5 能登町松波 * =5.5 5 強 七尾市本府中町 =5.3 七尾市袖ヶ江町 * =5.2 珠洲市正院町 * =5.1 5 弱 羽咋市旭町 * =4.9 珠洲市大谷町 * =4.8 中能登町井田 * =4.8 能登町柳田 * =4.8 宝達志水町子浦 * =4.5 羽咋市柳田町 =4.5 かほく市浜北 * =4.5 新潟県 5 弱 刈羽村割町新田（旧2） * =4.5 富山県 5 弱 氷見市加納 * =4.9 富山市新桜町 * =4.8 舟橋村仏生寺 * =4.7 射水市加茂中部 * =4.6 富山市婦中町笹倉 * =4.6 滑川市寺家町 * =4.6 小矢部市水牧 * =4.6 射水市本町 * =4.6 射水市戸破 * =4.5

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度	緯度	経度	深さ	規模	地震名（地震の通称） 備考
38	2007 7 16 10 13 新潟県	新潟県上中越沖 6強 柏崎市中央町* =6.3 柏崎市西山町池浦（旧）* =6.2 長岡市小国町法坂* =6.1 刈羽村割町新田（旧2）* =6.0 6弱 出雲崎町米田=5.9 上越市吉川区原之町* =5.8 上越市柿崎区柿崎* =5.8 長岡市山古志竹沢* =5.7 柏崎市高柳町岡野町* =5.6 長岡市上岩井* =5.6 上越市三和区井ノ口* =5.5 小千谷市土川* =5.5 長岡市中之島* =5.5 出雲崎町川西* =5.5 5強 上越市大島区岡* =5.4 長岡市与板町与板* =5.4 長岡市小島谷* =5.4 上越市大手町=5.3 長岡市浦* =5.3 上越市牧区柳島* =5.3 上越市頸城区百間町* =5.3 三条市新堀* =5.3 燕市分水桜町* =5.3 上越市浦川原区釜淵* =5.2 上越市五智* =5.2 上越市安塚区安塚* =5.1 小千谷市城内=5.1 十日町市千歳町* =5.0 十日町市松代（旧）* =5.0 南魚沼市六日町=5.0 長岡市千手* =5.0 上越市大潟区土底浜* =5.0 十日町市高山* =5.0 5弱 上越市中ノ俣=4.9 見附市昭和町* =4.9 上越市名立区名立大町* =4.8 長岡市寺泊上田町* =4.8 三条市西裏館* =4.8 十日町市松之山* =4.8 上越市木田* =4.8 弥彦村矢作* =4.8 上越市清里区荒牧* =4.7 長岡市幸町=4.7 燕市吉田日之出町* =4.7 十日町市水口沢* =4.7 新潟西蒲区役所=4.7 新潟西蒲区巻甲* =4.7 加茂市幸町* =4.6 長岡市寺泊一里塚* =4.6 川口町川口* =4.6 南魚沼市塩沢庁舎* =4.6 五泉市太田* =4.5 上越市板倉区針* =4.5 魚沼市堀之内* =4.5 長野県 6強 飯綱町芋川* =6.2 5強 飯綱町牟礼* =5.3 中野市豊津* =5.1 飯山市飯山福寿町* =5.0 信濃町柏原東裏* =5.0 5弱 長野市戸隠* =4.5 石川県 5弱 輪島市鳳至町=4.6 能登町宇出津=4.6 珠洲市正院町* =4.5	37° 33.4' N	138° 36.5' E	17km	M: 6.8	平成19年（2007年） 新潟県中越沖地震 死者 15人 （総務省消防庁第49報） 津波あり
39	2007 7 16 15 37 新潟県	新潟県上中越沖 6弱 長岡市小島谷* =5.6 出雲崎町米田=5.5 5強 出雲崎町川西* =5.2 柏崎市西山町池浦（旧）* =5.1 5弱 刈羽村割町新田（旧2）* =4.9 新潟西蒲区役所=4.8 新潟西蒲区巻甲* =4.8 弥彦村矢作* =4.6 長岡市中之島* =4.6 燕市分水桜町* =4.6 上越市大島区岡* =4.5 上越市柿崎区柿崎* =4.5 長岡市与板町与板* =4.5 柏崎市中央町* =4.5 小千谷市土川* =4.5	37° 30.2' N	138° 38.6' E	23km	M: 5.8	

気象庁が震源を決定した日本付近の
2007年12月の地震の震央分布
地震の総数：8,799



M3.0以上の地震の震央を白抜きで示す。